

平成25年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標(変更)

平成26年3月24日

那覇市	1	嘉手納町	169
宜野湾市	28	北谷町	174
石垣市	37	北中城村	178
浦添市	52	中城村	186
名護市	62	西原町	191
糸満市	69	与那原町	195
沖縄市	80	南風原町	199
豊見城市	96	渡嘉敷村	211
うるま市	103	座間味村	215
宮古島市	115	粟国村	219
南城市	124	渡名喜村	223
国頭村	132	南大東村	224
大宜味村	137	北大東村	227
東村	139	伊平屋村	229
今帰仁村	141	伊是名村	235
本部町	145	久米島町	240
恩納村	151	八重瀬町	245
宜野座村	152	多良間村	250
金武町	156	竹富町	253
伊江村	160	与那国町	257
読谷村	161		

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		歴史ある那覇のまち、観光客誘客促進・受入基盤強化事業						
1	1	観光プラザ整備事業	H24～H25	観光都市としての国内・国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぐす那覇」に観光案内所を整備する。	新たな観光案内所(観光プラザ)の開設に向けた改修工事の実施	新たな観光案内所(観光プラザ)開設		
1	2	那覇港観光客利便性向上施設整備事業	H24～H25	観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。	那覇港のボーディングブリッジ設置1基	クルーズ船観光客の安全性・利便性の確保に向けた施設の強化 ・ボーディングブリッジ設置 1基	(今後の展開方針) H26年度: 供用開始	
1	3	奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業	H24～H25	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場の施設を整備し機能強化を行う。	外野ファールゾーン部分等(800㎡)の天然芝張替及び段差の復旧工事	外野ファールゾーン部分等(800㎡)の天然芝張替及び段差の復旧工事		
1	4	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24～H33	那覇市の伝統工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。	・市の伝統工芸品のブランドコンセプトの確立 ・販売店舗の改築	・市の伝統工芸品における理念のもと、デザイン・販売戦略等の方向性を確立 ・販売店舗の改築		
1	5	公設市場環境整備事業	H24～H25	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグラーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。	第一牧志公設市場空調設備の改良工事の実施	第一牧志公設市場空調設備の改良工事の実施		
1	6	プラネタリウム番組開発等事業	H24～H28	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、沖縄独自の番組の制作や広報用パンフレット等の作成、天体望遠鏡の整備を行う。	・プラネタリウムオリジナル番組開発 ・プラネタリウム番組広報活動	プラネタリウム年間観覧者数 24,000人(平成23年 22,255人)	(今後の展開方針) 毎年新番組を制作予定	10月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
1	7	クルーズ客船ターミナル等における伝統工芸PR事業	H25	本市の伝統工芸品の品質・伝統・個性等を、来沖する外国人観光客にPRし認知度を高め、販路拡大を目的に、若狭バースの工芸品展示スペースに本市の伝統工芸品を展示する。	・展示する伝統工芸品の製作 ・伝統工芸品のディスプレイ	展示する伝統工芸品の製作: 5品目		

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	8	展示資料「那覇の屏風」複製製作事業	H25	本市観光施設・歴史博物館に展示資料として、「那覇の屏風」の複製を製作し、県内外からの誘客を図る。	・「那覇の屏風」複製製作製 ・「那覇の屏風」複製展示	・「那覇の屏風」複製製作製 ・「那覇の屏風」複製展示		
1	9	「昭和のなは」復元模型製作事業	H25	本市観光施設・歴史博物館に展示資料として、王国時代から都市として発展してきた戦前の那覇の街並みを再現した縮小模型を製作し、県内外からの誘客を図る。	・復元模型製作 ・復元模型展示	・復元模型製作 ・復元模型展示		
1	10	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25～H33	観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための費用及び観光案内所の施設賃借料を補助する。	英語、中国語、韓国語での観光案内の実施	外国人観光客の案内所(1箇所)の利用人数: 3,800人 (平成24年度 3,703人)	(今後の展開方針) H26～H33:外国語対応スタッフを配置する那覇市観光協会への事業支援実施	
1	11	那覇市旧跡・歴史的地名標示事業	H24～H25	観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、その場所場所に説明表示板を設置し、その旧跡・歴史地名標示の内容を盛り込んだガイドブックを製作する。	・ガイドブックの作製 ・標示板企画展の開催	・ガイドブックの作製 ・標示板企画展の開催		
1	12	バス停上屋整備事業	H24～H26	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	・バス停上屋の設置:13基	バス停上屋の設置:13基	(今後の展開方針) H26年度 上屋設置(13基)	
1	13	交流オアシス整備事業	H24～H27	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	・交流オアシスの設置:6箇所	交流オアシスの設置:6箇所	(今後の展開方針) H26年度 設置工事(6箇所) H27年度 " (3箇所)	
1	14	観光散歩道ネットワークづくり事業	H25～H26	市内を快適に観光散策等できるように、主要な路線及び交差点等に道路案内板を設置する。	・道路案内板の設置:10箇所	道路案内板の設置:10箇所	(今後の展開方針) H26年度 案内板設置(10箇所)	
1	15	歴史散歩道整備事業	H24～H27	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、①壺屋地区②当蔵1号③うしゅがなしーめーまーい等の道路の公共空間において、路面改良、道路緑化・美化を行う。	・歴史散歩道設置:4地区	歴史散歩道設置:4地区	(今後の展開方針) H26・27年度 整備工事	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
						1		
1	17	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、植栽・トイレ等の整備を行う。また、観光都市として相応しい景観づくりのため漫湖公園にある巨大モニュメント(遊具)の化粧及び観光地に相応しい演出のため新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化の整備を図る。	・観光地周辺公園のトイレ整備設計等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ整備等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ清掃等:23棟 ・福州園の樹木植栽:191本 ・漫湖公園巨大モニュメント(遊具)の塗装 ・新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化整備	・観光地周辺公園のトイレ整備設計等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ整備等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ清掃等:23棟 ・福州園の樹木植栽:191本 ・漫湖公園巨大モニュメント(遊具)の塗装 ・新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化整備	(今後の展開方針) 観光地周辺公園のトイレ整備等を引き続き行う。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	18	市花木等普及推進事業(公共空間への植樹)	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花プーゲンビレアにより、公共空間の緑化に取り組む。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡/年(H26～H33)	
1	19	ベランダ緑化推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのプーゲンビレアの苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へプーゲンビレア苗等の配布:300鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へプーゲンビレア苗等の配布:300鉢	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へプーゲンビレア苗等の配布:300鉢/年(H26～H33)	
1	20	花いっぱい運動推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、地域を花でいっぱいにするための種子、草花苗の配布を実施する。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢	(今後の展開方針) 国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢/年(H26～H33)	
1	21	緑の診断・生育事業(公共空間)	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入替え等を行う。	樹木の診断本数:120本	樹木の診断本数:120本	(今後の展開方針) 樹木の診断本数:120本/年(H26～H33)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	22	桜の名所づくり事業	H24～H27	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、桜の育成環境調査を行い選定した候補地において、桜の植栽等を行う。	桜の植栽本数：120本	桜の植栽本数：120本	(今後の展開方針) 桜の植栽本数：120本/年(H26～H27)	
1	23	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24～H25	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	・薬剤の樹幹注入：デイゴ 50本、リュウキュウマツ 600本	・薬剤の樹幹注入：デイゴ 50本、リュウキュウマツ 600本		
1	24	那覇爬龍船競漕振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。	「那覇ハーリー」を実施する那覇爬龍船振興会に対して事業支援を実施	那覇ハーリー来場者数：210,000人 (平成23年 192,000人)	(今後の展開方針) H26～H33：那覇爬龍船振興会に対しての事業支援実施	
1	25	那覇大綱挽振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。	「那覇大綱挽」を実施する那覇大綱挽保存会に対して事業支援を実施	那覇大綱挽まつり会場来場者数：400,000人 (平成23年 320,000人)	(今後の展開方針) H26～H33：那覇大綱挽保存会に対しての事業支援実施	
1	26	琉球王朝祭り首里振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。	「琉球王朝祭り首里」を開催する首里振興会に対して事業支援を実施	琉球王朝祭り首里観客動員数：60,000人 (平成23年 55,000人)	(今後の展開方針) H26～H33：首里振興会に対しての事業支援実施	
1	27	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25～H33	本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興・観光誘客を図るため、首里城祭実行委員会へ琉球王朝絵巻行列実施にかかる費用を補助する。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」を開催する首里城祭実行委員会に対して事業支援を実施	琉球王朝絵巻行列観客動員数：33,000人 (平成23年 33,000人)	(今後の展開方針) H26～H33：首里城祭実行委員会に対しての事業支援実施	
1	28	プロ野球キャンプ等支援事業	H24～H33	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「那覇の日」観光誘客キャンペーンの実施 ・トレーニング室及び倉庫建設工事 ・陸上競技場・補助競技場整備 ・キャンプ期間中の警備 ・公式戦の開催支援 ・キャンプ施設整備、施設備品購入 	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 8,000人/日 (平成24年度 5,796人/日)	(今後の展開方針) H26～H33：読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化 目標値(指標)：一日平均見学者数：10,000人(H33)	10月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	29	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業	H24～H25	観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAMラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピーターを増やすための交流イベントを開催する。	ジョガー同士の交流を促進する各種イベントの開催	NAHAMラソンジョガー交流会参加者数:1,400人(平成24年 800人)		
1	30	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24～H33	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	春季キャンプ会場周辺で、出店、ステージイベント等を実施	読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数 8,000人/日(平成24年度 5,796人/日)	(今後の展開方針) H26～H33:読売巨人軍春季キャンプ会場周辺のにぎわい創出目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33)	
1	31	国際通りとマチグワーのにぎわい事業	H24～H33	ひやみかちマチグワー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。	・ひやみかちマチグワー館でのイベント実施(週4～5回) ・マチグワーへの集客PR	にぎわいイベントによる集客数:延べ30,000人	(今後の展開方針) H26～H33:マチグワーを拠点にイベントを実施	
1	32	国際通りトランジットマイル推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	国際通りトランジットモールの活動支援	トランジットマイル開催時の通行者数:21,000人/日(平成24年 20,000人)	(今後の展開方針) H26～H33:トランジットマイルの事業支援 目標値(指標):トランジットマイル開催時の通行者数 30,000人(H33)	
1	33	中心商店街活性化支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。	中心商店街(マチグワー)が実施するイベント等の支援	中心商店街(マチグワー)が実施するイベント等の支援件数:10件	(今後の展開方針) H26～H33:商店街が実施するイベント等の事業支援	
1	34	万人エイサー踊り隊推進事業	H24～H33	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	国際通りをステージに6千人以上が出演する「万人のエイサー踊り隊」の支援	万人のエイサー踊り隊来場者数:100,000人(県外20,000人 県内80,000人)(平成24年 73,000人(県内外合計))	(今後の展開方針) H26～H33:万人エイサー踊り隊の事業支援 目標値(指標):来場者数 150,000人(H33)	
1	35	那覇まちまーい推進事業	H24～H33	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	・着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」の実施 ・散策コースの新規企画 ・「那覇まちまーい」のPR活動	那覇まちまーいへの参加者数:7,000人(平成23年 6,132人)	(今後の展開方針) H26～H33:「那覇まちまーい」事業の推進	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	36	「JAZZ Night in 那覇」事業	H24～H25	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。	市内の各スポットで「JAZZ Night in 那覇」と銘打ったJAZZイベントを実施	JAZZイベント来場者数:10,000人 (平成24年 2,985人)		
1	37	歴史博物館企画展事業	H24～H33	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	・企画展開催(年間6回) ・企画展広報	歴史博物館来場者数:14,700人/年		
1	38	観光イベント安全確保事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAMARASON」における雑踏警備を専門会社に委託する。	那覇大綱挽まつり等における雑踏警備の強化	・那覇大綱挽まつり来場者数:400,000人 (平成23年 320,000人) ・琉球王朝祭り首里来場者数:60,000人 (平成23年 55,000人)	(今後の展開方針) H26～H33:各イベントにおける雑踏警備	
1	39	牧志駅前交通広場等にぎわい事業	H25	さいおんスクエア周辺及び国際通り商店街への集客を目的に、月に4日～8日程度、イベントを実施する。	にぎわいイベント実施日:34日	さいおんスクエア前広場イベントへの来場者数:延べ30,000人		
1	40	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「wifi化計画」	H24～H26	那覇市内を訪れる入域観光客の利便性の向上及び街の魅力の向上等を図るため、国際通り及び市内の主要な観光スポットに、公衆無線LAN環境を整備し、情報発信の強化と中心市街地への滞留時間や回遊性の向上へ向けた取り組みをモデル的に実施する。	公共無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証	公共無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証	(今後の展開方針) H26:実証実験結果検証、事業継続性の分析	
1	41	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24～H33	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りの中心に位置するてんぶす那覇に大型ビジョンを設置し、様々な観光PR映像等を放映する。	観光PR映像の放映:6時間/日	観光PR映像の放映:6時間/日	(今後の展開方針) H26～H33:大型ビジョンによる観光PR映像の放映、数万人規模のイベント中継、パブリックビューイングの実施(予定)	
1	42	県外メディア誘致観光プロモーション事業	H24～H33	観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。	県外テレビ番組を活用した観光都市NAHA(観光地、イベント、物産等)のPRを実施	県外テレビ番組の放映回数:2回	(今後の展開方針) 高視聴率の全国放送テレビ番組で那覇観光をPRする 目標値(指標):視聴率10%以上(H33)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	43	観光宣伝誘致強化事業	H24～H33	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。また、市長を筆頭に県外への観光PR活動を実施する他、沖縄国際映画祭関連イベントを本市で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ国語ガイドマップの作成 ・県外PR業務 ・観光宣伝誘客委託 ・宿泊客アンケートの実施 ・観光統計作成 ・観光ロゴ制作 ・沖縄国際映画祭関連イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外PR業務開催 2都市 ・観光宣伝誘客委託 10団体 ・宿泊客アンケートの実施 250件 ・沖縄国際映画祭関連イベント観客数 10,000人 	(今後の展開方針) 事業を継続し、観光情報の発信・PRを強化する。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	44	那覇市内観光周遊バス実証実験事業	H24～H26	市内観光地やホテル等を回るオリジナルデザインのラッピングを施した観光周遊バスの運行により、市内滞在型観光モデルとして定着させる。	観光周遊バスを1日25便運行	観光周遊バス一日乗車数:300人	(今後の展開方針) H26:実証実験 H27以降のバス事業者自主運行を目指す	
1	45	景観まちづくり推進事業	H24～H26	地域(観光)資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出のため、景観形成地域指定に向けた景観形成(案)の作成、屋外広告物の適正化に向けた推進計画(案)及び公共サインのあり方・基本方針(案)の作成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とのワークショップ等の開催 ・屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ・都市景観資源説明板の設計及び設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・首里ニシカタ地区(首里当蔵、首里桃原、首里山川、首里池端の一部)、首里三箇(首里鳥堀、首里崎山、首里赤田)の景観形成(案)作成 ・屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ・観光客に配慮された都市景観資源説明板の設置10箇所 	(今後の展開方針) H27年度:都市景観形成地域指定(予定)	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	48	那覇西地域まちづくり総合実施計画策定事業	H25～H26	那覇西地域の現況変化の把握をし、目標とする地域のまちづくり構想を総合的に示した「地域整備基本計画」を策定するための基礎調査を行う。	基礎調査の実施	基礎調査の実施	(今後の展開方針) H26年度:基本計画(案)の策定	
1	49	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24～H25	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう空調機設置及び音響設備等の整備を行う。	サブアリーナの空調機設置及び音響設備工事	サブアリーナの空調機設置及び音響設備工事		
1	50	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業	H24～H26	国際通りのトランジットモールでの定期的なダンスイベントを実施・定着させることで観光振興・観光誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・国際通りを会場とした定期的なダンスイベントの実施 ・ダンスを観光資源とした観光都市PR 	ストリートダンスバトル来場者数:18,000人 (開催期間:平成25年8月～平成26年3月)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				1	51	ぶんかテンプス館文化発信機能強化事業	H25	那覇市ぶんかテンプス館において、音響や照明等の基幹設備の機能強化、外国語にも対応できるイヤホンガイドシステムの導入等を実施し、文化発信機能を強化することで、観光振興を図る。
1	52	観光資源データベース登録事業	H24～H25	観光情報の発信力強化のため、文化財等の観光情報を多言語化し、観光情報サイト上で公開する。	・観光資源データベースの多言語化:韓国語・中国語(簡体字・繁体字)	観光資源データベースの多言語化:韓国語・中国語(簡体字・繁体字)		
1	53	首里金城町無電柱化推進事業	H25～H31	首里金城町は、琉球王朝以来のまちなみや多くの文化財をよく残している地区で、昔ながらの風景を保全及び創出する必要がある。本事業は、電線類を地中化し、観光地の景観の向上を図り快適な歩行空間を確保する「景観強化事業」として取り組んでいくものである。	・実施設計 1工区:金城東西線 外4路線 (延長478m)	・実施設計 1工区:金城東西線 外4路線 (延長478m)	(今後の展開方針) 実施設計(予定) H26 チニンビラ線 外3路線	
1	54	那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業	H25	観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好都市交流のシンボルとなるよう、巨大龍像を製作し、那覇ふ頭旅客船バースやうみそらトンネルからの観光客を迎え入れる那覇市の新たな玄関口となる若狭緑地へ設置する。	シンボル施設の製作・設置	シンボル施設の製作・設置		
1	55	那覇市シティプロモーション映像制作事業	H25	観光誘客・企業誘致・物産展等における発信力等の強化に資するイメージ戦略ツールとして、本市の魅力が収録された「那覇市シティプロモーション映像」を制作する。	・「那覇市シティプロモーション映像」の制作 ・シティプロモーション映像放映機器類の調達	・那覇市の幅広い魅力を収めた「那覇市シティプロモーション映像」の制作	(今後の展開方針) ・物産展や企業誘致説明会の会場、外国クルーズ船による外国人観光客レセプション等での放映 ・外部からの来客対応時における庁舎内待合室での放映	10月変更(事業追加)
1	56	歴史散歩道関連整備事業(下水道マンホール等設置)	H25～H27	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、快適に観光散策等ができるよう景観等に配慮した下水道マンホール蓋等を設置する。	下水道マンホール蓋等の設置:165箇所	下水道マンホール蓋等の設置:165箇所 (全体整備計画のうち35%の整備が完了)	(今後の展開方針) H26・27年度 整備工事	10月変更(事業追加)
1	57	移動式車載大型ビジョン活用事業	H25～H33	巨人軍春季キャンプや、クルーズ船で訪れる観光客向けに、移動式車載大型ビジョンで放映するための那覇観光PR映像の作成、生映像等を配信するための映像伝送装置等を購入する。また、それらを活用し、イベントでの観光PR事業を展開する。	・観光PR映像作成 1種類(多言語) ・映像伝送装置等一式購入	移動式車載大型ビジョン活用(県外・国外観光客への観光案内・PR等):6回/月	(今後の展開方針) クルーズ客船歓迎イベント時や各種イベント会場等観光客の集まる場所において観光情報を発信する。	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	58	市民演芸・民俗伝統芸能パレード支援事業	H25	観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を実施している那覇市観光協会に対して事業支援を行う。	「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を実施している那覇市観光協会に対して事業支援を実施	市民演芸・民俗伝統芸能パレード観客数: 125,000人 (平成24年度 125,000人)		10月変更 (事業追加)
1	59	那覇市観光基本計画策定事業	H25～H26	次年度に沖縄の玄関口である那覇市の観光のさらなる振興を図ることを目的とする観光基本計画を策定するための事前調査を行う。	観光基礎調査(現状分析・課題把握等)の実施	観光基礎調査(現状分析・課題把握等)を実施し、那覇市の強み・課題等を検証	(今後の展開方針) 平成26年度:那覇市観光基本計画策定	10月変更 (事業追加)
1	60	亜熱帯庭園都市の公園魅力向上・活性化事業	H25	観光地としての沖縄・那覇の地域素材を活かした魅力ある公園とするため、民間の専門的な知識を活かした調査書(企画提案書)を作成する。観光施設である福州園の多言語化された案内パンフレット作成し、外国人観光客に対するサービス向上を図る。	・民間の専門的な知識と幅広いアイデアを活かした企画提案書の作成 ・福州園の案内パンフレット作成(多言語):20,000部	・地域素材を活かした魅力ある公園として有効活用するための企画提案書の作成 ・福州園の案内パンフレット作成(多言語):20,000部	(今後の展開方針等) H26年度:実施計画 H27年度以降:事業展開	10月変更 (事業追加)
1	61	亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業	H24～H25	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上宮やビーチがある旭ヶ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊園路を継続して整備する。	・旭ヶ丘公園のり面保護:250㎡ ・旭ヶ丘回遊園路整備:22m	・「落石危険箇所の解消」(観光地周辺の公園である旭ヶ丘公園のため擁壁・園路工事の実施)		10月変更 (事業追加)
1	62	大気汚染情報発信事業 (PM2.5測定装置設置)	H25	大気汚染防止法に基づき、微小粒子状物質測定装置を設置し、大気汚染状況を常時監視する。測定結果を観光客の往来する国際通りに設置された大型ビジョン等で情報発信し、観光客や市民に広く情報提供する。	・微小粒子状物質測定装置の設置 ・測定データの情報発信装置整備 ・測定開始	・測定データの公表、情報発信		10月変更 (事業追加)
2		那覇市の水産・農業振興活性化推進事業						
2	1	市魚マグロ等水産物物流通支援事業	H24～H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。	・マグロ祭り等イベント開催 ・高校でのマグロを使用した料理教室の開催 ・マグロ解体ショーの開催	・市魚マグロ等イベント開催:5回 ・市魚マグロイベント来場者数:40,000人 (平成24年 20,000人)		
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。	漁船近代化機器等の設置経費への支援	漁船近代化機器等設置申請者数:10件		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	3	那覇市農業振興事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、農機具及びビニールハウス、簡易井戸の設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。	農機具、ビニールハウス、簡易井戸等の設置に係る経費への支援	農機具、ビニールハウス、簡易井戸等の設置の補助申請者数：50件		
2	4	地産地消推進事業	H24～H26	地産地消コーディネーターを配置し学校給食における給食の教育的意義を十分に認識し、生鮮野菜類の生産及び出荷の状況を把握し、学校給食が必要とする食材の情報及び食材の斡旋など生産者と学校給食のコーディネート業務を行う。	・食材提案会 ・産地研修 ・生産者との交流(勉強会) ・パンフレット作成 ・栄養士・調理員向け勉強会	学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類)：30%	(今後の展開方針) 【H26年度】・食材提案、産地研修や生産者との交流会、パンフレット作成等を行う。 ・学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類)：35%	
2	5	ワッター野菜がジョートーサー事業	H24～H26	本市産業の振興発展を図るため、那覇の伝統野菜の保存・普及および地元の農家がつくった沖縄の伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動や亜熱帯農作物の加工品販売を促進する事業である。	・鏡水大根の生産支援 ・地元野菜の料理講習会等、PR活動支援	地元野菜を活用した料理講習会参加者数：60人		
2	6	第3次那覇市水産業振興基本計画基礎調査	H25	本市の水産業振興を図るため、社会状況や水産関係をとり巻く環境に応じた振興計画の策定が必要のため、水産業振興基本計画基礎調査を実施する。	水産業基礎調査(現状分析・課題把握等)実施	「第3次那覇市水産業振興基本計画」策定に向けた那覇市水産業の現況及び課題の把握、基礎資料の整理	(今後の展開方針) 平成26年度：第3次那覇市水産業振興基本計画策定	10月変更(事業追加)
3		沖縄の伝統工芸、地元産業の振興推進事業						
3	1	小禄クンジー復元支援事業	H25	伝統産業の振興のため、戦災で途絶えた「小禄クンジー」を復元し、市内の観光施設等に展示することにより、本市の魅力ある観光資源の一つとなるよう支援する。	・小禄クンジーの復元 ・着物製作：2着	・小禄クンジーの復元 ・着物製作：2着		
3	2	農連市場相対売り継承調査事業	H24～H25	本市産業の振興発展を図るため、マチグワの象徴である「相対売り」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態を継承するための調査事業へ補助を行う。(配置計画作成・ルール検討調査、店舗運営方針検討等)	相対売り等継承調査への支援：1件	相対売り等継承調査への支援：1件		
3	3	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外への販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。	・販路拡大支援補助金 県外／10社 海外／6社 ・販路拡大イベントの実施 県外1カ所、海外1カ所	助成対象期間内における補助金採択事業者の商談件数及び成約件数：商談件数150件、成約件数20件		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	4	市内企業活性化推進育成事業	H25	市内中小企業の経営者層を対象に、専門家による経営ノウハウの再構築を内容とした経営者育成事業を実施、経営力の向上を図る。	市内中小企業経営者層に対し、週一回合計3カ月間の育成事業を実施	経営者育成事業受講者数:30名		
3	5	頑張るマチグラー支援助事業	H25～H33	中心商店街の自主的な誘客活動等を支援し、中心商店街の活性化を図る。	通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援	(今後の展開方針) H26～H33:商店街が実施するハード整備、誘客活動等の事業支援	
3	6	那覇の物産展事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。	出展業者数:34店舗以上	出展業者数:34店舗以上		
3	7	沖縄の産業まつり事業	H25～H33	沖縄の産業まつりで本市の特産品コーナーを確保し、本市の地場産業の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)の受賞企業に対し、その商品のPR活動を支援する。	本市特産品のPR活動等支援	市の特産品コーナー出展店舗数:10件		
3	8	企業誘致活動サポート事業	H24～H26	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	・県外企業等の意向調査 ・企業訪問 ・フォローアップ活動	県外企業の意向調査件数:3,000件 企業訪問件数:50件 フォローアップ活動件数:100件		
3	9	銘苅庁舎インキュベート施設整備事業	H25	情報通信産業の振興を図るため、銘苅庁舎内にITインキュベート施設を整備し、インキュベート室の供給不足解消や卒業企業の市内立地を促進する。	・施設内の環境整備(音響機器・テーブル・プロジェクト購入等)	・施設内の環境整備(音響機器・テーブル・プロジェクト購入等)		
3	10	「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」策定基礎調査事業	H25	市民参画による中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、これからの未来像・計画をまとめた「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」(仮称)を策定するための基礎調査を実施する。	・中心市街地状況等調査の実施 ・調査結果報告書の作成	・中心市街地状況等調査の実施 ・調査結果報告書の作成		
3	12	琉球王府首里織再現支援事業	H25～H33	本市産業の振興発展を図るため、琉球王府時代の首里織(古典柄)の着物を再現・展示公開し、伝統的工芸品「首里織」を県内外に広く浸透させる。再現した首里織の技法を文書化し、技術の継承を図る。	・琉球王府首里織再現:3着 ・首里織の手法文書化	琉球王府首里織再現:3着	(今後の展開方針) ・平成26年度:展示・公開 ・那覇市伝統工芸館特別展示室入館者数 H26年度:2,650人(基準値 H24年度:2,407人)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	13	琉球漆器普及推進事業	H25～H33	本市産業の振興発展を図るため、琉球漆器を小学校及び市内宿泊施設で導入・使用することにより、父兄・児童・学校関係者及び宿泊客等にPRし、新たな需要の掘り起こしに努め県内外に普及を図る。	・宿泊施設への琉球漆器導入：175個(5種類×35個) ・導入後の使用結果調査実施	宿泊施設への琉球漆器導入：175個(5種類×35個)		
4		海外と日本各地を結ぶアジアの国際物流拠点、港湾施設整備事業						
4	1	ガントリークレーン整備事業	H24～H26	産業振興の基盤である那覇港の機能強化と臨港型産業の育成に繋げるため、コンテナの取扱能力を増大し、サービス水準の大幅な向上となるガントリークレーンの増設を実施する。また、クレーンの構造強化等を行う。	那覇港のガントリークレーン ・3号機製作 1基 ・4号機製作工事	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化ガントリークレーン ・3号機製作完了 ・4号機製作工事着手(H26年度完了)	(今後の展開方針等) H26年度：3号機設置、供用開始 ：4号機製作、設置 H27年度：4号機供用開始	10月変更(計画変更に伴う事業名変更)
4	2	那覇港総合物流センター整備事業	H25～H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センターの基本設計の実施	総合物流センターの基本設計の完了	(今後の展開方針等) H26年度：実施設計 H27年度：液状化対策工事、基礎工事 H28～29年度：建築工事 H30年度：供用開始	10月変更(事業追加)
5		生き生き人材育成・雇用促進事業						
5	1	なはし就職なんでも相談センター運営事業	H24～H33	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	・就職相談 ・就職活動支援セミナーの開催：60回	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数：200人		
5	2	訪問介護員(ホームヘルパー)養成事業	H24～H25	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、介護職員初任者研修(旧：訪問介護員2級)資格を取得するための講座を実施する。	・訪問介護員養成人数：200人	訪問介護員養成人数：200人	(今後の展開方針) 年間200人を養成する	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	3	マチグーいなく起業塾事業	H25	ひとり親世帯や子育て中の女性、起業を考えている女性を対象に就業意欲を高め、女性の就労支援、女性起業家の育成を目標とした講座を実施する。	講座の開催:全11回	講座受講者数 20人		10月変更(事業追加)
6		なはが好き!子どもの笑顔が輝く教育のまち推進事業						
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24~H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したチーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	・学習支援員配置学校数:小学校37校	学習支援員配置学校数:小学校37校 支援児童数:3,300人	(今後の展開方針) 支援児童数(累計) H33年度:33,000人	
6	2	小学校英語指導員配置事業	H24~H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を各校に配置し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	・英語指導員配置数 外国人:18人、日本人:20人	市内小学校への英語指導員派遣率:100%	(今後の展開方針) 市内中学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	
6	3	中学校英語指導員配置事業	H24~H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	・英語指導員配置数 外国人:10人	市内中学校への英語指導員派遣率:100%	(今後の展開方針) 市内中学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上	
6	4	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24~H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	・特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校:80人	支援児童生徒数:300人	(今後の展開方針) 支援児童生徒数(累計) H33年度:3,000人	
6	5	特別支援教育充実事業(幼稚園)	H24~H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数 幼稚園:48人	・特別支援教育ヘルパー配置数(幼稚園:48人) ・支援園児数:164人	(今後の展開方針等) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置を実施し、園児の安全性の確保、活動の幅を広げ、教育の公平性を確保する。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
6	6	特別支援教育充実事業(幼稚園預かり保育)	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	特別支援教育ヘルパー配置数 預かり保育実施幼稚園:22人	・特別支援教育ヘルパー配置数(預かり保育実施幼稚園:22人) ・支援園児数:74人	(今後の展開方針等) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置を実施し、園児の安全性の確保、活動の幅を広げ、教育の公平性を確保する。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
6	7	預かり保育推進事業(ソフト交付金)	H25～H33	教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へとつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。	預かり保育担当臨時職員配置数 預かり保育実施幼稚園:35人	・預かり保育担当臨時職員配置数(預かり保育実施幼稚園:35人) ・預かり保育利用園児数:1441人	(今後の展開方針) H26年度 預かり保育実施見込: 全市立幼稚園	
6	8	学習支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	・学習支援員配置数:4人	・学習支援生徒数:50人 ・高校入試合格率:92%(那覇市が実施する学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合)	(今後の展開方針) 沖縄県の高校進学率は全国最下位のため、その向上に努める。	10月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
6	9	学習ボランティア支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	・学習ボランティア実施校数 小中学校:計20校	学習ボランティア派遣人数:50人	(今後の展開方針) 学習ボランティア派遣人数(累計) H33年度:500人	
6	10	学校サポートチーム支援員活用事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通じた登校復帰を促す取り組みを行う。	・学校サポートチーム支援員配置数:5人	・支援児童生徒数:30人	(今後の展開方針) 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合は那覇市で34%であり、全国平均の11%とすることを平成33年度の目標とする。	
6	11	教育相談支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。	・教育相談支援員配置数(率) 小学校:37人(100%) 中学校:17人(100%)	・相談支援件数:1,000件 ・相談支援回数:20,000回	(今後の展開方針) 那覇市小学生の不登校率0.46%を全国平均の0.33%とし、那覇市中学生の不登校率3.16%を全国平均の2.64%とすることを平成33年度の目標とする。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	12	メンタルヘルスカウンセリング事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。	・相談員配置数：9人	・教育相談(延)件数：5,800件	(今後の展開方針) 那覇市小学生の不登校率0.46%を全国平均の0.33%とし、那覇市中学生の不登校率3.16%を全国平均の2.64%とすることを平成33年度の目標とする。	
6	13	青少年旗頭事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	・全小中学校を対象に、旗頭修繕、制作及び演技指導等を実施 ・旗頭フェスタの開催	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:1,210人		
6	14	那覇市児童生徒県外交流事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。	・交流事業で県外に派遣した児童生徒数:38人	交流事業で県外に派遣した児童生徒数:38人		
6	15	街頭指導事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。	・専任指導員配置数：6人 ・青少年指導員配置数：80人	・街頭指導実施回数：1,050回 ・青少年の指導人数：2,400人	(今後の展開方針) 沖縄県警察による青少年補導率が全国最下位であり、沖縄県は全国平均の約3倍あるので、その減少に努める。	
6	16	生徒サポーター派遣事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室を設置して、非行傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	・生徒サポーター配置学校数 中学校:17校	市内中学校への生徒サポーター派遣率:100%	(今後の展開方針) 小中学校不登校率の逡減	
6	17	スポーツ広場整備事業	H24～H25	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、今後のスポーツツーリズムの振興を支え沖縄振興に資する人材育成に有益な施設として、スポーツ広場を整備する。	スポーツ広場の施設整備 (整備用具購入、整備拡張)	広場利用の活性化を図るため、施設を整備する。 ・機具格納庫設置:1棟 ・バーゴラ設置:6基 ・草刈機購入:1台		
6	18	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	・大会等派遣児童生徒数(累計): 290人	大会等派遣児童生徒数(累計):290人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:2,900人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	19	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	・大会等派遣児童生徒数(累計): 400人	大会等派遣児童生徒数(累計): 400人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度: 4,000人	
6	20	離島等自然体験学習事業 自然教室	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	・実施学校数: 小学校33校	自然体験活動を実施した児童数: 3,000人	(今後の展開方針) 自然体験活動実施児童数(累計) H33年度: 30,000人	
6	21	幼稚園冷房機設置事業	H24～H26	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。	冷房機設置園数: 4園	冷房機設置園数: 4園	(今後の展開方針) H26年度: 3園実施予定 H24～H26年度累計14園	
6	22	小学校施設環境整備事業 (冷房設置)	H24～H28	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	・小学校冷房施設整備: 21校	・小学校冷房施設整備: 21校	(今後の展開方針) H26年度: 小学校19校冷房施設整備 H27年度: 小学校15校冷房施設整備 H28年度: 小学校5校冷房施設整備 H29年度: 小学校3校冷房施設整備	
6	23	中学校施設環境整備事業 (冷房設置)	H24～H28	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	・中学校冷房施設整備: 6校	・中学校冷房施設整備: 6校	(今後の展開方針) H26年度: 中学校4校冷房施設整備 H27年度: 中学校1校冷房施設整備 H28年度: 中学校1校冷房施設整備	
6	24	幼稚園施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化)	H24～H26	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。	外壁塗装実施園数: 4園	外壁塗装実施園数: 4園	(今後の展開方針) H26年度: 3園実施予定 H24～H26年度累計10園	
6	25	小学校施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化)	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。	・小学校校舎等外壁整備: 3校 (垣花小学校、大道小学校、金城小学校)	小学校校舎等外壁整備: 3校 (垣花小学校、大道小学校、金城小学校)	(今後の展開方針) H26年度以降: 各年度2～3校整備	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	26	中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。	・中学校校舎等外壁整備:1校(金城中学校)	中学校校舎等外壁整備:1校(金城中学校)	(今後の展開方針) H26年度以降:各年度1校整備	
6	27	校舎等剥離補修業務事業(小学校)	H24～H25	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化小学校校舎の剥離防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	・小学校剥離補修施設整備:13校	小学校剥離補修施設整備:13校		
6	28	校舎等剥離補修業務事業(中学校)	H24～H25	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化中学校校舎の剥離防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	・中学校剥離補修施設整備:3校	中学校剥離補修施設整備:3校		
6	29	老朽化校舎解体工事業(神原小学校)	H25～H26	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、神原小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。	・神原小学校老朽化校舎解体	神原小学校老朽化校舎解体		
6	30	老朽化校舎解体工事業(高良小学校)	H25～H26	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、高良小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。	・高良小学校老朽化校舎解体	高良小学校老朽化校舎解体		
6	31	幼稚園熱中症対策事業(ミスト発生機設置)	H25	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策としてミスト発生機を設置し、より良い教育環境を確保する。	ミスト発生機購入設置:公立幼稚園36園	全幼稚園へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:公立幼稚園36園)	(今後の展開方針) H26年度以降において屋外活動の際に各幼稚園で使用	10月変更(事業追加)
6	32	教育の情報化推進タブレット端末導入事業	H25	電子黒板配置に合わせて、小学校及び中学校にタブレット端末を導入し、児童生徒の学習意欲、コミュニケーション能力の向上と協働学習による学力向上を図る。	・小学校3校(2校は各45台、1校は25台導入・計115台) ・中学校3校(各25台導入・計75台) ・導入校へのタブレットサポート支援員の配置6名(H25年度のみ)	・小学校、中学校とも半数以上の教室でタブレット端末を使った学習ができるよう指導する。	(今後の展開方針等) H26年度以降:活用・効果検証	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	33	学力向上に向けた調査研究事業	H25～H33	学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	・那覇市内37全小学校の2年生への学力調査実施 ・那覇市内37全小学校の4年生への学力調査実施	・那覇市内37全小学校の2年生・4年生を対象とした調査を実施し、全国学力学習状況調査において市平均正答率と全国との差を縮めることを目標とする。	(今後の展開方針) H33年度まで毎年実施予定	10月変更 (事業追加)
7		伝統文化と新たな文化創造の発信都市へ！文化のまち推進事業						
7	1	伝統芸能公演事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊、沖縄芝居等の本県伝統芸能の公演会を行う。	伝統芸能公演実施：2回	・伝統芸能公演実施回数：2回 ・来場者数：1,800名(2回合計)		
7	2	市民文化発信事業	H24～H33	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇等を通じた市民文化活動の発表と発信に取り組む。	平和劇、ジャズ音楽公演実施：各1回	平和劇、ジャズ音楽公演実施：各1回		
7	3	なは市民芸術展	H25～H33	沖縄振興に資する市民文化の発展のため、市民から文化芸術作品の公募をして作品展を開催し、本市文化の振興発展と県内外からの観光誘客に繋げる。	なは市民芸術展の開催	・応募作品：100点以上 ・芸術展開催期間の来場者数：1,200名		
7	4	文化芸術発信事業(パレット)	H25～H33	著名な舞台芸能、音楽家等を招いて演劇、演奏会等を開催し、県内外から誘客促進に繋げるとともに、市民文化の発展を促進する。	著名な舞台芸能、音楽家等を招いての演奏会の開催	・舞台演劇、演奏会等の公演実施回数：3回 ・来場者数：900名(3公演合計)		
7	5	創作エイサー発信事業	H25	沖縄の伝統文化であるエイサーの創造発展を推進することにより、文化の振興発展とコンテスト開催による本市への誘客推進を図る。	創作エイサーコンテストの開催	・創作エイサーコンテスト参加団体：10団体 ・創作エイサーコンテスト来場者数：1,300名		
7	6	うちなーぐち発信事業	H25	市内の小中学校と一般市民を対象にウチナーグチを用いた舞台公演を行うことで、伝統文化の基本となる言語文化の継承を推進するとともに、公演会を通じた誘客促進を図る。	・ウチナーグチ講座の開催 ・成果発表会の開催	・ウチナーグチ講座参加者数：100名 (一般、小学生、中学生合計)		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	7	壺屋焼物博物館企画展事業	H25	沖縄振興に資する伝統産業の振興発展のため、本市の観光施設である壺屋焼物博物館で、企画展を開催し、市内外からの誘客促進と壺屋焼の継承発展に取り組む。	企画展の開催:1回	企画展観覧者数:2,000人		
7	8	伝統芸能・文化の継承発展補助事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存・継承に関わる活動に対して補助を行う。	・市内各地の伝統芸能文化の掘り起こし ・保存継承活動に対する補助	伝統芸能文化の保存継承活動団体支援数:10団体		
7	9	那覇市舞台芸術体験事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。	・ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させる ・成果発表会の開催	舞台芸術体験参加児童生徒数:50名		
7	10	伝統文化継承種まき事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣し、継承に取り組む。	・9ヶ所の公立保育所に講師派遣	専門講師派遣回数:108回	(今後の展開方針) H26年度:専門講師派遣回数144回 (1保育所あたり月2回、8ヶ月連続)	
7	11	子どもが輝くまちづくり事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	・「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	子どもフェスタ参加児童生徒数:650人		
7	12	郷土資料整備事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客等を含めた利用者へ提供し活用を図る。	郷土関係資料の購入及び貸出	郷土関係資料の購入及び貸出:約900点	(今後の展開方針) 郷土関係資料の購入及び貸出し(累計) H33年度:9,000点	
7	13	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24～H25	沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。	パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事	パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事		
7	14	文化芸術発信事業(市民会館)	H24～H25	沖縄振興に資する文化発信拠点施設として、ピアノを愛好する市民に演奏体験の機会を提供し、本市の文化芸術の振興を図る。	グランドピアノ演奏体験実施	演奏体験参加者:30組(2日間)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	15	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～H30	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい新文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定を行う。	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定		
7	16	崎山樋川修復工事	H25	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山樋川」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。	修復工事の実施	修復工事の実施		
7	17	観光資源文化財整備事業	H25	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(民俗文化財)「内金城嶽」の石畳道の整備、県指定文化財(史跡)「弁ヶ嶽(小嶽)」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。	修復工事の実施	修復工事の実施		
7	18	歴史博物館デジタルミュージアム構築事業	H25～H27	那覇市歴史博物館が所蔵する県内唯一の国宝「琉球国王関係資料」等をインターネット上で公開するデジタルミュージアムを構築し広く発信する。また資料解説を多言語化し観光の国際化や多様なニーズに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ構築(リニューアル) ・美術工芸品の修理及びデジタル化 ・文書資料の修理 ・インターネット上の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ構築(リニューアル) ・美術工芸品の修理及びデジタル化 ・文書資料の修理 ・インターネット上の公開 	<今後の展開> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市史33巻デジタル化 ・尚家文書等整備デジタル化 ・美術工芸品の整備デジタル化 ・インターネット上の公開 	
7	19	壺屋の歴史・文化発信事業(特別展事業)	H25～H26	沖縄振興に資する伝統文化の振興発展及び市内外からの誘客促進のため、昨年度購入した厨子資料群の平成26年度特別展開催に向けた調査及び資料整理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・厨子資料個々の調査・撮影及び解説原稿作成 ・展示会開催に向けた、県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整 ・破損している石厨子2基の修復 	<ul style="list-style-type: none"> ・厨子資料個々の調査・撮影及び解説原稿作成 ・展示会開催に向けた、県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整 ・破損している石厨子2基の修復 	<今後の展開方針> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度特別展及び関連催事の開催 	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
7	20	文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館サイン及び監視機器)	H25	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼物博物館の正面及び側面の壁面等に施設サインを施すとともに、展示室内監視機器の整備を行い、施設のグレードアップ及び観光施設としての機能強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設正面、壁面への施設名称サイン及び駐車場案内板の設置 ・展示室監視カメラ8台設置及び監視モニターのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内サービス向上のための施設正面、壁面への施設名称サイン及び駐車場案内板の設置 ・文化財資料及び観覧者への安全対策強化のための展示室監視カメラ8台設置及び監視モニターのリニューアル 		10月変更(事業追加)
7	21	国宝尚家関係資料「金簪」複製品作製事業	H25	琉球国王の「王冠」の付属品である金簪の複製品を作製する事業。琉球王国時代を代表する金工品の一つであるため、複製品を作製し、展示公開に供し、文化資源を活用した観光資源を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「金簪」の複製品の作製 ・「金簪」の作製工程の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・「金簪」の複製品の作製の完了 ・「金簪」の作製工程の記録の完了 	<今後の展開方針> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展及び企画展の展示資料として活用する。 	12月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		ちゅい助き助き沖縄のチムグクル福祉のまちづくり事業						
8	1	認可外保育施設的环境整備事業	H24～H33	戦後、アメリカの統治下にあり保育環境の整備が遅れた。 その遅れに対応する子育て施設の拡充を図るため、指導監督基準を満たしている認可外保育施設の改修費に対して補助を行う。	・認可外保育施設改修:10園	・認可外保育施設改修:10園	(今後の展開方針) H26年度認可外保育施設改修:10園	
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24～H33	共働き世帯の多さに対応した子育て支援策の拡充を行うため、賃借料等を負担し民間施設等で活動している児童クラブへ、家賃等の補助を行う。	賃借料補助を行っている児童クラブ数:18ヶ所	賃借料補助を行っている児童クラブ数:18ヶ所	(今後の展開方針) H26年度:18児童クラブ	
8	3	ナノホイク・保育施設情報総合サイト設置運営事業	H25～H28	保育所の条件による絞り込み、所在地のマッピング、保育料金帯や保育の特徴など、認可外保育所の情報を中心とした保育所情報を積極的に発信し、保護者の保育所選びのための情報提供を図る。	サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度空け)	サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度空け)	平成26年度以降はサイトの運営を継続	
8	4	ナノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25～H28	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育相談をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させることにより、待機児童の解消を図る。	コンシェルジュの設置、研修、案内業務の開始(「ナノホイク」β版を活用した案内の試行)	案内件数 700件(7件/日)	平成26年度以降はコンシェルジュの設置を継続	
8	5	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25～H33	認可外保育施設において、保育従事者による『絵本の読み聞かせ』を位置づけるため、専門講師による「読み聞かせ」研修会を実施し、入所している児童に対し絵本等を配付する。	「読み聞かせ研修会」の開催及び各施設へ「絵本」の配付	知識の共有、モチベーションの向上を図る集合研修の開催(首里、小禄、本庁・真和志の3地区)	(今後の展開方針) 専門講師による絵本等の読み聞かせ、人形劇等の研修	10月変更(事業追加)
8	6	認可外保育施設熱中症対策支援事業	H25	認可外保育施設が行う熱中症予防対策に対して冷房機、扇風機、空気清浄機等の設置について支援(補助)を行う。	認可外保育施設:89施設	熱中症対策等保育環境の改善に取り組む認可外保育施設に冷房機、空気洗浄機等設置完了(市内全認可外保育施設:89施設)		10月変更(事業追加)
8	7	児童館熱中症対策事業(ミスト発生機設置)	H25	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外に体力増進指導のための広場を備える市立児童館にミスト発生機を設置する。	ミスト発生機購入設置:児童館4園	屋外に広場を備える児童館へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:児童館4園)	(今後の展開方針) H26年度以降において広場での屋外活動の際に児童館4館で使用	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8	8	保育所熱中症対策事業(ミスト発生機設置)	H25	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策として、公立保育所にミスト発生機を設置する。	公立保育所:9ヶ所	全公立保育所へミスト発生機購入、設置完了(公立保育所:9ヶ所)		10月変更(事業追加)
9		万国津梁、世界に広がるウチナーンチュネットワークの拡充事業						
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24~H33	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。	・研修生受入:年間2人	南米からの研修受入人数:2人	(今後の展開方針) 受入研修生累計 平成24~33年度:20名	
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25~H33	平和に対する意識を高め、今後の平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、7月には沖縄において長崎県の中学生と本市中学生が共に南部戦跡を巡る平和学習を行い、8月には長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣する。	沖縄での平和学習参加生徒:40人 長崎への平和学習派遣生徒:8人	沖縄での平和学習参加生徒:40人 長崎への平和学習派遣生徒:8人	(今後の展開方針) ・沖縄での平和学習参加生徒(累計) H25~33年度:360人 ・長崎への平和学習派遣生徒(累計) H25~33年度:72人	
10		未来にはばたく臨港型都市再開発事業	H24~H33	市内に残された米軍基地問題の解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取り組む。	(1)跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進 (2)那覇軍港への進出企業可能性調査	(1)跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進 (2)那覇軍港への進出企業可能性調査	(今後の展開方針) ・H25年度~H27年度(第2ステージへの移行期間) ①全体計画の更なる周知 ②跡地利用計画づくりに向けた意識醸成 ③若い世代の組織の設置 ④土地活用に関する知識の習得 ⑤国有地を道路や公園・緑地等の公共用地に充当することの検討 ・H28~H33年度(第2ステージ) ①跡地利用基本方針の策定 ②跡地利用計画の策定	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
11		離島があつて那覇がある、連携共存共栄事業						
11	1	離島連携事業	H24～H26	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島の5つの離島と連携事業を行い、4村1町との交流強化に取り組む。	・離島5町村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550名	・離島5町村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550名		
11	2	離島体験学習支援事業	H24～H33	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。	離島等派遣延べ人数:160人	離島等派遣延べ人数:160人	(今後の展開方針) 離島等派遣人数(累計) H33年度:1,600人	
12		環境共生都市の構築推進事業						
12	1	モノレール沿線ベランダ緑化支援事業	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全を目的として、H24年度に緑のカーテンや屋上緑化のためのプランター等をモノレール沿線地域に無料配布した。今年度は、配布したプランター植物の維持管理に必要なアドバイス等のアフターフォローを行い、亜熱帯をイメージさせる都市景観の形成に取り組む。	植栽プランター配付世帯への訪問指導実施	モノレール沿線の建築物緑化面積2415.6㎡の維持		
12	2	水資源有効利用推進事業	H24～H33	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。	雨水貯水・浸透施設の設置補助件数:30件	雨水貯水・浸透施設の設置補助件数:30件		
12	3	市内湧水水質調査業務	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全のため、市内の井泉・湧水・井戸の現況調査結果を基に水質調査を実施し、今後の水資源有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。	・生活環境項目についての湧水水質分析調査 対象:118地点	・生活環境項目についての湧水水質分析調査 対象:118地点		
12	4	観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全のため、亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境を活かした環境基本計画を策定する。	環境基本計画の策定	環境基本計画の策定		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		H25成果目標(指標)	備考	
								今後の展開方針等	
13		安心安全な防災都市の構築推進事業							
13	1	救命講座普及啓発推進事業	H24～H33	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・非常勤職員4人を採用し、定期救命講習、出前救命講習を実施 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動を実施	応急手当講習受講者数:6,000人	(今後の展開方針) ・定期講習会の実施(年27回) ・出前講座等の条件維持 ・小中学校への入門コースアプローチ ・応急手当普及員講習会強化 ・年間受講者(目標):6,000人		
13	2	津波避難ビル建設事業	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、海拔の低い若松市営住宅跡地(那覇市松山2丁目22-1)に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。	・津波避難ビル建設に係る実施設計実施	津波避難ビル建設に係る実施設計実施	(今後の展開方針) H26年度:工事着工、完成		
13	3	小学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。	・小学校校舎屋上手摺整備:2校(開南小学校、壺屋小学校)	小学校校舎屋上手摺整備:2校(開南小学校、壺屋小学校)	(今後の展開方針) H26年度:小学校2校整備		
13	4	中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。	・中学校校舎屋上手摺整備:1校(仲井真中学校)	中学校校舎屋上手摺整備:1校(仲井真中学校)	(今後の展開方針) H26年度:中学校1校整備		
13	5	リアルタイム水運用システム整備事業	H25	日常生活や社会活動に大きな影響を与える災害時等の断水被害を軽減するため、漏水等の被害箇所を迅速に把握する中ブロック通信装置を設置する。	・配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置:48箇所(那覇市内一円)	・配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置:48箇所(那覇市内一円)	H26年度から運用開始		
13	6	津波緊急一時避難施設誘導看板設置事業	H25	災害発生時に速やかな避難ができるよう、津波緊急一時避難施設への案内誘導表示を充実させ、防災体制を強化する。	・津波緊急一時避難施設の表示看板設置(55施設) ・一時避難施設への誘導看板の設置(200箇所)	・津波緊急一時避難施設の表示看板設置完了(55施設) ・一時避難施設への誘導看板の設置完了(200箇所)		10月変更(事業追加)	
13	7	地域(防災)案内付き掲示板設置改修補助事業	H25～H26	自治会所有の掲示板について、住民や観光客等の安全安心・景観に資する沖縄らしいデザインの制作と、次年度の設置等に向けた現況調査等の経費を補助する。	・地域(防災)案内付き掲示板のデザイン作成 ・掲示板設置に向けた現況調査	・地域(防災)案内付き掲示板のデザイン作成 ・掲示板設置に向けた現況把握	(今後の展開方針) 次年度から改修設置に向けた補助につなげていく。	10月変更(事業追加)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
13	8	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	H24～H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	・市内コンビニでAED未設置5店舗にAEDを設置(H25年度中に新規開店する店舗へ設置)	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数(設置率):100%	(今後の展開方針) 新規開店コンビニへの設置を継続実施する	10月変更 (事業追加)
13	9	防災や学力向上等に向けた情報共有支援事業	H25	地域防災計画に基づく市の各機関の役割周知及び防災訓練の実施前後における指導助言、小中学校における学力向上に資する教育指導法の研究や学校間及び教育委員会との情報交換等、情報共有化を推進支援するためのWeb会議システムを導入する。	・Web会議システムサーバーの整備 ・システム利用のためのパソコン、マイクスピーカー、Webカメラ等機器の整備 ・モニタ、書画カメラの整備	・Web会議システムサーバーの整備完了 ・パソコン、マイクスピーカー等機器(85台)の整備完了 ・モニタ(5台)、書画カメラ(4台)の整備完了		12月変更 (事業追加)
13	10	防災ボランティア中央センター等整備事業	H24～H25	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。	災害ボランティアセンター備品の整備(MCA無線機、トイレ Tent)	災害ボランティアセンター備品の整備(MCA無線機、トイレ Tent)	(今後の展開方針) ・災害ボランティアセンターマニュアルの職員への周知及び初動訓練 ・自治会単位の避難訓練と連動した災害ボランティアセンター設置訓練 ・災害ボランティアセンター設置訓練	12月変更 (事業追加)
14		いい暮らしより楽しい暮らし、更なる沖縄の飛躍促進事業						
14	1	地下壕対策事業	H24～H33	沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。	地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所	地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所	(今後の展開方針) 危険な地下壕について 順次、埋戻等を行っていく。	
14	2	戦略的交通まちづくり推進事業	H24～H33	公共交通機関利用についての意識啓発イベントである「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施及び自動二輪車駐車場実証実験を行う。 具体的には、自動二輪車駐車場の本格運営に向けて、自動車5台分のスペースを二輪車駐車場として転用、運用し、その設置効果を確認する実証実験である。	・なはモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 ・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施	・なはモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 ・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施	(今後の展開方針) 民間主導によるなはモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 自動二輪車駐車場の本格運用。自動二輪車違法駐車減少と利用環境改善による自動二輪車の利用促進を目標としている。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
14	3	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24～H33	戦後無秩序に居住化されてきた特殊な地域も含め、道路基盤等の整備の遅れている地域に、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進すべく基礎調査を行う。	まちづくり基礎調査実施	まちづくり基礎調査実施	(今後の展開方針) 本基礎調査結果をベースに地域住民のコンセンサスを得ながら、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進することにより、密集市街地の生活環境の改善を図る。	
14	4	亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生)	H25	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じたまちづくりの課題)のために都市機能の更新が進まない中心市街地の区域について、地域に即したまちづくりの方針を定めるための基礎調査を実施する。	まちづくり基本方針(案)の策定(環境改善方策)	まちづくり基本方針(案)の策定(環境改善方策)		
14	5	まちづくり拠点施設整備事業	H24～H25	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題)に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベーション施設を整備する。	建築工事、機械工事、電気工事等の実施	まちづくり拠点施設・ITインキュベーション施設の建設着手	(今後の展開方針) H26年度: 供用開始	
14	6	良好な市街地形成に向けた共同墓(納骨壇及び合葬室)整備事業	H24～H25	沖縄の抱える様々な特殊事情(墓地問題)に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内北納骨堂の整備及び拡充を実施する。	・施設の外構工事 ・霊園旧管理事務所の解体 ・施設運用に要する備品類購入	・施設の外構工事 ・霊園旧管理事務所の解体 ・施設運用に要する備品類購入	(今後の展開方針) H26年度: 供用開始	
14	7	亜熱帯庭園都市形成推進調査事業(密集住宅市街地再生方針)	H24～H26	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じたまちづくりの課題)に対応するため、平成24年度に実施した基礎調査の成果報告を踏まえ、平成25年度は、密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)を策定する。	密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)策定	密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)策定	(今後の展開方針) H26住民ワークショップ等による住民意見を踏まえ、密集市街地再生方針を策定	
14	8	アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25～H26	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録(1970年～1972年祖国復帰まで)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。	議事録電子化の実施 対象議事録: 約7,300ページ	電子化した議事録をホームページで公開する	(今後の展開方針) H26年度: 議事録電子化の実施(約18,000ページ)	10月変更(事業追加)
14	9	那覇市まちづくり基礎調査のための資料整備事業	H25	本市のまちづくりの推進、地域の活性化に寄与する事業や施設建設等を検討する際に利用するため、本市全域を撮影した航空写真資料を整備し、企画、都市計画、建設、教育部門等々、多岐にわたる行政分野で活用する。	・本市全域を撮影した航空写真資料の作製	・本市全域を撮影した航空写真資料の作製完了		10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
				15					戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業
16		元気いきいき「ちゃーがんじゅう」長寿沖縄の健康づくり事業							
16	1	歯科保健予防対策モデル事業	H25～H27	モデル地区を設定し、まちづくり協議会等の協力のもと、抗区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施し、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図る。また、妊婦に対し歯科健診を実施し、出産後の乳幼児期や妊産婦本人に対する口腔の健康管理の向上を図る。	・小学校区のモデル地区を2地区設定 ・歯科健診・歯みがき教室、フッ化物洗口の実施、妊婦歯科検診等の事業を実施する計画策定のために推進会議を設置	・モデル地区を2地区設定 ・推進会議を設置 ・歯科健診・歯みがき教室実施計画を策定 ・歯科健診・歯みがき教室の実施 ・フッ化物洗口実施計画を策定 ・妊婦歯科健診実施計画を策定	(今後の展開方針) モデル地区の2小学校全児童に対して歯科健診・歯みがき教室・フッ化物洗口を実施。当該地区の妊婦に対しても歯科健診を実施。健診結果の集計、事業の評価を行う。	10月変更(事業追加)	
16	2	職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業	H25～H27	職場での健康づくりの現状(実態やニーズ)を分析し、職場が主体的に取り組める環境(メニュー提供等)をつくる。	基礎調査の実施 健康づくりメニューブックの作成 公募事業の実施要領の検討・作成	職場の健康づくりの実態把握 健康づくりメニューブックの完成 モデル事業の実施要領の完成	(今後の展開方針) H25年度:事業企画、メニューブック作成 H26年度:モデル事業実施(各1団体) H27年度:モデル事業拡大(各3団体)	10月変更(事業追加)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		ねたての都市(まち)PR事業	H24~H33					
	②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24~H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	・はごろも祭りプログラム 各イベント数(20イベント) ・カチャーシー大会参加数 子供・団体の部 (22チーム×20名) 個人の部(100名)	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:14万人 基準値:(平成22年 13万人)	(今後の展開方針) はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 目標値(H30年):15万人	
	③	風景づくり推進事業	H24~H25	観光振興の観点から、自然景観や伝統的景観など様々な景観資源の保全・活用や新しい建物等と調和した仕組みの構築を図るため、平成24年度において景観計画(素案)を策定したが、平成25年度において景観計画(原案)景観条例(原案)を策定し、潤いと安らぎある景観づくりを推進する。	景観計画策定委員会の開催 景観計画(原案)の策定 景観条例(原案)の策定 景観ガイドラインの策定 市民、事業者への周知	景観計画(原案)の策定 景観条例(原案)の策定 景観ガイドラインの策定	(今後の展開方針) 平成25年5月15日付で宜野湾市は景観行政団体となり、今後は、計画・条例(原案)の策定を図り、平成26年度施行に向けて推進していく。	
	④	企画展開催事業	H24~H33	市民や観光客に宜野湾市の歴史・文化への理解を深めてもらうことを目的とした企画展を開催する。	宜野湾市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する(年間7本開催の内、交付金に係る企画展は3本)。	宜野湾市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する(年間7本開催の内、交付金に係る企画展は3本)。	(今後の展開方針) 企画展の継続実施(年間5本程度) H26年度:「石灰岩台地からす生き物と人びと」展(宜野湾市の自然環境を紹介し、その環境下で生活する生物や人びとの生活を紹介します)	
	⑤	宜野湾市産業まつり	H24~H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:1万人	宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:1万人 ⇒基準値:平成24年8千人	(今後の展開方針) H33年度目標値 動員者数:3万人	
	⑥	文化財説明板・標識設置事業	H24~H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置件数:5件 地域文化財案内板設置件数:1件	文化財標識・説明板設置件数:5件 地域文化財案内板設置件数:1件		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑦	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25～H33	本市西海岸に位置する海浜公園及びその周辺において、毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。	ぎのわん車いすマラソン大会に対して、補助を行う。	大会参加者目標数 全体220名(内県外参加者30名)	(今後の展開方針) 同大会に継続的に補助を行い、一層充実したものにしていくことにより、全国的な大会として、より一層認知されるように取り組み、障害者スポーツの振興及び本市及び沖縄県のPRにつなげる。 大会参加者目標数(H33) 全体250名(内県外参加者数50名)	
	⑧	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24～H25	観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場のスタンドベンチ・フェンス等の整備を行い、施設の機能向上を図る。	・宜野湾市立野球場のスタンドベンチ等の改修	・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H25年度):25,000人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針) H26年度:照明柱整備(1柱) H27年度:照明柱整備(2柱)	
	⑨	琉球海炎祭支援事業	H25～H33	日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	・琉球海炎祭 有料観覧エリア県外客数 観光客 3,400人	琉球海炎祭有料エリア来場者数 来場者数:1万人	(今後の展開方針) 琉球海炎祭有料エリア来場者数 目標値(H29年):1.5万人	
	⑩	観光振興情報発信事業	H25～H29	市内の魅力や多彩な観光資源を広く知ってもらうため、ぎのわんガイドマップを作成し県内外から訪れる方々に「ねたての都市(まち)」をアピールする。	宜野湾ガイドマップ作成 (5,000部)	宜野湾ガイドマップ作成部数 (5,000部)	(今後の展開方針等) 宜野湾ガイドマップ作成部数 累計値(H29年):25,000部	
	⑪	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25～H33	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好機会であり、キャンプ地である宜野湾海浜公園を南国に花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	植樹する花の苗数 (12,000鉢)	キャンプ期間中における来場者数 来場者数:2.5万人 ・プロ野球キャンプ見学者数 参考基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針) キャンプ期間中における来場者数 目標値(H29年):3万人	
	⑫	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	H25～H33	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等に向けて、西海岸地域のあり方について検討調査を行い、その調査等に基づき、施設整備を行う。	宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定	宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定	(今後の展開方針) 基本計画・実施計画を経て、観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等を目標とする。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑬	トロピカルビーチ防犯カメラ設置事業	H25	県内外から年間28万人が訪れるトロピカルビーチの周辺に防犯カメラを設置して、安心・安全な状況を確認し、観光資源の拡充を図る。	防犯カメラ10台設置	防犯カメラ10台設置		
2		地域社会とともに学ぶ・育む人材育成事業	H24～H33					
	①	スクールカウンセラー活用事業	H24～H33	不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名)	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照	(今後の展開方針) スクールカウンセラーとの情報交換(月1回) 学校への聞き取り調査	
	②	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室SSWコーディネーター(3名) 市内4中学校SSW(4名)	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(3名)SSWコーディネーター 市内4中学校SSW(4名)	(今後の展開方針) 教育相談・家庭訪問・登校支援などの支援活動を行い、不登校児童の学校復帰、学級復帰に努める。	
	③	適応指導教室事業	H24～H33	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。	適応指導教室在籍児童生徒数:4名	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照	(今後の展開方針) 宿泊学習で、他の適応指導教室との交流を行う。 講師を招いての体験交流会の実施	
	④	児童生徒相談事業	H24～H33	教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、青少年教育相談指導員、臨床心理士、教育相談指導員、自立支援指導員を配置する。	青少年教育相談指導員配置:4名(第二相談室) 臨床心理士配置:1名(第二相談室) 教育相談指導員配置:3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置:5名(市内4中学校)	青少年教育相談指導員配置:4名(第二相談室) 臨床心理士配置:1名(第二相談室) 教育相談指導員配置:3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置:5名(市内4中学校)	(今後の展開方針) 非行系怠学の不登校、心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑤	非行防止等巡回活動事業	H24～H33	児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な指導・助言を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員配置・活動人数 16人	夜間街頭指導員配置・活動人数 16人	(今後の展開方針) 夜間のはいかい箇所の把握に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。	
	⑥	学習支援員活用事業	H24～H33	学習の遅れがちな児童生徒に対して、学習支援をすることにより、基礎的・基本的知識技能の習得を図り、主体的に学習に取り組む態度を養うことを目的として学習支援員を配置する。	学習支援員の配置:12校 小学校8人・中学校4人	全国学力・学習状況調査を全国平均並みとする。	(今後の展開方針) H26以降の配置 学習支援委員の配置:13校 小学校9校、中学校4校 (平成26年度小学校1校が開校するため)	
	⑦	派遣費補助金交付事業	H24～H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	派遣補助団体数: 30団体	派遣補助団体数: 30団体 (文化活動団体数: 5団体 スポーツ活動団体数: 25団体)	(今後の展開方針) H26～H33の派遣補助団体見込数は、概ね240団体	
	⑧	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～H33	スポーツ活動による児童の健全育成を図るため、スポーツ少年団等に登録している市内在住の小中学生が一定の基準を満たして県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	大会等派遣生徒数:141人	大会等派遣生徒数:141人	(今後の展開方針) H26～H33の累計:720人	
3		文化財等保護・活用推進事業	H24～H33					
	①	文化財保存整備事業	H24～H33	宜野湾市では、市が指定する文化財保存及び活用が課題である。平成25年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事を実施する。また、琉球王族の墓である本部御殿墓の石積修復、整備に必要な実施設計を行う。	指定文化財の保存整備件数:1件	指定文化財の保存整備件数:1件		
	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、市民サービスに資するため検索システムの構築等を行う。	歴史的価値を有する公文書等の整理:150冊	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数:150冊		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		地域で安心子育て支援事業	H24～H33					
	①	預かり保育事業	H24～H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり保育実施幼稚園数:8園 預かり保育担当教諭:1園1名配置	預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人	(今後の展開方針) H33年度目標値: 預かり保育利用者数年間2,000人以上	
5		はごろも人材育成事業	H24～H33					
	①	中国廈門理工学院留学生派遣事業	H24～H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	派遣留学生数:1人	派遣留学生数:1人	(今後の展開方針) H24～H33年度 派遣留学生数:10人(累計)	
	②	平和市民啓発事業	H24～H33	(平和学習派遣事業) 全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和記念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。	平和学習派遣生徒数:8人	平和学習派遣生徒数:8人	(今後の展開方針) H24～H33年度 平和学習派遣生徒数:80人(累計)	
	③	小学校英語教育課程特例校事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(8校) ALT7名 JTE10名	小学校児童英語検定受験者数の増 H24年度は約2000名の受験者数	(今後の展開方針) H24～H33年度 児童英語検定受験者数:20,000名以上(累計)	
	④	外国人教師招致事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1名配置)	中学校英語検定受験者数の増 H24年度は約1200名の受験者数	(今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:13,000名以上(累計)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑤	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	・情報夏期講習会:計8回 ・情報教育研究会検証授業:計12回 ・ICT活用嘱託員・補助員の配置:計2名	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率:(H25年度より調査実施) 成果目標:小学校90%以上、中学校60%以上	(今後の展開方針) 教師の電子黒板などのICT機器類を活用した授業の提案を行い、児童に分かりやすく、教師の手作業による事務負担の軽減を図ることを目的とする。	
6		防災安全基盤強化事業	H24～H33					
	②	特殊災害対応資機材整備事業	H24～H25	コンベンションエリアや普天間米軍基地など当市に重要拠点があり、特殊災害等の発生が危ぶまれている。その特異性を含んだ災害に対し、特殊災害対応資機材を整備することにより消防力の強化が図られ、迅速な対応が可能となる。	特殊災害対応資機材の整備	特殊災害対応資機材の整備		
7		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33					
	①	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧は、民有地の占める割合が大きく返還後の跡地利用を行う際、公共施設用地がかなり不足することが予想されるため返還前の段階から計画的用地確保を目的に行う。	・普天間基地取得面積(253,000㎡)に対し、(16,229㎡)を取得する。 ・キャンプ瑞慶覧取得面積急傾斜地70,000㎡分の基金の積立を行う。(26年度に購入)	普天間基地の市の取得面積(253,000㎡)に対し、(16,229㎡)を取得する。(達成率23%を目標とする。) *キャンプ瑞慶覧は25年度は積立のみで26年度に購入予定。 ※達成率:市の取得目標面積(253,000㎡)に対する取得面積	(今後の展開方針) 市の取得目標面積は253,000㎡であるが、現在までのところ、目標値の10%程度の達成率である。今年度以降の当面の目標として、49%の達成率を目標としている。キャンプ瑞慶覧は26年度において急傾斜地必要面積70,000㎡を取得を目指す。	12月、3月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	H24～H33					
	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24～H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「N Bミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取り組み	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 合意形成に向け、市全体の将来像(市全体の土地利用、道路網や跡地利用方針等)検討のための「(仮称)普天間飛行場まちづくり協議会」の立ち上げに向けて取り組んでいく。	
	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(県市共同調査)	H24～H33	宜野湾市と沖縄県が平成24年3月に策定した「全体計画の中間取りまとめ」について、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させるための取り組みを行う。	全体計画の中間取りまとめについての意向把握を行う。	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画において、返還時期が示されたことを受け、具体的な跡地利用の取り組みについての行程計画を作成し、跡地利用計画の策定に向けて取り組んで行く。	
	③	普天間飛行場跡地利用計画策定調査(自然環境調査)	H24～H33	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)の跡地利用計画の見直しを踏まえ当該地区の特殊地形等踏査や植生調査、湧水調査・普天間基地周辺の湧水調査等を行い宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。	市域一体の自然環境に関する調査	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 基地内立入調査が行えるように、関係機関と連携を図り、自然環境調査の結果を反映した跡地利用計画に取り組んで行く。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	④	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24～H33	平成25年4月に発表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」によって速やかな返還が明記された西普天間住宅地区について、地権者等の意向を把握しながら、平成16年度に策定した基本計画の見直しを含め、まちづくりについての検討を行う。	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	(今後の展開方針) H26年:実施計画	
	⑤	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24～H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。合わせて、平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡(重要文化財)以外の文化財』と『基地外文化財』も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本方針」を作成する。	重要文化財保存整備基本方針の策定	重要文化財保存整備基本方針の策定	(今後の展開方針) 普天間飛行場内での文化財調査の結果等を地権者・地域等に周知し重要文化財の評価・選別にに向けて意見交換を行う。	
	⑥	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24～H33	返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の活用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「ズケランゆんたく会」を発足にて、運営主体づくりに向けて意見交換を行い、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査	(今後の展開方針) キャンプ瑞慶覧内での文化財調査の結果等を地権者・地域等に周知し重要文化財の評価・選別にに向けて意見交換を行う。	
9		市民会館施設整備事業	H24～H29					
	①	市民会館施設整備事業	H24～H29	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。 25年度は屋上防水及び外壁の改修を行い、台風、豪雨時の漏水を防ぎ、市民会館施設の安定的な運営と長期利用を図る。	屋上防水及び外壁改修工事 (雨漏り等漏水の改善)	屋上防水及び外壁改修工事 (漏水回数 H23:3回、H24:5回→H26:0回)	(今後の展開方針) H26年度:舞台機構改修工事等 H27年度:エレベーター掛替工事 H28～30年度:空調設備改修、ホール絨毯、客席取替工事等	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
11		市民図書館施設整備事業	H24～H28					
	①	市民図書館施設整備事業	H24～H28	宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。 25年度は空調設備改修工事、外壁補修設計及び工事を実施する。	施設の整備箇所 2か所 (空調設備、外壁)	施設の整備箇所 2か所 (空調設備、外壁)	(今後の展開方針) 平成26年度:外階段滑り止め修繕	
12		普天間飛行場周辺における航空機騒音測定事業	H25					
	①	普天間飛行場周辺における航空機騒音測定事業	H25	・普天間飛行場周辺において航空機の騒音測定機器を設置し、騒音データを測定する。測定したデータを基に騒音環境の適正化を求める。 ・新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	・騒音測定機器(真志喜局1機)を設置し、騒音測定を実施。 ・騒音の新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	・騒音測定機器(真志喜局1機)を設置し、騒音測定を実施。 ・騒音の新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	(今後の展開方針) 普天間飛行場が閉鎖されるまで毎年騒音測定を実施し、測定したデータを基に騒音環境の適正化を求める。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光振興「いしがき」プロジェクト	H24～H33					
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24～H33	県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。	①観光キャラバン、観光物産展実施 ②観光セミナーにおけるプレゼンテーション	①観光キャラバン、観光物産展実施:9都市 ②観光セミナーにおけるプレゼンテーション(3回)	(今後の展開方針) 沖縄観光コンベンションビューローや石垣市観光交流協会と一体となってプロモーション活動を継続していく。	
1	②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24～H33	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。また、プロモーションビデオやホームページ等を作成して誘致活動を展開していく。	・スポーツ情報サイトへ広告掲出 ・webページの充実 ・プロモーションビデオを活用した営業活動	・スポーツ情報サイトへ広告掲出(2週間×2枠) ・webページの充実 ・プロモーションビデオを活用した営業活動(関東地方2カ所、関西地方1カ所) ・誘致目標として、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等に2団体以上	(今後の展開方針) 体育施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供窓口としての役割を担うネットワークの構築	
1	③	石垣島観光物産PR事業	H24～H33	新石垣空港開港を中心とした大々的なPRを行い、観光誘客につなげる	・新空港を軸にしたPR ・物産PR(10アイテムのリデザイン) ・ターゲット毎のPR	・新空港を軸にしたPR ・物産PR(10アイテムのリデザイン) ・ターゲット毎のPR ・観光入客数 80万人	(今後の展開方針) 開港年を過ぎた後は、マスにむけたPRは縮小させ、ターゲット毎のPRをより強化していく。 台湾向けも強化の必要がある。	
1	④	美ら島情報発信事業	H24～H28	新空港国際線開港後によるインバウンド促進と来島後のきめ細やかなホスピタリティーを醸成するため、石垣市公式ウェブサイトの多言語化を図り、行政が発信する安心・信頼性のある観光情報や外国人観光客向けのコンテンツを充実させる。	・市公式ウェブサイトの多言語化 ・外国人観光客向けコンテンツの制作	国外利用者が市公式ウェブサイトを訪問する回数:月平均訪問数:800回	(今後の展開方針) 観光誘客ターゲットを明確にし、積極的な石垣島情報を発信していく。 H26年度:公式ウェブページの音声読み上げ機能の追加(盲目障がい者) H27年度以降:多言語による観光誘客イメージVTR制作(海外インバウンド)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	⑤	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24～H33	八重山博物館が所蔵する資料の内、劣化が進み修復を要する資料を年次的に修復する。修復後は、公開・活用を図る。また、狭隘な収蔵施設を有効に使用するため、収蔵棚を制作し、資料の管理を図る。	①文書等修復数 ②新聞資料修復数③収蔵棚製作数	①文書等修復数 148点 ②新聞資料修復数 1000枚 ③収蔵棚製作数 4点	(今後の展開方針) 次年度以降も博物館所蔵資料の中で、修復を要する資料を年次的に行う。修復後は、公開・活用を図る。また、収蔵棚の制作も併せて行い、資料の管理を図る。	
1	⑥	石垣島シネマフェスティバル事業	H24～H33	5.1chの立体音響、3Dの映像等最新上映システムを使用して上映会を開催し、劇場で鑑賞する醍醐味を味わってもらおう。八重山をロケ地として撮影された映画作品を上映することにより、島の魅力を広くPRする。	・単年度、総座席数8割の入場者の確保 ・情報発信源としての単年度マスコミ媒体30社 ・島の魅力の認知度を上げるため特産品飲食コーナーの設置	・石垣島シネマフェスティバルの入場者:8,000人(大ホール1,000席、中ホール200席、展示ホール50席 計1,250席×8回上映で8割の入場者)	(今後の展開方針) ・目標総入場者数8万人(累計) ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)	
1	⑦	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	H24～H30	観光客や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ期間中における見学者の誘導員及び飛球対策に係る警備員の配置を行うとともに、スムーズな誘導線確保のためにプラスチックフェンスを購入する。また、総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。また、離島初の試みであるオープン戦を開催することにより、さらなる地域の盛り上がりを目指す。	①プロ野球キャンプ警備員配置 ②総合案内所の設置 ③プラスチックフェンスの購入・設置 ④オープン戦の開催	プロ野球キャンプ見学者数:のべ1万7千人	(今後の展開方針) 今後も継続してプロ野球キャンプを受け入れられるよう安全、快適な会場整備、来場者へのホスピタリティの充実を図る。	10月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
1	⑧	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24～H28	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等75,000点の内、15,000点のデジタル化を行う。	いしがきの原風景写真等デジタル化実施件数:15,000点/年	いしがきの原風景写真等デジタル化実施率:20%	(今後の展開方針) H28年度に全画像のデジタル化を完了させデータベースを作成。「石垣市史アーカイブ(仮称)」を立ち上げて公開し、一般市民の利用に供する。	
1	⑨	大浜地区歴史遺産活用事業	H25～H27	大浜地域に存する歴史遺産を連絡する目的で公園広場を整備する。今年度は広場の用地(1970㎡)を取得する。	用地取得の為の測量・土地鑑定を経て用地を取得する。	用地(1,970㎡)の取得。	(今後の展開方針) 26年度に全用地(3,514㎡)を取得し、27年度には駐車場、芝生広場を整備し、案内板、説明版を設置する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑩	石垣市民会館設備改修事業	H25～H26	会館設備を改修し、良好な環境を提供し利用しやすい施設として整備する。島内外のアーティスト及び団体による多くの公演の誘致につなげる。それらの公演団体やイベントツアーで誘客し、島の魅力をPRすることでリピーターにつなげたい。	・石垣市民会館屋根防水改修工事の実施 ・石垣市民会館舞台袖幕の取替改修工事の実施	・石垣市民会館屋根防水改修工事の完了 ・石垣市民会館舞台袖幕の取替改修工事の完了	(今後の展開方針) 26年度の実施予定内容 ・クーラー設備改修工事の実施 ・照明設備改修工事の実施 ・音響設備改修工事の実施	
1	⑪	指定文化財活用事業	H25～H27	石垣市に存する指定文化財を紹介する「石垣市の文化財」を刊行する。合わせて文化財所在地に説明板を設置する。	・刊行物の原稿作成及び刊行。 ・説明板の記載文作成。	・「石垣市の文化財」の刊行。 ・説明板の設置 21基	(今後の展開方針) 既刊行の文化財マップを観光施設等に配布し、文化財への案内をし、説明版によりガイダンスを図る。さらには刊行物により文化財全体の照会をする。	
1	⑫	新石垣市立八重山博物館建設に係る基本構想策定事業	H25～H26	開館40年を経、老朽化する八重山博物館の新築に向けた基本構想の策定を行う。策定作業は2年を予定しており、平成25年度は初年度となる。	基本構想に係る調査と基本構想策定委員会の開催	基本構想に係る調査と基本構想策定委員会の開催 (平成25年度は、主に調査業務を実施)	(今後の展開方針) 平成26年度も引き続き基本構想に係る調査業務と基本構想策定委員会を開催する。	
1	⑬	石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25～H27	本市の観光魅力を国内及び近隣国にアピールして地域の経済インパクトを活性化する施策として、本市の有するリゾート性と音楽の力を結びつけた誘客イベントを開催する。新空港開港による国内外の運行路線とタイアップした広報や近隣国のアーティストや集客力のあるアーティスト及び石垣島出身のアーティストをラインアップする事により集客し、イベントを通じて新しい石垣島イメージの形成を図る。	・国内、近隣国からの観光商品の造成 ・本イベントのテーマとタイアップして地域の魅力を発信する取り組み	・石垣島ミュージックフェスティバル目標集客数1万人	(今後の展開方針) ・イベント開催に合わせた旅行商品(ツアー)等造成数(3)	
1	⑭	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25～H33	本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する観光案内所を設置して観光情報の発信を積極的に行うことで、観光受入環境の強化と向上を図り観光振興につなげる。	・観光案内所スタッフの配置 ・観光情報の発信及び観光コンシェルジュ	・観光案内所スタッフの配置(2名) ・案内内容の整理、集約を行い利便性向上に反映する会議等の開催(2回)	(今後の展開方針) 観光入域客数80万人へ寄与	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		訪れて良かった「いしがき」観光地プロジェクト	H24～H33					
2	①	水族館建設推進事業	H24～H28	新たな観光資源を創出するため、水族館建設の基本計画の策定を行う。	基本計画の策定	基本計画の策定	(今後の展開方針) 基本計画において定めた内容に基づき、基本設計に移行する。	
2	②	クルーズ船寄港誘致支援事業	H24～H33	大型クルーズ船寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う	タグボート支援: 4回	タグボート経費支援: 4回	(今後の展開方針) これまでと同様、寄港オファー件数を基に誘致に向け支援。	
2	③	フラワーロード整備事業	H24～H25	観光客が訪れて良かったと感じられるような街づくりを推進するため、市道の植樹帯へ花や樹木の植栽を実施する。	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業と連携し2路線を整備。	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業と連携し2路線を整備。		
2	④	美ら島ファミリーサポート整備事業	H24～H28	ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。	遊具施設を設置した公園: 2箇所	遊具施設を設置した公園: 2箇所	(今後の展開方針) H26年度～H28年度まで同事業の実施。 本事業の目標 公園内の遊具施設を充実することで市民・観光客に憩いの場提供に資する。	
2	⑤	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24～H33	観光客の受け入れ基盤の強化を図るため、海水浴場や展望台等の観光施設の整備、改修を行う。	・ビーチ(海水浴場)の利用満足度と評価を高めるビーチリニューアル計画を含めた観光地整備計画の策定 ・策定した計画を根拠にした整備の実施。	・観光地整備計画の策定 ・米原ビーチ等の整備、改修等	(今後の展開方針) (仮称)整備計画の策定及び策定に基づき工事着工	
2	⑥	バス停上屋整備事業	H24～H25	新空港の開港に伴い、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、石垣市の猛烈な日差しや雨天時においてもそれらを避け、快適にバスを利用してもらうためにバス停留所上屋を整備する。	バス停上屋整備: 1箇所	バス停上屋整備: 1箇所		

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	⑦	観光地アクセス道路安全安心推進事業	H24～H25	本市の観光スポットである「エメラルドの海を見る展望台」へアクセスする道路は、山岳を走る路線で崩壊等の危険性があるため、道路を整備し、観光地としての安全・安心を確保する。	アクセス道路整備工事(バナナ公園内市道)	アクセス道路整備工事(バナナ公園内市道)の完了		
2	⑧	於茂登岳登山道開設事業	H25～H27	於茂登岳山頂への登山道(トレッキングルート)を開設するため、登山ルートの調査検討と整備を行う。	測量調査業務の実施	登山ルートの路線測量の実施	(今後の展開方針等) H26年度:開設業務 H27年度:供用開始	
2	⑨	川平風致公園観光利便性向上施設整備事業	H25～H30	観光客の利便性の向上、地域振興のため、物産販売所やグラスボードチケット売場を統合した施設の設置検討業務。修学旅行、クルーズ船寄港時の一時的な混雑緩和のための公園外市有地の利活用を含めた調査検討業務を行う。	観光利便性向上施設の基本計画策定	観光利便性向上施設の基本計画策定	(今後の展開方針等) H26年度:基本・実施設計 H27～H28年度:工事着手	
2	⑩	平久保半島エコロード整備調査事業	H25～H28	平久保半島は、国立公園区域に指定されており、手付かずの自然景観が残っている。未整備道路の整備の在り方について、自然景観や、環境共生型の道路整備について調査検討を行う。	市道平久保半島東線エコロード整備計画策定に向けた自然景観や、環境共生型の道路整備についての調査の実施	市道平久保半島東線エコロード整備計画策定に向けた自然景観や、環境共生型の道路整備についての調査の実施	(今後の展開方針等) H26年度:計画策定 H27年度:実施設計 H28年度～:工事着手	
2	⑪	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25～H29	街区公園整備に関し、拝所を中心とした石垣特有の公園整備に関する調査委託業務	亜熱帯都市公園整備の基本構想策定	亜熱帯都市公園整備の基本構想策定	(今後の展開方針等) H26年度:基本・実施設計 H27年度～:用地取得 H28年度～:工事着手	
2	⑫	石垣漁港フィッシャリーナ	H25	フィッシャリーナの整備を行い遊漁船等を集約することにより漁船との棲み分けが可能となり安全な漁業活動に寄与するとともに、遊漁船やプレジャーボート等の受入環境を改善し、地域の活性化及び観光産業の振興に貢献する。	係留施設(浮棧橋)(L=47m)の設置	係留施設(浮棧橋)(L=47m、収容隻数=14隻)の設置		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				3		青と緑が輝く「いしがき」プロジェクト		
3	②	石垣市エコアイランド事業	H24～H27	①市内既設の防犯灯のLED化 ②街路灯を省エネ性能が高いLED化し、低酸素島嶼社会の実現に向けた取り組みを推進し、市民の意識向上を図り、エコアイランド構想に推進する。	①防犯灯LED化数:423基 ②道路街路灯のLED化・170基	①防犯灯LED化数:423基 ②道路街路灯のLED化・170基	(今後の展開方針等) 管理、保有している1,532基の全ての防犯灯を環境に優しいLED化へ整備を図る。(H24・270基完了) (H25・423基予定) (次年度以降839基予定)	
3	③	オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業	H24～H33	ここ数年、大量に発生しているオニヒトデの駆除を行い、サンゴの保全に努める。	オニヒトデの駆除:3,000ダイブ	オニヒトデの駆除:3,000ダイブ	(今後の展開方針等) H26年度:ダイビング業者によるヒアリングを行い、予算の計上に応じた効率的な駆除を行う。	
3	④	南の島の猫アイランド事業	H24～H27	新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、猫の捕獲・保護及び避妊、去勢等を実施する。新港地区に捨てられる原因となっている街中の飼主のいない猫も一斉捕獲避妊・去勢をし、新港地区の環境保全を図る。	新港地区緑地公園内に生息する猫の全体頭数に対する8割以上の猫に避妊・去勢治療を施す。	新港地区緑地公園内に生息する猫の全体頭数(約60頭)に対する8割以上の猫に避妊・去勢治療を施す。	(今後の展開方針等) H26年度以降:公園管理者との調整。放置され続ける猫への対策。	
3	⑤	赤土等流出防止対策事業	H24～H28	農地からの赤土流出を防止するため、グリーンベルトの設置、緑肥の提供、堆肥を撒く小型すじまき機械を購入し、貸与する。	サトウキビ収穫後、夏植えするまで裸地となるほ場に、緑肥種子を配布して播種してもらう。経営体目標数:100件	緑肥種子播種目標面積:165ha	(今後の展開方針等) サトウキビの春植え、株出し栽培を推進する。 平成26/27年期緑肥種子播種目標面積:498ha	
3	⑥	エコカー公用車導入事業	H24～H29	石垣島全体をエコ化に向けた取り組みとして、環境の保全及び魅力ある観光地を形成することで沖縄振興に繋げる。具体的にEV車を公用車として導入することにより、環境保全を先導的なエコアイランド化を推進する。	EV公用車導入台数:4台	EV公用車導入台数:4台	(今後の展開方針等) 各課リース車両(ガソリン)の切り替えの際にEV車へ代えエコアイランド化を推進する。 平成26年度 導入台数4台	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
3	⑦	石垣市資源循環アイランド推進事業	H24～H27	市の第4次総合計画における柱の1つ、“島の自然環境を守り生かす「いしがき」環境と風景”及び「石垣市エコアイランド構想」を強力に推進するツールとして、「石垣市資源循環産業都市構想(仮称)」を策定する必要がある。 この構想策定により、石垣市内外の産官学連携を一層強化し、循環の島の構築と環境と調和した農業を確立する。これにより新たな産業(雇用)の創出、地域の活性化、循環石垣島ブランドの確立を図る。	協議会の開催4回 4部会のワーキンググループの設置 1. バイオマス利用利術の検討 2. FIT制度等の活用及び運営体制の検討 3. 原料の収集・運搬の検討 4. 製品の利活用についての検討 5. 循環ブランドの確立と販売促進	石垣市バイオマス産業都市構想の策定	(今後の展開方針等) 平成26年度 実施設計 平成27年度 建設工事 平成28年度 供用開始		
4		”島人の宝”ものづくり「いしがき」プロジェクト	H24～H26						
4	①	ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24～H26	製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行うとともにバイヤーマッチング事業や商談会を企画する。また、出展者に対して、必要な助成をする。共同加工施設整備については、調査に基づく基本方針作成に取り組む。	物産展出展支援	物産展出展支援事業所:20事業所	(今後の展開方針等) 26年度の実施予定 ・物産展事業関連では国内主要都市における物産展及び観光PRの同時開催+商談会、セミナー等 ・加工場整備についてはH25の調査結果を踏まえ整備促進		
4	②	就業支援マッチング事業・人材育成事業	H24～H26	特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的には、セミナーや講習会等を実施する。就業支援(繰越分)、人材育成(今年度分)。	・特産品開発セミナーの開催 ・やきもの講座の開催	・特産品開発セミナー企画シートの作成に至った参加者数:5人 ・やきもの講座八重山焼の技法を学んだ参加者:3人 ・八重山上布技術者育成講習服地作成に至った参加者:3人	(今後の展開方針等) 26年度の実施予定 ・特産品開発関連では、セミナー・勉強会の継続実施及び新規特産品の開発 ・工芸人材育成関連では、(仮称)石垣島の工芸展を開催予定		
4	③	商店街・中心市街地並びに商業振興事業	H24～H26	平成24年度に実施した先進地視察、セミナー、フォーラム等の実施に伴う成果をもとに、関係者による協議会、検討委員会等の立ち上げ・運営等により本市の商店街及び中心市街地活性化に資する行政計画(アクションプラン)の策定を行う。	商業地及び中心街地活性化計画(仮称)策定	商業地及び中心街地活性化計画(仮称)策定	(今後の展開方針等) 26年度の実施予定 ・H25のアクションプランの内容を踏まえまちづくり活動を実践する組織体の設立及び関連事業の実施、並びにまちづくり活動を話しあう協議体を発足する		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	④	経済振興プラン策定事業	H25	新石垣空港開港後の石垣市の経済振興の方向性や本市における産業基盤の様々な実態を調査し、中長期的な経済全体の計画を策定する。	経済振興プランの策定	経済振興プランの策定	(今後の展開方針等) 策定したプランを全庁的に共有し、記載された事項を実行していく。 民間においても、公表することにより共有してもらい、支援策等を活用してもらう。	
4	⑤	文化産業創出事業	H25～H28	独特で豊富な地域資源を持つ本市において、それらを国内外へ広くPRし、文化産業の振興を図る。具体的な取り組み案として、本市に所縁のあるクリエイターの紹介をおこなう書籍やインターネット上でのアーカイブ化(人材バンク化)をおこない、これらの人材を国内、アジア圏域へ派遣し、PRする事により、地域資源のブランド化やマーケット化、関連産業を巻き込んだ複合展開を視野に入れ、文化産業(第4次産業、第5次産業)の創出を図る。	アーカイブ化とその周知活動	デザイナーやクリエイターら(デザイン・イラスト/写真・映像/工芸品/プロダクト・空間/ファッション/CG・WEBデザイン/その他)の人材のアーカイブ化とその周知活動	(今後の展開方針等) ・アーカイブ化の成長 ・継続的な周知活動 ・関連産業を巻き込んだ複合展開	
4	⑥	石垣市農水産物等流通戦略構築調査実証事業	H25～H26	新空港が開港し航空輸送能力や新規ルートが開拓されたことに着目し、本市の特産品を従来の流通チャンネルとは違う手法により県外消費地へ届けることが可能かどうか、特に実需者と呼ばれる卸売、小売業者やホテル、飲食店関係者等を対象に、そのニーズに合った形で消費してもらおうにはどのような取り組みが必要かについて、「調査」及び「実証」する。 平成25年度は、実証事業の実施に必要な調査事業を行う。	(1)実証事業で使用する本市農水産物等(戦略品目)に関する調査・検討 (2)実証事業を実施する県外の場所を決定するために必要な調査・検討 (3)実証事業に際し県外へ戦略品目を送るルートや手法に関する調査・検討	(1)戦略品目の決定 (2)事業実施場所の決定 (3)輸送手段、ルート、料金等の決定	平成26年度に実証事業を実施し、その後に民間事業者が自主的活動として実施できる体制づくりと可能な範囲で支援を行う。	10月変更(事業追加)
5		美味しさいっぱい「いしがき」プロジェクト	H24～H28					
5	①	熱帯果樹栽培研究事業	H24～H28	熱帯果樹産業の振興を図るため、パパイヤをはじめ熱帯果樹を使った食材の研究、商品化や栽培研究を行う。	栽培研究・苗配布等	・熱帯果樹の苗の配布(年間800本)により普及を図り、アンケート実施により熱帯果樹のニーズを確認する。 ・「地中根域制限方法(マンゴー)」を実証圃で試験実施し新栽培方法を確立する。	(今後の展開方針等) 6次産業(生産・加工・販売)を絡めた新石垣島果樹ブランドの開発。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	②	さとうきび振興事業	H24～H28	さとうきびの安定性を図ることを目的に、新たな機能を有する農業を用いて防除体系を確立し、生産農家を対象に農業購入補助を行う。また、さとうきびの輪作品目としての石垣島での蕎麦栽培の可能性を探る。	さとうきび夏植え639ha・さとうきび春植え160haの土壤病害虫の防除により発芽の促進及び増産を図る。また、前年度より続くさとうきび輪作作物の蕎麦の栽培実証試験の実施	・農業補助件数目標値 春植え 申請866件 夏植え 申請317件 ・さとうきび輪作作物の蕎麦の適正品種の確立 ・蕎麦の適期植付けを確認する。	(今後の展開方針等) 今後、環境に配慮した農業が考えられサトウキビについては、発芽率の向上から株出しを中心に推進していく。蕎麦についてはサトウキビの輪作作物としての周知及び商品化を図る。	
5	③	”石垣産の牛”生産推進事業	H25～H33	①優良繁殖雌牛拠点産地計画交配事業 育種価の高い繁殖雌牛に計画交配を実施し、地域内母牛群の改良を図る。関係機関が認める当該雌牛産子を母牛として自家保留した農家へ補助金を交付する。 ②高齢繁殖母牛早期淘汰奨励事業 地元食肉加工施設(八重山食肉センター)へ高齢母牛を出荷(淘汰)した農家へ補助を行い、地域内母牛群の早期淘汰・更新を図る。 ③石垣牛販促宣伝事業 新石垣空港ターミナルビル到着口に、石垣市が誇る観光目玉商品「石垣牛」の電光掲示板を設置し、観光客の皆様がいち早く認知していただき、観光業も含めた消費拡大に寄与する。	①自家保留牛 100頭 ②淘汰牛頭数 300頭 ③新空港への電光掲示板の設置数 1台	①自家保留牛 100頭 ②淘汰牛頭数 300頭 ③新空港への電光掲示板の設置数 1台	(今後の展開方針等) 地域内母牛群の更新及び改良を目的とし、平成34年度に下記2項目を(具体的数値)目標とする。 (1)市内現存母牛平均年齢 8.0才(H24年 9.6才) (2)分娩間隔の平均日数 415日(H24年 429日)	
5	④	アカジン(スジアラ)養殖実証試験事業	H24～H26	沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための、養殖実証試験を引き続き行う。今年度は紫外線殺菌装置等を設置し、アカジン試食会等を行う。	・アカジン(スジアラ)養殖の実証試験	・アカジン(スジアラ)養殖の実証試験の実施 (アカジン養殖の可能性を探るための実証試験)	(今後の展開方針等) H26年度:実証試験 本事業の目標(H27):試験終了時(H27)のアカジン増体率の向上:ユーグレナ混入なし300g→混入あり330g(10%UP) 養殖実証試験終了後、H27年度以降の陸上養殖施設整備を目標とする。	H25年度単年度の成果目標へ記載修正
5	⑤	林業活性化促進事業	H25	木材需要の拡大及び林業活性化と振興の基盤強化を図るため、間伐材等の利用に必要な伐倒、搬出、集材のための林業機械を購入する。	林業機械機種選定と購入	林業機械購入(グラッブル付きバックホウ 1機)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
5	⑥	ヤシガニ生息実態調査事業	H25	郷土の食文化及び観光資源であるヤシガニの枯渇を予防し、持続的に活用できるよう、保護区域や捕獲禁止期間等の設定に科学的知見を反映させるため、ヤシガニの繁殖場所、生息環境及びヤシガニの含有機能成分の分析等を実施する。	協議会の実施、生息実態調査委託(保護区エリア候補地調査、野外調査、分析試料採集)市民向けセミナー開催	生息実態調査の実施(保護区エリア候補地調査、野外調査、分析試料採集)	(今後の展開方針等) 平成26年度中に、ヤシガニ資源保護条例(仮称)の制定、捕獲禁止期間や保護区域の設置の実施。		
5	⑦	水産振興事業	H24～H33	漁場保全を図るため、オニヒトデ駆除を実施する。また、種苗購入の際に漁業者の負担を軽減するために沖縄本島・本部からの輸送費を補助する。	①オニヒトデ駆除: 5海域 ②ヤイトハタ種苗輸送費の補助	①オニヒトデ駆除: 5海域 ②ヤイトハタ種苗輸送費の補助	(今後の展開方針等) ・漁場保全事業:H26～H33まで実施 ・大型定置網関連事業:H27定置網作業船の購入 ・ヤイトハタ輸送費補助事業:H26～H33まで実施 ・本事業の目標:ヤイトハタ生産量を23t(H23)から49t(H33)までの向上に資する。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
5	⑧	漁船用衛星船舶電話通信機器設置補助事業	H25	現在使用している衛星船舶電話がH24年度末にアナログからデジタル化に移行するため、H26年度から使用不能となる。それに備えて漁協所属漁船33隻に衛星船舶電話通信機器(デジタル機器)の設置補助を行い、遠方操業漁船の安全確保を図る。	①漁船用衛星船舶電話通信機器の設置補助の実施	①漁船用衛星船舶電話通信機器の設置補助の実施		12月変更(事業追加)	
5	⑨	生鮮水産物流通条件不利性解消補助事業	H25～H33	生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう支援を行う。	①生鮮水産物57,451kgの輸送費補助の実施	①生鮮水産物57,451kgの輸送費補助の実施	(今後の展開方針等) 生鮮水産物流通条件不利性解消事業:H25～H33まで実施 本事業の目標:漁協水揚量2,254t(H24)から2,304t(H33)までの向上に資する。	12月変更(事業追加)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6		防災に強い「いしがき」プロジェクト	H24～H33					
6	①	地域防災力強化育成事業	H24～H28	各地域、または公民館ごとに地震・津波・火災対応型の救急救助資機材収納倉庫を設置し、災害時の際、消防及び公的機関の支援が届くまでの間、消防団及び自主防災組織に消火活動や救助活動等に活用してもらい一人でも多くの救える命を救う基盤を構築するとともに、自主防災組織の設置率を上げ、防災意識の高い安心安全な町、石垣市を広く広報し観光振興に繋げる。	新規設立の自主防災組織に対する救急救助資機材の配備数:10か所	新規自主防災組織の立ち上げ:10か所	(今後の展開方針等) 平成29年度末市内65か所で自主防災組織を立ち上げ、資機材を配備する。	
6	②	防災避難道路整備事業	H24～H26	予想される大地震時における津波避難道路を整備し、安全な農村集落の環境を整える。	防災避難道路整備工事 L=270m	明石地区防災避難道路整備工事 L=270m	(今後の展開方針等) 防災避難道路整備工事	
6	③	防災体制整備事業	H24～H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、未整備地区や難聴地区への屋外拡声子局を整備する。また、迅速かつ的確な避難ができるようにハザードマップの全世帯配布や高台避難に有効な市内電柱への海拔表示シート設置を行う。	防災無線拡声子局設置数:4基 海拔表示シート設置:約200か所 ハザードマップ作成:全世帯配布	防災無線設置カバー数:76% 海拔表示シート設置数:200か所(設置率40%) ハザードマップ配布数:100%	(今後の展開方針等) 防災無線整備目標:H33年度 海拔表示シート設置目標年度: 平成26年度(設置目標数:500か所) ハザードマップ:平成25年度のみ	
6	④	福祉避難所ふれあい交流施設整備事業	H25～H28	平成24年度に策定した施設整備の「基本計画」に沿って、平成25年度は「基本設計」に取り組む。事業概要は、地震、津波、台風等の大規模災害時に要援護者が安心・安全で避難所生活が送れる特別な配慮がなされた「福祉避難所」を整備し、平常時は、児童・高齢者・障がい者等のふれあい交流施設として有効活用を図る。	施設の基本設計(建設場所、施設規模、地質調査、測量)の実施	施設の基本設計(建設場所、施設規模、地質調査、測量)の実施		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	⑤	災害対応機材整備事業	H25	地震や津波などによる停電時において給水ポンプの電源を確保するため、発電機搭載型投光機を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	発電機搭載型投光器2台購入	発電機搭載型投光器2台購入		
6	⑥	防災無線設備整備事業	H25	現在、埋立地で標高2.5mの水道部庁舎にある無線設備(基地局)を高台にある石垣浄水場に整備することにより、津波による被災を防止し、災害時におけるライフラインの早期復旧を図ることができる。	無線設備整備	無線設備整備の完了		
7		のびのび育ち、いきいき学ぶ「いしがき」プロジェクト	H24～H33					
7	①	ICT教育強化事業	H24～H33	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材の充実を図り、ICT教育を有効活用した教育環境整備を行う。	全小中学校にデジタル教科書及び学習プリント作成問題データベースを整備	全小中学校にデジタル教科書(3教科)及び学習プリント作成ソフト等を整備	(今後の展開方針) デジタル教科書他教科の整備 問題データベースの継続	
7	②	外国語学習支援事業	H24～H33	小学校5年生、6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、市立小中学校へ外国語学習指導員の配置等の活動を支援をする。	外国語学習支援員配置(小学校:3人、中学校1人)	1ヶ月に一度は外国語学習支援員との授業を島内の全5、6年生が受けられるようにする。	(今後の展開方針) 1ヶ月に一度は外国語学習支援員との授業を島内の全小学生が受けられるようにする。	
7	③	児童・生徒派遣費助成事業	H24～H33	児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する	県内大会等派遣人数:2,000人 県外大会等派遣人数:295人	県内大会等派遣人数:2,000人 県外大会等派遣人数:295人	(今後の展開方針) 大会等派遣人数(累計) 平成33年度:3,000人	
7	④	ユースアドバイザー事業	H24～H33	不登校、引きこもり、ニート等問題や困難を有する児童生徒・若者への支援体制を整え、ユースアドバイザーを配置し、家庭・学校を中心に相談、助言、指導を行い、児童生徒・若者の自立支援により、不登校児童生徒等の低減を図る。	ユースアドバイザーの配置(3名)	不登校児童生徒数 小学校:15人(対前年度4%減) 中学校:38人(対前年度4.8%減)	(今後の展開方針) 目標年度H33年度 小学生:7人以下 中学生:20人以下	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	⑤	すこやか子育て支援事業	H25～H33	子育て支援の振興に向けて、幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施する。保護者が安心して預けられる環境整備のため、預かり担当者の配置及び施設整備を図る。 家庭的な雰囲気の中での教育的活動が主となるため、おやつ作り等に使用する備品を購入する。	・預かり保育担当者設置数 幼稚園:16人 ・新規市内預かり保育3園実施 ・市内預かり保育4園実施に伴う備品購入	・市内全園預かり保育の実施 ・幼稚園における預かり利用者の増加数:受入増数:130名見込み (24年実施4園も含めて) ・市内預かり保育4園実施に伴う4園備品購入	(今後の展開方針) 目標年度H33年度 預かり保育利用者数 320名	
7	⑥	「八重山の歴史と文化」編集・発刊事業	H25～H28	「八重山の歴史と文化」の発刊に向け、編集委員長及び編集委員会を組織し調査研究を行う。	項目立て、編集委員(執筆者)の配置及び調査研究。	・平成25年度の指標(項目)に添い、調査研究と執筆を行う。 ・編集委員会の開催:2回	(今後の展開方針) 中学校において、郷土を学ぶ副読本として平成26年度に刊行する。	
7	⑦	地域交流子育て支援事業	H25～H27	市内の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談などの地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施することにより、地域における幼児期の教育センター的役割等を実施する。	地域子育て相談員配置数 幼稚園:5人	・地域子育て相談員を市内3園、農村地区2園の幼稚園に配置 ・25年度 相談件数 50件	(今後の展開方針) 子育て相談業務 H26年度 180件 H27年度 250件	
7	⑧	平和推進事業	H24～H33	次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる。また「沖縄慰霊の日」に『全戦没者追悼式並びに平和祈念式』等執り行い、石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを強化する。	・平和を考える作文・絵画募集:30点 ・『八重山戦争マリア犠牲者追悼式』『石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式』の挙行 ・広島・長崎平和大使の派遣:4人 ・「平和フォーラム」等の開催:3回	・平和を考える作文・絵画募集:30点 ・『八重山戦争マリア犠牲者追悼式』『石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式』の挙行 ・広島・長崎平和大使の派遣:4人 ・「平和フォーラム」等の開催:3回	(今後の展開方針) * H25～H33:広島・平和大使の派遣数:36人 * 「平和調整会議」「平和委員会」等で検討し、新たな平和推進事業を展開する。	
7	⑨	尖閣諸島関係資料収集事業	H25～H30	尖閣諸島に関するこれまでの動きを概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事の収集を行い、「尖閣諸島関係資料集成(仮称)」として取りまとめる。	戦前の新聞等から資料収集を行なう。 ①『琉球新報』、明治32年～明治45年までの記事検索、該当記事のファイル化。 ②『官報』、明治16年～明治45年までの記事検索、該当記事のファイル化。	戦前の新聞等から資料収集を行なう。	(今後の展開方針) H25～H27:資料収集 H28:「資料集成」作成	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	⑩	ICT教育充実事業(情報端末器配備事業)	H25～H26	情報端末器(タブレット型PC)を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別支援教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材の育成。	特別支援学級及び全小校にタブレット型PCを整備する。	特別支援学級及び全小校に1学級分のタブレット型PCを整備する。	(今後の展開方針) 全中学校に1学級分のタブレット型PCを整備。 タブレット型PCで使える教材を整備	
7	⑪	オオゴマダラ地域交流事業	H25～H29	奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行うことにより、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。	○オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成。 ○児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣実施。	○オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成。 ○児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣実施。 ○昆虫館取材後の学習報告会の開催	(今後の展開方針) 平成27年度まで、オオゴマダラを飼育・観察しての発表と昆虫館への取材活動のための児童教職員の派遣交流。	
7	⑫	学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業	H25～H33	各小中学校における授業等をサポートし、学校状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行うことにより児童生徒の学力の向上を図り、地域との連携及び家庭への支援活動を行うことにより、学校と地域の信頼関係を深めるとともに、家庭教育の向上と児童生徒の健全育成を図るために学校教育支援員を配置する。	各小中学校に学校教育支援員を18人配置	小中学校に学校教育支援員を18人配置 目標:支援員導入率72%	(今後の展開方針) 平成27年度までに支援員導入率100%を目指す。	
7	⑬	高等教育機関等誘致可能性調査事業	H25	本市における高等教育機関等の誘致の可能性を探索べく調査をコンサルに委託する。教育機関等の規模や学部の種類、立地場所の有無、用地や施設に対する支援策、受け入れに伴う諸問題に対する対策等を含めて検討し、受け入れの可能性を探索。	石垣市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理などの調査業務の実施	石垣市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理		
7	⑭	体験学習助成事業	H25～H30	交通手段が空路のみである、本市の児童・生徒の体験学習が限定されているため、他の都道府県に比べて児童・生徒の体験学習の機会の格差が生じている。「多様な体験学習」を体験することにより、学習の向上とコミュニケーションスキルを学ぶ。	体験学習 児童:20人 体験学習 生徒:30人	体験学習 児童:20人 体験学習 生徒:30人 事後学習後、市民向けの報告会及び報告書の作成	(今後の展開方針) 体験学習児童・生徒数(累計:H30年度までに250人)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	⑮	文化資産収蔵庫整備事業	H25～H26	戦災を逃れた貴重な地域の史料を収蔵保管する為、八重山圏域で唯一の図書館の4階に収蔵庫を増設する事により、適切な管理と津波被災から防除を行うことが可能となり、過去の貴重な資料、文化資産を次世代へつなぐことができる。	エレベーター改修工事・収蔵庫増設工事設計委託	貴重資料の収蔵保管場所確保、移転準備	(今後の展開方針) H25年度 エレベーター改修工事実施・収蔵庫増設工事設計委託 H26年度 収蔵庫増設工事着手	
8		国際交流「Ishigaki」プロジェクト	H24～H27	/		/		
8	①	国際定期便誘致事業	H24～H27	行政、地元経済団体が一体となり、台湾、香港、上海、韓国等の東アジア圏の各航空会社及び航空局に路線開拓の要請を行う。	・仮称)観光大学の開催5日間 ・海外プロモーションの実施 2都市 ・アウトバウンド商品造成の取り組み(商品プロモーション、キャンペーン他)	・定期便実現に向けた日本人需要を発掘するために、非石垣居住者の石垣経由出国需要のポテンシャルの把握 ・島内のインバウンド受入体制を整備していくために、島内事業者を対象としたセミナーの実施	(今後の展開方針) 定期便化の推進 双方向での観光需要の創出	
8	②	石垣港国際交流拠点形成事業	H24～H26	寄港回数が増加している大型クルーズ船を受け入れるため、レクリエーション施設や商業施設等を整備した国際交流拠点となる旅客ターミナルビルの基本設計を実施する	旅客ターミナルビル基本設計：一式	旅客ターミナルビル基本設計の実施	(今後の展開方針) H26以降実施検討・実施設計	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		浦添市「あまくま歩っちゅん」推進事業	H24～H33					
1	①	浦添市来々来々推進事業	H24～H25	H24年度調査にて抽出された課題をもとにまちづくりの検討。及び、新たな地区での観光資源を創出するための基礎調査を実施する。	抽出された課題をもとに基本構想の検討 ・新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出	抽出された課題をもとに基本構想の検討 ・新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出	(今後の展開方針) 平成26年度:実施に向けた基本計画等の策定及び新たな地区の抽出された課題をもとにまちづくりの検討	
1	②	浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業	H24～H28	観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。	市民への草花配布件数 50件	市民への草花配布件数 50件 ・植付面積:1,600㎡ ・植付延長:1,200m (参考:H24年度植付面積:1,408㎡ 植付延長:1,076m)	(今後の展開方針) H28年度目標 配布件数 70件 植付面積 2,000m2 植付延長 1,500m	
1	③	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」	H24～H33	スポーツ・ツーリズム推進を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、「てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」を開催する。	てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォークの開催	てだこウォーク参加人数 7,600 人 (平成23年 7,542人)	(今後の展開方針) H28年度目標 てだこウォーク参加人数10,000人	
1	④	ありんくりんクリーン事業	H24～H33	史跡浦添城跡などの古城跡や石畳道、石橋、歴史的人物の墓、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために美化や安全対策等の環境整備を図る。	文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施:9箇所	文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施:9箇所	(今後の展開方針) H33年度(目標値) 文化財見学者数:3,000人 (平成23年:2,204人)	
2		沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33					
	①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	沖縄県らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を育む礎とするため、世界遺産追加登録を目指す浦添城エリアを中心に、景観法に基づく景観地区指定を行うとともに、街なみ美化事業等の基本構想を策定する。	風景づくり推進調査業務による方針の検討 ・浦添市景観向上行動計画の策定 ・風景街なみ形成に資する建築技術の提案 ・古民家の実態調査と活用方法の検討 ・茶山中通り美化の検討	風景づくり推進調査業務による方針の検討 ・浦添市景観向上行動計画の策定 ・風景街なみ形成に資する建築技術の提案 ・古民家の実態調査と活用方法の検討 ・茶山中通り美化の検討	(今後の展開方針) 景観地区指定に取り組む 平成33年度(目標値) 景観地区指定 2地区 (基準値:平成23年 0地区)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	② 浦添グスク周辺緑化推進事業	H24～H25	沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。	茶山緑地整備整備面積 403㎡	茶山緑地整備整備面積 403㎡		
	③ 地域資源復元推進事業	H25～H28	歴史的景観の再生を図るため、中頭方西海道石畳舗装整備工事の実施、及び「安波茶樋川」を復元整備するための実施設計を行う。また、沖縄らしい風景づくりの効果的な推進を図るためクバサーヌ御嶽の発掘調査及び復元整備の実実施設計業務委託を実施する。	・安波茶樋川の実実施設計業務 ・クバサーヌ御嶽の発掘調査および実施設計業務委託 ・中頭方西海道ルート上への石畳舗装(舗装長400m)。	・安波茶樋川の実実施設計業務 ・クバサーヌ御嶽の発掘調査および実施設計業務委託 ・中頭方西海道ルート上への石畳舗装①(舗装長400m)。	(今後の展開方針) H26年度に中頭方西海道ルート上への石畳舗装②(舗装長200m)を実施する。 H28年度までに3件の文化財復元整備を実施する。	
	④ 前田トンネル周辺修景事業	H24～H25	沖縄らしい風景や景観を守るため、前田トンネル両側のコンクリート壁のレリーフや壁面緑化等、一体的な集計保存を行う。	修景及び緑化工事の実施	緑化面積:650㎡		
	⑤ 浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24～H25	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史、文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。	仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装:2,475㎡	仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装:2,475㎡	(今後の展開方針) H26年:供用開始	
3	歴史・文化とスポーツの 十字路活性化推進事業	H24～H28					
3	① 悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24～H28	全国でも2館しかない漆芸の美術館としての特徴を活かし、浦添の観光コースの一つとして観光客を誘致、来館者増を図る。漆に関する企画展・常設展を充実させ、国内外への情報発信を強める。また、漆芸体験などの事業を行い、体験型観光や産業振興にも結びつける。	・近代沖縄の美術工芸展開催 ・企画展関連講座の実施 5回 ・観光客誘致のための広告宣伝事業実施 ・収蔵品及び常設展の充実	美術館来館者数:100,000人 常設展観覧者数:2,200人 (平成24年 美術館来館者数58,668人 常設展観覧者数2,139人)	(今後の展開方針) H24～28年度までの累計来館者数:50万人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	②	9月3日踊り観光・文化振興事業	H24～H28	沖縄に古くから伝わる「組踊」は、世界文化遺産として認定されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を設け、国立劇場おきなわを拠点に戦略的観光振興を展開するとともに文化振興を行う。	組踊まつり等のイベント開催:3回	イベント参加人数 1,500人	(今後の展開方針) H28年度(目標値) イベント参加人数 4,000人	
4		浦添へ観光客誘致と特産品の販売拡大プロジェクト	H24～H28					
4	①	浦添「よりみち」観光振興事業	H24～H28	琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光に見られるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発。併せてヤクルトキャンプ地を生かした観光客誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。	・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介 1件 ・新たな観光商品の開発を委託 1件 ・観光商品の事業所向け提案 1件	・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介 1件 ・新たな観光商品の開発を委託 1件 ・観光商品の事業所向け提案 1件	(今後の展開方針) H28年度(目標値) ・開発した「着地型観光商品」の利用者数 3,000人 (平成24年:0人) ・ヤクルトキャンプ・キャンペーン関連事業来場者数 40,000人 (平成24年:3,800人) ・物産と観光展における販売実績額8,000千円 (平成24年:3,900千円)	
4	②	来て・見て・楽しい”まると浦添”観光情報発信事業	H24～H28	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。	観光ポータルサイト開発 観光用モバイル・アプリ開発 観光情報の編纂・発信	観光ポータルサイト開発 1件 観光用モバイル・アプリ開発 1件 観光情報の編纂・発信 1件	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 新ポータルサイト閲覧数 72,000件 観光ポータルサイト開発 1件 観光用モバイル・アプリ開発 1件 観光情報の編纂・発信 1件	
4	③	ここにおいて浦添タウン事業	H24～H28	市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化・緑化等に取り組む。	市域誘客イベントの開催:4回	市域誘客イベント参加人数 1,200人	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 誘客イベント参加人数 2,000人	
4	④	浦添うまれの網が彩る観光特産品ブランド強化事業	H24～H28	「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。	うらそえ織の広報活動:2回 展示販売会:10回	うらそえ織売上額 23,690千円 (平成23年:9,911千円)	(今後の展開方針) H28年度(目標値) うらそえ織販売額 34,620千円	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	⑤	浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業	H24～H28	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。	県外物産展等のイベント参加 4回	県外物産展等のイベント参加企業 40社	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 販路拡大に取り組んだ事業者数 50社	
4	⑥	島桑オジー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24～H28	特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ」を活用し、養蚕業(繭の生産)のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。高齢者を活用することで、コスト圧縮と事業者への安定的供給を図る。	事業に要する桑木の作付け面積: 4,800坪	事業に要する桑木の作付け面積: 4,800坪	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 事業に要する桑木の作付け面積: 5,000坪	
4	⑦	浦添市農業フェスタ支援事業	H24～H28	「農協まつり」における黒糖作り体験、集客イベント開催、会場整備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘致に取り組み観光振興・産業振興を図る。	農協まつり開催支援	農協まつり来場者数: 2,700人 (平成23年 1,800人)	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 農協まつり来場者数: 3,000人	
5		浦添市産業支援機能強化事業	H24～H28					
	①	創業者等相談事業	H24～H28	新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション・マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大・雇用の増を図る。	創業・経営革新・販路開拓などの相談の実施: 250日	創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 260件	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 起業相談者数 290人	
	②	経済人材育成事業	H24～H28	企業人を育て業績に直結する最新のマネージメントセミナー、経営講習など、沖縄経済の人材を育成する講習会、研修会、セミナーを開催する。	人材育成研修を5回実施	人材育成研修受講者数 100人	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 企業経営人材育成研修・セミナー受講者数 延500人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	③	IT人材研修事業	H24～H28	厳しい雇用情勢の中で、沖縄県内の産業振興に資する人材を育成するべく、企業実務に即したソフトウェア関連の研修、県内企業でのニーズが高い専門研修等を開催し、実社会でのニーズに対応できる人材育成に取り組む。	IT人材研修開催:5回	エクセル・ワードなどの資格取得 20人	(今後の展開方針) H28年度(目標値) 人材育成研修による資格取得者数 延100人	
	④	スーパー・コミュニケーション・スクール事業	H24～H28	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパーコミュニケーションスクールを設置し、人材育成を目指す。	生徒受入:20人	生徒受入:20人	(今後の展開方針) H28年度 スクール修了生:60人(累計)	
6		那覇港物流機能等強化事業	H24～H33					
	①	ガントリークレーン整備事業	H24～H26	輸出貨物の積み残しが生じていることから、港湾機能強化を図るため、現在2基のガントリークレーンを、2基増設する。	那覇港のガントリークレーン 3号機製作 1基 4号機製作工事着手	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン ・3号機製作完了 ・4号機製作工事着手	(今後の展開方針) H26年度 :3号機設置、供用開始 :4号機製作、設置 H27年度 :4号機供用開始	10月変更 (計画変更に伴う 各目標変更)
	②	観光客利便性向上施設整備事業	H24～H25	観光旅客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するため、ボーディングブリッジを整備するための費用を補助する。	那覇港のボーディングブリッジ設置 1基	・那覇港のボーディングブリッジ設置 1基	H26年度:供用開始	
	③	那覇港総合物流センター整備事業	H25～H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センターの基本設計の実施	総合物流センターの基本設計の完了	(今後の展開方針) H26年度:実施設計 H27年度:液状化対策工事、基礎工事 H28～29年度:建築工事 H30年度:供用開始	10月変更 (事業追加)
7		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～H33	スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助する。	・大会等派遣生徒数:延べ480人/年間	大会等派遣生徒数:480人	(今後の展開方針) ・実施予定内容:航空運賃への補助 ・事業目標(指標):県外派遣機会の拡充や他県の児童生徒と交流し、技術向上や健全育成に役立てる。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		一人ひとりが輝くティーンの子	H24～H33					
	①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24～H33	社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学生を対象とした自然・農業・漁業等の体験学習を行なう。	市内小学校5年生を対象とした、自然・農業・漁業の体験学習の実施	体験学習に参加した児童数: 1,404人	(今後の展開方針) 市内小学校5年生が豊かな自然の中で、自然・農業・漁業等の体験学習を行なう。10年間で延べ14,500人の参加を目標。	
	②	学力等底上げ推進支援事業	H24～H33	児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員、教育相談員を各学校へ配置する。担当課に青少年相談員、臨床心理相談員、教育相談員を配置し、青少年の環境浄化・教育相談を行う。	(学校配置)学校教育支援員33名、日本語教育支援員2名、教育相談員16名 (担当課配置)臨床心理相談員2名、教育相談員6名、青少年相談員10名	(学校配置)学校教育支援員33名、日本語教育支援員2名、教育相談員16名 (担当課配置)臨床心理相談員2名、教育相談員6名、青少年相談員10名	(今後の展開方針) 平成28年度目標:全国学力テストにて、全国平均を目標 継続した学習等の支援及び相談体制の充実。 青少年環境浄化、教育相談の充実	
9		歴史と文化の薫るまち浦添	H24～H30					
	①	浦添の歴史文化整備保存事業	H24～H30	浦添市の収集・保有している資料の写真、証言記録をもとに『浦添市移民資料・証言編』を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として浦添出身者の移民・出稼ぎ・移住の実態をまとめる。移民・出稼ぎ・移住に関する講演会・展示会を開催する。	・移民史編集委員会の開催: 3回 ・市内聴き取り調査 ・『浦添市移民史資料・証言編(仮題)』の編集・刊行: 750部 ・講演会・展示会の開催: 各1回	・移民史編集委員会の開催: 3回 ・市内聴き取り調査 ・『浦添市移民史資料・証言編(仮題)』の編集・刊行: 750部 ・講演会・展示会の開催: 各1回	(今後の展開方針) 平成26年度: 「浦添市移民史の刊行・活用普及」 「論考編(仮題)」750部 平成27年度以降: 「浦添の民話」の検討・刊行・活用普及 デジタルデータの閲覧システム構築 デジタルデータの活用促進	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	②	歴史にふれる館整備事業	H24～H26	市内の遺跡出土の土器や石器等の遺物、市民寄贈の民具、近世浦添が窺える厨子甕や銘書などの展示活用及び保管收藏の為、市立港川共同調理場移転後の施設を展示収蔵施設に改修する工事を実施する。	前年度に作成した実施設計を基に、「歴史にふれる館」の改修工事を実施。	「歴史にふれる館」の改修工事を実施	(今後の展開方針) 平成26年度:追加改修工事及び収蔵品の搬入を予定 平成27年度:展示施設の閉館を予定	
	③	琉球空手のルーツを探る事業	H24～26	文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手(ティー)」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を実施する。	・琉球空手と中国武術の関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施	・琉球空手と中国武術の関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施	(今後の展開方針) H26年度 琉球空手と中国武術との交流と各研究者によるシンポジウムの入場者数:300人	
	④	琉球オペラ創出事業	H25	沖縄振興に資するため、琉球史を題材にした琉球オペラを創出公演し、観光客誘致や文化財の周知等まちづくりに寄与する。	琉球オペラ公演の開催:2回	琉球オペラ公演の開催:2回	(今後の展開方針) H26年度以降も、琉球オペラ「アオリヤエ」を上演し、観光客誘致の定着及び文化財等周知、まちづくりに寄与する。	
	⑤	てだこホール引割幕設置事業	H25	沖縄振興に資するため、てだこホールの機能拡大となる舞台引割幕を設置し、観光客向けのMICE誘致や顧客満足度の向上を図る。	引割幕の設置	引割幕の設置	(今後の展開方針) てだこホールでの講演会・演劇の開催が年5%増加。	
	⑥	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～H32	国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実を図る。 H25年度は、展示物の作成や文化財案内マップ等の作成、ガイド体制の充実と情報発信強化を行う。	・展示物の作成 4件 ・文化財案内マップ等の作成 1件 ・ガイド体制の充実および情報発信強化 1件	・展示物の作成 4件 (展示パネル、浦添グスク模型、高麗系瓦再現模型、市域全体航空写真) ・文化財案内マップ等の作成 1件 ・ガイド体制の充実および情報発信強化 1件 (歴史ガイドによるガイダンス施設の案内、浦添市の歴史・文化、市内文化財等に関する情報発信や情報提供等の実施、浦添グスクおよび浦添ようどれを巡回し見学者へのガイダンス施設案内)	(今後の展開方針) 平成26年度 展示物の作成 4件 文化財案内マップ等の作成 1件 ガイド体制の充実および情報発信強化 1件	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
10		浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25～H33	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:2人	南米移住者子弟研修生受入:2人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。	(今後の展開方針) ・実施予定内容 【H26・H27】研修生2名 【H28】研修生2名+フォローアップ研修生4名 ※世界のウチナーンチュ大会に合わせて過去の研修生を招聘し、その役割を更に認識させるためフォローアップ研修を行う。 ・本事業の目標 帰国後に移住先国との友好親善に寄与できる人材を育成する。また、沖縄滞在期間における市民との交流を通して、市民の国際化及び国際理解の高場に資する。	
11		～「子供が主役に」のまちづくり～子育て支援充実プロジェクト	H24～H33					
	②	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24～H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行なう。	学童クラブへの家賃補助 基準値(H25):9箇所 目標値(H28):7箇所	学童クラブへの家賃補助 : 9箇所実施	(今後の展開方針) 公的施設移行を進め、H28年度までに家賃補助対象学童クラブを7か所とする。	
12		「備えて安心安全」推進事業	H24～H28					
	①	災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24～H28	災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の住民の食料3日分を備蓄する。	非常用食糧の備蓄	非常用食糧の目標値率:(市の人口の5%の3食3日分の食糧の20%)	(今後の展開方針) H28年度 非常用食糧の備蓄率(対市人口):5%の3食3日の達成	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	②	災害時備蓄食糧保管倉庫等整備事業	H24～H28	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の整備や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	(今後の展開方針) 平成28年度までに5中学校の全小中校へ備蓄を行なう。	
13		ひと・まち・未来が輝く「てだこのまち」平和推進プロジェクト	H24～H33					
	①	航空機騒音基礎調査事業	H24～H33	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	・発生する航空機騒音のうち、昼間(7:00～19:00)、夕方(19:00～22:00)、夜間(0:00～7:00、22:00～24:00)の各時間帯における騒音レベルを測定。	・発生する航空機騒音のうち、昼間(7:00～19:00)、夕方(19:00～22:00)、夜間(0:00～7:00、22:00～24:00)の各時間帯における騒音レベルを測定。	(今後の展開方針) ・正確な数値・データを把握することに努める。 ・航空機騒音被害の具体的な把握により、国・米軍側へ騒音軽減の要請活動を実施する際の資料として活用する。	
	②	浦添市中学生平和交流事業	H25～H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では浦添市での戦争や平和祈念資料館等を活用した沖縄戦に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶとともに、平和を希求する心を培う。	市立中学校5校より、中学生10人、教諭1人を浦添市中学生平和交流団として長崎市へ派遣	市立中学校5校より中学生平和交流団として長崎市へ派遣:10人 ・長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。 ・報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。	(今後の展開方針) ・実施予定内容 中学生10人、教諭1人に対して長崎派遣を含む平和研修を継続して実施する。 ・本事業の目標 平和への願いを次代に引き継ぐとともに、本市の平和行政の柱である「平和都市宣言」「核兵器廃絶宣言」の精神を更に高め、市民の平和意識の高揚を図る。	
	③	里道及び水路の境界確定復元事業	H25	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・約125kmの里道及び水路表示登記延長率:10%	・約125kmの里道及び水路表示登記延長率:10%		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
④		牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24～H33	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援(3回)	(今後の展開方針) ・まちづくり活動会員数の拡大 (若手組織の人数を現在の6名からH28年度までに10名以上にす る)	
⑤		牧港補給地区情報システム事業	H24～H33	平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。	・牧港補給地区の土地及び所有者情報の把握・管理	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理	(今後の展開方針) ・牧港補給地区の跡地利用計画に資する情報の活用 (地主会に属していない所有者等の所在を把握し、資料の送付や説明会の案内等に役立てる)	
⑥		浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業	H24～H33	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。	・用地測量、不動産鑑定、用地取得業務費として11億円を基金へ積み立て。 用地測量委託業務:1,200筆 不動産鑑定委託:33路線 用地取得:1,530㎡	用地測量委託業務:1,200筆 不動産鑑定委託:33路線 用地取得:1,530㎡	(今後の展開方針) ・未買収道路用地取得基金は、3年間で積立てる予定。(H24年度:13億、H25年度:11億、H26年度:14億5千万) ・執行について、平成25年度より9年間で、約4億2,700万円/年を執行予定。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	名護市特色ある教育環境整備事業	H24~H33						
①	学習指導支援者配置事業	H24~H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。算数に課題を抱える小学校(4校)に学習指導支援者5名を配置し、主に3・4年生の算数の学習支援を行う。	学習指導支援者配置数 小学校:5人	支援児童数(小学校4校の3・4年生):580人	(今後の展開方針) ・学習指導支援者の効果的配置の検討		
②	生徒指導支援者配置事業	H24~H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者配置数 中学校:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数:5人	(今後の展開方針) ・生徒指導支援者の効果的配置の検討		
③	小中学校英語支援員配置事業	H24~H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	英語支援員の配置数:8人	支援児童数(小学校):1,439人 支援生徒数(中学校):2,202人 計:3,641人	(今後の展開方針) ・小中学校英語支援員の効果的配置の検討		
④	中学生海外短期留学派遣事業	H24~H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	応募人数:8校×5人=40人 派遣生徒選考人数:12人	海外短期留学派遣生徒数:12人	(今後の展開方針) ・海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度120人 ・現地学習プログラムの充実		
⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24~H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室支援員配置数:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数:6人	(今後の展開方針) ・適応指導教室支援員の効果的な配置の検討		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
バ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校が生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会等派遣生徒数:80人	大会等派遣生徒数 H25年度:80人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度:800人	
2		名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24～H26					
	①	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
	②	羽地地域直売加工施設整備事業	H24～H25	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。	敷地造成及び直売加工施設の建築	敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
	③	名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25～H26	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	基本設計及び実施設計の実施	基本設計及び実施設計の実施	(今後の展開方針) H26年度:造成工事、建設工事、施工管理、備品購入	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
3	名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24～H33						
①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、札幌ドームにて「名護デー」イベントを開催し、キャンプ見学者の誘致を図る。	プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。	プロ野球キャンプ見学者数 ・H25年度:20,000人 (基準値:H24年度17,799人)	(今後の展開) H26～33年度: ・駐車場確保 ・シャトルバス運行 ・警備員、誘導員配置 H26～28年度: ・「名護デー」開催 H26～28年度: ・少年野球チーム交流		
②	轟の滝周辺整備事業	H24～H27	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。	・用地測量 1件 ・用地買収 10筆 ・補償設計 1件 ・物件補償 1件	・用地測量 1件 ・用地買収 10筆 ・補償設計 1件 ・物件補償 1件	(今後の展開方針) H25～26年度:用地測量、用地買収、補償設計、物件補償 H26～27年度:周辺整備 H28年度:供用開始		
③	名護さくらのまち推進事業	H24～H25	名護さくら祭り会場となる名護城(ナングスク)及びその近隣の緑道並びに観光資源となっている勝山(安和岳、嘉津宇岳、八重岳)へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。	名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良の実施	名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良の実施			
④	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定事業	H25	平成21年度に整備された「名護漁港水産物直販所」と連携し、名護漁港を利活用した北部の農産物や特産品の販売による観光振興を目的とした「やんばる広域物産交流センター」整備を検討するための基本計画を策定する。	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定)	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定)	(今後の展開方針) H26年度以降:建設工事		
⑤	市内安全対策防犯カメラ設置事業	H25	本市及びやんばる地域への観光客等の安全安心確保のため、市内の観光地に防犯カメラを設置する。	市内の観光地(飲食街)への補助件数:1団体	観光地(飲食街)への防犯カメラ補助件数:1件			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
⑥		名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H27	特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っている。	物産展の開催：3回	物産展の来場者数：2,550人 物産展の売上高：2,550千円	(今後の展開方針) H26～H27年度： 商品改良(品質表示等)、名護市フェア、物産展等の開催等	
⑦		観光情報発信事業	H25～H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。	観光宣伝物の作成(秋、冬版) ①ポスター 500部 ②パンフレット 6,000部 ③映像(DVD) 100枚	観光宣伝物の作成(秋、冬版) ①ポスター 500部 ②パンフレット 6,000部 ③映像(DVD) 100枚	(今後の展開方針) H26年度：観光宣伝物作成(春、夏) 広告宣伝 セールス活動 H27年度：広告宣伝 セールス活動	
⑧		嵐山地域周辺整備に係る調査事業	H25	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を新たに観光エリアとして整備するにあたり、完成後の運営ランニングコスト、集客のシュミレーション等を調査し実効性の高い整備計画を作成する。	嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計)	嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計)	(今後の展開方針) H26年度：建設工事 H27年度：供用開始	
⑨		真喜屋運動広場整備事業	H24～H27	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	(今後の展開方針) H26年度：実施設計 H27年度：整備工事 H28年度：供用開始	
⑩		名護市営市場機能強化整備事業	H25～H26	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。	実施設計：1件	整備工事に係る実施設計完了：1件	(今後の展開方針) 平成26年度：整備工事(1件) ・渡り廊下 ・パティオ屋根 ・前広場雨除け ・植栽 等	10月変更(事業追加)
⑪		名護市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H25～H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを利活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	WiFi化に係る調査及び計画策定	WiFi化に係る調査及び計画策定(ネットワーク調査、構築手法等の基本計画の策定)完了	(今後の展開方針) H26年度：庁舎周辺のWiFi化整備、サービス開始 H27年度、H28年度：市街地周辺のWiFi化整備、サービス開始	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
	①		行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24~H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。 (H24年度:5地区(9行政区)、H25年度:23行政区、H26年度:23行政区、名護市全体で55行政区)	ハザードマップ作成数:23行政区分	ハザードマップ作成数:23行政区分	(今後の展開方針) H26年度:23行政区分 (H25年度は、津波及び高潮の被害を特に受けやすい沿岸部のハザードマップを優先して作成し、H26年度は内陸部23行政区分を作成する。)	
	②		テレビ共同受信施設ケーブル張替え事業	H25	災害時に必要な情報が取得できるよう難視聴解消施設の耐用年数を過ぎたテレビケーブルを更新し、共同受信施設の受信障害を未然に防ぐ。	耐用年数が過ぎたケーブルの更新:6施設	経年劣化によるケーブル断線の発生件数:0件		
5			名護市自転車まちづくり推進事業	H24~H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備:720m	自転車のレーンの整備:720m	(今後の展開方針) H26年度:自転車レーンの整備(900m)H27年度:自転車レーンの整備(640m)	
6			名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24~H25					
	①		金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24~H25	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人	(今後の展開方針) H26年度:企業招聘セミナー開催、パンフレット作成、国内外での広報活動	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等			
②	企業立地戦略策定事業	H25	就業率向上に向けた企業誘致を促進するため、屋部地区工場適地の条件分析及び市内・県内等の企業立地条件整理を行い、企業誘致活動プログラムを策定する。	企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定)	企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定)	(今後の展開方針) H26年度以降：本事業の成果を基に、企業誘致活動を促進		
③	豊原地区光ケーブル地中化事業	H25	台風等の自然災害時においても安定した通信環境を維持するため、国道329号線の情報ボックスから名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい2号館、みらい3号館までの光ファイバの地中管路による接続を実施し(通信網(光ファイバ、電話線)の地中化)、企業の事業継続に寄与する。	名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。	名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。 整備：L=約800m	(今後の展開方針) みらい3号館からみらい4号館まで、通信回線の地中化を行う。 整備：L=約1000m		
④	金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業	H25	雇用拡大による産業振興及び地域活性化を図るため、既存の基盤施設の機能強化(無停電装置設置、入退室システム設置、トイレ・シャワー室の改修工事、倉庫設置、駐車場増設、PC購入、ブース分割)を実施するとともに、キャリア教育向けパンフレット及び広報DVDを作成する。	・名護市マルチメディア館改修 ・名護市マルチメディア館駐車場増設 ・みらい1号館改修 ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成	・名護市マルチメディア館改修 就業者数に対し適切なトイレの設置数：14器 (基準値：H24：12器) 入退室システムの設定によるFISCセキュリティ基準のクリア 駐車場増設による駐車台数：417台 (基準値：H24：217台) ・みらい1号館改修 ブース分割による入居可能企業数：10社 (基準値：H24：1社) ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成 市内学生(小学校高学年・中学生・高校生)へのパンフレットの配布：約6,000名 キャリア教育講座の実施：26校(小中高)	(今後の展開方針) ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置工事を、行い、停電時の事業継続を可能にする。 ・継続してキャリア教育を実施し、各年代の就業観や就業意識の更なる醸成を図る。		
⑤	豊原地区養鶏場跡地利用整備計画策定事業	H25	更なる企業誘致、安定した就業の場の確保のため、金融・情報特区に相応しい就業施設の更なる充実を図る必要がある。そのため、移転の計画がある養鶏場跡地について地域の活性化を実現するための計画づくりを実施する	・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい5号館概略設計 ・みらい5号館造成基本設計	・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい5号館概略設計 ・みらい5号館造成基本設計	(今後の展開方針) 沖縄北部連携促進特別振興事業を活用し、当該事業で計画した施設整備を行っていく。 H26年度：みらい5号館造成実施設計 H27年度：みらい5号館造成工事、建築実施設計 H28年度：みらい5号館建築工事、外構工事		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
7		名護市地域力発信交流拠点施設整備事業(運天原)	H25～H26	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	建築設計及び土質調査の実施	建築設計及び土質調査の実施	(今後の展開方針) H26年度:建設工事着手 H27年度以降:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		糸満市まるごと博物館事業	H24～H33					
1	①	沖縄らしい風景づくり事業	H24～H25	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進めるため、風景づくり計画の策定を実施する。	糸満市風景づくり計画策定 糸満地区風景づくり行動計画策定	糸満市風景づくり計画策定 糸満地区風景づくり行動計画策定	(今後の展開方針) 景観条例の制定 景観関連事業の実施	
1	②	昔ながらの原風景写真デジタル保存事業	H24～H25	市史編集事業の一環で収集したフィルム等の写真資料は、地域の歴史を記録する貴重な文化資源であり、今後『市史』等刊行物での活用だけでなく、教現場や観光関連産業等、本市についての情報発信するあらゆる機会でも活用できることから、資料のデジタル形式による保存を図る。	写真資料のデジタル化及びデータベース化の実施(対象資料数120,000件)	所蔵写真資料等のデジタル化及びデータベース化率100%		
1	③	新しい公共交通検討事業	H24～H26	市への観光客の誘客を図るため、平成24年度に実施した本事業で示された那覇空港直行バスルートについて、実証実験の詳細計画を作成する。	新しい公共交通システム検討委員会(仮称)の開催 アンケート調査実施	報告書の作成 (実証実験詳細計画書)	(今後の展開方針) 平成26年度 那覇空港～糸満線の実証実験を行う。	
1	④	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24～H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の民俗地図等を作成する。本年度は、糸満町時代の民俗調査について記録された資料(仏語)の翻訳及び民俗地図を作成。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・旧糸満町での拝所等所在調査 ・仏語調査ノートの翻訳 ・市史講座の開催(2回)	・旧糸満町民俗地図の作成 ・仏語調査ノートの日本語翻訳資料作成 ・市史講座の参加者数 50人	(今後の展開方針) H26年度:旧高嶺村民俗地図印刷 H27年度:旧真壁村民俗調査 H28年度:旧糸満村民俗地図印刷 H29年度:旧喜屋武村民俗調査 H30年度:旧真壁村民俗地図印刷 H31年度:旧摩文仁村民俗調査 H32年度:旧喜屋武村民俗地図印刷 H33年度:旧摩文仁村民俗地図印刷	
1	⑤	地域散策道路整備事業	H24～H33	市まるごと博物館事業に取り組んでいるが、観光資源を有する各ムラ(農漁村)に観光客等が訪れる際、未整備の生活道路が数多く存在しており、レンタカーでの移動または散策の際に支障をきたしていることから、地域の移動を快適で安全なものにするためムラの道路を整備する。	設計委託及び工事実施	設計委託及び工事の実施 整備延長 980m	(今後の展開方針) H26～28年度:三和地区 H29～33年度:高嶺地区、兼城地区	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
1	⑥	冬場のエコスポーツ拡大事業	H24～H28	冬場(冬季)の観光振興を図るために、全国的なマウンテンバイク競技大会の開催が可能なコースの整備及び大会プロモーションを実施する。	マウンテンバイク競技大会の実施	大会来場者数 400人	(今後の展開方針) H28年度:大会来場者数 500人 H26～28年度:日本マウンテンバイク協会公認に向けてコースを整備する	
1	⑦	高嶺間切番所跡公園整備事業	H25～H26	高嶺間切番所跡地の歴史的役割等の情報揭示により地域を散策する観光資源を創出し、観光客の誘致につなげるとともに地域住民の郷土愛を育むため、高嶺間切番所跡地の整備を実施する。	高嶺間切番所跡公園整備の設計	高嶺間切番所跡公園整備の設計完了	(今後の展開方針) H26年度:高嶺間切番所跡公園整備工事	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1	⑧	ハーリー・ハーレー舟造舟事業	H24～H25	沖縄の夏を告げる行事として、さらに沖縄独特の旧暦文化を体感できる観光資源として名高い糸満ハーレー・名城ハーリー・喜屋武ハーリーを一層魅力ある観光資源とするため、木製のサバニを年次的に整備する。		・喜屋武ハーリー舟(3隻)の委託製作	(今後の展開方針) H26年度:供用開始 喜屋武ハーリーで使用	
2		糸満市まるごとスマート化事業	H24～H29					
2	①	省エネ設備化推進事業	H24～H29	市の環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、学校を含む公共施設の照明をLED対応の器具を導入する。平成25年度は小・中学校の体育館照明、市庁舎照明、自治会防犯灯をLED化する。	小学校体育館LED照明設置:4校 中学校体育館LED照明設置:3校 市庁舎LED照明設置 自治会防犯灯LED照明設置800個	小学校体育館LED照明設置:4校 中学校体育館LED照明設置:3校 市庁舎LED照明設置 自治会防犯灯LED照明設置800個	(今後の展開方針) H26:自治会防犯灯LED照明800個 H27:自治会防犯灯LED照明800個 小学校体育館LED照明1校 H28:市消防本部LED照明設置 H29:市立図書館LED照明設置	
2	②	電動式塵芥収集車導入事業	H24～H25	クリーンなまちづくりを啓発するため、塵芥収集車に電気自動車を導入する。	・電動式塵芥収集車 1台導入	・電動式塵芥収集車 1台導入	(今後の展開方針) 電気式塵芥車(市直営2台(2t車、3t車)) を使用してごみ回収率100%	
2	③	燃料ごみ処理モデル事業	H24～H29	最終処分場を保有していない本市では、自区内処理ができず、廃棄物の減量化及び資源化を推進する必要があるため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治への説明会等を行うなど同事業の拡大に取り組む。	・燃料ゴミ収集活動の実施100回/年 ・燃料ゴミ化推進広報の実施10回/年	・H25年度 再資源化(RPF)量118トン	(今後の展開方針) H26～H29 再資源化(RPF)量を毎年度5トン増、H29年度に140トン。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)			
3		アマチュアスポーツのメッカ事業						
3	①	スポーツ観光分野開拓事業	H24～H26	生涯スポーツを推進するスポーツ都市宣言のまちとして、さらに他自治体と異なるアマチュアスポーツのメッカの地としてPRし市外からの誘客をもたらすため、海洋スポーツフェスティバルやウォーキング大会を開催する。	ウォーキング大会の開催 海洋スポーツフェスティバルの開催	スポーツイベント参加者数1,500人/年	(今後の展開方針) H26年度: ウォーキング大会開催 海洋スポーツフェスティバル開催	
3	②	地域スポーツ施設の拡充事業	H24～H26	市政運営の一つの柱として「アマチュアスポーツのメッカ」事業を推進し県内大会、九州・全国大会の誘致に取り組んでおり、当該事業のさらなる推進に向けて、選手受け入れ環境を拡充するため、地域に散在するスポーツ施設を年次的に改善する。	・真栄里屋外運動場整備設計、工事の実施	・真栄里屋外運動場整備設計、工事の実施	(今後の展開方針) H26年度:西崎6丁目近隣公園整備	
3	③	運動公園・体育施設機能強化事業	H24～H27	本市は、アマチュアスポーツのメッカのまちとしてPRし、合宿や大会参加など県外から多くの選手を受け入れており、スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化に取り組む。	・陸上競技場・野球場の設計及び工事の実施	・陸上競技場・野球場の設計及び工事の実施	(今後の展開方針) H26年度:委託業務・工事(サッカー) H27年度:委託業務・工事(テニスコート)	
4		観光客が安心して訪れるまち事業	H24～H30					
4	①	海拔表示委託事業	H24～H25	観光戦略を展開するうえで、安心安全対策は必須であることから、本市を訪れた人にも住む人にも安心な環境を整えるため、観光地をはじめ市内各地に海拔表示を行う。	海拔表示の設置数 230箇所	海拔表示の設置数 230箇所		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	②	海洋レジャー客等安心確保事業	H24～H25	スーサイドクリフ等のサーフポイントやスキューバダイビングポイント、ビーチ、港等を有する本市では、海洋レジャーで訪れる観光客も多い。また、サーフィン大会が開催されるなど海上イベント等も拡大傾向にあることから、水難事故等の不測の事態への対応力強化が急務となっている。このことから、観光客等の安心を担保する環境を整備するため、水難救助艇のけん引搬送、潜水資機材搬送用の資機材運搬車及び移動式呼吸器用高圧空気圧縮機(エア・コンプレッサー)を整備する。	資機材運搬車の配備:1台 移動式呼吸器用高圧空気圧縮機:1台	資機材運搬車の配備:1台 移動式呼吸器用高圧空気圧縮機の整備:1台	(今後の展開方針) H25年度:使用開始	
4	③	避難誘導標識整備事業	H25	災害発生時に、地理に不慣れな観光客が迅速かつ安全に避難場所へ移動できるよう、観光客の安心・安全を図るため、低地から避難所に向けて避難誘導標識を設置する。	避難誘導標識設置数 60箇所	避難誘導標識設置数 60箇所		
4	④	観光地危険生物駆除事業	H25～H30	本市に多くある慰霊碑や塔は、山間部や岩場等ハブなどの危険生物が生息する箇所に多く建立されており、そこを訪れる観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除及び注意喚起看板を設置する。	ハブ捕獲器100基作成 注意喚起看板40基製作	ハブの捕獲器100基及び注意喚起看板40基を三和地区10カ所に設置	(今後の展開方針) 平成26～30年度 発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置により、ハブ咬傷被害0件を目標とする。	
5		宣伝・受入体制整備事業	H24～H29					
5	①	多言語観光案内マップ作成事業	H24～H26	大型ホテルの営業に伴い増加傾向にある外国人観光客のさらなる誘客に向けて、外国人観光客の市内散策ができるよう、多言語マップを作成する。	多言語観光ガイドマップ(ブック)の作成 英語版 1,000部 中国語版1,000部	多言語観光ガイドマップ(ブック)配布数 2,000部	(今後の展開方針) 多言語ガイドマップ(ブック)作成 H26年度 韓国語版 1,000部	
5	②	糸満ふるさと祭推進事業	H24～H29	ふるさと祭りを夏場の観光資源化と誘客力を高めるため、実行委員会へ補助金を交付する。	糸満ふるさと祭りの開催	糸満ふるさと祭り来場者 33,000人	(今後の展開方針) 物産交流展来場者数 H29年度:38,400人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
5	③	平和の光イベント推進事業	H24～H29	冬場は本県並びに本市の観光客が閑散とするため、市内外の誘客を図るため、本県冬場の一大イベントである平和の光(イルミネーション)を実施する。	平和の光イベントの開催	平和の光イベント来場者数 80,000人	(今後の展開方針) 平和の光イベント来場者数 H29年度:100,000人		
5	④	体験交流促進事業	H24～H29	一次産業が盛んで体験型観光の最適地である本市の利点を生かし、観光客のさらなる誘客を図るため、体験型観光メニューの開発及び実施に取り組む。	体験交流指導員等の育成 体験交流イベントの開催 2回	体験交流指導員等の育成 5人 体験交流事業参加者数 200人	(今後の展開方針) H26～H29年度 体験交流指導員等育成20人(累計) 体験交流事業参加者数800人(累計)		
5	⑤	接客スキルアップ事業	H24～H26	商業及び商店街の活性化に向けて、糸満市を訪れる中国及び東南アジア観光客が商店街へ回遊した際の接客技術等の向上を図るため、販売促進講座等を開催する。	講習会の実施 講習会参加者募集	講習会実施回数 19回 講習会参加人数 160人	(今後の展開方針) H26年度:講習会実施回数 19回 講習会参加人数 160人		
5	⑥	伝統行事観光化事業	H24～H29	市内の伝統行事を市内外からの観光客の誘客に活用するため、誘客マネジメント、体験ツアー実証実験、観光客用観覧席の設置を行う。	誘客マネジメント(観覧席設置) 体験ツアー実証実験 2回	誘客マネジメント(糸満大綱引行事観覧席設置) 体験ツアー実証実験(観覧者90名)	(今後の展開方針) H26～29年度 観覧席設置2回(糸満ハーレー、糸満大綱引行事) 体験ツアー実証実験年間180名		
5	⑦	民泊受入体制強化事業	H24～H29	市を訪れる観光客のさらなる増加を目指し、民泊事業の市民への周知と受け入れ世帯の開拓による教育旅行の拡充を図るため、安心・安全な受け入れに向けた研修や知識向上などの民泊受入体制の整備に取り組む。	民泊受入民家向け講習会の開催数 6回	民泊受入民家向け講習会受講者数(延)150人	(今後の展開方針) H29年度 講習会受講者数(延)600人 民泊観光客数 2,000人		
5	⑧	地域の祭りの観光資源化事業	H25～H28	地域の祭りの魅力を高め、観光客の誘客に結びつけるため、姉妹都市で開催される祭り和本市2大祭の一つである糸満大綱引との連動を図るとともに、姉妹都市祭りの参加者を本市観光の魅力等のPR活動を担う市宣伝員(仮称)に任命する。	宣伝員任命者数:10人	宣伝員のPR活動 ・道の駅つの物産展及び各種祭りにて物産紹介と販売促進活動を行う ・各種イベント時に本市より寄贈された衣装をきて本市のPRを行う。 ・本市地域の祭りに参加しての感想文を都農町HPに掲載する	(今後の展開方針) H25:糸満大綱引(宮崎県都農町)宣伝員10名 H26:糸満大綱引(北海道網走市)宣伝員10名 H27:糸満ハーレー(宮崎県都農町)宣伝員10名 H28:糸満ハーレー(北海道網走市)宣伝員10名		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	⑨	道の駅いとまんアーケード上屋建築事業	H25～H26	観光客のさらなる誘客を目指し、市内で最も多くの観光客が来場する「道の駅いとまん」と周辺施設との連携強化を図り、雨天時や強い直射日光を避けて周辺施設の移動が可能となるよう、アーケード上屋の設置のため同施設管理組合を支援する。	アーケード上屋建築設計事業補助金交付	アーケード上屋建築設計事業の完了	(今後の展開方針) H26年度中にアーケード建築工事に着手し、次年度当初よりの運用開始を目指す。	
5	⑩	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25～H29	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を設置する。	文化交流・情報発信拠点施設の基本計画の策定 ・施設の機能及び規模 ・施設配置、舞台、展示設備 ・建設設備、運営概算費 ・建設候補地 等	文化交流・情報発信拠点施設基本計画の策定	(今後の展開方針) H26年度:基本設計、用地取得 H27年度:前期実施設計 H28年度:後期実施設計、前期工事 H29年度:後期工事	
5	⑪	農園観光拠点事業	H25～H26	農業の振興と地域活性化を目指すために作られたテーマパークである糸満市観光農園は、県内有数の観光スポットの動線上にあるとともに、県内に数少ない地域の「農業」とリンクした観光施設であり、同施設のさらなる活性化と同施設を活用した地域の観光振興を図る目的で、施設の潜在力・可能性をフィジビリティ・スタディ(実行可能性調査)を実施する。	農園型観光の調査活動の実施	基本方針等の作成	(今後の展開方針) H26年度:計画策定、対策の実施	
5	⑫	糸満漁港整備事業	H25～H28	海水交流の促進による水質の改善及び施設の利便性向上のため、糸満漁港ふれあい地区内ビーチを浚渫するとともに、養浜・通路・波除堤等を整備する。また、観光漁業の推進を図るための調査及び施設整備を行う。	糸満漁港ふれあい地区の浚渫及び養浜等に係る現況調査及び実施設計	糸満漁港ふれあい地区の浚渫及び養浜等に係る現況調査及び実施設計	(今後の展開方針) H26～28年度:浚渫・整備工事	10月変更(計画変更に伴う事業内容変更)
6	①	糸満市水産業振興センター設置事業	H24～H32	「漁業のまち」、「海人のまち」として市内外に知られ、市の発展に大きく貢献してきた水産業の振興に向けて、新たな水産技術の習得と応用による養殖・水産加工業等の新たな水産業の確立のための施設を整備する。	基幹インフラ・建築設計の実施 事業計画の実施	基幹インフラ・建築設計の実施 事業計画の実施	(今後の展開方針) H25年度:基本設計・実施設計 H26年度:建設工事 H27年度:建設工事	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
7		陸幸振興事業						
7	①	耕作放棄地対策事業	H24～H33	農業振興に向けて土地の流動化を促進するため、耕作放棄地の実情を把握し、規模拡大希望農家への農地斡旋を推進する。	耕作放棄地の調査活動の実施 権利者名簿作成	耕作放棄地の実態調査 350,000㎡ 権利者名簿作成 300筆	(今後の展開方針) 調査及び農地あっせん実施 H26～H33年度 調査予定面積 350,000㎡/年 権利者名簿作成300筆/年 借手農家斡旋20筆/年	
7	②	糸満和牛群改良整備事業	H24～H29	農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛のリース:40頭	優良母牛導入率:33% (導入予定数240頭 H24～H25:80頭導入)	(今後の展開方針) 優良母牛リース計画年度別頭数 H24～29年度:毎年40頭(累計240頭) 導入率:H29年度100%	
7	③	小規模農家支援事業	H24～H29	小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化に向けて、減農薬、減肥料及び鳥獣対策を推進するため、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。	防風ネット設置及び簡易パイプハウス設置	防風ネット設置数 10箇所 簡易パイプハウス設置数 40基	(今後の展開方針) ・防風ネット設置 H26～29年度:10箇所/年 ・簡易パイプハウス設置 H26～29年度:40基/年	
7	④	農業機械リース支援事業	H25	遊休地等の解消でさとうきびを中心とした農作物の作付面積及び単収の向上に向けて、深耕作業(土づくり)に取り組むため、油圧ショベルを導入する。	油圧ショベルのリース:1台	H25深耕面積:50,820㎡(約15,373坪) 1,155㎡/日×2.2回/週×20週=50,820㎡	(今後の展開方針) H25:50,820㎡ H26:138,000㎡ H27:144,000㎡ H28:150,000㎡ H29:150,000㎡	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
8		海幸・陸幸連携事業						
8	①	姉妹都市等物産交流事業	H24～H29	市内工業団地内で製造された商品等の県外の販路が脆弱なため、宮崎県都農町(姉妹都市)及び北海道網走市(友好都市)において販路拡大を目的とした物産展を開催する。	物産展の開催:6回	物産交流会参加事業者数(延) 60事業者 物産交流展来場者数(延) 30,000人	(今後の展開方針) 物産交流展来場者数 H29年度:(延)79,900人	
8	②	報得川タマン祭・西崎フェスタ	H24～H29	市内(西崎)の商業地域と住民を結びつけるとともに、市内農水産加工物等のPR及び販路拡大を図るため、商業地域において、報得川タマン祭り及び西崎フェスタを開催する。	西崎フェスタ・報得川タマン祭りの開催	西崎フェスタ・報得川タマン祭り来場者数:6,000人	(今後の展開方針) 祭り来場者数 H26～29年度:24,000人(累計)	
8	③	糸満フェア開催事業	H25～H29	本市の商工業の振興に向けて、多くの市民並びに県民へ地場産品をアピールし販路拡大を図るため、糸満フェアを開催する。	糸満フェアの開催:1回	参加事業者数 10事業者 糸満フェア来場者数 10,000人	(今後の展開方針) フェア来場者数 H26～29年度:40,000人(累計)	
9	①	平和の語り部育成事業	H25～H29	戦争を身をもって体験した語り部が減少する中、苛烈を極めた地上戦が行われた沖縄県糸満市として、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に継承するために、新たな「平和の語り部」を育成する。併せて、広く市民等に平和の啓発・発信するため、平和講演会並びにイベントを実施する。	語り部育成研修会の開催数 第1過程:3回 第2過程:3回 講演会開催数:1回	語り部育成研修会受講人数 第1課程:18名 第2課程:17名 計35名 講演会観客数:約400名	(今後の展開方針) H26年度 育成者目標53名(延) H27年度 育成者目標71名(延) H28年度 育成者目標89名(延)	
10		糸満市人材育成事業	H24～H29					
10	①	確かな学力を育むサポート事業	H24～H29	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	学習指導支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人	・学習指導支援児童数 小学校:175人 生徒数 中学校:107人	(今後の展開方針) 学習指導支援員 H26～H29 毎年度16人配置	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
10	②	英語指導事業	H24～H29	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手配置数 小学校:4人、中学校:3人	英語指導助手配置クラス数 小学校:45クラス、中学校:61クラス	(今後の展開方針) 英語指導助手 H26:8人配置 以後毎年度8人配置	
10	③	障がい児支援ヘルパー派遣事業	H24～H29	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともに、ヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。	障がい児支援ヘルパーの配置 幼稚園:4人、小学校:27人、中学校:4人	支援園児・児童・生徒数 幼稚園:13人、小学校:36人、中学校:1人	(今後の展開方針) 障がい児支援ヘルパー H26:35人配置 以後毎年度35人配置	
10	④	学習ボランティア推進事業	H24～H29	学力向上を目的として、退職教諭や学生等による「学習ボランティア」を活用し、学校現場へ学習ボランティアを派遣するとともに、運営者の指導の充実を図るため、学習指導ボランティアの連絡協議会を開催する。	学習ボランティア員の派遣 小学校7校、中学校2校 学習ボランティア連絡協議会の開催 2回	学習ボランティア員の派遣回数:270回	(今後の展開方針) 学習ボランティア派遣 H26:15人(10校) H27～H29 毎年度20人(10校)	
10	⑤	学びの体験事業	H24～H26	学力調査で全国一低い沖縄県の状況を改善するため、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における“学び”を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、学力向上を図るため、学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣する。	同交流参加者数 55人 (小学生20人、中学生16人、幼小中教諭14人、団長1人、看護師1人、事務局3人)	・報告書作成し、各学校及び報告会で配布(16校、1000部) ・実践発表のため報告会の開催	(今後の展開方針) 先進地交流参加数 H26年度:55人	
10	⑥	特別支援教育指導コーディネーター配置事業	H25～H29	障がいのある児童生徒に関し、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面から支援する特別支援教育を行うため、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	特別支援教育指導コーディネーター配置1人	市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年120回	(今後の展開方針) 特別支援教育コーディネーター配置 H26～H29 毎年度1人配置	
10	⑦	教育用コンピュータ整備事業	H25～H29	学校のICT環境整備を行うことでパソコン・校内LANを通じたインターネットの活用等により、分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、コンピュータを導入する。	教育用コンピュータ整備:3小学校(103台)	市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:16%	(今後の展開方針) コンピュータ整備総数:613台 H26:4校(164台) H27:4校(164台) H28:2校(64台) H29:3校(118台)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
10	⑧	適応指導教室設置事業	H25～H29	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	適応指導教室補助教諭配置数：1人 教育相談員：2人	サポート児童生徒の平均登校日数：80日	(今後の展開方針) 補助教諭・教育相談員配置 H26～H29 毎年度3人配置	
10	⑨	情報教育支援員配置事業	H25～H29	児童生徒のコンピュータ授業支援及び教諭に対するコンピュータ教育の指導及び支援を行い、情報化時代に対応しうる人材を育成する情報教育を推進するため、市内小・中学校に情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員配置1人	市内小中学校16校へ派遣	(今後の展開方針) 情報教育支援員配置 H26～H29 毎年度1人配置	
10	⑩	教育環境整備事業	H25～H29	児童の教育環境改善を目的に、劣化した小学校校舎屋根の断熱防水工事、空調設備設置工事、ハブ侵入防止対策工事及び中学校の空調設備設置工事を行う。	屋根断熱防水施工数：2校 小学校空調機設置数：2校 ハブ防護フェンス設置数：1校 中学校空調機設置数：3校	屋根断熱防水施工：2校 小学校空調機設置：2校 ハブ防護フェンス設置：1校 中学校空調機設置：3校	(今後の展開方針) H26：(断熱)小学校2校、中学校3校 (空調)小学校2校、中学校3校 H27：(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校 H28：(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校 H29：(断熱)幼稚園1園 (空調)小学校2校、中学校3校	
11		糸満市子育て支援事業						
11	①	子育て応援NPO活動支援事業	H24～H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	相談活動、訪問活動、親対象の研修、支援者対象研修	・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 7回 ・支援者対象研修 9回	(今後の展開方針) H26～33年度 ・相談活動 80件/年 ・訪問活動 70件/年 ・親対象の学習会 7回/年 ・支援者対象研修 9回/年	
11	②	公立保育所環境整備事業	H24～H25	亜熱帯気候である沖縄特有の自然環境から保育所に入所している乳幼児を守り、安心して保育ができる環境を確保するため、保育園舎に断熱塗装を行う。	断熱塗装工事の実施 1カ所	対策工事を実施した施設利用児童数 65名		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号				H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
パ	細							
12	①	障がい者就労支援事業	H24～H28	障がいのある方の雇用は極めて厳しい状況にあり、住み慣れた地域での雇用の確保に向けて、障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、移動式販売所を設置するとともに、商品開発、商品PR等物販に係るノウハウを習得のための支援を行う。	事業所連絡会議の開催 8回 事業所職員研修の開催10回	新商品開発件数：10件	(今後の展開方針) H26～H28年度 ①市内就労支援事業所への個別支援（市内全15箇所） ②商品開発、販路拡大等件数（累計）48件	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		コザ文化を活かした観光振興プロジェクト	H24～H30					
1	①	観光基盤整備事業	H24～H29	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、Wi-FiスポットやAR基盤アプリケーションの整備・拡充などをおこなう。	タッチパネル式観光掲示板の設置 1件 無料公衆Wi-Fiの導入 1エリア 観光ポータルサイトの構築 ICTサービスの実施 観光プロモーションの実施 各メディア1回以上 事業効果測定 国内1回 海外1回	主要イベント来場者数 663.3千人 主要施設来場者数 2,280千人	(今後の展開方針) H26年度 公衆Wi-Fiサービス及び観光ポータルサイト、ICTサービスの提供・充実、観光プロモーション及び効果測定等の実施 H27～29年度 公衆Wi-Fiサービス及び観光ポータルサイト、ICTサービスの提供 主要イベント 沖縄全島エイサーまつり、エイサーナイト、おきなわマラソン、ピースフルラブ・ロックフェスティバル、ミュージックタウン音市場イベント、キジムナーフェスタ、沖縄こどもの国フェスティバル、沖縄国際カーニバル、沖縄市産業まつり 主要施設 コザ運動公園、沖縄こどもの国、沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート、中部ファーマーズマーケットちゃんぷるー市場、倉敷ダム、バヤオ直売店	
1	②	kozaフィルムオフィス事業	H24～H29	伝統文化や景観など本市の地域資源を観光情報として発信し、誘客の拡大を図るため、魅力ある地域のロケ地情報の発信や撮影の誘致等を支援する。	誘致活動 撮影支援 エキストラデータベース作成 ロケ地マップ等の製作 2,000部 撮影誘致助成 2件 映像コンテンツ制作助成 1件	撮影誘致 15件	(今後の展開方針) H26～29年度 撮影隊誘致活動 4回/年 撮影隊の支援 12ヶ月 ロケ地情報等の情報発信 HP充実等 撮影誘致助成 3団体 主要イベント来場者数 平成28年度目標 73万人 主要施設来場者数 平成28年度目標 241万人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	③	音楽資源収集事業	H24～H26	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、関係者への聞き取り調査、再現演奏記録、企画展の開催等、音楽資料の常設展示に向け取り組む。	音楽・芸能資源収集数650点 展示会の開催：2回以上	音楽・芸能資源収集数650点 展示会の開催：2回以上	(今後の展開方針) H26年度 音楽資源の収集・整理 ミュージシャン聞き取り	
1	④	音楽観光誘客事業	H24～H28	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光資源であるライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。 また、誘客を図るため、観光産業や音楽産業との連携によるプロモーションなどを実施する。	平日ライブの開催 378回 週末企画イベントの実施 11回 野外音楽イベントの開催 1回 ワークショップの開催 8回	ライブハウス入場者数 11,770人 ライブハウス集客率 70% 野外音楽イベント集客数 3,300人 ワークショップ参加者数 80人	(今後の展開方針) H26年度 自主イベント補助 オリジナルエンタテインメント公演支援 2公演 野外音楽イベントの開催 1回 沖縄芸能企画展の実施 1回 ワークショップの開催 10回 H27年度 自主イベント補助 オリジナルエンタテインメント公演支援 4公演 野外音楽イベントの開催 1回 沖縄芸能企画展の実施 1回 ワークショップの開催 15回 H28年度 自主イベント補助 オリジナルエンタテインメント公演支援 6公演 野外音楽イベントの開催 1回 沖縄芸能企画展の実施 1回 ワークショップの開催 15回	
1	⑤	外国人誘客推進事業	H24～H29	アジア地域からアーティストおよびマスメディアの招聘等により、誘客の拡大を図ることを目的とし、本市発祥のオキナワロックなどを中心とした多彩な音楽イベントを実施する団体に支援を行う。	外国音楽アーティストの招聘 2組 外国メディアの招聘 2カ国 海外プロモーション 1組	ピースフルラブ・ロックフェスティバル来場者数 4,000人	(今後の展開方針) H26～29年 外国音楽アーティストの招聘 2組/年 外国メディアの招聘 2カ国/年 海外プロモーション 1組/年	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	⑥	文化活動拠点施設改修事業	H24～H30	観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇等に加え、県外有名アーティストのコンサートも開催される文化活動拠点施設である市民会館の舞台音響など設備の機能充実を図る。	沖縄市民会館 舞台照明設計 1件 音響設備改修 1件	沖縄市民会館 稼働率 70%以上	(今後の展開方針) H26年度 設計:舞台機構 改修工事:舞台照明 H27年度 設計:空調改修 改修工事:舞台機構 H28年度 設計:音響・照明 改修工事:空調 H29年度 設計:照明 改修工事:音響・照明	
1	⑦	国際交流事業	H24～H28	市内に住む多様な国籍の住民等が交流できる国際交流拠点施設において、情報発信、生活相談、各種語学講座、異文化理解講座等をおこなう。	コザインターナショナルプラザの運営 語学講座(英・中・スペイン) 多言語相談窓口(上記言語) 日本語交流会 異文化理解講座 情報発信、生活相談、法律相談等	受講者等人数 語学講座(英・中・スペイン) 2,500名 多言語相談窓口(上記言語) 120名 日本語交流会 1,100名 異文化理解講座 350名 情報発信、生活相談、法律相談 120名	(今後の展開方針) H26～28年度 語学講座(3ヶ国語) 週3回 多言語相談窓口 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信、生活相談、法律相談等 随時	
1	⑧	エイサー文化発信事業	H24～H29	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる(仮称)青年エイサー会館の整備に向けた取り組みを推進するとともに、エイサー関連資源のブランド化の支援、「沖縄全島エイサーまつり」におけるシャトルバスの運行やエイサーの担い手の育成、エイサーによる文化交流活動への支援などを行う。 また、エイサーのまちづくり基本計画を策定するとともに、バナー掲揚等によるPR活動、エイサー体験などによる観光誘客等に取り組む。	・エイサーのまちづくり基本計画の策定 ・エイサー会館準備室の運営 ・沖縄全島エイサーまつりシャトルバスの運行 ・沖縄全島エイサーまつり打上花火、レーザーショーの実施 ・エイサー検定の支援 ・エイサーキャラバンの支援 ・エイサーグッズ開発の支援 ・エイサーコーディネート業務 ・エイサー資源活用業務	・沖縄全島エイサーまつり来場者数 320千人 ・エイサーナイト来場者数 11千人 ・主要イベント来場者数 663.3千人 ・主要施設来場者数 2,280千人	(今後の展開方針) H26～29年度 エイサーキャラバン 2回/年 エイサー検定 4種類/年 沖縄全島エイサーまつり空間演出 2日/年 沖縄全島エイサーまつりシャトルバス 2日/年 (仮称)青年エイサー会館 H26年度:実施設計 H27年度:用地取得 H28年度:建設工事 H29年度:オープン	
1	⑨	エイサーサイン整備事業	H24～H28	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの絵柄を取り入れた下水道のマンホール蓋等を設置する。	市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置箇所 100ヶ所/年	市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置箇所:100ヶ所/年	(今後の展開方針) H26年度:100基 H27年度:100基 H28年度:100基	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	⑩	伝統文化観光推進事業	H24～H29	本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ウマハラセー(美ら競馬)」の復活への支援を行う。	ウマハラセーの開催 3回 ウマハラセーの普及活動 12ヶ月	ウマハラセー観覧者 3,000人	(今後の展開方針) H26～29年度 ウマハラセーの大規模イベント 3回/年 小規模イベント 9回/年 普及活動 12ヶ月	
1	⑪	地域自然環境調査事業	H24～H27	嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境資源が現存する「嶽山原」地域等の自然環境実態を把握するため、動植物の調査をおこなうとともに、本市で見られる野鳥の標本制作等により展示資料の充実を図る。	嶽山地域等の自然調査の実施 野鳥の標本制作 9点	市内陸域の動植物調査実施率 60% 採集した標本を活用した展示会 来館者 1,000人 (沖縄市立郷土博物館の来館者目標 15,500名)	(今後の展開方針) H26年度 市内全域の調査 H27年度 原稿執筆など特別展示に向けた取り組み	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1	⑫	戦後文化資料等展示事業(デジタル化)	H24～H29	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」のさらなる誘客の拡大を図るため、本市に関する映像資料の調査収集及び新聞記事資料のデジタル化を行う。	新聞記事デジタル化作業 2001年～2005年 戦後映像資料調査及び収集作業	新聞記事デジタル化作業進捗状況 100%(H25年度分) 沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート来場者数 13,000名	(今後の展開方針) 新聞記事デジタル化 H26年度 2000年～1993年 H27年度 1992年～1985年 H28年度 1984年～1977年 H29年度 1976～74年 2012～15年 映像資料調査及び収集作業 H26年度～H27年度	
1	⑬	観光宣伝事業	H25～H29	観光誘客の拡大を図るため、観光プロモーション活動や観光情報誌の製作等による情報を発信するとともに、観光実態調査の実施などに取り組む。	観光情報誌 1種類 通年型観光マップ 1種類 季刊誌 2種類 WEBコンテンツ 12ヶ月 アンケート調査 4種類 観光ガイド養成 20名 観光メニュー開発 10種類 モニターツアー 3回 情報発信 12ヶ月	主要イベント来場者数 663.3千人 主要施設来場者数 2,280千人	(今後の展開方針) H26～29年度 観光情報誌 1種類/年 通年型観光マップ 1種類/年 季刊誌 2種類/年 WEBコンテンツ 12ヶ月/年 アンケート調査 4種類/年 観光ガイド養成 20名/年 観光メニュー開発 10種類/年 観光体験受入 12ヶ月/年 モニターツアー 3回/年 情報発信 12ヶ月/年	
1	⑭	自主文化事業	H25	沖縄市をPRし、さらなる誘客を図るために、沖縄市発の市民ミュージカル「コザ物語」を市内外で公演する。	市民ミュージカル「コザ物語」上演 2回	来場者数 約800人	(今後の展開方針) H26年度:コザ物語県外公演	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		スポーツコンベンション推進プロジェクト	H24~H29	/		/		
2	①	スポーツ推進整備事業	H24~H28	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、沖縄市総合運動場における運動器具等の備品を充実する。	運動器具等の備品の購入 整備車両 1件 運動器具購入 1件 備品購入 1件	コザ運動公園 利用者数 771,800名	(今後の展開方針) H26年度 整備車両の購入 H27年度 運動器具購入 H28年度 運動器具購入	10月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
2	②	スポーツコンベンション推進事業	H25~H29	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ等団体のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験およびイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。	スポーツ合宿・大会誘致 1回 プロスポーツ団体等活動支援 4団体 スポーツコンベンション推進協議会開催	スポーツ合宿延べ宿泊者数 12,000人	(今後の展開方針) H26~29年度 スポーツ合宿誘致 1回/年 スポーツ大会誘致 1回/年 プロスポーツ団体活動等支援 4団体/年 スポーツ講演講師招聘 1回/年	
2	③	商店街スポーツイベント等連携促進事業	H25	商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。	シャトルバスの運行 8回 グッズ開発 4種類 まち歩きツアーの実施 4回 パンフレット等制作 2種類	商店街等利用ポイント発行数 5,000ポイント		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		H25成果目標(指標)	今後の展開方針等	
3		観光都市基盤整備事業	H24～H33						
3	①	道路景観形成推進事業	H24～H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路の植栽整備設計をはじめ、街路樹の剪定や道路鉾の設置工事、道路照明器具の整備等をおこなう。	沿道美化業務 L=13,000m 道路植栽等整備実施設計 照明灯LED化 取替10基、新設4基 道路植栽等整備 2路線	沿道美化業務 L=13,000m 道路植栽等整備実施設計 照明灯LED化 取替10基、新設4基 道路植栽等整備 2路線	(今後の展開方針) H26年度 沿道美化業務 L=13,000m 実施設計(道路植栽等)L=3km 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基、新設4基 H27年度 沿道美化業務 L=13,000m 実施設計(道路植栽等)L=3km 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基、新設4基 H28年度 沿道美化業務 L=13,000m 実施設計(道路植栽等)L=3km 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基、新設4基 H29年度 沿道美化業務 L=13,000m 実施設計(道路植栽等)L=3km 道路植栽等整備 2路線 照明灯LED化 取替10基、新設4基		
3	②	観光地周辺道路整備事業	H24～H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、歩行空間の整備をはじめ、観光地の各種案内サイン、ゲートモニュメント、ストリートファニチャー、横断防止柵等の整備等をおこなう。	道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基 歩道照明 64基 横断防止柵設置 1,990m	道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基 歩道照明 64基 横断防止柵設置 1,990m	(今後の展開方針) H26年度 道路整備実施設計 500m サイン・モニュメント等の整備 3基 H27年度 道路整備実施設計 500m サイン・モニュメント等の整備 3基 H28年度 サイン・モニュメント等の整備 3基 H29年度 サイン・モニュメント等の整備 3基		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものである。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		こども文化創造事業	H24～H32					
4	①	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ推進事業	H24～H28	世界の優れた舞台芸術を提供する「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(キジムナーフェスタ)」を開催し、こどもたちが優れた文化芸術にふれ、体験・交流できる機会を創出する。	招待作品数 9作品 自主参加作品数 10作品 プロモーション事業実施	キジムナーフェスタ観客動員数 33,000人	(今後の展開方針) H26年度 公演作品数 50作品(自主参加20)、目標入場者数34,000人 H27年度 公演作品数 50作品(自主参加20)、目標入場者数35,000人 H28年度 公演作品数 40作品(自主参加20)、目標入場者数36,000人	
4	②	沖縄こどもの国施設整備事業	H24～H32	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、琉球弧動物展示施設整備を行う。	・動物舎施設設計:1棟 ・琉球弧動物舎等施設工事:10棟	・動物舎施設設計:1棟 ・琉球弧動物舎等施設工事:10棟	(今後の展開方針) H26年度 動物舎施設設計 2棟 動物舎施設工事 1棟 H27年度 動物舎施設設計 2棟 動物舎施設工事 2棟 H28年度 動物舎施設設計 1棟 動物舎施設工事 2棟 H29年度 動物舎施設工事 1棟	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
4	③	こどものまち推進事業	H24～H28	こどもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるため、本県を代表する人材育成施設である沖縄こどもの国のチルドレンセンター(えほんの国)において、こどものまち推進拠点としての機能を強化することを目的に、こどもの育成や子育て支援に関する情報提供ブースを設置し、さらに、こどもの主体的な活動を応援し、こどもに優しいまちづくりにむけて市民の意識高揚を図るため、講演会等を開催する。	情報提供ブースの設置 ワークショップの開催	沖縄こどもの国入場者数 351,000人	(今後の展開方針) H26～28年度 アクションプログラム 事業実施 こどものまち推進拠点の機能強化 こどものまちづくりに向けた意識啓発 ※入場者数減の理由 (H24年度:392,349人) ・ワンダーミュージアム展示物入替に伴う閉館(12月～3月) ・水とみどりの広場ステージ工事(8月～3月)のため広場の一部使用制限予定。 以上により来場者数の減が予想される。	
5		未来を創る人材育成事業	H24～H29					
5	①	こども科学力育成事業	H24～H28	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベント、出前科学教室を開催する。	科学企画展の開催 3回 科学イベント開催 3回 科学ワークショップ開催 26回 出前科学教室開催 70回	科学関連イベント参加者数 60,000人	(今後の展開方針) H26～28年度 イベント6回、出前教室70回	
5	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24～H28	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者の配置によるきめ細やかな学習支援、キャリア教育コーディネーターによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネーターによる授業改善の指導・支援、児童生徒への外国語指導、外国人児童生徒への日本語指導、情報教育機器の整備を行う。	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 教科コーディネーターの配置 3人 日本語指導員の配置 3人 外国語指導助手の配置 25人 情報通信機器の整備 デジタルテレビ36台、書画カメラ25台	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 目標 対応可能児童生徒数 1,270人 研修会・講演会等 5回 教科コーディネーターの配置 3人 目標 対応可能児童生徒数 1,280人 授業日数:202日 日本語指導員の配置:3人 目標 対応可能生徒数:26人 授業回数:1,630回 外国語指導助手の配置:25人 目標 対応可能生徒数14,814人 授業日数:202日 * 情報通信機器の整備率: デジタルテレビ 100% 書画カメラ 100%	(今後の展開方針) H26～28年度 コーディネーター及び学習支援員、指導助手の配置 標準学力調査の実施	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
5	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24～H28	<p>特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士 1人 准看護師 1人 幼稚園特別支援学級担当 33人 幼稚園特別支援教育支援員 6人 特別支援園児対応預かり保育支援員 8人 心理士 1人 保健師 1人 看護師 1人 市スクールカウンセラー 10人 心の教室相談員 8人 市スクールソーシャルワーカー 3人 学校支援教育補助者 15人 特別支援教育補助者 33人 教育相談員 2人 適応指導教室指導員 2人 巡回支援指導員 4人 適応指導教室正式入級数 10人 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士 1人 園児148名の対応 准看護師 1人 園児1名の対応 幼稚園特別支援担当 園児133名の対応 心理士 2人 目標:検査件数160件 保健師 1人 目標:相談及び指導助言件数60回、健診業務16回 看護師 1人 目標:児童対応数1名 市スクールカウンセラー 10人 目標:カウンセリング実施数650件 心の教室相談員 8人 目標:相談件数650件 市スクールソーシャルワーカー 3人 目標:対応件数150件 学校支援教育補助者 15人 目標:支援回数1,800回 特別支援教育補助者 33人 目標:支援生徒数110名 教育相談員 2人 目標:相談活動等300件 適応指導教室指導員 2人 目標:適応指導教室正式入級数10名のうち70%を普通教室に通えるよう指導。 巡回支援指導員 4人 目標:巡回支援回数500回以上 	<p>(今後の展開方針) H26～28年度 幼稚園・小学校・中学校へ特別支援担当及び教育補助者の設置 スクールカウンセラーの設置 16校</p>	
5	④	青少年指導育成事業	H25～H29	<p>青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導、夜間の街頭指導を行う。</p>	<p>青少年教育相談指導員配置 8名 青少年指導員配置 126名</p>	<p>青少年教育相談指導員 8名 青少年指導員 126名 登下校の巡回指導 200回 夜間の街頭指導 250回</p>	<p>(今後の展開方針) H26～29年度 登下校の巡回指導 200回 夜間の街頭指導 250回</p>	
5	⑤	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25～H29	<p>国際社会で活躍できる人材育成のため、海外での短期ホームステイ活動を支援する。</p>	<p>派遣人数 23名</p>	<p>派遣後、アンケートによる意識調査を実施。 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。</p>	<p>(今後の展開方針) H26～29年度 派遣人数 23名</p>	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		H25成果目標(指標)	今後の展開方針等	
6		すこやか子育て推進事業	H24～H28						
6	①	こどもいきいき安心事業	H24～H28	こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターによる放課後児童の多角的な支援を図るほか、ニーズ調査等を通して児童館の整備計画を策定する。	放課後児童クラブ指導員の配置 4人 放課後児童クラブ研修会の開催 5回	放課後児童クラブへの訪問回数 延420回 放課後児童クラブの研修会参加者数 延150人	(今後の展開方針) H26～28年度: ・民間放課後児童クラブ強化・支援 ・地域、学校、放課後児童クラブ等連携強化 ・新たなこどもの居場所づくりの模索		
6	②	園児の健やかな成長を支える保育事業	H24～H28	子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる「預かり保育」を実施する。	預かり保育実施幼稚園数 16園(全園)	預かり保育学級数 23学級(16園) 預かり保育利用園児数 430名	(今後の展開方針) H26～28年度 16園にて預かり保育を実施		
7		沖縄市きめ細かな就労支援事業	H24～H29						
7	①	若年者就労等支援事業	H24～H28	雇用の創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者、企業等を対象に支援員等による就労支援、ワークショップ・サロンの定期開催等を実施する。 また、心因性の理由等により就職が困難な若者を対象に、社会的・経済的自立支援を図るため、就労へ向けた支援やインターンシップ、職業訓練等を実施する。	巡回就労相談 72回/年 サロンワークショップ 18回/年 セミナーの開催 1回/年 アウトリーチ 400件/年 カウンセリング 44回/年 農業実習 48回/年 インターンシップ 4回/年 自立訓練 12回/年 学習支援 240日/年	アウトリーチ人数 50人 生活支援人数 300人 巡回就労相談人数 100人	(今後の展開方針) H26～28年度 アウトリーチ(想定件数)240件/年 カウンセリング 50分～1時間/件 学習支援・職業訓練等 農業実習 48回/年 インターンシップ 4回/年 自立訓練 12回/年 学習支援 240日/年		
7	②	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H26	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区において運送費等にかかる支援の実施および物流促進に関する調査・検討を行う。	運送費等に対する助成の実施 港湾機能の充実に向けた調査委託等の実施	中城湾港における実証実験船貨物量 750t/回	(今後の展開方針) H26年度 運送費等に対する助成 大阪間 750t/回		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	④	就労支援センター運営事業	H25～H28	雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業幹旋などをおこなう。	就労相談 2,000人/年 就労支援講座等の開催 6回 職場体験のコーディネート 30件	就職決定者数 700人	(今後の展開方針) H26年度 就労相談 約1500人/年 就労支援講座の開催 11回 職場体験:30件 職業幹旋(想定件数)1200件/年 H27年度 就労相談 約1500人/年 就労支援講座の開催 11回 職場体験 35件 職業幹旋(想定件数)1200件/年 H28年度 就労相談約 1500人/年 就労支援講座の開催:12回 職場体験:30件 職業幹旋(想定件数)1200件/年	
7	⑤	中小企業人材育成支援事業	H25～H29	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳・翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座の開催 9回 情報発信 12ヶ月	人材育成講座受講者数 162人 入札参加件数 10件	(今後の展開方針) H26～29年度 人材育成支援 米軍発注業務受注支援 目標 人材育成講座受講者 162人/年 米軍発注業務受注件数 10件 米軍発注業務受注金額 1億円	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		地域資源を活かした沖縄市ブランド推進事業	H24～H29					
8	①	伝統工芸産業支援事業	H24～H29	工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花織事業協同組合の生産体制の強化や担い手の育成および販路拡大等に対し支援を行う。	知花織事業協同組合への支援 スキルアップ研修の実施 3回 新製品の開発 1点	知花織生産後継者育成数:10名 スキルアップ研修参加者:20名	(今後の展開方針) H26～29年度 補助金 スキルアップ研修 3回/年 目標 知花織事業協同組合員数 H25:43名、H26:53名、H27:63名、H28:73名、H29:83名 新製品の開発、H25:1点、H26:1点、H27:1点、H28:1点、H29:1点	
8	②	工芸による街づくり事業	H24～H29	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、(仮称)沖縄市伝統工芸館の整備に向けた取り組みや伝統工芸(知花焼)の産業化への可能性調査等を実施する。	県外での出展 1回 沖縄市工芸フェア開催 1回 伝統工芸(知花焼)産業化可能性調査	沖縄市工芸フェア来場者 20,000人 県内外出展業者数 延べ74店舗 伝統工芸(知花焼)産業化可能性調査	(今後の展開方針) H26～27年度 販売促進支援(市内支援1カ所、県外展1回) (仮称)沖縄市伝統工芸館の整備 H27:基本設計・実施設計・用地取得 H28:施設整備 伝統工芸産業化可能性調査 H25:可能性調査 ※H26以降は産業化可能性ありと判断された場合、産業化支援策の検討 H26～29年度目標 工芸フェア来場者:20,000人	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
9		アグリビジネス推進事業	H24～H26	農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響を受けにくい栽培施設の整備に対し支援を行う。	花卉栽培強化型パイプハウス設置農家戸数 3戸 花卉栽培強化型パイプハウス設置面積 3,630㎡	花卉栽培強化型パイプハウス設置農家戸数 3戸 花卉栽培強化型パイプハウス設置面積 3,630㎡	(今後の展開方針) H26年度 H24、H25年度と同様に、自然災害に影響を受けにくい栽培施設に対し支援を行う。 設置農家戸数 5戸 設置面積 5,000㎡	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
10		コミュニティパーク整備事業	H24～H27	市民の健康増進の場を増やし、健康・長寿としてのイメージアップを図り、観光誘客に寄与できるような整備をおこなう。 また、都市公園事業として補助採択基準未満であるため、一括交付金にて整備をおこなう。	公園基本設計・実施設計 公園造成工事	・園基本計画・実施設計 ・園造成工事	(今後の展開方針) H26年度 (仮称)美東公園:園路・広場・施設整備工事 若夏公園:土木・排水・仮設・既施設撤去工事 H27年度 (仮称)美東公園:園路・広場・施設整備工事 若夏公園:路盤・植栽・施設築造工事	
11		災害に強いまちづくり事業	H24～H33					
11	①	地域防災対策事業	H24～H33	災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線デジタル整備や避難場所標識の設置等に取り組むとともに、自主防災組織の結成を促進する。	災害用備蓄品の確保 防災行政無線子局のデジタル化 津波避難ビル・タワー調査・研究 自主防災組織結成	災害用備蓄品 15,000食(計47,000食) 防災行政無線子局のデジタル化(実施設計作成) 津波避難ビル・タワー(設置可能性調査) 自主防災組織結成(新規7組織結成(計17組織))	(今後の展開方針) H26年度 災害用備蓄品の確保:15,000食 防災無線子局のデジタル化:工事 津波避難ビルタワー:計画 防災組織の結成:新規7組織 H27年度 防災無線局のデジタル化:工事 津波避難ビルタワーの設計 防災組織の結成:新規8組織 H28年度 津波避難ビル・タワーの工事 防災組織の結成:新規8組織	
11	②	災害時緊急避難通路整備事業	H24～H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路の整備に向けて取り組む。	実施設計 3箇所	実施設計 3箇所	(今後の展開方針) H26年度 緊急避難通路:実施設計4ヶ所 H27年度 緊急道路:実施設計3ヶ所、工事3ヶ所 H28年度 緊急道路:工事4ヶ所	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
11	③	救命処置普及強化事業	H25～H29	災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニにAEDを設置し、市民等の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	コンビニへのAED設置 応急講習会の開催	コンビニへのAED設置 市内43店舗 応急講習会開催 156回 受講者数 3,300人	(今後の展開方針) H26年度 応急講習会 180回 受講者数 3,800人 H27年度 応急講習会 204回 受講者数 4,300人 H28年度 応急講習会 228回 受講者数 4,800人 H29年度 応急講習会 252回 受講者数 5,300人	
12		米軍統治期や基地等にかかる課題に対処する事業	H24～H33					
12	①	里道および水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	計画策定及び発注 100カ所 用地交渉 100カ所 台帳整備 100カ所	計画策定及び発注 100カ所 用地交渉 100カ所 台帳整備 100カ所	(今後の展開方針) H26～33年度 計画策定及び発注 100カ所 用地交渉 100カ所 台帳整備 100カ所	
12	②	沖縄関係仮戸籍等電子化事業	H25	沖縄関係戸籍(仮戸籍申告書、臨時戸籍、福岡戸籍等)原本の劣化・滅失防止および、業務の迅速化による市民サービス向上を図るため、電子化を実施する。	沖縄関係戸籍の電子化 仮戸籍申請書 56,000件 臨時戸籍 21,500件 福岡戸籍 5,900件 貸与届 8,200件	沖縄関係戸籍の電子化率 100% 情報資産の劣化・滅失防止	H26年度より稼働	
12	③	沖縄市特定駐留軍用地内土地取得事業基金	H25～H33	特定駐留軍用地の指定を受けたキャンプ瑞慶覧、ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、基金を創設し、公用地の先行取得を行う。	基金条例の制定 基金の積立 500,000千円	基金条例の制定 基金の積立 500,000千円 達成率(基金積立額に係る取得予定面積の割合):約60%	(今後の展開方針) H26年度 基金の積立 H26～33年度 用地取得 21,700㎡ ※基金積立総額 820,000千円	12月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
14	①	東部海浜地区開発事業	H25～H28	スポーツコンベンション拠点をめざす東部海浜開発地区の海域利活用調査等に取り組む。	海域利活用調査の実施	海域利用の現況、資源、規制等に関する調査報告書を作成	(今後の展開方針) H26年度 公共施設基本計画策定調査 H27年度 景観計画検討調査 H28年度 防災計画検討調査	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		地域特性を活かした観光振興事業						
1	①	瀬長島観光拠点整備事業	H24～H28	本市の観光振興の発展のため、策定済の瀬長島観光拠点整備基本計画を踏まえ、歴史的、文化的価値を保全しつつ、必要な施設並びに設備等の整備を行い、観光拠点施設として機能の向上を図る。	瀬長島内の施設及び設備等の設計及び整備を行う。	瀬長島内の施設及び設備等の設計及び整備を行う。	(今後の展開方針) (H26年度) ・磁気探査委託、現場技術委託、無電柱化設計、本体整備、展望広場、駐車場、道路整備、避難路設置、子宝岩再現 (H27年度) 案内サイン、防犯灯設置、無電柱化整備(入構等) (H28年度) ・リーフレット作成	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	②	文化観光創出事業	H24～H28	本市の観光振興の発展を図るため、豊見城城址公園とその周辺について、前年度に策定した土地利用基本構想を基に、自然環境・歴史文化・観光が調和する、実現可能で具体性のある「豊見城城址跡地利用基本計画」を策定する	豊見城城址跡地利用基本計画の策定(豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画)	豊見城城址跡地利用基本計画の策定(豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画)	(今後の展開方針) ・用地取得 ・グスク保全ゾーン…範囲確認調査、分布調査等 ・空手・交流活用ゾーン…公共施設等の誘致活動等 ・管理運営体制の検討	
1	③	観光関連団体支援事業	H25～H29	観光事業等の振興を図るため、当該事業を行う観光協会等の団体へ補助金の交付を行い、市内観光団体の育成を行うとともに観光商品の充実や新たな事業の創造を促し、更なる観光客誘致を図る。	①観光資源開発、既存観光資源の魅力向上 ②観光イベント事業 ③観光情報充実、発信事業など、観光振興事業等へ補助金を交付し、支援する。20,000千円。	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度)→約243万人(H25年度)	(今後の展開方針) 下記観光振興事業等の支援 ・観光資源開発、既存観光資源の魅力向上 ・観光イベント事業 ・観光情報充実、発信事業	
1	④	観光振興地域環境美化強化事業	H25～H29	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、瀬長島ホテルへ繋がる市道沿いにプランターを設置し、花木等の植栽により美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植樹樹の除草清掃 ②プランターの設置及び花木等の植栽	①植樹樹の除草清掃 ②プランターの設置及び花木等の植栽	(今後の展開方針) 引続き植樹樹の除草清掃、花木の維持管理(灌水等)を行う。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
									1
1	⑥	豊見城市景観計画策定事業	H25～H27	地域独自の風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために現況及び課題を抽出し、基本方針を検討するための基礎調査を行う。	基礎調査報告書の策定	基礎調査報告書の策定	(今後の展開方針) ・景観計画策定 ・条例制定・ガイドライン作成		
1	⑦	西海岸活性化構想事業	H24～H27	平成24年度に策定された「西海岸地区整備基本構想」を踏まえて、「コミュニティゾーン」に位置する与根地区の地理的特性を活かし、観光振興、企業誘致、開発計画、周辺アクセス道路の整備など西海岸地区一帯の活性化に繋がる総合的な土地利用基本計画を策定する。	土地利用基本計画の策定	土地利用基本計画の策定	・土地利用基本計画を踏まえた整備等の実施	10月変更(事業追加)	
1	⑧	とみぐすく産業まつり事業	H25～H29	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村民、観光客に対し市内の各種産業のPRを行う事により、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。 また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業まつりの開催	・とみぐすく産業まつりの開催 ・産業まつりの来場者数:20,000人	・来場者数の増	10月変更(事業追加)	
1	⑨	西海岸観光地域利用促進事業	H24～H25	質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチにおいて、マリンスポーツの快適な実施に必要な栈橋の購入、シャワー設備の増設を行う。	・備品購入(栈橋) ・シャワー設備の増設	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度)→約243万人(H25年度)		10月変更(事業追加)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		持続可能な安全・安心なまちづくり事業						
2	①	防災備蓄整備事業	H25～H28	台風や地震など大規模な自然災害に備え、観光客も含めた非常食等の備蓄品を整備することにより、安心・安全なまちづくりに資する。	備蓄食糧の整備 非常食13,520食 保存水3,000本	備蓄数量 非常食13,520食 保存水3,000本	(今後の展開方針) 人口の20分の1の3日分の災害対策用食料を備蓄する。(60,000人×1/20×3食×3日=27,000食)	
2	②	那覇空港周辺における航空機騒音測定事業	H24～H25	那覇空港周辺地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、地区内の騒音レベルを把握し、将来の快適な住民環境形成に資する。	航空機騒音測定の実施 3地点×2回	航空機騒音の実態把握 3地点×2回		
3		地域特性を活かした農業活性化事業						
3	①	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24～H25	市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、生産組合が設置する耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)の設置費の一部を補助する。	H25 耐候性野菜栽培施設整備面積 24,540㎡	H25耐候性野菜栽培施設整備面積24,540㎡		10月変更 (計画変更に伴う 各目標変更)
3	②	豊見城産マンゴー販売促進事業	H24～H27	県の拠点産地に認定されるなど、高い評価を得ている豊見城産マンゴーの更なる販売促進を図るため、県内外において、試食等の販売促進活動を実施する。	販売促進活動 6回 (県内3回 県外3回)	販売促進活動 6回 (県内3回 県外3回)	(今後の展開方針) マンゴー県外出荷量 H23:211t → H27:215t	
4		次世代育成支援事業						
4	①	預かり保育事業	H24～H28	低所得県であるため、ひとり親世帯や共働き世帯が多いことから、当該世帯の園児を午後または長期休暇時に幼稚園で預かることで、子育て支援を行う。	預かり保育担当教諭配置:21名	預かり保育をする園児数:400名 基準年(H23):323人		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	②	認可外保育園環境整備事業	H24～H25	本市は子育て世代の人口増に伴い、待機児童数の増加が課題となっていることから、待機児童解消の一躍を担っている認可外保育園の施設整備(修繕等)を図ることで、児童の保育環境向上に寄与する。	認可外保育園施設改修費補助:3施設 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書発行保育園 1施設 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書未発行保育園 2施設	認可外保育園施設改修費補助:3施設	(今後の展開方針) 児童保育環境の向上を図るとともに、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」発行保育園の増を図る。	10月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
5		生きる力を育む人材育成事業						
5	①	学力向上サポート事業	H24～H28	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、学力向上推進補助員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒のきめこまかい支援を行うことで学力の向上を図る。	学力向上推進補助員配置数 小学校:8人 中学校:3人	学力調査における県平均との差の改善 +0.80 基準年(H23):県平均点との差 +0.05点	(今後の展開方針) 基準年(H23):+0.05点 目標(H28):+1.00点	
5	②	情報教育補助員派遣事業	H24～H28	高度情報社会に対応する人材の育成と学校における情報機器の活用を円滑に行うため、情報教育補助員を各学校に巡回派遣し、パソコンを活用した授業の補助や個別操作指導などの充実を図る。	情報教育補助員配置数 :3人	ICT機器等活用率 (アンケートによる調査)	(今後の展開方針) アンケートにより児童生徒等の情報活用能力等を数値化し年度ごとに数値の向上を図る。	
5	③	適応指導教室学習支援員配置事業	H24～H28	適応指導教室に支援員を配置し、心因的不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援を行い、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、引きこもり解消や学校復帰を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	適応指導教室学習支援員配置率:100%	(今後の展開方針) H26 適応指導教室に2人配置 H27 適応指導教室に2人配置 H28 適応指導教室に2人配置	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	④	自立支援教育指導員配置事業	H25～H28	遊び非行型不登校児童生徒等の学校復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置し相談活動や学習支援を行うほか、地域や関係機関と連携し職場体験活動及び農業体験などの活動を行うことにより学校復帰を支援する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人	市内中学校への自立支援教室指導員派遣率: 100%	(今後の展開方針) H26 3中学校3人派遣配置 H27 3中学校3人派遣配置 H28 3中学校3人派遣配置	
5	⑤	登校支援員配置事業	H25～H28	登校支援員を小学校へ巡回配置することにより不登校や不登校傾向にある児童及びその対応に悩みを持つ保護者に対する適切な指導や相談を充実させることで学校復帰に向けた支援を行う。	登校支援員配置数 小学校:4人	市内小学校への登校支援員派遣率:100%	(今後の展開方針) H26 7小学校4人巡回配置 H27 8小学校4人巡回配置 H28 8小学校4人巡回配置	
5	⑥	パソコン教室整備事業	H25～H28	将来の情報化社会に対応する人材育成のため、パソコン教室の機器更新等の環境整備を行い児童生徒のコンピュータを活用した授業の推進を図る。	パソコン教室パソコン整備(42台)	パソコン教室パソコン整備(42台)	(今後の展開方針) 26年度2学校2パソコン教室整備 27年度1学校1パソコン教室整備 28年度1学校1パソコン教室整備	
5	⑦	電子黒板整備事業	H25	将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校全学級に電子黒板を整備し、わかりやすい授業をおこなうことで児童生徒の関心を向上させ、学力の向上を図る。	電子黒板の整備 各教室へのLAN工事	小中学校全学級に電子黒板の整備:228台 各教室へのLAN工事:5校		
5	⑧	デジタル教科書整備事業	H25	将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校のパソコン教室、電子黒板にデジタル教科書を整備し、わかりやすい授業をおこなうことで児童生徒の関心を向上させ、学力の向上を図る。	教育用ソフトの導入	教育用ソフトの導入学校数:小学校7校、中学校3校		
5	⑨	外国人英語講師配置事業	H25～H28	外国人講師を派遣し、児童生徒の国際化社会に必要な外国人との実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。	外国語英語講師(ALT)の配置数 外国人:4名	市内小中学校への外国人英語講師派遣率: 100%	(今後の展開方針) H26 3中学校3名配置、 7小学校1名巡回配置 H27 3中学校3名配置、 8小学校1名巡回配置 H28 3中学校3名配置、 8小学校1名巡回配置	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	⑩	小学校英語活動講師派遣事業	H25～H28	小学校からの長期的な英語指導により、児童の実践的なコミュニケーション能力の向上を図り、国際化社会に対応できる人材育成を行う。	英語指導講師派遣校数 小学校：7校	市内小学校への英語活動講師派遣率：100%	(今後の展開方針) H26 7小学校に派遣 H27 8小学校に派遣 H28 8小学校に派遣	
5	⑪	幼小中学校長寿命化事業	H24～H25	沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校 (とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校 (伊良波中学校舎・体育館)	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校 (とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校 (伊良波中学校舎・体育館)		
5	⑫	小中学校クーラー設置事業	H24～H25	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備する必要があることから、空調設備を設置する。	空調設備設置校数 小学校：5校 (とよみ小、伊良波小、長嶺小、豊見城小、豊崎小)	空調設備設置校数 小学校：5校 (とよみ小、伊良波小、長嶺小、豊見城小、豊崎小)		10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
5	⑬	児童生徒派遣費補助事業	H25～H28	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、児童生徒のスポーツ活動及び文化活動に対し、県外派遣費の一部を補助する。	大会等派遣児童生徒数(累計：185名)	大会等派遣児童生徒数(累計：185名) 基準年(H24年)：166名		
5	⑭	青少年国際交流事業	H25～H28	市内中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的・意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	中学生12名、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2名 計14名	中学生12名、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2名 計14名	(今後の展開方針) 国際交流や地域活動に資する。 (リーダー及びボランティアとして、地域活動や、本市で毎年行われている英語キャンプ・英語ストーリーコンテスト等にもリーダーとして運営進行等協力する)	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
6		文化のまちづくり推進事業 (豊見城市内文化財説明板設置事業)							
6	①	文化のまちづくり推進事業 (豊見城市内文化財説明板設置事業)	H24～H28	本市に所在する文化財の説明板を設置し、文化財に対する地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置5基	市内文化財説明板設置5基	(今後の展開方針) H26年度:5基 H27年度:5基 H28年度:4基 設置数合計 24基		
7		沖縄特殊戸籍システム導入事業							
7	①	沖縄特殊戸籍システム導入事業	H25	沖縄戦で滅失し、再編された仮戸籍等(紙原本)の劣化に対応するため、データベース化し磁気ディスクへ保存することで、長期保存の可能な状態にする。	仮戸籍等、関連する資料の電算化を実施(対象資料枚数 49,727枚)	沖縄特殊戸籍のシステム構築(電算化率100%)			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		うるま市産業振興プロジェクト	H24～H33					
1	①	企業誘致推進業務委託事業	H24～H33	<p>当市への企業立地を効果的に促進するために、国内外の企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。</p>	<p>企業誘致訪問件数：年間120件 国内外の企業情報の収集</p>	<p>目標企業誘致件数：2社程度</p>	<p>(今後の展開方針) 将来的に、10社程度の企業誘致を目指す。</p>	
1	②	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～H27	<p>企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業(コンカレント人材養成事業など)を実施する。</p>	<p>人材育成 4研修実施 ・モールドエンジニア研修(ME) ・プロジェクトマネージャー研修(PM) ・コンカレントエンジニア研修(PM) ・短期研修</p>	<p>金型技術者人材育成数：32名</p>	<p>(今後の展開方針) 人材育成数 H24年～H27年度(累計延べ数) 108名</p>	
1	③	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H27	<p>中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、新たな物流システムの構築及び貨物集積の仕組みづくりを実施する。</p>	<p>物流貨物集積計画策定のための重点課題の調査</p>	<p>物流貨物集積計画策定の中心となる物流高機能施設及びローターミナル等の整備に向けた重点課題を抽出しその対策を検討する。</p>	<p>(今後の展開方針) 港湾物流貨物集積のための物流倉庫設置等を目指す。 成果目標で示した事項を踏まえ、以下の内容で事業を実施する。 平成26年度 基本計画 平成27年度 実施計画</p>	
1	④	商品開発プロモーション事業	H25～H27	<p>市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、県内外をはじめ中国・台湾などにおける市産品の物産展やアンテナショップ事業を実施する。 また、本市の豊かな農畜水産物を活かし、農工商連携による6次産業化を推進するため、戦略的な商品開発と販路拡大に取り組む。さらに開発商品及び食のグルメなどのプロモーション活動を展開していく。</p>	<p>①県内外、国外物産展開催 ②開発商品普及活動 ③商品開発 ④開発商品取扱店舗商談 ⑤食のプロモーション戦略 ⑥グルメアンケート調査検証</p>	<p>①物産展等来場者数 5000人 ②物産展等売上額 600万円 ③商品開発数 5品 ④商品展示商談会参加数 5社 ⑤グルメ等販売数 15000食</p>	<p>(今後の展開方針) ○中小企業自ら商品開発のノウハウを習得し、独自で事業展開を図れるよう支援する。 ○開発後は、官民一体となり本市の特産品等のPRを展開していく。</p>	
1	⑤	うるま市人材育成産業拠点整備調査事業	H25	<p>グローバルに活躍する高度な人材を育成することを目的とした人材育成拠点を整備するために、旧学校施設等の公共施設の利活用について、施設利用の可能性と運営方法について調査研究し、さらに、民間資金も活用した人材育成拠点整備の可能性を含めた調査研究を実施する。</p>	<p>IT人材養成拠点整備に係る可能性調査</p>	<p>IT人材養成拠点整備に係る可能性調査</p>	<p>(今後の展開方針) 公共施設等の利活用について、地域振興及び経済振興の視点で提案を行う。</p>	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑥	EV自動車コミュニティ構築事業	H25～H27	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンバートEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。 「うるま市EV普及促進委員会」(仮称)を設立し、EV自動車を本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	①EV普及調査・啓発 ②EVの製造 ③EV社会実験の実施等	①EV普及のための調査 (地域社会でのEVの在り方(現状認識と課題の抽出)及び、経済波及効果等の調査) ②啓発のためのシンポジウム開催 1回 ③EV製造(2台)及び技術課題の抽出	(今後の展開方針) 本地域でEVの製造、普及を図り、経済波及効果の調査、地域でのEVのあり方を検討し、新たな産業としてEV普及、製造を促進する。	
2		うるま市雇用対策プロジェクト	H24～H33					
2	①	うるま市地域雇用人材育成事業	H24～H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業と連携による人材育成(OJT等)を実施する。	民間企業と連携による人材育成研修生の数(実人数):100人	H25年度当該事業における新規雇用者数:100人	(今後の展開方針) ・零細企業及び個人事業者向けの支援 ・農業及び建設業等の事業所に対する支援 ・市内求職者に対する本事業の広報強化など	
2	②	街角コンタクトセンター設置運営事業	H24～H33	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	相談の開設日数 240日	①年間利用者数:4,100人 ②年間相談件数:1,400件	(今後の展開方針) ・相談件数の増 ・離職率の改善 ・就活支援システムへの登録(企業・求職者)	
2	③	うるま市グッジョブ連携推進事業	H25～H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。	①ジョブシャドウイング実施校:11校 ②受入れ企業数:100社	キャリア教育受講者数(生徒):1,000人	(今後の展開方針) ・市内全小中学校の実施 ・ジョブシャドウイング受入れ企業の開拓	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				3		うるま市観光振興プロジェクト	H24～H33	
3	①	観光商品開発流通促進事業	H24～H33	地域特性や地域資源を活かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営等を行うとともに、「世界遺産勝連城跡」や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。	① 既存観光商品(リゾートウェディング・感動産業)の可能性調査 ② 新規着地型観光商品開発 3商品 ③ 新・観光スポット創造 1ヶ所	①既存観光商品参加数 リゾートウェディング商品参加者数(20組) 感動産業商品参加者数(300名) ②新規着地型観光商品開発数(3商品) ③新・観光スポット創造(1ヶ所)	(今後の展開方針) ○リゾートウェディング商品や観光商品を開発 ○旅行エージェン業者等へのPR活動の展開	
3	②	うまんちゅ健康文化交流広場整備事業	H24～H25	市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能・文化の継承活動と交流・体験の場として、交流広場の整備を実施する。	うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る整備の実施	うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る整備の完了	(今後の展開方針) H26年度 供用開始	
3	③	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H28	観光地としての魅力を県内外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報発信等による観光誘客を実施する。	観光情報コンテンツの作成	観光情報コンテンツの作成件数 5件	(今後の展開方針) ○有効性のある観光情報コンテンツによる、強いインパクトを持った、うるま市のPR活動を実施	
3	④	うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25～H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンブルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。	冬季観光誘客促進イベントの実施：1回	① 来場者総数 : 3,000人 ② うるま市外来場者: 500人 ③ 市内団体出演数 : 3組	(今後の展開方針) ①魅力あるイベントの創出・顧客満足度の向上 ②観光誘客の拡大・新たな観光・文化発信拠点としてPR ③市内を拠点とする芸能団体の育成	
3	⑤	ゆいゆいウォーク事業(環金武湾ウォーキングフェスタ)	H25～H33	「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化の観点から、県内外のウォーカーが集い・交流する「環金武湾ウォーキングフェスタ」による西海岸リゾート地域との差別化を図ってきた。プロモーション等による新たな参加者を掘り起し、参加人数を増やすことにより、観光振興及び地域資源の知名度の向上を目指す。	各メディアを活用したプロモーションの実施。 ・テレビCM ・ラジオ広告 ・新聞広告 ・HP・FB活用	ゆいゆいウォーキング目標参加人数:2000人	(今後の展開方針) ウォーキング大会で「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		うるま市文化観光振興プロジェクト	H24～H33					
4	①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24～H31	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。 そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点整備に向けた基本設計基礎調査	文化観光拠点整備に向けた基本設計基礎調査の完了	(今後の展開方針) H26年度 基本設計 H27年度 実施設計等 H28年度～ 工事等	
4	②	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H24～H26	当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは、「うるま市ならではの」地域資源であり、文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備し、世界遺産勝連城跡を中心に、文化の薫るまちづくりを推進する。	生涯学習・文化振興拠点施設の建設着手(擁壁工事、敷地造成)	生涯学習・文化振興拠点施設の建設着手(擁壁工事、敷地造成の完了)	(今後の展開方針) H26年度: 本体及び外構工事、備品購入 H27年度: 供用開始	
4	③	市内文化財総合整備調査活用事業	H24～H28	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。	①勝連城跡整備基本計画の調査分析し、中間報告の作成 ②市内文化財環境整備 3箇所 ③平敷屋トウバル出土品レプリカ製作数 1点	①勝連城跡整備基本計画の調査分析、中間報告の作成 ②市内文化財環境整備 3箇所(石川部落事務所等(市文化財)の整備、伊計グスク昇降階段整備、仲原遺跡竪穴住居復元) ③平敷屋トウバル出土品レプリカ製作数 1点	(今後の展開方針) ①勝連城跡整備基本計画の策定 ②市内文化財環境整備(仲原遺跡、伊計グスク、平敷屋製糖工場跡等) ③活用事業の実施(パンフレット作成、文化財めぐり、展示会の実施)	
4	④	全島獅子舞フェスティバル事業	H24～H33	沖縄に伝わる獅子は旧暦の8月15日を中心に、悪霊を祓い五穀豊穡と地域の繁栄を祈願する伝統文化である。全島獅子舞フェスティバルを開催し、民俗芸能としての獅子舞の保存・継承・発展に寄与するとともに、沖縄らしい新たな文化観光を構築する。	全島獅子舞フェスティバルの開催(1回)	全島獅子舞フェスティバルの入場者数 3,200人 (基準値: 平成24年3,000人)	(今後の展開方針) 【来場者目標】 H26年度 : 3,400人 H27年度 : 3,600人 H28年度 : 3,800人 H29～H33年度 : 4,000人	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	⑤	ふるさと芸能デー事業	H24～H33	伝統文化を保全・継承し、沖縄文化を軸とした付加価値の高い観光を振興するため、ふるさと芸能デーを開催する。	ふるさと芸能デーの開催(2回)	ふるさと芸能デーの入場者数 1,700人 (基準値:平成23年800人)	(今後の展開方針) H26年度～H33年度に1年度2団体の合計16団体へ、地域自治会を軸とした芸能文化の舞台発表の機会の創出を図る。	
4	⑥	文化施設機能強化事業	H24～H28	当市の多様な伝統芸能・文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場の音響卓等の機能強化を行う。	市民芸術劇場の音響等の整備工事	市民芸術劇場の音響等の整備工事		
4	⑦	文化施設環境整備事業	H24～H25	地域芸術文化の振興を図るため、うるま市民芸術劇場の外壁の機能強化を実施する。	市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた工事の実施	市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた工事の完了 (外壁デザインの一等等)		
4	⑧	南風原文書整理翻刻事業	H24～H28	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	①南風原文書の翻刻作業 ②事業関連の講座開催	①南風原文書の翻刻件数(15冊) ②事業関連の講座開催数 1回	(今後の展開方針) H26～28年度 翻刻報告書発刊 H26年度 企画展・講座等開催 H26～28年 戦後資料等整理作業	
4	⑨	マーラン船等復元活用事業	H24～H28	当市では、船大工のマーラン船建造技術を指定文化財とし、伝統文化の保存・継承に取り組んできた。その結果マーラン船は映画やドラマ、多くの番組に採用され、当市の広告媒体となっている。その人材を活用し、木造船(マーラン船・琉球伝馬船・サバニ)を復元することで、造船技術の継承と後継者育成を図り、うるま市ならではの郷土教育の実践を推進する。	①マーラン船の建造 1艇 ②渡し船(木造船)の企画展の開催数 1回 ③本事業関連の教育活動の開催数 4回	①マーラン船の建造復元 1艇 ②企画展の入館者数3,000名	(今後の展開方針) H26年度 琉球伝馬船建造・マーラン船に関する企画展等 H27年度 琉球伝馬船に関する企画展等 H28年度 船大工及び木造船に関する講演会等	
4	⑩	景観調査活用事業	H24～H28	勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。	①勝連城跡周辺の自然調査件数(5箇所) ②文化的景観に関する資料収集(3箇所) ③本事業関連の講座等の開催数 5回	①自然標本 50点(製作数) ②文化的景観等記録 2件 ③講座等に伴う学校教育及び生涯学習の件数(5件)	(今後の展開方針) H26～28年度 小動物・民俗行事・生業等調査 文化的景観に関する企画展等	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
4	⑪	新沖縄型エンターテインメント事業	H24～H33	沖縄の結婚式で行われる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。 「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、沖縄の観光イベントとして、開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。	ニービチ余興大会の開催数(予選会を含む)4回	①うるま祭りニービチ余興大会の来場者数(予選会を含む)10,000人 ②予選会へのエントリー数30組 (基準値:平成24年予選会へのエントリー数21組)	(今後の展開方針) ○舞台運営、演目等の充実や広報活動の拡大を図り、うるま発の新たな文化観光イベントとしての地位の確立を図る。		
4	⑫	文化財標柱等設置事業	H24～H27	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。	文化財標柱等設置数 35箇所	文化財標柱等設置数 35箇所	(今後の展開方針) H26～H27年度 未設置の市内文化財・旧跡等に対して標柱等を順次、設置する。		
4	⑬	蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業	H24～H26	「伊計村遊草(イケムラユウソウ)」の著者である蔡大鼎(サイダイテイ)に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようにカラー複製版や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全・継承を図る。	①史料展示会(1回) ②翻刻解説本の発刊 600冊	①蔡大鼎関連史料展示会の来場者数(600人) ②翻刻解説本の発刊数 600冊	(今後の展開方針) H26年度 ・史料等調査の実施及び史料研究 ・展示会等の実施 ・蔡大鼎関連史料複製本の刊行 上記内容等を実施		
5		うるま市観光地基盤形成プロジェクト	H24～H33						
5	①	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察等の景観・風景づくり推進に関する事業を実施する。	景観地区の指定に向けた地域検討会等の開催(5回程度)	景観地区の指定箇所数 1箇所 (勝連南風原計画地区)	(今後の展開方針) H26年度:景観地区指定に向けた取り組み(検討会等)開始(浜比嘉地区) H27年度:浜比嘉地区における景観地区の指定に向けた取り組み継続 H28～H33年度:景観地区指定候補の選定及び景観地区指定に向けた取組の実施。		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	②	伊計海岸周辺環境整備事業	H24～H25	伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の浸食が進行しており、砂浜と後背地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。	①自然石被覆護岸工事の実施 (整備状況 高さ3.0m 延長35.0m)	①自然石被覆護岸工事の完了 (整備状況 高さ3.0m 延長35.0m)		10月変更 (事業追加)
6		島しょ地域振興プロジェクト	H24～H33					
6	①	島アートプロジェクト事業	H24～H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。	①イベント開催数:2回 ②イベント開催日数:33日	イベントの合計来場者数 10,000人 (基準値:平成24年イベントの 合計来場者数 4,734人)	(今後の展開方針) ○ 地元産品の販売コーナーの設置や、地域住民作品の制作展示等を実施し、地域住民参加型のアートイベントとしての定着化を図る。	
6	②	津堅・島おこし支援事業	H24～H26	津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために、ワークショップを開催し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを実施する。	①住民WSの開催(3回) ②地域住民・行政が一体となった清掃活動イベントの開催	①住民WS参加人数(延べ45人) ②清掃活動イベントへの参加人数(200人)	(今後の展開方針) ・民泊事業の推進 ・地域の環境美化活動の推進等	
7		具志川野球場及び周辺環境整備事業	H24～H25	韓国プロ野球SKワイナインズのメインキャンプ場である具志川野球場は、オープン戦や交流戦等の開催条件が整備されていない状況であるため、内外野芝生張替など施設の機能強化を実施する。	具志川外野芝生張替工事(9,200㎡)	具志川外野芝生張替工事(9,200㎡) (スポーツ施設に適したティフトン芝への張替)		
8		農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24～H26	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	①基本設計業務 ②施設運営体(人材)の発掘・育成及び地元食材を中心とした地域おこし活動等の実施 ③物件補償調査 ④用地・物件補償	①農家・漁家などの参画による基本設計の作成 ②施設運営に関わる人材の発掘 ③物件補償 2件 ④用地取得 13,206㎡	(今後の展開方針) H26年度:実施設計 H27年度:工事実施 H28年度:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
10		うるま市国際人材育成プロジェクト	H24～H33					
10	①	小学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 9人	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合：65%（児童へのアンケートによる）	(今後の展開方針) 平成26年度～平成33年度 英語指導助手配置数 10人 市内小学校(18校)を10人で巡回指導を実施。	
10	②	中学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 6人	英語検定5級から準2級の合格者 170人	(今後の展開方針) 平成26年度～平成33年度 英語指導助手配置数 6人 市内中学校(10校)を6人で巡回指導を実施。	
11		うるま市基礎学力向上対策プロジェクト	H24～H33					
11	①	小学校学力向上対策推進事業	H24～H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	学習支援員配置数 33人	沖縄県学力向上到達度調査 国語・算数の平均正答率30%未満児童の割合(沖縄県との差) 3年-2.0、5年-2.0 (基準値:24年度 3年生 -0.7 5年生 -1.7)	(今後の展開方針) 平成26年度～平成33年度 学習支援員配置数 33人 市内全小学校へ2名配置(彩橋小学校除く)	
11	②	中学校学力向上対策推進事業	H24～H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	学習支援員配置数 17人	沖縄県の平均点との差(中学校数学A) -1 (基準値:24年度沖縄県の平均点との差(中学校数学A) -1.6)	(今後の展開方針) 平成26年度～平成33年度 学習支援員配置数 17人 市内全中学校へ2名配置(彩橋中学校除く)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
11	③	島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し児童の学習支援を実施する。	非常勤講師配置数 2人	支援児童生徒数 114人	(今後の展開方針) 平成26年度～平成28年度 彩橋小学校に非常勤講師2名を配置。	
11	④	島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し生徒の学習支援を実施する。	非常勤講師配置数 2人	支援児童生徒数 68人	(今後の展開方針) 平成26年度～平成28年度 彩橋中学校に非常勤講師2名を配置。	
12		うるま市子ども健やか安心プロジェクト	H24～H33					
12	①	きむたかこどもセンター建設事業	H24～H25	地域の中で安心して子どもを生き育てることができる環境づくりを目指すために、地域特性を活かした伝統芸能・文化を基調とした施設整備を実施し、児童健全育成を図る。	きむたかこどもセンター建設	きむたかこどもセンター建設の完了	(今後の展開方針) 平成26年度：供用開始	
12	②	気になる子巡回相談事業	H24～H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	①巡回相談を実施する保育施設件数 公立 5ヶ所 法人 26ヶ所 認可外 32ヶ所 ②保育施設職員を対象にした研修会年4回	①巡回相談実施施設数(延数) 75園 ②配慮を要する子への対応の仕方を学び保育の実践に活かすための研修内容理解度 70%	(今後の展開方針) 巡回相談実施施設数 H24～H33年度(累計延数) 1380園	
12	③	放課後児童クラブ支援事業	H24～H28	放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質向上を図るため、運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、市学童連絡協議会や学校などと連携し、子育てネットワークの形成を図る。	①学童クラブ訪問指導員の配置 2人 ②学童クラブ訪問指導回数 180回 ③学童クラブ指導員等研修会 5回	放課後児童クラブ指導員等研修参加人数 175人	(今後の展開方針) 今後も訪問指導、研修会の充実を図り「安心して子育てができる環境整備」を図る。 上記事業により、学童クラブへの加入児童数の増加を図る。 平成23年度：950名 平成24年度：1,336名 平成25年度：1,350名 平成26年度：1,400名 平成27年度：1,450名	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
12	④	母子生活支援モデル事業	H25～H29	母子保護が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供し、一定期の就労や児童の学習支援等を行い自立に向け支援する。	①借上居室10部屋 ②就労スキルアップ講座開催(24回) ③入居者児童学習支援(48回)	①就労スキルアップ講座資格取得者2人 ②学習支援後の学習理解度向上70%以上(対象児童アンケート実施)	(今後の展開方針) 今後事業実施していくなかで、入居世帯の支援拡充を図っていく。	
13		うるま市児童生徒健全育成プロジェクト	H24～H28					
13	①	問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業	H24～H28	問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。	自立支援員配置数 2人	問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数 800件	(今後の展開方針) 平成26～28年度 自立支援員配置数 2人(中学校)	
13	②	中学校教育指導推進事業	H24～H28	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱える生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	スクールソーシャルワーカー配置数 3人	問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数 2000件	(今後の展開方針) 平成26～28年度 スクールソーシャルワーカー 3人配置	
13	③	教育相談事業	H24～H28	相談室に教育相談員を配置し、幼児・児童・生徒の不登校や、教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	教育相談員配置数 8人	教育相談対応の件数 1,400件	(今後の展開方針) 学校訪問相談の充実を図り、早い段階で相談へ繋ぐことができる体制を作る。	
13	④	適応指導教室事業	H24～H28	うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	適応指導教室指導員配置数 3人	チャレンジ登校できた割合 80% チャレンジ登校とは、学校への登校復帰へ向けて、児童・生徒の状況に応じ登校する場所や時間帯などを考慮した段階的な登校支援。	(今後の展開方針) 心因性不登校時期にある子ども達に状況に応じた支援をし学校適応を図る。原籍校や関係機関と連携し学校への復帰に向けて支援する。 チャレンジ登校できた割合80%	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細				H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
14			うるま市防災基盤強化推進プロジェクト	H24～H29					
14	①		防災避難通路整備事業	H24～H27	当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全・安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。	防災避難通路整備(3地区(4路線))	防災避難通路整備(3地区(4路線))に係る用地買収及び建設工事の完了 避難通路の整備率 40%	(今後の展開方針) <H24-25年度計画通路> H26年度: 供用開始(浜地区、比嘉地区、屋慶名地区) <H26-27年度計画通路> H26年度: 実施設計 H27年度: 用地買収及び建設工事 H28年度: 供用開始(比嘉地区、屋慶名地区、南風原地区、塩屋地区)	
14	②		津波対策緊急事業	H25～H26	東日本大震災以降、全国的に津波災害対策が取り組まれている中、当市においても低地帯地域に居住する市民や企業をはじめ、観光で訪れた多くの観光客が津波災害発生時に円滑な避難行動が行えるよう「津波対策緊急事業計画」に基づく海拔表示板等の設置を実施する。	①海拔表示板設置箇所数 648箇所 (電柱式、防災行政無線、その他) ②避難誘導看板設置箇所数 27箇所	①海拔30m以下の地域への 海拔表示板の設置率 75% 海拔30m以上の地域への 海拔表示板の設置率 25% ②海拔30m以下の地域への 避難誘導看板の設置率 96% 海拔30m以上の地域への 避難誘導看板の設置率 4% ※避難誘導看板の設置数/『津波対策緊急事業計画』に基づく設置数	(今後の展開方針) H26年度: 海拔表示板設置 避難誘導看板設置	
14	③		防災倉庫等整備事業	H25～H29	当市は沖縄本島中部東海岸に位置し東に金武湾、南に中城湾に接しているほか、東南に伸びる半島部の海上には有人5島があり、風光明媚な自然景観と観光資源が残されており観光客も多く訪れる。本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫(防災資機材や備蓄食糧等を備蓄する。)を整備し防災活動基盤を構築する。	①防災倉庫の整備 5箇所 ②備蓄品の整備 非常用毛布・非常用タオル 各1,000枚 備蓄食糧 10,000食 備蓄飲料水 10,000本	①防災倉庫の整備率 29% ※防災倉庫整備数/市内17箇所 ②備蓄品の整備率 非常用毛布と非常用タオルの整備率 20% 備蓄食料と備蓄飲料水の整備率 20% ※非常用毛布・非常用タオル整備数/各5,000枚 ※備蓄食糧の整備数/50,000食 ※備蓄飲料水の整備数/50,000本	(今後の展開方針) H26年度～H29年度 倉庫3箇所/年、非常用毛布・非常用タオル各1,000枚/年、備蓄食糧10,000食/年、備蓄飲料水10,000本/年を整備する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				14	④			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等			
バ	細							
1		災害に強い島づくり事業	H24～H28					
1	①	緊急物資備蓄事業	H24～H27	災害時の市民の生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。	非常食、飲料水等 約2000人分の備蓄	非常食、飲料水等 約2,000人×3日分の備蓄を行う。	(今後の展開方針) 被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。 27年度までに13,000人×3日分を目標にする。	
1	②	海拔表示設置事業	H24～H27	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海拔表示を市内各地区に設置する。	海拔表示の設置 市内70箇所へ設置	海拔表示板設置箇所数 25年度 70箇所 (24年度69箇所、23年度56箇所)	(今後の展開方針) H27年度までに300箇所の設置を目標とする。	
1	③	与那覇地区防災センター整備事業	H24～H25	海沿いに面した海拔の低い与那覇地区に防災センターを整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	避難施設の整備 RC造2階建て	避難施設の整備完了 避難所指定箇所数 1箇所 「約400人の避難場所の確保」		
1	④	伊良部地区防災センター整備事業	H25～H26	海沿いに面した海拔の低い伊良部南区に防災センターを整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	実施設計委託業務	実施設計委託業務	(今後の展開方針) H26年度：供用開始 海拔の低い沿岸部から高台まで距離があるため、避難施設を整備し、避難場所を確保する。	
1	⑤	無電柱化推進事業	H25～H28	上野海岸線及び新里21号線周辺地域の無電柱化を行うことにより、台風等による電柱倒壊による道路の寸断を防ぎ、電力、通信の安定供給や信頼性の向上、景観の向上を図り、安心・安全・快適な環境を提供する。	実施設計委託業務	実施設計委託業務	(今後の展開方針) H26～27年度：社会資本整備総合交付金を活用し電線共同溝本体の整備 H28年度：変圧器やケーブル等の整備 H29年度：供用開始	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
バ	細							
1	⑥	災害活動用の空気充填機購入事業	H25	本市を訪れる観光客の多くがマリレジャーを楽しんでおり、海難事故に対する迅速な救助体制を構築することは、観光振興上非常に重要である。 また、本州から離島である沖縄本島のさらに離島である本市においては、大規模災害時等が発災した際に、本州及び沖縄本島から支援を受ける間の初動体制を構築しておく必要がある。 このような海難事故や大規模災害等の消防活動を適切に行う為、移動式空気充填機を整備する。	空気充填機設備の整備	空気充填機設備の整備 1機		10月変更 (事業追加)
2		観光拠点強化事業	H24~H33					
2	①	スポーツ観光交流拠点整備事業	H24~H28	年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	実施設計委託業務	実施設計委託業務	(今後の展開方針) H26年度:設計・管理委託、施設整備 H27年度:施設整備 H28年度:施設整備	
2	②	熱帯植物園再生事業	H24~H26	熱帯植物園の集客機能を向上させる為、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。	熱帯植物園集客機能の向上 遊歩道の整備:0.5Km	熱帯植物園の来客数の増加 H23年度45,000人→H25年度50,000人	(今後の展開方針) H25に引き続き、遊歩道・熱帯花木の植栽整備	
2	③	伊良部島・下地島間入江整備事業	H24~H27	伊良部島・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査結果を踏まえて、入江の再生及び利活用を推進するための調査測量等を行う。	基本計画策定	基本計画策定	(今後の展開方針) H26:水路作濬・排水施設設計 H27:水路作濬・排水施設建設 H28:水路作濬・排水施設建設 H29:水路作濬・排水施設建設	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
2	④	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24～H28	「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。 平成25年度は、下地・来間地区を中心とした新規コースの策定及びコース物件の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化ロードの整備 ・新規コース策定:1件/年間 ・コースパンフレットの配布:12,000部 ・コース案内板等の設置:20基 ・文化財web公開システムの構築:1件 ・物件の復元:1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規コース策定:1件/年間 ・コースパンフレットの配布:12,000部 ・コース案内板等の設置:20基 ・文化財web公開システムの構築:1件 ・物件の復元:1件 以上の整備により、宮古島の歴史や文化に触れる事を目的に観光に訪れる客層(特に個人観光)を中心に、観光客数の増加。	(今後の展開方針) H26:上野、下地地区コース整備 H27:平良南、上野地区コース策定 H28:城辺、平良南、伊良部地区コース策定 H29～33:各地区未整備物件整備	
2	⑤	与那覇湾環境総合整備事業	H24～H33	与那覇湾利活用基本計画策定のために策定委員会を立ち上げ、意見の集約検討を行い、有効な利活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の立ち上げ(20名) ・作業部会の立ち上げ(11名) ・与那覇湾利活用計画策定 	・与那覇湾利活用計画策定	(今後の展開方針) H26:与那覇湾の環境整備に係る実施設計 H27:以降:与那覇湾の環境整備の実施	
2	⑥	ハブクラゲネット設置事業	H24～H33	夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があることから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。	ハブクラゲ侵入防止ネットの設置 パイナガマビーチ200m みやこサンセットビーチ(トウリパー地区海浜I)120m 設置期間:(4月～10月)	ハブクラゲ刺症被害者数:0人 H23年度:8人(パイナガマビーチ8人) H24年度:7人 (パイナガマビーチ3人、サンセットビーチ4人)		
2	⑦	オニヒトデ駆除事業	H24～H26	環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。	オニヒトデの駆除実施回数:28回	オニヒトデ駆除数:9,000匹		
2	⑨	観光施設改修事業	H24～H26	観光拠点施設である「うえのドイツ文化村」の老朽化が進み危険であるため、施設の改修を行い、観光客の安全性を確保するとともに、快適な施設利用を推進し、観光地としての宮古島のイメージアップを図っていく。	リフレッシュパーク(プール施設)の改修	リフレッシュパーク(プール施設)の改修の完了	(今後の展開方針) H26:遊具・野外施設の整備	
2	⑩	伝統工芸館整備事業	H24～H26	国の無形文化財に指定されている「宮古上布」の歴史が学べ、機「ハタ」を使っている織物体験ができる伝統工芸館を新たに整備する。	伝統工芸館外構整備	伝統工芸館外構整備	(今後の展開方針) 平成26年度:供用開始 26年度来場者数:1,500人 (24年度:1,000人未満)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
バ	細							
2	①	屋外体育施設管理機械配備事業	H25	スポーツキャンプ受入体制の強化、屋外スポーツ施設の質向上のため、天然芝管理、野球グラウンドの管理に必要な機械を購入し、年間を通した芝生・グラウンドの管理体制を整える。	管理機械配備	管理機械配備	平成26年度：共用開始	10月変更(事業追加)
3		観光地の緑化美化・景観向上事業	H24～H33					
3	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	観光アクセス道路の環境美化路線数：33路線	観光アクセス道路の環境美化路線数：33路線		
3	②	観光地公園環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	観光地公園の環境美化箇所数 4カ所(東平安名崎公園・パインガマ公園・カママ嶺公園) 定期的美化作業：月1程度	観光地公園の環境美化箇所数 4カ所(東平安名崎公園・パインガマ公園・カママ嶺公園) 定期的美化作業：月1程度		
3	③	大嶽城址公園環境整備事業	H24～H26	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。	観光地の形成(観光公園の整備) 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計及び植栽整備	観光地の形成(観光公園の整備) 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計及び植栽整備	(今後の展開方針) H25～H26年度：植栽整備	
3	④	花と緑のあふれる島づくり事業	H24～H33	花と緑のあふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。	苗畑施設の基盤強化に係る基本計画の策定(施設管理面積の確定)	苗畑施設の基盤強化に係る基本計画の策定(施設管理面積の確定)	(今後の展開方針) H26：整備に係る実施設計 H27年度以降：苗畑施設の整備	
3	⑤	イムギーマリンガーデン遊歩道改修事業	H25	宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であり、遊歩道や展望台からは美しい海を見ることができ、散策にも最適である。しかしながら平成5年の完成以来約20年が経過しているため、経年劣化の著しい遊歩道や手すり等の修復を行うための測量設計を委託する。	遊歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施	遊歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施	(今後の展開方針) H26年度：遊歩道及び手すりの整備	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
4		観光誘客促進事業	H24～H33						
4	①	誘客プロモーション事業(広告宣伝)	H24～H25	県外へ観光地としての情報を積極的に発信し、入域観光客数50万人を達成するため、県外の鉄道車輛等への広告宣伝及び県外の地方紙面への新聞広告活動を行う。	・鉄道車輛への広告宣伝 ・全国郷土紙連合9社へ新聞広告宣伝	【広告宣伝】 北海道・名古屋地区の鉄道車輛への広告宣伝 【新聞広告】 釧路新聞社・北羽新報社・庄内日報社・常陽新聞社・長野日報社・東愛知新聞社・紀伊民報社・宇部日報社・南海日日新聞社、各紙面への広告宣伝掲載。			
4	②	観光振興事業補助金(観光協会)	H24～H28	観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に補助金を交付する。	誘客活動等への支援 ・誘客宣伝: 県内2回、県外2回 ・イベント事業: 1回 ・印刷物制作事業: 宣伝ツール2回 ・研修事業: 講習会1回 ・観光地浄化対策事業: 3回 ・観光案内所パンフ送付回数: 120回 ・調査研究事業: 12回	誘客活動等への支援 ・誘客宣伝: 県内2回、県外2回 ・イベント事業: 1回 ・印刷物制作事業: 宣伝ツール2回 ・研修事業: 講習会1回 ・観光地浄化対策事業: 3回 ・観光案内所パンフ送付回数: 120回 ・調査研究事業: 12回			
4	③	南部忠平杯グラウンド・ゴルフ宮古島大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の開催支援	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数: 400人 (24年度参加者数: 359人)			
4	④	エコアイランド宮古島マラソン大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	エコアイランド宮古島大会の開催支援	エコアイランド宮古島大会の参加者数: 1,000人 (24年度参加者数: 941人)			

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
4	⑤	サニツ浜カーニバル補助金	H24～H33	夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。	サニツ浜カーニバルの開催支援	サニツ浜カーニバルの参加者数:1,500人 (24年度参加者数:1,039人)			
4	⑥	宮古島100kmワイドーマラソン大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドーマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	宮古島100kmワイドーマラソン大会の開催支援	宮古島100kmワイドーマラソン大会の参加者数 25年度参加者数:1,300人 (24年度参加者数:1,291人)			
4	⑦	宮古島物産展開催事業	H25	地域の特産品を取りまとめ、東京三越本店にて「宮古島フェスト(物産展)」を開催する。	東京三越本店にて宮古島フェストの開催	イベント開催による来場者数:5,000人			
4	⑧	宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25	観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を図るため、フラダンス全国大会の開催を支援する。	宮古島フラダンス全国大会の開催支援	来場者数:1,200人			
4	⑨	観光プロモーション事業	H25～H26	県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数50万人を達成するため、宮古島市の情報を一括して発信できる利便性の高いwebサイトの立ち上げと各種誘客活動に必要なクオリティーの高いプロモーションビデオを製作し、効果的な観光プロモーションを展開する。	①観光プロモーションビデオの製作(多言語版) ②観光WEBサイトの構築	①観光プロモーションビデオの製作(多言語版) ②観光WEBサイトの構築	(今後の展開方針) H26:観光プロモーションビデオの制作(春夏バージョン)		
5		エコアイランド宮古島形成事業	H24～H28						
5	①	エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業	H24～H25	本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できる設備を整備し観光振興を図る。	メガソーラー展望施設の整備 PR館(仮称)の整備	メガソーラー展望施設の整備 PR館(仮称)の整備	(今後の展開方針) 完成後は民間事業者等によるエコツーリズムや、島内児童や修学旅行などによる環境学習で活用する。		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等				
パ	細								
5	②	バイオエタノール高効率製造・流通事業	H24～H28	本市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指す。	1)バイオエタノール製造の安定的かつ効率的な製造基礎技術の確立 2)副産物の有効利用に係る商業化基礎技術の確立	バイオエタノールの製造	(今後の展開方針) H26年度:事業性評価と見直し H27～H28年度:商業生産への準備		
5	③	観光産業連携型低炭素モデル事業	H25	エコアイランド宮古島の形成に向けて、観光産業等と連携したCO2削減事業の検討を行うこととして、以下に係る調査・検討を実施する。	①第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査・検討を実施。 ②カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査・検討を実施。 ③すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査・検討を実施。	①第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査・検討を実施。 ②カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査・検討を実施。 ③すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査・検討を実施。	(今後の展開方針) 調査結果を元に、来年度以降の全日本トライアスロン宮古島大会をはじめとするイベント等におけるカーボンオフセットを実施するとともに、すまエコ事業におけるCO2削減インセンティブの制度設計を行う。	10月変更 (事業追加)	
6		農林水産業活性化事業	H24～H33						
6	①	ヤソ防除事業	H24～H28	さとうきびを野その被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。	・【航空防除】 宮古島・伊良部島 ・【地上防除】 池間島	・【航空防除】 宮古島・伊良部島 ・【地上防除】 池間島	(今後の展開方針) ・ヤソの被害防止のため、継続して実施する。 (宮古島・伊良部島・池間島)		
6	②	さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業	H24～H25	さとうきび病害虫の被害を防止することを目標に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。	・【防除面積】 3,447ha ・【実施地区】 宮古島市全域	・【防除面積】 3,447ha ・【実施地区】 宮古島市全域			
6	③	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25～H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産物の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料金に対し、補助金を交付する。	沖縄本島への生鮮水産物の出荷:250トン	沖縄本島への生鮮水産物の出荷:250トン	(今後の展開方針) 出荷数量の増加を図っていく H25:250トン→H33:280トン	10月変更 (事業追加)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
6	④	資源循環型農業推進事業	H24～H26	本市は、資源リサイクルセンターにおいて、家畜糞尿や枝葉等を利用して有機質肥料を製造し、農地へ還元するとともに化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。しかし、宮古島市内で発生する堆肥化原料量に対し、既存の発酵槽では処理能力が十分ではないため、処理能力を上げるため発酵プラントを増設し、施設の機能強化を図る。	生活環境影響調査の実施	生活環境影響調査報告書の作成	(今後の展開方針) H26年度 ・生活環境影響調査報告書を元に、沖縄県に一般廃棄物処理施設変更届出書を提出する。 ・変更許可が下り次第、発酵槽の整備を始める。	10月変更 (事業追加)
7		子育て環境整備事業	H25	地域の子ども達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として児童館建設にかかる設計業務を委託する。	児童館建設のための実施設計 (平良地区)	児童館建設のための実施設計の完了		
8		「結いの島」推進事業	H25～H26	伊良部島及び大神島において定期航路や定期航路時間外に宮古島本島の病院へ移送を要する急患が発生した場合、定期船及び備船による搬送を行う。	急患搬送体制の安定的確保	急患搬送体制の安定的確保		
9		人材育成強化事業	H24～H33					
9	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向け、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通して、ニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校:4人(校区別)	スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校:4人(校区別)	(今後の展開方針) 支援の早期対応、早期解決を目指し、定期的な連絡協議会の開催と、組織内の円滑な支援及び連携体制の構築を図る。	
9	②	問題行動等学習支援者配置事業	H24～H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	問題行動学習支援者配置数 中学校:3人	問題行動学習支援者配置数 中学校:3人	(今後の展開方針) 対象生徒を取り巻く環境整備に努め、校内体制の構築、学習支援等の個別計画をもとに支援活動にあたる。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
9	③	選手派遣補助金交付事業	H24～H33	本市の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。	◆H25年度計画人数 大会等派遣児童生徒数:1,995人 ○内訳 小学校 756人(県外含む) 中学校 1,239人(県外含む)	◆H25年度計画人数 大会等派遣児童生徒数:1,995人 ○内訳 小学校 756人(県外含む) 中学校 1,239人(県外含む)	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度:17,955人	
9	④	宮古島市こども劇団設立事業	H24～H33	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し宮古島を表現することで、地域のアイデンティティを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。	オリジナル創作劇の発表 1回	オリジナル創作劇発表会の入場者数 800人	(今後の展開方針) ・H26年度:1回公演及び東京公演(予定) ・H27年度:劇団運営を父母会へ移行し本市は支援する。	
10		地下水保全事業	H24～H26	H24年度に引き続き、東添道及び白川田水道水源流域調査(流域界の確定、塩水侵入リスク評価、貯水量評価)を行い、その成果を元に第3次宮古島市地下水利用基本計画の改定案を策定する。	・東添道及び白川田水道水源流域調査の実施 ・第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定	第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定	(今後の展開方針) ・H26年度 ・第3次宮古島市地下水利用基本計画改定版の議会承認を受け、正式発効。 ・水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置	
11		文化振興事業	H24～H28					
11	①	博物館図録等作成事業	H24～H28	本市の博物館には、約8,000点に資料が収蔵されており資料の幅広い活用を図るため収蔵資料を整理、データベース化し目録等を作成する。	「宮古島の歴史資料編」の目録等作成に係る資料整理・データベース化	目録等作成500部 データベースの整備率 24年度:20% 25年度:40%	(今後の展開方針) 図録等の作成 H26:宮古島市民俗資料編1 H27:宮古島市民俗資料編2 H28:宮古島市美術・工芸編	
11	②	地域色豊かな精神事業	H25	宮古の各地域に祀られている御嶽は、約900箇所あるといわれている。その独特な宮古の文化として歴史的価値のある御嶽の祭祀やその由来などを映像と音声でまとめ来館者に提供する。	宮古の代表的な御嶽を30カ所映像と音声で紹介するための御嶽映像コンテンツの制作	宮古の代表的な御嶽を30カ所映像と音声で紹介するための御嶽映像コンテンツの制作完了	(今後の展開方針) H26年度:宮古の代表的な御嶽を30カ所映像と音声で紹介する。	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光客等誘客促進・受入体制強化事業	H24～H29					
1	①	観光物産拠点整備強化事業	H24～H25	物産館整備に伴い、多くの観光客等の来訪者が予想されるが、既存の駐車場においては、駐車スペースが手狭なため、駐車場の拡張等を行う。	地域物産館駐車場整備拡張のための土質調査、測量業務、実施設計、工事着手	地域物産館駐車場整備拡張工事の実施・完了		
1	②	市域景観形成強化事業	H24～H26	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法を用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所	市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所	(今後の展開方針) H26年度:整備路線数 2か所 整備延長 1.7km	
1	③	海外移住者子弟研修・国際交流推進事業	H24～H25	本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業等を行う。	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生 1名受入	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生 1名受入		
1	④	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24～H26	散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘致促進を図る。	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査	(今後の展開方針) H26年度:石畳参道及び戦争遺跡修復工事	
1	⑤	なんじょうハートプロジェクト推進事業	H24～H25	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。	商品パッケージの開発 PRグッズ等の制作 PRイベントの開催 ラッピングバスの活用による市内外へのPR活動	商品/パッケージの開発(2品目以上) PRグッズ等の制作(3点以上) PRイベントへの誘客(3,000人以上) ラッピングバスでの出勤回数(10回以上)	(今後の展開方針) H26年度:県外へ向けたPR活動	
1	⑥	南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業	H24～H25	本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流型観光を推進する。	モニターツアー実施回数 1回	モニターツアー実施 1回 (県外企業の社員20名受入)		
1	⑦	尚巴志関連展開調査事業	H24～H25	観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。	尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定	尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑧	スポーツツーリズム推進事業	H24～H26	本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。 また、透水性の乏しい芝生フィールドの排水設備整備を行い、スポーツキャンプ受入れに適した施設整備を行う。	・芝生維持管理に精通した人材の育成 ・フィールド内暗渠排水整備	・芝生維持管理に精通した人材の育成 ・フィールド内暗渠排水整備	(今後の展開方針) H26年度:陸上競技場周辺施設整備	
1	⑨	観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。	観光交流拠点施設の実施設設計及び整備工事	観光交流拠点施設の実施設設計及び整備工事	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
1	⑩	観光交流サイン整備事業	H25～H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	各字調査(63字) 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光関連施設への誘導案内版の整備	各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光案内板の整備:20ヶ所	(今後の展開方針) 集落域文化遺産サイン整備 H26年度:整備計画書に基づき、重点地区を優先に集落単位のサイン整備を行う。 道路愛称及び愛称板設置 H26年度:道路愛称板の設置工事	
1	⑪	奥武島体験交流施設整備事業	H25	漁業が盛んな玉城奥武島に体験交流施設及び農水産物直売店を整備し、島の豊かな自然を活かした体験プログラムを実施し、観光客等の誘客促進及び島の活性化を図る。	土質調査、実施設計、外構工事、建築工事、機械工事、電気工事の実施	奥武島体験交流施設の建設	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
1	⑫	デマンド交通実証実験事業	H24～H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	地域公共交通会議の開催(3回) 運行管理システムの構築 試験運行の実施(登録者数:830人、延利用者数:100人/日)	地域公共交通会議の開催(3回) 運行管理システムの構築 試験運行の実施(登録者数:830人、延利用者数:100人/日)	(今後の展開方針) H26年度:有償実証事業 H27年度:H28年度の本格運行に向け運行形態等の確立	
1	⑬	南城市観光誘客対策事業(お新下り活用事業)	H25	平成24年度に南城市まつりで実施したお新下り再現事業の備品等(衣裳・道具類)を活用し、県外での観光客の誘客及び南城市特産品の販売促進を図る。	間得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演及び南城市物産展の開催(12月21日～23日開催予定)	間得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演来場者数 500名		
1	⑭	第二次コミュニティFM放送施設整備事業	H24～H25	南城市では、平成24年度に総合防災情報を補完するとともに観光客等へ防災情報等を伝達するため、コミュニティFM放送の施設整備を行ったが、一部地域で電波の不感地域があることから、これを解消するため、市内全域の電波調査及び解消工事を実施する。	・電波不感地域の調査及び解消工事の実施	・市内の電波受信可能エリア 95%		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑮	南城市ハーブフェスティバル観光客誘客事業	H25	南城市はハーブの一種である「ウコン」の発祥地であり、ハーブを活用した健康食品製造業者も存在します。今年の11月22日に「第21回全国ハーブサミット南城市大会」を開催することが決定しており、南城市では11月22日から24日までの3日間、「南城市ハーブフェスティバル」を同時開催します。期間中の観光客の更なる誘客を図り、県内外に南城市のハーブ産業をPRする目的でイベントを開催する。沖縄県内では初めてとなる「プロジェクションマッピング」の開催と、「高輝度蓄光材料」を使用して幻想的な空間の演出を行い、新たなナイトスポットの創出を目指します。	・南城市ハーブフェスティバル開催(11月22日(金)～24日(日))	・期間中の観光客誘客総数:1万人 ・南城市のハーブ産業のPR(新聞告知、ラジオ出演、チラシ配布) ・「プロジェクションマッピング」や「高輝度蓄光材料」を使用したハーブPRイベントの開催		
1	⑯	観光振興将来拠点整備事業	H25～H28	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 用地取得の実施	基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 用地取得(15,000㎡)の実施	(今後の展開方針) H26年度:用地取得予定(23,000㎡) H27年度:用地取得予定(22,000㎡) H27～28年度:造成、面整備	
2		雇用促進・人材育成事業	H24～H25					
2	①	雇用サポートセンター就労支援事業	H24～H25	新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事業所等に人材情報を提供する。	雇用創出サポートセンター登録数100人	雇用創出サポートセンター登録数100人		
3		平和発信プロジェクト事業	H24～H28					
3	①	平和発信プロジェクト事業	H24～H28	戦後65年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れていく中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会とするため、南城市独自の平和の日を制定し、講演会、コンサート等を実施する。	講演会の開催1回、映写会の開催2回	講演会参加者数 400名、映写会参加者数 300名 (平成24年 400人)	(今後の展開方針) 講演会 毎年1回開催(目標参加者数:400名) 映写会 毎年2回開催(目標参加者数:300名)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	②	糸数壕平和学習施設整備事業	H25	壕内では、天井からの漏水、壁底面からの流入水等の現状がある。手摺の腐敗や劣化が起きていることから、施設整備を実施し、見学者の安全対策の強化を図る。	手摺工事の着手	手摺工事の実施、完了		
4		農水産業活性化プロジェクト事業	H24~H28					
4	①	さとうきび優良種苗安定確保事業	H24~H28	沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。 安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付けの普及を推進する。	採苗圃設置面積：300a 夏植：60a 春植：240a	さとうきび優良種苗植付面積：2,040a 夏植：600a 春植：1,440a	(今後の展開方針) 優良品種作付けの普及促進 【優良種苗植付面積】 H26年度：2,040a H27年度：2,040a H28年度：2,040a	
4	②	蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24~H28	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	既存ハウス等施設の整備	既存ハウス等施設の整備：20ヶ所	(今後の展開方針) 施設整備の継続 H26年度：施設の整備10ヶ所 H27年度：施設の整備10ヶ所 H28年度：施設の整備10ヶ所	
4	③	漁港巻上機・施設機能強化事業	H24~H25	水産業の振興を促進するため、巻き上げ機施設の機能強化事業を実施する。	巻き揚げ機設置件数 1件(海野漁港)	海野上下架可能漁船の台数：9隻	(今後の展開方針) H26年度：供用開始	
4	④	全国ハーブフェスティバル(ハーブ普及・促進事業)	H25	南城市産ハーブ商品の展示・即売会、ハーブカフェ等、ハーブに重点を置いたフェスティバルを開催し、農業の振興を図る。	ハーブの植栽：1,000本	来場者数：300名		
4	⑤	水溶性天然ガス利活用案策定事業	H25	市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への利活用案を策定する。	南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成	南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
5		防災安全基盤強化事業	H24～H26					
5	①	災害に強いまちづくり推進事業	H24～H25	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、海拔表示板の設置を実施する。	海拔表示板の設置(270箇所)	海拔表示板の設置(270箇所)		
5	②	台風・大雨浸水被害対策事業	H24～H26	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。	西部地区雨水流域調査	西部地区雨水流域調査	(今後の展開方針) H26年度：東部地区雨水流域調査	
5	③	観光客及び市民向け放送拡張事業	H25	防災情報インターフェイスサーバーを介して自動連携させることにより、24時間対応でJ-ALERT検知した災害緊急情報を即時に観光客等へ配信し、市民や観光客等の安全、安心を確保する。	インターフェイスサーバー構築及びシステム構築	インターフェイスサーバー構築及びシステム構築		
6		環境未来都市形成事業	H24～H25					
6	①	太陽光採光システム普及事業	H24～H25	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを企業及び一般家庭等へ導入する。	太陽光採光システムの設置台数 100台 電気使用量削減量 4,200kw	太陽光採光システムの設置台数 100台 電気使用量削減量 4,200kw		
7		心豊かな人材育成事業	H24～H29					
7	①	英語コーディネーター配置事業	H24～H25	国際性豊かな人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。	英語コーディネーター配置数 市教育委員会：1人	支援園児・児童数： 幼稚園1クラス13人、小学校4クラス(1～4年生)105人		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	②	幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24～H25	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるように空調設備を整備する。	空調機設置工事 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台)	空調機設置工事 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台)		
7	③	受水走水田園体験事業	H24～H25	将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲の発祥地とされる受水走水において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。	田園体験学習 参加者448人	田園体験学習 参加者448人		
7	④	スポーツ・文化活動県外派遣事業	H25～H29	離島県である沖縄の地理的条件により、県外への大会派遣については多大な負担があるため、費用の一部を助成する。負担を減らす事で、県外への派遣の機会を増やし、次代を担う児童生徒の可能性を引き出し、教育の振興、学力向上を図る。	H24年度県外派遣実績:25件	県外派遣実績:25件	(今後の展開方針) H26年度: 県外派遣25件 H27年度: 県外派遣25件 H28年度: 県外派遣25件 H29年度: 県外派遣25件	
7	⑤	小中学校パソコン機器整備事業	H25～H29	情報化社会に即応した技能を身につけ、学力向上を図るため、小中学校にパソコン機器を整備する。	市立小中学校へのパソコン機器等の整備 (パソコン計302台)	市立小中学校へのパソコン機器等の整備 (パソコン計302台)	(今後の展開方針) 市立小中学校14校PC教室/パソコン機器等一式を年次的に整備 H26年度: 2小学校整備 H27年度: 3小学校整備 H28年度: 2中学校整備 H29年度: 2小学校整備	
7	⑥	学習支援員配置事業	H25	一斉指導による学習についていけない児童・生徒への教科支援として、習熟度別の学習形態や個別課題としての反復練習・反復訓練や実物の教材・教具による学習、パソコン学習の取り入れにより学習意欲の回復を図る。	小学校学習支援員: 8名 中学校学習支援員: 4名の配置	小学校: 8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。1授業当たり3名程度の児童を支援する。) 中学校: 4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)		
7	⑦	学習支援教材ソフト導入事業	H25～H28	市内各小中学校へ、学習支援教材ソフトを導入しICT環境を整備することにより、児童・生徒の学力の向上を図る。	デジタル教科書購入 ・市内9小学校 173冊 ・市内5中学校 57冊	デジタル教科書導入率の向上 ・市内9小学校: H24年度4%(7冊)→H25年度100% (必要冊数: 9校×20冊=計180冊) ・市内5中学校: H24年度48%(53冊)→H25年度100% (必要冊数: 5校×22冊=計110冊)	(今後の展開方針) デジタル教科書は、教科書改訂年度(小学校: H27年度、中学校 H28年度)に合わせて再整備を予定。	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等				
7	⑧	特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25～H29	学校教育法において、学習障害や注意欠陥多動性障害を持つ児童・生徒においても通常の学級に在席させることとされている。しかし、1学級に教員1人では適切な学習環境が保持できないため、特別支援教育支援員・障害児ヘルパーを配置し、学習環境の向上を図る。	特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園：障害児ヘルパー（保育）10名、（預かり保育）4名 ・小学校：特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー23名 ・中学校：障害児ヘルパー8名	特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園：障害児ヘルパー（保育）10名、（預かり保育）4名 ・小学校：特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー23名 ・中学校：障害児ヘルパー8名	(今後の展開方針) 平成26年度～29年度 特別支援教育・障害児ヘルパーの配置		
8		地域文化の継承と生涯学習実践事業	H24～H29						
8	①	文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24～H25	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。	主要イベントへの運営費補助 4件	下記、主要イベントを実施する。 ①シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 1,150名(H24年度1,100名) ②8th' Jazz in Nanjo 450名(H24年度414名) ③組踊スイミー 400名(H24年度 0名) ④新崎誠美ピアノコンサート 400名(H24年度0名)			
8	②	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H29	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	専門委員会議の回数 御嶽・グスク 5回 資料集戦争 5回	専門委員会議の回数 御嶽・グスク 5回 資料集戦争 5回	(今後の展開方針) 集落域文化遺産サイン整備 H26年度：御嶽・グスク執筆依頼、戦争関連資料収集 H27年度：御嶽・グスク編印刷 H28年度：戦争編執筆依頼 H29年度：戦争編印刷		
8	③	文化センター機能強化事業	H25～H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、ホールの音響及び照明並びに空調機器の整備を行う。	工事入札契約、工事着手	文化センター機能整備の実施、完了	(今後の展開方針) H25年度：音響・照明等 H26年度：照明等 H27年度：空調機器等 H28年度：備品等		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	H25事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
バ 細								
9		戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	H25					
9	①	戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	H25	劣化が進んでいる紙原本の沖縄関係書類の滅失防止を図り、戸籍システムでの検索及び証明発行を可能とし、円滑な管理・運用を整備するため電算化を実施する。	戸籍システムの電算化を実施	戸籍システムの電算化		
10		福寿のまちづくり事業	H25～H29					
10	①	健康づくり支援調査検証事業	H25～H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具等の設置及び、生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(24回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約500名)を対象とした調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(24回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約500名)を対象とした調査の実施 	(今後の展開方針) 事業効果を検証しながら市民の健康づくりを支援する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光客の集客推進事業	H24～H28					
1	①	産業まつり誘客推進事業	H24～H28	産業まつりにおいて、観光客を含めた参加型のイベントを開催し、村民と県内外の観光客との交流の場を提供することにより、国頭村の魅力や認知度の向上を図り、リピーターの増大につなげる。	産業まつり開催支援	産業まつり会場への来場者数 H23年度:3,000人→H25年度:4,000人	(今後の展開方針) 産業まつり来場者数 基準年(H23):3,000人 平成28年度:5,000人	
1	②	スポーツコンベンション観光振興事業	H25～H26	本村でのスポーツキャンプによる滞在人口の増加を図り観光振興に向けて、受入施設の充実・強化を図るため、H25年度はくがみ球場に隣接したクラブハウスを整備する。また、サッカーの誘致を図るには、施設内の芝を良好な状態で管理する必要があり、刈った芝や練習等により擦り切れた芝を取り除く機械を購入する。	実施設計・施工監理(委託) クラブハウス建築工事 備品購入(クラブハウスロッカー) 機械整備(コアスリーパー)	クラブハウス整備の完了	(今後の展開方針) H26年度:ブルベン設計・監理委託・整備	
1	③	観光拠点施設機能強化事業	H25	国頭村の観光拠点である、国頭村観光物産センター(道の駅ゆいゆい国頭)を、多様化する観光客ニーズに対応していくための体制整備(ふるさと市施設増設・全ての商品管理を電子一元化など)、オンラインの販売商品開発、地域食材を活用した食事メニュー開発などを実施し、更なる観光客誘致を図る。	・特産品開発、備品整備 ・ふるさと市施設増設 ・電子の一元化(商品管理)	・特産品開発、備品整備 ・ふるさと市施設増設 ・電子の一元化(販売商品・施設情報管理ネットワーク整備)	(今後の展開方針) ・H26年度:特産品の販売、ふるさと市売り場拡大、商品管理1本化。	
2		ヤンバルクイナの郷づくり構想事業	H25					
2	①	ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)等整備事業	H25	平成24年度に策定した構想を下に、「ヤンバルクイナ観察小屋」等の既存施設の連携と、観光地域づくり及び環境教育の有効な利活用を図るため、既存施設に隣接する位置に、集客用カフェ及び地域特産品販売所を兼ねたヤンバルクイナの森観察センター(仮称)や、ヤンバルクイナの飼育観察、ヤンバルクイナの生態を知ってもらい保全のための教育及び普及、啓発の促進のため、カメラシステムを導入する他、既存クイナふれあい公園の進入道路の改修を図り、計画期間内で関連施設を整備する。	実施設計、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、道路改修工事、情報設備整備を実施する。	・ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)の建設完了 ・ヤンバルクイナの観察情報施設の整備 ・くいなふれあい公園侵入道路の改修(幅員3.5mを5mへ拡幅)	(今後の展開方針) H26:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	②	クイナパークゴルフ場改修整備事業	H25	平成24年度に策定した構想を下に、「ヤンバルクイナ観察小屋」等の既存施設と、新たな拠点施設整備による観光地域づくりの有効な活用を図るため、既存施設のクイナパークゴルフ場の36ホール芝の張り替え及び施設周辺の植栽を整備し、各施設間の連携と観光客の憩いの場や交流の場を提供する。	実施設計、張り芝替工事を実施する。	クイナパークゴルフ場の改修完了	(今後の展開方針) H26:供用開始	
3		観光地の安全・安心・快適促進事業	H24~H25					
3	①	比地大滝歩道改修事業	H24~H25	当該施設の歩道は起伏が激しく、階段歩道も多いことから、子供からお年寄り、また健常者以外の利用者も気軽に散策できるように歩道を改修し、環境整備を行う。	歩道改修整備工事	歩道改修整備工事 W=1.5m L=530m 透水性舗装 L=500m 浅道 L=30m		
3	②	観光地の安全・安心・快適な観光地づくり促進事業	H25	自然資源を利用する観光客やビーチ利用者等へのサービス向上を図るため、観光地内の老朽化した施設(公衆トイレ・シャワー等)を整備し、施設利用者の利便性及び快適性の向上とリピーター確保を目指す。	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設建築工事・機械工事・電気工事の実施	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設工事完了	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
4		体験交流型観光受入体制促進事業	H24~H28					
4	①	地域資源継承・交流拠点整備事業	H24~H28	国頭村与那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム(海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等)等による観光客との交流・体験活動を促進する拠点整備のための実施設計を行う。	実施設計	実施設計	(今後の展開方針) H26施工監理・建設工事 H27整備工事	
4	②	体験型民泊受入促進事業	H24~H25	旅行者・学校関係者・雑誌社へ国頭村民泊事業のPRのためのモニターツアーを企画実施し、国頭村での民泊事業への誘客を図るとともに、民泊事業者等を対象に講習会や先進地域との交流視察研修等を実施し、民泊受入体制を強化する。	・旅行者・学校・雑誌社向け民泊PRモニターツアーの企画・実施 ・民泊ステップアップ研修の実施	民泊受入延人数:1,690人 (H23年度1,135人、H24年度1,383人)	(今後の展開方針) H26年度: ・民泊受入ステップアップ研修 ・旅行者・学校へ営業活動	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5		自然を生かした観光の村づくり事業	H24～H28					
5	①	多自然川づくり事業	H24～H25	H24年度に実施している自然環境調査及び推進計画策定業務を基に、H25年度は、基本設計を実施するものである。	自然環境調査(H24繰越) 推進計画策定業務(H24繰越) 基本設計	辺土名川河川整備に係る調査業務及び基本設計の実施	(今後の展開方針) H26年度:実施設計用地物件・整備工事 H27年度:用地物件・整備工事 H28年度:整備工事 H29年度:供用開始	
5	②	緑の美ら島づくり環境整備事業	H24～H28	森林セラピーや森林ツーリズムなど、森の癒しの効用や自然観察等に訪れる観光客等への満足度を高めるため、観光地周辺や林道沿いの不法投棄、散乱ゴミの回収や雑草除去等を実施し、快適な観光地としてお客様満足度を高める。	不法投棄パトロール・回収の実施 アクセスルートの雑草除去	不法投棄パトロール・回収:村内全域 アクセスルート雑草除去箇所数:4箇所×2回	(今後の展開方針) 不法投棄パトロールの監視強化及び啓蒙普及活動の強化を実施し、不法投棄ゼロを目指す。	
6		国頭村文化財観光資源活用事業	H24～H27	国頭村内に所在する文化財について、その記録・保存・活用を目的として事業を行うもので、平成25年度については比地の神アサギ等について、その茅葺き修復作業とともに、文化財説明版や案内板の設置・パンフレット等の作成を行い国頭村観光コンテンツとして文化財を活用する。	神アシャギ整備(茅葺き替え1棟) 文化行事説明看板等設置(8基) パンフレット作成	神アシャギ整備(茅葺き替え1棟) 文化行事説明看板等設置(8基) パンフレット作成	(今後の展開方針) H27年度:文化財ツアー計画の作成	
7		平張網掛施設整備事業	H24～H28	国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の園地平張網掛施設を整備し、ノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。	平張網掛施設の整備件数:9件	平張網掛施設の整備件数:9件	(今後の展開方針) 平張網掛施設整備件数(累計) H29年度:44件	
8		森林セラピー推進事業	H24～H26	一年を通して森林セラピープログラムが体験出来る環境を整えることで地域再生を図るため、森林セラピーガイドの育成やセラピーロード施設整備等を推進する。	セラピーガイドの育成 認定人数:5人	セラピーガイドの育成 認定人数:5人	(今後の展開方針) セラピーガイドの育成(累計) H29年度:20人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
9		やんばる国頭村木材活用「木育」推進事業	H24～H28	やんばる国頭村木材を活用した玩具、勉強机、家具、内装材等を開発して、それらを活用した「木育」活動を推進することにより、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やし、「木づかいファン」増加による国頭村木材の利用促進を図ため、人材育成や玩具開発等を行う。	「木育」人材養成講座開催 講座修了者数:10人	「木育」人材養成講座開催 講座修了者数:10人	(今後の展開方針) 「木育」サポート人材育成(累計) H29年度:20人	
10		やんばる「森林業」創出プロジェクト事業	H24～H28	林産業の活力再生のため、「国頭森林組合」や「国頭村林業研究会」を主体に、森の育む資源や機能を様々な面から活用する包括的な森林管理事業「森林業」の創出に向けた有用樹種の開発等の調査・研究及び試行実施を行い、村の林産業発展を目指す。	有用樹種開発苗木:500本 研修セミナー開催:4回 培養土試作:3m ³	有用樹種苗木開発 開発苗木数:500本	(今後の展開方針) 有用樹種苗木開発(累計) H29年度:3,000本	
11		国内外水族館「観賞魚」供給体制構築事業	H25	国頭漁業協同組合に対し、「観賞魚」の物流体制構築を図ることを目的に補助金を交付し、空輸用コンテナの開発及び試験搬送(国内外)を実施する。	空輸用コンテナの開発 国内外への試験搬送の実施	空輸用コンテナの整備 N=2基(大・小)以上 国内外への試験搬送 国内/1箇所、国外/1箇所	(今後の展開方針) 観賞魚販売の販路開拓	
12		安全・安心で住みよい村づくり	H24～H28					
12	①	国頭村減災地域社会形成事業	H24～H28	災害発生時の住民と観光客の安全を確保するため、地域防災計画を策定する。危険度評価などを実施したH24に引き続き、H25も地域防災計画の策定を推進する。	・国頭村地域防災計画の策定を行う。 ・各集落毎の自主防災組織化 ・集落毎防災訓練の実施:12集落	・国頭村地域防災計画の策定 ・集落の自主防災組織化:3集落 ・集落毎防災訓練の実施数:12集落	(今後の展開方針) ・国頭村地域防災計画により、全集落の自主防災組織の設立を目指す。	
12	②	集落別減災地域社会形成事業	H24～H28	住民と観光客の安全・安心を確保するために、集落毎の減災・防災計画を作成するとともに、避難路を整備する。	桃原地区避難路の整備	桃原地区避難路の整備 避難路延長:320m	(今後の展開方針) 今後、早急に必要とされる避難路等の整備	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
13		教育・福祉環境整備事業	H25～H33					
13	①	学習支援員配置事業	H25～H33	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を取りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	・学習支援員配置数 小学校3人 中学校1人	学習支援員を村内小学校3校(対象児童数264人)、中学校1校(対象生徒数150人)に配置	(今後の展開方針) 学習支援員の効果的配置	
13	②	中学校英語指導員配置事業	H25～H33	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上に資することで、基礎学力の向上に繋げる。	・英語指導員配置数 中学校1人	英語指導員を村内中学校1校(対象生徒数150人)に配置	(今後の展開方針) 中学校英語指導員の効果的配置	
13	③	中学生海外短期留学派遣事業	H25～H33	中学生を英語圏に短期間派遣し英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	・派遣生徒数 2人	海外短期派遣生徒数 2人 ホームステイ報告発表の実施	(今後の展開方針) 海外短期派遣生徒数(累計)18人	
13	④	小学生県外体験学習派遣事業	H25～H33	小学生を県外に短期間派遣し、気候風土の異なった遠隔の地で見聞を広めるとともに、郷土意識の高揚を図り、新時代を担う視野の広い心身ともに健全なジュニアリーダーの育成を目指す。	・鳥取県岩美町交流事業 受入派遣各1回 団員22人 ・雪国体験派遣事業 派遣数 66人	事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会の実施	(今後の展開方針) 派遣地の選定、引率指導者の研修	
13	⑤	児童生等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H25～H33	小・中学校の児童生徒が、運動競技または文化関係大会に参加するため、県外に派遣する必要がある場合に補助金を交付する。	・大会等派遣数 小学生 40人 中学生30人	大会等派遣数 小学生 40人 中学生30人	(今後の展開方針) 大会等派遣数(累計)630人	
13	⑥	ひとり親家庭の子育て応援事業	H25～H33	学習福祉支援員を配置し、母子・父子・養育家庭における子育ての相談対応の強化を行うと共に、学校・家庭・地域の連携を強化し、非行・不登校・発達障害や思春期うつなどの精神疾患・自殺対策など子どもが抱える問題に対する支援を行う。	学習福祉支援員配置数:1人	学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。	(今後の展開方針) 学習支援員の効果的配置	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		大宜味村観光受入体制強化促進事業						
1	①	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24～H28	大保ダムの湖面を利用した、エコツーリズムを展開するため棧橋設置を行い、活性化センター(道の駅)の機能を活かすため販売促進計画及び特産品開発調査を行う。	販売促進施設整備計画の策定 特産品開発調査	販売促進施設整備計画の策定 特産品開発調査の実施	(今後の展開方針) H27年度:販売促進施設実施設計 H28年度:販売促進施設建築工事	10月変更(事業費変更等による各目標変更)
1	②	「長寿と癒しの森」整備事業	H24～H28	長寿の里である本村の特色を活かし、村民が日頃から保健、介護予防、福祉分野で活用しながら、ヘルスツーリズムを受け入れられる機能を持った施設を整備する。	長寿の里ウエルネスセンター実施設計の実施	長寿の里ウエルネスセンター実施設計完了	(今後の展開方針) H26年度:建設工事 H27年度:供用開始 H28年度:長寿と癒やし森整備	
1	③	大宜味村観光情報発信整備事業	H24～H28	観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、ホームページの作成による情報発信等により大宜味村らしい観光情報発信を展開し、誘客を促進する。	・ホームページ作成 ・産業まつり誘客イベント開催支援	・観光に特化したホームページの作成・公開 ・産業まつり参加者数:3,000名	(今後の展開方針) 観光客のHPによる観光誘導 H26年度:村PR観光案内板設置 産業まつり参加者数(累計) H28年度:12,000名	
1	④	エコツーリズム人材育成事業	H24～H28	やんばるの自然を保全・活用するとともに、村内の伝統文化を継承、発信する環境保全型のエコツーリズムガイド育成体制の構築を目指すため、大宜味村エコツーリズム人材育成基本計画を策定する。	エコツーリズム人材育成基本計画の策定	エコツーリズム人材育成基本計画の策定	(今後の展開方針) H26年度:計画の検証 エコツーリズムガイドの認定(目標値:10人)	
1	⑥	結の浜公園整備事業	H24～H28	産業振興と村の定住環境空間の拠点として位置付けられた公有水面埋立地「結の浜」を県民や観光客等が交流する拠点公園として整備することにより、観光振興の受入体制を強化する	結の浜公園整備工事の実施 土木工事(造成・植栽)	結の浜公園整備工事の実施 土木工事(造成・植栽)	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
1	⑧	大宜味村文化財活用促進事業	H25～H28	大宜味村の歴史、文化に繋がる昔話をわかりやすく、継承できるよう、活字の昔話を絵本化し、文化資源を活かした観光振興及び地域の活性化を図る。	大宜味の昔話絵本化(選定・編集・製作)	大宜味の昔話絵本化(選定・編集・製作)	(今後の展開方針) H26年度:民具修復、標本製作 H27年度:レプリカ作成 H28年度:展示準備	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		「ぶながやの里」学力向上推進事業						
2	①	学習支援員配置事業	H25～H28	将来の大宜味村を担う児童生徒の基礎学力の定着を図るため、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 村内小学校4人・中学校1人	学習支援員 村内4小学校各1人・1中学校に1人配置	(今後の展開方針) 学力到達度調査 H28年度：県平均を目標	
2	②	地域支援員配置事業	H25～H28	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等のない学校教育を支援する地域支援員を配置する。	地域支援員配置数 村内中学校1人	地域支援員(村内1中学校に配置) 不登校者出席率：現在27%→40%	(今後の展開方針) 不登校者出席率 H28年度：60%	
2	③	学校教育ICT環境改善整備事業	H25	村内小学校4校及び中学校1校にデジタル黒板を整備する。	デジタル黒板設置 村内小学校8台・中学校4台	デジタル黒板の設置 村内4小学校×各2台=8台設置 村内1中学校×4台=4台(4学級に設置)		
2	④	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25～H28	各種団体の生涯学習及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習コーディネーターを配置する。	生涯学習コーディネーター配置数 教育委員会1人	生涯学習コーディネーター配置(教育委員会1人) 生涯学習講座 10回開催 講座受講者数 H25年度：100名	(今後の展開方針) 講座受講者数(累計) H28年度：400名	
3	①	大宜味村地域防災計画作成等業務事業	H25	海洋県沖縄でありながら、防災計画等において津波に対する考えが弱小であり、3.11東日本の教訓を受け、村民及び本村を訪れる観光客に安心・安全を提供するため防災計画を見直し、防災マップの作成、海拔表示板の設置も行う。	地域防災計画の見直し 防災マップ作成 海拔表示板の設置(50箇所)	防災計画見直し実施 防災マップ認知度：(0%→100%) 海拔表示板の設置(主要な公共施設、観光地等)	(今後の展開方針) 防災マップ作成後にホームページ掲載により観光客・住民への周知、説明会等でのマップ配布により住民への認知度を向上させる。また、海拔表示板の設置により避難の迅速化を図る。	
4	①	災害に強い県土づくり事業	H25	大宜味村はグリーンツーリズム、トレッキング、川遊びなどが盛んで域外からの来訪者も多く、安全なレジャー環境確保と下流集落の浸水防止を図るため、河川沿いに自生している雑木の撤去を行い、倒木等による河川の閉塞、冠水等を未然に防止する。	危険箇所の確認 雑木撤去	雑木等を撤去し、倒木等による河川の閉塞、灌水を未然に防止する。	(今後の展開方針) 災害を未然に防ぎ、河川散策の安全性を高め、河川散策等のツーリズムに活かす。	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		東村観光客受入体制強化事業	H25～H28					
1	①	東村観光振興事業	H25～H28	東村観光振興計画において重点プロジェクトとして位置付けられたエコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の自然体験型観光の新たなフィールドやプログラムの開発、農業体験の質の充実、エコツアーフィールドの受入容量の設定や利用調整、観光情報の発信、PR活動等を実施する。	誘客プロモーション:2回 ポスター、ガイドマップ等作成 新たなプログラムの創出等	誘客プロモーション:2回 ポスター、ガイドマップ等作成 自然体験型観光の新たなフィールド開拓	(今後の実施予定内容) 東村観光振興計画の具現化 (目標) 東村観光客入込客数:36万人 (H26年度) ※基準値:31万人(H24年度)	
1	②	ブルーツーリズム体験施設等整備事業	H25～H27	東村内において新たな観光フィールドを開発するため、宮城地区にブルーツーリズムの体験に必要な便益施設(トイレ、更衣室、シャワー、駐車場等)及び海へのアクセス道の整備を行うため基本計画を策定する。	ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定 (建築場所、施設規模、アクセス道整備)	ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定 (建築場所、施設規模、アクセス道整備)	(今後の展開方針) H26年度 実施設計 工事 H27年度 工事	
2		東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)を研修生として受入れ、沖縄県内において技術研修を実施するとともに村民及び県民との交流を通じ、本村と移住先国との友好親善に資するために、研修生受入事業を実施する。	研修生受入 3人	研修生受入(3人)及び技術研修の実施		
3		東村教育施設環境整備事業	H25	亜熱帯気候である本県は年間を通じて高温多湿な状況が長期間続き、特有の虫も多いことから幼児、児童生徒等の学習環境を改善し学習に集中できるように、村内の幼稚園、小中学校に空調設備等を設置する。	網戸及び扇風機・空調機設置一式 (村内3校)	網戸及び扇風機・空調機設置一式(村内3校)		
4		東村クリーンエネルギー推進事業	H24～H25	本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光パネルを設置し太陽光発電を整備する。	太陽光発電設備の設計及び設置工事 (10箇所)	太陽光発電設備の設計及び設置工事(10箇所)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				5	東村観光誘客施設(仮称)整備事業			
6	東村観光施設機能強化事業	H25~H27	/		/		/	
6	① 東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化事業	H25~H27	村民の森つつじ園の駐車場、管理棟、展望台等の機能強化を図るため基本計画を策定する。また、つつじエコパークに遊具施設を整備する。	東村村民の森施設機能強化基本計画策定 つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事	東村村民の森機能強化基本計画策定 つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事	(今後の展開方針) H26年度 遊具 供用開始(目標) つつじエコパーク利用者数 H24 78,000人(延人数) H26 85,000人(目標)		
6	② 川田福地公園機能強化事業	H25	川田福地公園に自然に親しむための施設(水場、観察池、双眼鏡)や遊具を整備する。	公園機能強化の設計及び工事	公園機能強化の設計及び工事	(今後の展開方針) H26年度 供用開始(目標) 川田福地公園利用者数 H24 1,798人(実数) H30 2,690人(目標)		
6	③ 東村指定文化財周辺整備事業	H25	村指定の文化財(天然記念物)であるサキシマスオウノキとオガタマノキ周辺に駐車場や休憩所、展望デッキ等を整備する。	駐車スペース・休憩所 展望デッキの整備	駐車スペース・休憩所 展望デッキの整備	(今後の展開方針) H26年度 供用開始		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24～H27					
1	①	今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24～H27	沖縄県第2の長寿村である今帰仁村は、「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図ることとしている。 本事業では、住民へのアンケートや会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。	・健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査の実施 ・健康長寿作戦会議開催	・健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査の実施 地域で共に支えあう健康長寿プログラムの立案	(今後の展開方針) ・H26～27年度:同調査分析解析報告書作成、健康長寿作戦会議、健康長寿作戦実施	
2		今帰仁村子ども教育充実事業	H24～H33					
2	①	指導用情報機器購入事業	H24～H25	教職員指導用ノートパソコン、タッチパネル等を導入し電子教科書を活用した学習が可能となり児童・生徒の学習意欲の向上を図る。	・教育用情報機器配布学校数 小学校:3校	・村内小学校の教育用ソフト等の導入率100%	(今後の展開方針) ・電子教科書を活用し、学習意欲の向上を図る。	
2	②	吹奏楽楽器購入事業	H24～H25	吹奏楽に必要な楽器を整備することにより、村内の祭りやスポーツイベント、式典などの多様な場面において、演奏活動を行うことが可能となり、今帰仁村の教育・文化・観光産業に寄与する。	・吹奏楽楽器の整備:19個	・古宇利ハーフマラソン・駅伝大会の開閉式、東ティモール児童との交流会等での演奏活動。	(今後の展開方針) ・イベント・式典等に参加する。	
2	③	人材育成事業	H24～H33	小学校を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流は子供達の視野の広がりと将来に向けて刺激を与えることができる。	・派遣生徒数:36人	・派遣後は、地域及び本村のジュニアリーグの団員として活動 ・北山ていーだの会団員として「現代版組踊 北山の風」のメンバーとして活動	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):360人	
2	④	東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24～H33	東ティモールの児童を招聘し、本村4小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。	・受入児童数:4人、引率:2人	国際交流活動による海外からの受入者数 ・受入児童数:4人、引率2人 ・姉妹校の締結	(今後の展開方針) 研修生受入者数(累計):50人 ・本村の児童生徒を派遣する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
2	⑤	芸術家招聘事業	H24～H27	本村の小学校校歌の作詞者親族であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。	・公演会開催校:小学校2校	・公演会に参加した児童生徒数:462人	(今後の展開方針) ・芸術家の講演を聴く機会を多く実施する。		
2	⑥	未来を担う人材育成事業	H24～H33	国公立大学進学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	・講座参加数:16人	・講座参加数:16人 ・講座参加者16人中、国公立大学合格者8人(50%)	(今後の展開方針) ・参加人数や大学進学率の向上		
2	⑦	学習支援者配置事業	H25～H33	学力向上のための学習支援員や、障害のある園児・児童生徒(多動性や情緒も含む)のための特別支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら支援を行うことで教育環境を充実させる。	幼稚園(学)0人(特)2人 小学校(学)3人(特)6人 中学校(学)1人(特)0人	幼稚園(学)0人(特)2人 小学校(学)3人(特)6人 中学校(学)1人(特)0人 ・学力や学習意欲の向上 ・村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率100%	(今後の展開方針) ・学力や学習意欲の向上		
2	⑧	中高生海外語学留学支援事業	H25～H33	英語を学ぶことの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生3人及び北山高等学校に在学する本村出身高校生2人を対象に、夏季休学中にアメリカ(ハワイ2週間・シアトル4週間)で学習する機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	・留学生生徒数 中学生:3人 高校生:2人	・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動	(今後の展開方針) ・留学生の人数の増や自己負担の減を図る。		
2	⑨	児童生徒等の県外派遣事業	H25～H33	小・中学生の児童生徒や県立高等学校の生徒が、県外で開催される各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 156人 ・県外・国外文化交流事業 18人	・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 156人 ・県外・国外文化交流事業 18人	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):1,746人		
3		今帰仁村観光客受入強化事業	H24～H33						
3	①	景観形成強化事業	H24～H28	村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入体制を整える。	・歩きやすい歩行空間の確保(道路の舗装、粉塵防止、防護柵設置等)	・快適な観光アクセスルートの整備(4.7km)	(今後の展開方針) H26～H27:防護柵設置・舗装 ・道路整備工事		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	②	環境保全美化推進事業	H24～H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・美化した観光ルートの路線数	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・快適な観光アクセスルートの整備(27路線)	(今後の展開方針) 継続的に快適な観光アクセスルートの整備	
3	③	風景づくり推進事業	H24～H28	今帰仁村らしい景観を保全・継承し、さらに発展させていく景観計画の策定、その実施に向けた推進体制を行政・住民・事業者で構築して、地域振興にも寄与する景観計画を策定した後、地域住民の意思を反映させながらその内容をより一層推進していく。	・景観向上行動計画の策定	・景観条例の施行	(今後の展開方針) 村の景観を保全及び継承し、行政・住民と共に構築を行う。	
3	④	観光力基盤強化事業	H24～H33	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊 北山の風の開催、イベントへの開催支援	・現代版組踊 北山の風の開催、イベントへの開催支援 ・現代版組踊 北山の風の開催、イベントへの開催支援 ・北山の風 3回イベント(村内1 村外2) ・古宇利ハーフマラソン 参加者 2,500人 ・今帰仁城跡ライトアップ・さくら祭り 来場者 39,000人 ・今帰仁総合まつり 来場者 8,000人 ・今帰仁ハーリー大会 出場チーム 60チーム	(今後の展開方針) ・イベントを通して村の活性化を図る。	
3	⑤	観光地安全強化事業	H24～H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・今帰仁城跡来訪者安全対策の実施(12月～3月)	・今帰仁城跡来訪者の安全の確保(12月～3月)	(今後の展開方針) ・今帰仁城跡来訪者の安全対策を強化していく。	
3	⑥	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24～H28	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。	今帰仁村総合運動公園照明設備改修工事 ・サブグラウンド及びホッケー場	今帰仁村総合運動公園照明設備改修工事 ・サブグラウンド及びホッケー場	(今後の展開方針) ・H26年度:テニスコートの改修 ・H27年度:プールの改修 ・H28年度:イベント広場の改修	
3	⑦	バンガロー機能強化整備事業	H24～H26	今帰仁村森林公園のバンガロー・キャンプ場宿泊施設・遊歩道の機能強化を図り、観光客・村民の観光拠点施設としての基盤強化を図る。	遊歩道整備の実施	遊歩道整備の完成	(今後の展開方針) ・H26年度:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
3	⑧	観光拠点整備強化事業	H24～H25	ワルミ大橋活性化施設の建築に伴い、観光案内板を設置し、北部観光資源を結ぶ周遊ルートの拠点化を図る。	観光案内板の設置:2箇所	観光案内板の設置:2箇所	(今後の展開方針) H25年度:観光案内板設計・設置		
3	⑨	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24～H27	世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。	・用地測量 12筆分筆測量 ・河川改修工事 L=90m	・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上。 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築。 ・平成25年度は延長560mの内90mの工事を実施する。	(今後の展開方針) ・H25～27年度:河川の整備 ・H28年度:供用開始		
3	⑩	今帰仁城跡駐車場安全強化事業	H24～H25	世界遺産今帰仁城跡の駐車場をアスファルト舗装し、区画線及び安全対策をする事で利用者の安全性と快適性の向上を図る。	・今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装工事	・今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装工事の完了 ・乗用車駐車場:80台			
3	⑪	民泊・体験型観光受け入れ基盤整備調査事業	H24～H26	民泊・体験型観光の運用体制構築・基盤整備のための基本調査を実施する。	・民泊・体験型観光基本計画策定 ・民泊説明会の開催 ・民泊誘致・PR活動	運用体制の構築・基盤整備のための課題等把握	(今後の展開方針) ・H27年度より、民泊及び体験型観光受入の推進。		
3	⑫	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25～H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・案内に資する知識を得るために講演会や研修会を開催する。	・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・ガイドによる来訪者の案内 11,000名目標 (平成24年度、案内した来訪者数 10,589名)	(今後の展開方針) ・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・案内に資する知識を得るために講演会や研修会を開催する。		
4	①	地域活動拠点活性化事業	H25	上運天地区は伊是名・伊平屋島の発着点である運天港を有する地域である。今後も地域住民の交流の場でもあり、かつ各種行事・伝統芸能(豊年祭等)の練習や料理教室を通して、観光客とも交流できる拠点としての施設を整備する。	・地域活動拠点施設の設計及び建築工事の実施	・地域活動拠点施設の完成	(今後の展開方針) ・H26年度 供用開始 ・伝統芸能等(豊年祭)の実施。 ・各種行事の実施。 ・観光客との交流。		
5	①	今帰仁村地域安心・安全告知整備事業	H25～H26	近年では、地震発生・集中雨の頻発による土地災害への懸念や津波による大規模災害も想定されることから、緊急性の高い情報伝達、予測段階(注意喚起)での活用、また行政情報の住民への伝達など防災情報に特化せず幅広く活用するための情報伝達手段を整備する。	・効果的な情報伝達手段の調査及びシステム構築調査(19行政区 小学校3校 中学校1校)	・効果的な情報伝達手段の調査及びシステム構築調査(19行政区 小学校3校 中学校1校)	(今後の展開方針) ・H26年度 工事の実施 ・H27年度 供用開始		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		本部町観光拠点形成事業	H24～H29					
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24～H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個	美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個	(今後の展開方針) 昨年度の実績を踏まえ、地域住民の意見を取り入れた、地域主導の取組を図る	
1	②	周遊観光実証調査事業	H24～H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光及び、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光のサポートを行う人材の育成を行う。	周遊タクシーの試験稼働:3台 事業実施主体の組織立上:1団体	新たな周遊観光コースの創出:2コース	(今後の展開方針) 新たな実施主体(事務局)による事業の本格稼働	
1	③	外国人対応観光人材育成事業	H24～H28	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	外国語講座の実施 講座開催数:年9回	観光人材の育成数:10名 (ホテルや商店街など観光の第一線でお客様に接するスタッフで語学研修を受講し、観光サービスにおいて最低限のコミュニケーション能力を習得した、外国人に対応する人材育成)	(今後の展開方針) 継続的に講座を行い更なるスキル向上に努める	
1	④	本部半島ジオパーク推進事業	H24～H28	本町には、年間約300万人余りの観光客が訪れているにもかかわらず町内への十分な経済効果が得られていないのが現状である。また、1人でも多くの宿泊滞在者を増やすことが喫緊の課題である。そこで、本部半島特有の「熱帯カルスト地形」等をジオパークに登録することで地域振興を図る。	・ジオツアー等の企画・実施 ・パンフレット・ポスター等の作成 ・解説板設置 ・日本ジオパーク認定活動	ジオツアー参加者数:135人	(今後の展開方針) 更なる地域住民の理解を深めるとともに、関連団体との連携強化を図り、日本ジオパークの登録を目指す	
1	⑤	ハブ咬傷防止事業	H25～H29	タイワンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約150カ所に設置	ハブ捕獲数年間:150匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的にを行い、個体数及び生息域の抑制を図る。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑥	本部町観光プラットフォーム構築事業	H25～H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定) ・地域資源調査・地域事業者の連携 ・ブランド戦略の策定	・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定)を図る。 ・地域資源調査・地域事業者の連携による新たな観光商品(資源)の発掘 ・ブランド戦略の策定	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・情報発信(SNS、イベント出展) ・県内外旅行会社との連携	
1	⑦	八重岳観光拠点整備事業	H25～H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水設計等の実施 L= 4,000m	排水設計等の実施 L= 4,000m	(今後の展開方針) H26年度:八重岳入口河川の親水護岸及び排水路整備 H27年度～H29年度:法面崩壊防止のための排水路整備	
1	⑧	山里山百合増殖普及事業	H25～H27	在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の増殖・補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	自生山百合の増殖:20,000株 山里地区でのイベント(山百合祭など)の開催(1回)	イベント実施による観客数:300人 自生山百合の増殖:20,000株	(今後の展開方針) 自生山百合の増殖(累計) H27年度:60,000株	
1	⑨	伝統興行観光化事業	H25～H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。あわせて観光客へも広く伝統興行が鑑賞できる環境を整備し、観光資源化を促進させることで、伝統興行の担い手の経営安定化につなげていく。	伝統興行の実施:3回	伝統興行の実施による観客数(累計):1,500人	(今後の展開方針) 伝統興行の実施(累計) H28年度:15回	
1	⑩	本部町2大まつり事業	H25～H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 8月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人 ・桜まつり 200,000人 過去の来訪者数 ・海洋まつり(H22度6,441名、H23度6,037名、H24度8,629名) ・桜まつり(H22度188,654人、H23度150,792人、H24度154,684人)	(今後の展開方針) エージェント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	①	備瀬観光集落整備事業	H25～H27	昔ながらの集落景観を保全しつつ、備瀬集落の観光資源として整備を行うことで地域の活性化を図る。	・観光集落基本構想・計画策定 ・フクギの剪定＝約 7,000本	・観光集落基本構想・計画策定 ・フクギの剪定＝約 7,000本	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・県内外旅行会社との連携	
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	H24～H28					
2	①	本部町キク拠点産地強化事業	H24～H26	本部町のキク栽培における現状は、栽培農家の高齢化による労働力不足や、新たな担い手の確保等が課題となっている。そこで、下葉とり、高さ揃え、重量選別、結束を同一機械で行う花き選別機の整備を図り、一連の出荷作業の機械化体系を確立することにより、品質及び生産性の向上、経営規模の拡大を進め、担い手農家の確保や、農家所得の向上を図る。	自動結束ロボット付重量選別機導入	自動結束ロボット付重量選別機導入数:6台 (内訳) 沖縄県農業協同組合:3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合:3台	(今後の展開方針) 平成26年度に自動結束ロボット付重量選別機導入予定(6台)	
2	②	園芸農業防災施設整備事業	H24～H25	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きいため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	ビニールハウスの整備件数:5件	(今後の展開方針) 農家選定後、順次施設整備を実地する。今後要望があれば事業の継続を検討する。	
2	③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24～H28	本部町における鳥獣による農林水産業等の被害については毎年のように発生しているため、捕獲箱による駆除及び銃器駆除を行う。また被害防止の為に施策を総合的且つ、効果的に実施するため、みかん木へ網掛け防除を行う。	・カラス銃器による駆除の実施 ・カラス捕獲器による駆除の実施 ・タンカン木網掛け防除	鳥獣駆除数 1,500羽	(今後の展開方針) 平成24年～28年度まで累計 (1,500羽 * 5年 = 7,500羽)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	④	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24～H28	観光文化の町である本部町は、観光客向けのホテルやレストラン、飲食店等を数多く有しているが、地元産食材のまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため、地元産の食材はほとんど活用されていない。地元で生産されたものを地元で消費する『自産地消推進モデル』を構築し、年間300万人が訪れる本部町の観光業と農業をリンクさせることで地域経済の活性化につなげる。	・生産者直売所を核とした集出荷体制の構築 ・商業地や中山間部、離島地域など様々な地域・地形に散在している生産現場や飲食店等を効率的に巡回する移動集荷・販売モデルの実証 ・栽培規模が小さく、一般には流通していない沖縄伝統の島ヤサイの普及	・出品登録者数：40人 ・町内取引先数：20業者	(今後の展開方針) H28年度末 出品登録者数(累計)：100人 町内取引先数：50業者	
2	⑤	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25～H26	沖縄県内で消費されている山羊肉の約8割が輸入山羊肉であるという事実から、本事業により県内産の山羊を改良増殖することで地産地消を推進する。	山羊舎整備：2棟	・共同山羊舎整備(2棟)により、一括管理による出荷体制の構築 ・本部町山羊飼養頭数：450頭	(今後の展開方針) 平成26年度末 山羊舎整備：2棟 山羊出荷数：40頭 本部町山羊飼養頭数：550頭	
2	⑥	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25～H28	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数：20頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて 各年度目標導入頭数：20頭	
3		もとぶのマーサムン・ミジラシムンづくり支援事業	H25～H28	本部町の特産品を開発するため、本部町内の企業等に開発を委託し、より多くの特産品をつくりあげる。また、開発した特産品を紹介し、開発後の販売促進、町のPRを行う。なお、開発した特産品については、その製法・仕様を本部町内の企業等に無償で提供する。	特産品の開発：5品 開発した特産品の広告・宣伝	特産品の開発：5品 開発した特産品の広告・宣伝	(今後の展開方針) 開発した商品は、産業まつりなどでPRし、本部町ブランドとして確立する	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		本部町文化拡充事業	H24～H29	/		/		
4	①	音楽のまちづくり事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンルの音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。また音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。	音楽イベント等開催7回	音楽イベント来場者数 300人	(今後の展開方針) イベント等動員数単年度累計 H28年度 1,250人	
4	②	モトブンチュ人材育成事業	H25～H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	全町民を対象とした三線、琉舞教室等の伝統文化教室、町内イベントでの体験型プレイショップの提供を行い、伝統文化継承事業を展開する。 ・伝統文化継承教室開催：三線・琉舞 等180回 ・町内イベントでの体験型プレイショップ開催：3回	・伝統文化継承教室への参加者数：2,400人 ・町内イベントでの体験型プレイショップへの参加者数：600人	(今後の展開方針) H25～H29延利用者数 15,000人	
5		赤土流出防止検討調査事業	H24～H28	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされている、海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び排水路でのフィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	現地調査事業：満名川支線流域：1流域 流出対策工事：大小堀川流域：3箇所 グリーンベルト植栽事業：3箇所	現地調査事業：満名川支線流域：1流域 流出対策工事：大小堀川流域：3箇所 グリーンベルト植栽事業：3箇所	(今後の展開方針) 現地調査実施流域で順次、流出対策工事、グリーンベルト植栽事業を実施する	
6		本部町低地環境整備事業	H25～H28	本部町の地勢は全面が海で囲まれ、背後の山間部に挟まれた狭い平地に自治を形成している。大型の台風時には高潮による床上浸水等が発生しているため、地域住民及び観光客の安心・安全を図るためにも、低地部の排水計画及び施設整備を行う。	・流末排水予定箇所の地質調査 ・満名川背後地における既設排水の平面及び縦・横断測量 ・既存排水系統の整理・末端排水計画及び断面・施設決定の設計	浸水対策計画等の実施 A= 155,000 m ²	(今後の展開方針) 浸水被害対策資料作成 一式 排水機場予備設計 一式	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				7	上本部飛行場跡地利用推進事業			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		恩納村観光促進・安心滞在型観光推進事業	H24～H28					
1	①	文化・観光情報発信拠点整備事業	H24～H26	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する為の基盤整備を行い、「文化交流型産業」の活動を推進する。	恩納村文化情報センターの建設工事の実施	恩納村文化情報センターの建設工事の実施	(今後の展開方針) H25年度～H26年度:建設工事 H28年度:供用開始	
1	②	恩納村「みどりの回廊」整備事業	H24～H28	魅力ある観光地づくりを行うため、村内景勝地などの周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理を行い、観光客の誘客促進を図り、地域の活性化を実現する。	植栽本数:400本 漂着ゴミ除去箇所:11か所	植栽本数:400本 漂着ゴミ除去箇所:11か所	(今後の展開方針) 植栽本数は年間約400本ずつ増加、平成28年度には2,000本(累計)	
1	③	県外観光客誘客促進事業(おんな村観光物産展事業)	H24～H26	東京池袋(サンシャインシティ)において本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサーの実演、特産品の販売等を行い、物産品の販路拡大、観光PRを実施する。	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展の開催	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数:82,000人 ⇒基準年(H23):48,000人	(今後の展開方針) 物産展来場者数:H26年度106,000人を目標 ⇒基準年(H23):48,000人	
1	④	県内外観光客誘客促進事業(「春や春おんなWEEKでたのしまナイト!!」事業)	H24～H28	沖縄県内の若手芸能トップレベルの実力を持つ「沖縄琉球芸能専攻OB会」のメンバーを中心に琉球芸能、組踊り、芝居空手などの舞台公演を実施するとともに会場周辺での地元特産品販売等を実施する。	芸能イベント開催数:8回	公演入場者数:1,200人 ⇒基準年(H23):910人	(今後の展開方針) 芸能イベント開催数:H28年度8回 イベント来場者数:H28年度1,600人 ⇒基準年(H23):910人	
1	⑤	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24～H25	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭西海道(歴史の道)の散策者への咬症事故が予想されるため、その周辺を、重点区域とし積極的に駆除する。	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数:400箇所	ハブ捕獲数:180匹 ⇒基準年(H23):516匹捕獲		
1	⑥	恩納村観光地観光客安全対策事業	H25	観光リゾート地としてグレードアップと観光客等の安心安全確保のため、村内観光地駐車場等に防犯カメラを設置する。	防犯カメラ設置:2地域(各1台)	防犯カメラ設置:2地域(各1台)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光振興プロジェクト事業	H24~H33					
1	①	景観維持緑化振興事業	H24~H33	地域にある観光資源(自然文化体験、民泊、スポーツ合宿等)を開拓、推進する。花と緑豊かな生活環境を育み、美しい景観をみんなが共有できるよう、花の村づくり運動を村内全域に推進するため、村内の幹線道や観光、文化施設周辺の植栽、草刈りなどの美化活動。	道路植樹帯の美化作業:4回 国道329沿い(宜野座村役場周辺約2km) 花プランター設置に伴う土づくり:1400個分 (観光月間:400個分) (阪神キャンプ:700個分) (産業まつり:300個分)	道路植樹帯の美化作業:4回 国道329沿い(宜野座村役場周辺約2km) 花プランター設置に伴う土づくり:1400個分 (観光月間:400個分) (阪神キャンプ:700個分) (産業まつり:300個分)	(今後の展開方針) 道路植樹帯の美化作業:4回/年 花プランター用土づくり:1,400個分/年	
1	②	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24~H33	阪神春季キャンプの受け入れ態勢の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源を開拓していく。	・野球場仮設ブルベン及び防球ネット設置 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・野球場仮設ブルベン及び防球ネット設置 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	(今後の展開方針) ・関係団体(観光推進協議会・商工会)との連携をし、集客を図る。	
1	③	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24~H33	宜野座村文化センター「がらまんホール」を中心として、「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催し、地域芸能のアピールと文化振興、交流事業を行う。さらに「お出かけ公演」などアウトリーチを積極的にに行い、ホールだけでなく地域の各施設とも連携した事業を行い、がらまんホールの宣伝告知、新たな創客を図る。また、人材育成を目的とした「子ども育成事業」を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の開催数(22) ・お出かけ公演実施数(9) ・子ども育成事業数(2)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2500名) ・お出かけ公演実施対象者数(800名) ・子ども育成事業人数(40名)	(今後の展開方針) H26~H33 ・芸術文化・伝統芸能公演の開催:30公演/年 ・お出かけ公演実施:9公演/年 ・子ども育成事業実施:2事業/年	
1	④	松田の馬場及び松樹勢回復事業	H25	宜野座村指定文化財(史跡)である「松田の馬場及び松並木」の樹勢回復を目的とした施肥や枯損木の撤去等を実施し、景観を維持させるとともに、松田区内の文化財と一体となった歴史的空間を創出することにより、文化財の保護や活用を図る。	・枯枝の剪定(第1期:約70本) ・松へ活力剤の注入(83本) ・活力剤による効果がない枯枝の剪定 ・枯損木の撤去	・枯枝の剪定(第1期:約70本)、 ・松へ活力剤を注入(83本) ・活力剤の効果がない枯枝の剪定 ・枯損木の撤去	(今後の展開方針) ・樹勢回復措置後の経過観察、必要に応じ樹勢回復措置の継続 ・博物館や村観光推進協議会が催す地域めぐりで松並木を活用	
1	⑤	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25~H33	宜野座村の着地型観光推進を強化するために、本村の地域資源を活用した地域発の観光事業やPRを展開し、着地型観光商品の取組み、イベント、プロモーション事業等を観光推進協議会並びに地域企業等の連携をとり着地型観光の推進を図る。	・観光案内所設置:1箇所 ・体験学習PR実施数:5回 ・商品開発:5種類 ・自然事業:1回 ・大イベント事業:1回 ・文化芸能祭事業:フォトコンテスト ・観光プロモーション事業:広告、情報誌、web	・観光案内所来訪者数:600名 ・体験学習PR事業:5回 ・商品開発数:5種類 ・自然事業参加者数:60名 ・大イベント参加者数:2,000名 ・文化芸能祭:フォトコンテスト 成果物:村観光カレンダー ・観光プロモーション:広告、情報誌、web	(今後の展開方針) ・観光誘客プロモーション事業:PR活動、WEB構築、広告掲載 ・観光人材育成事業:10回 ・商品開発事業:5回 ・イベント事業:3回	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑥	リバーパーク整備事業(無地番地調査委託事業)	H25	漢那福地川周辺においては、自然を活かした土地利用の推進、ちいきと連携した公園等の整備を推進しているが、その中心ともいべき未来ぎのぎに隣接する川沿いの用地が無地番地となっている。この用地を利活用する為に必要な調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・4級基準点測量 ・4級水準測量 ・現地測量 ・用地測量 ・公共用地境界確定協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・4級基準点測量 ・4級水準測量 ・現地測量 ・用地測量 ・公共用地境界確定協議 	(今後の展開方針) 公共空地である当該地について、地籍の確定と村有地化を図り、公園、駐車場、多目的広場などを整備する。	
	⑦	スポーツ施設機能高度化事業(総合体育館機能高度化事業)	H25	観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進するため、また、青少年や競技者の技術向上に寄与し、幅広い年齢層の人々に対して健康増進及び地域のスポーツ振興に貢献するため施設の機能強化を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・屋根改修工事 ・床改修工事 ・玄関サッシ取替工事 ・照明取替工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・屋根改修工事 ・床改修工事 ・玄関サッシ取替工事 ・照明取替工事 	(今後の展開方針) ・外壁改修工事 ・サッシ防水工事 ・内装工事	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
2		学力向上及び教育支援等事業	H24~H33					
2	①	学力向上及び教育支援等事業(小学校)	H24~H33	小学校に学習支援員を配置し児童一人一人へ確かな学力を身につかせ、生きる力を育成するとともにTT(チームティーチング)による指導で判断力、思考力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていく。	支援員配置数:4人	支援児童数:426人	(今後の展開方針) 全国学力学習状況調査平均正答率 国語AB:H23(54.5%)→H33(65%) 算数AB:H23(64.8%)→H33(65%)	
2	①	学力向上及び教育支援等事業(中学校)	H24~H33	中学校に学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置し、生徒一人一人へ確かな学力を身につかせ、生きる力を育成するとともに、TT(チームティーチング)による指導で判断力、思考力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていく。	支援員配置数:3人	支援生徒数:191人	(今後の展開方針) 全国学力学習状況調査平均正答率 国語AB:H23(54.0%)→H33(65%) 数学AB:H23(26.9%)→H33(50%)	
2	②	幼稚園預かり保育事業	H24~H33	幼稚園において、預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実させていく。	預かり保育担当配置数:4人	預かり保育受け入れ園児数:51人	(今後の展開方針) H24~H33 預かり保育受け入れ園児数:550人(延べ)	
2	③	学校ICT機器整備事業	H25	村内小中学校のICT機器の整備拡充及びその活用により、児童生徒の基礎学力の向上充実を図る。	ノートパソコン購入設置 21台 タッチパネル赤外線ユニット設置12台 液晶テレビ購入設置2台、電子黒板機能付きプロジェクター6台 デジタル教科書購入(小3教科・中3教科)	ノートパソコン購入設置 21台 タッチパネル赤外線ユニット設置12台 液晶テレビ購入設置2台、電子黒板機能付きプロジェクター6台 デジタル教科書購入(小3教科・中3教科)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

18 宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3		農林水産活性化プロジェクト推進事業	H24~H33					
3	①	有機の里宜野座村確立事業	H24~H33	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会・部会の開催:6回 ・エコマーク製作 ・エコマーク袋作成:10万枚 ・エコマークシール作成:8万枚 ・農業技術営農指導員:2名 ・販売戦略指導:1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコファーマーの認定数3名 ・エコマーク製作 ・エコマーク袋作成:10万枚 ・エコマークシール作成:8万枚 ・農業技術営農指導:2名 ・販売戦略指導:1名 	(今後の展開方針) H24~H33 エコファーマーの認定 30名	
3	②	宜野座村エコビレッジ推進事業	H25~H33	宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催 農業経営アドバイザーの配置 滞在型市民農園開設・運営状況等先進地調査	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会:3回 ・先進地視察研修:1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会:3回 ・先進地研修報告書作成 	(今後の展開方針) H26~H27 ・地域支援農業導入 ・クワイガルデン開設・運営 ・新規戦略作物栽培加工確立	
3	③	浮魚礁設置事業	H25	本村の漁業は主にマグロやカツオ漁、モズク養殖を中心に漁業活動を行っている。それに加え水産物の新たな展開を推進する観点から、浮魚礁を設置し、ブルーツーリズムの受入機能及び地元水産物を扱う直売所等を備えた漁村漁民活性化施設を中心に、魚食普及と漁業経営の安定的向上を図る。	・浮魚礁2基の新規設置	浮魚礁2基の新規設置	(今後の展開方針) マグロ・カツオの漁獲量の増大を目標とする。	
3	④	漁港機能強化車両購入事業	H25	本村のモズク養殖は、北部圏域において沖縄県特産モズクの生産拠点として位置づけられている。フォークリフトを購入することにより荷揚げ作業時の効率化とともに生産性への意欲向上が図られ、漁獲量を増やすことにより漁業経営の安定的向上が図られる。	・フォークリフト1台新規購入	・フォークリフト1台新規購入	(今後の展開方針) 作業の効率化とともに、生産性への意欲向上を図ることを目的とする。	
4		サーバーファーム設備機能高度化事業	H25					
4	①	サーバーファーム設備機能高度化事業	H25	平成14年に開所した宜野座村サーバーファームは開所して11年目を迎える。 沖縄は地震も少なく、安定した電力供給ができることで県外企業からバックアップデータセンターの拠点として注目されているが、多様化するデータセンターのニーズに対応する為、特殊な施設であるデータセンター環境の基本調査、実施設計を行い、企業の業務支援、業務拡大を図るため、設備の機能強化を複数年に分けて実施する。	施設の機能高度化を効率かつ具体的にを行い、データセンターの市場ニーズに応えるため、設備全体の基本調査業務を行う。	施設の機能高度化を効率かつ具体的にを行い、データセンターの市場ニーズに応えるため、設備全体の基本調査業務を行う。	基本調査を基に当該施設の機能高度化を効率かつ具体的に顧客ニーズに即応した内容で実施設計及び施工する。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

18 宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	②	サーバーファーム施設環境整備事業	H25	入居企業が求める「安心安全なデータ管理」、「運営環境への信頼」を強固にし、安定した施設利用、収益UPに繋げるため、空調施設などの施設環境の機能維持・向上を図る。	空調設備の設置 就業者支援設備の増設 省電力化設備の設置等	空調設備の設置 就業者支援設備の増設 省電力化設備の設置等	(今後の展開方針) H27年度までの企業誘致目標数:2企業	
5	①	宜野座村防災基盤強化整備事業	H25	台風、地震や津波などの自然災害に想定される人為的災害等が起こった際に、村民の被災に対処・管理の強化を図るため、役場庁舎と各避難所へ保管庫の設置をして、災害用資機材及び生活必需品の購入をし、災害に強い安心安全なむらづくりを推進する。	備蓄倉庫7か所設置 災害時の生活必需品の購入 災害用資機材(備品)等の購入	備蓄倉庫7か所設置 災害時の生活必需品の購入 災害用資機材(備品)等の購入	(今後の展開方針) 資機材・消耗品・食料等の管理	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたのもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
				1	①	ぶなしめじ6次産業化事業			H25
2	①	ウォーキングコース等整備事業	H24~H25	金武地区公園内等にゴム状のチップ舗装を整備し、陸上競技大会の開催や、県外大学合宿等の誘致を図る。	ウォーキングコースの整備面積:約1350㎡	ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等整備実施率:100%	(今後の展開方針) H26年度:供用開始		
2	②	温泉掘削事業	H25	ギンバル訓練場跡地に癒しの場となる温泉施設を整備し、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を目指すため、温泉水脈の掘削工事の実施を行う。	温泉掘削の実施(掘削深さ1,000m~1,500m)	温泉掘削工事の完了 水脈量、成分の分析	(今後の展開方針) 温泉施設の整備を図る。 平成26年 基本計画、実施設計 平成27年 施設整備工事 平成28年 供用開始		
2	③	億首川周辺環境整備事業	H25	ギンバル訓練場跡地開発地に隣接する2級河川の億首川管理用通路を整備することにより、周辺地域一帯となった観光資源の拡充を行うことを目的とし、本年度は、設計及び、工事を行う。	億首川管理用通路に遊歩道を整備(兩岸延長:L=約2.6km 幅員:W=3.0m)	億首川管理用通路に遊歩道を整備する。	現在の自然体験学習者に加え、ウォーキング利用者等(236人/日)程度増の見込み。		
3	①	金武町雇用対策事業	H25~H28	ギンバル訓練場跡地利用に係る人材を進出企業等への雇用を促進するため、進出企業等が町民を雇用した場合の研修費用を支援する。	雇用・人材育成委託:町民雇用5名	雇用・人材育成委託:町民雇用5名	(今後の展開方針) 町民雇用(H29累計):25名		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		教育の振興に資する事業	H24～H33					
4	①	小中学校学習等支援事業	H24～H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習支援員配置数 小学校：7人 中学校：6人	町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率： 小学校A問題(国語・算数)71%(H23)→72%(H25) 小学校B問題(国語・算数)49%(H23)→50%(H25) 中学校A問題(国語・数学)35%(H23)→36%(H25) 中学校B問題(国語・数学)35%(H23)→36%(H25)	(今後の展開方針) 学習支援員配置数(累計) 小学校：(H33累計)70人 中学校：(H33累計)60人 H33年度平均正答率： 小学校A問題(国語・算数)75% 小学校B問題(国語・算数)55% 中学校A問題(国語・数学)40% 中学校B問題(国語・数学)	
4	②	幼稚園預かり保育事業	H24～H33	子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	預かり保育支援員 幼稚園：3人	預かり保育児童数：50名	(今後の展開方針) 預かり保育支援員配置数(累計) 幼稚園：(H33累計)30人 預かり保育数 (H33累計)500名(延べ)	
4	③	特別支援教育支援事業	H24～H33	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の学習生活、学校生活等の困難の改善と克服を目的に教育を支援し、適切な指導及び支援を行い、学力向上に資する。	特別教育支援員配置数 幼稚園：4人 小学校：10人 中学校：1人	特別支援教育支援員充足率：100% (要支援者20名のうち20名支援) ※充足率は要支援者に対し、配置している支援の割合としています。	(今後の展開方針) 特別支援教育支援員配置数(累計) 幼稚園：(H33累計)40人 小学校：(H33累計)100人 中学校：(H33累計)10人 年度ごとの充足率目標 (要特別支援児童数20人中20人を支援) H26年度～平成33年度 100%	
4	④	金武中学校・米国ハワイ州カボレイミドルスクール姉妹校交流事業	H25～H33	国際的な視野を持つ、国際性豊かな人材育成を図るため、異文化での日常生活・学校生活の体験を通じた本格的な英語の習得に向けて、海外姉妹校との交流を行う。	国際交流の推進 中学校生徒：10人	国際交流の中学校生徒：10人 交流後の生徒活動数：12回 (カボレイミドルスクール受入交流報告会) (教育委員会広報で報告) (学校内で報告会を行う) (派遣した生徒によるテレビカメラによる交流)	(今後の展開方針) 国際交流生徒数(累計) H34年度：50人	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	⑤	ICT教育備品整備事業	H25	児童・生徒への情報教育を推進し、学力向上を図るため、IT教室へのパソコンの整備、各教室へ電子黒板等を整備する。	電子黒板整備 小学校：4台	学級数における充足率：96.8% (必要数63台、整備数61台) ※平成24年度までの整備数58台	(今後の展開方針) ○パソコン整備数 ・平成26年度 中川小学校：40台 ・平成27年度 中学校：1校40台 ・平成28年度 嘉芸小学校：40台 ・平成29年度 金武小学校：40台 ○校内LAN整備 ・平成27年度 小学校：3校 中学校：1校 ○電子黒板 不足分の2台については 今後、必要に応じて整備検討	
5	①	金武町青年海外派遣事業	H24～H33	国際交流機会の増加促進に寄与するため、本町の青年を海外に派遣し、本町と海外移住国との有効親善関係及び人材育成の推進に資することを目的としている。	派遣研修生数：2人	派遣研修生数：2人 報告書の作成 派遣後の活動回数：3回 (海外移住者子弟等研修生との交流や町が主催するまつり等の諸事業への参加)	(今後の展開方針) 派遣研修生数(H33累計)：20人 (町が主催するシマヌチュ大会やまつり等の諸事業への参加)	
6	①	文化観光振興拠点施設機能強化事業	H25	自然・スポーツ・各種イベント等の既存の地域観光資源と連携した魅力あるまちづくりの形成及び本島北部地域(やんばる)、本県の観光振興に寄与することを目的に、地域文化の継承発展や生涯学習の振興など文化力の向上を図るため、文化振興拠点施設の機能強化を実施する。	舞台照明設備改修工事の内、調光装置の設置	舞台照明設備改修工事の内、調光装置の設置	(今後の展開方針) H26年度：舞台照明器具の設置	
7		たのしく暮らせる安心のまちづくり事業	H25～H27					
7	①	防災情報システム整備事業	H25～H27	大規模災害の発生に備え、災害に強く安全なまちづくりに向けて、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備する。	防災情報システム整備に係る基本調査、整備工事の実施	防災情報システム整備に係る基本調査報告書整備工事の実施箇所数：本部放送設置及び屋外スピーカー約12基	(今後の展開方針) H26年度：防災情報伝達制御システム及び屋外スピーカー約10基 H27年度：屋外スピーカー約20基	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				7	②			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	①	村立診療所人工透析施設整備事業	H24～H25	人工透析患者の住民が、離島である本村で安心して暮らせるようにするとともに、本村に訪れる人工透析が必要な観光客に対し、安全・安心な観光を提供するため、人工透析施設を整備する。	・人工透析施設整備	・人工透析施設整備完了	(今後の展開方針) H26年度内：供用開始	
2		伊江村観光振興事業	H24～H28					
	①	フラワーロードプロジェクト推進業務	H24～H26	年間を通して休耕地や沿道等に四季を通じた植栽を行うとともに、名所・景勝地等案内板を設置する。	・主要幹線道への花の苗本数2,400本	・主要幹線道への花の苗本数：2,400本		
	②	村花・世界のゆり植栽推進業務	H24～H28	村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。	・ゆり球根50,000球購入植栽 ・世界のゆり球根20,000球購入植栽	・ゆり祭り来場者目標：34,000人 (24年度来場者数：33,000人)		
	③	名所・景勝地等案内板設置工事	H24～H26	花の名所・景勝地等に案内板を設置し、観光客受入態勢を強化する。	・観光案内板の設置：39箇所	・観光案内板の設置：39箇所		
3		伊江村人材育成事業	H25～H33					
	①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25～H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	・学習支援員配置学校数：3校 ・学習支援員11名配置	・支援対象児童数：380人	(今後の展開方針) 支援児童数(累計) H34年度：3,000人	
	②	各種大会派遣費助成事業	H25～H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。	・各種大会派遣人数：670人	・各種大会派遣人数：670人	(今後の展開方針) 派遣人数(累計) H34年度：6,000人	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
1		読谷型観光の振興	H24～H33	/		/			
1	①	景観形成事業	H24～H25	読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための景観地区指定に向け、地域住民との意見交換及び景観地区に対する周知を行うものとする。	意見交換会及びヒアリング(8回)	都市計画決定図書(ヤチムンの里地区) 住民意見の集約(座喜味城跡周辺地区)	(今後の展開方針等) ヤチムンの里地区・座喜味城跡周辺地区において景観地区指定を目指す。		
1	②	スポーツコンベンション誘致促進事業	H24～H33	スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプを行っているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施するとともに、キャンプ時のイベント開催による誘客に寄与する。	・誘致PRイベントにてPR演舞(11回) ・集客イベントの開催(1日) ・観光PRチラシ作成3,000枚	・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人) ・観光PRチラシ配布3,000枚	(今後の展開方針等) 当事業は平成34年度まで予定しており、今後もスポーツキャンプ継続誘致のため下記のとおり事業を実施予定。 ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ・各プロサッカーチームに対する誘致活動 ・読谷村観光大使の活用		
1	③	残波岬サッカー場管理棟整備事業	H25	平成24年度に当交付金で整備した残波岬サッカー場に管理棟を建設し、利用者の利便性の向上と管理機能の強化を図る。当施設には、サッカー場利用者用の会議室、トイレやサッカー場で使用する用具・芝管理用機械の格納庫等で構成される。	残波岬サッカー場管理棟の建設 サッカーゴール(一般用・Jr用・フットサル用)の購入	残波岬サッカー場管理棟の建設の完了 サッカーゴール(一般用:1組・Jr用:2組・フットサル用:4組)の購入	(今後の展開方針等) H25年度末供用開始予定		
1	④	読谷村地域振興センター(仮称)基本実施設計等支援委託業務	H25	今まで読谷村を素通りしていた観光客を本村の観光施設群へ誘導するため、地域や関係する団体等と連携し、情報発信による観光振興を推進して行くための複合施設「読谷村地域振興センター(仮称)」を建設するための、基本実施設計を行う。	読谷村地域振興センター(仮称)建設に係る基本実施設計の実施	読谷村地域振興センター(仮称)建設に係る基本実施設計の実施	(今後の展開方針等) H26年度:建築予定		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑤	海浜海岸等環境美化推進事業	H25	海浜海岸環境美化を推進するため、海浜海岸における清掃活動の中心的役割を担っている清掃ボランティア活動を支援するとともに、不法投棄を抑制するための機材等を購入する。	ビーチクリーナー・運搬車・リヤカー・監視カメラの購入	ビーチクリーナー(3台)・運搬車(1台)・リヤカー(20台)・監視カメラ(6台)の購入	(今後の展開方針等) ビーチ管理組合やボランティアへ無償貸出を行う。	
1	⑥	危険生物駆除事業	H25～H33	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬傷被害が毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。来村する観光客や行楽客をハブ咬傷から守るため、観光施設等の付近で、ハブが生息している箇所にはハブトラップを設置し、より安全な観光地を目指す。	ハブ捕獲器の設置及びエサとなるマウスの飼育小屋の設置	ハブ捕獲器の設置(約400箇所) エサとなるマウスの飼育小屋の設置(1棟)	(今後の展開方針等) ハブの捕獲・巡回 マウスの飼育	
1	⑦	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25～H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。	FM放送番組の製作・放送(毎日) チラシ 30,000枚配布 情報紙 30,000枚配布	FM放送番組の製作・放送(毎日) チラシ 30,000枚配布 情報紙 30,000枚配布	(今後の展開方針等) H33までFM放送番組の製作・放送を継続する予定	
1	⑧	人口日本一の村PR事業	H25	平成26年1月1日に第2位である読谷村が「人口日本一の村」となる。この機会を活かし、県内外に対する本村の知名度の向上と観光客の誘客を図るため、滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催し、マスメディアをとおしてPRするとともに、村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置する。	岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催 村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置(1台)	岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催 村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置(1台)	(今後の展開方針等) 村内イベント情報、観光情報を配信する(毎日予定)。	
1	⑨	世界遺産座喜味城跡管理活用事業	H25～H29	読谷村(沖縄県)には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が存在する。これらを重層的に活用し、冬場減少する観光客の誘客を狙う。	・座喜味城跡のライトアップ ・座喜味城跡の3次元映像コンテンツ制作 ・座喜味城跡や関連文化財解説パネル制作	・座喜味城跡のライトアップ(来場者数:200人/日) ・座喜味城跡の3次元映像コンテンツ制作 ・座喜味城跡や関連文化財解説パネル制作(17種8セット)	(今後の展開方針等) H26:座喜味城跡の模型の作製 ～H29:ライトアップ及び座喜味城跡の美化	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑩	ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業	H25～H26	読谷村や読谷村の産物(=ヨミタンブランド)知名度UPを図ることにより、観光誘客促進と読谷村のブランド力向上の取り組みを展開する。イメージキャラクター等は、そのための重要なツールと位置づけ、今年度は、ヨミタンブランドの基本コンセプトを制定と、そのコンセプトに沿ったイメージキャラクターやロゴ、キャッチコピー等を決定する。	ヨミタンブランド基本コンセプト決定 イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定	ヨミタンブランド基本コンセプト決定 イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定	(今後の展開方針等) プロモーション活動の継続	
1	⑪	残波岬いこいの広場施設機能強化事業	H25	残波岬いこいの広場内で立枯れている樹木を伐採(除根)し、施設内の見晴らしを良くするとともに緑のフリースペースを創造し、景観を向上させるとともに利用者の安全性の確保を目指す。	モクマオウ(枯れ木)の伐採、除根	モクマオウ(枯れ木)の伐採、除根(400本)		
2		共に学び、共に育つ場づくり事業	H24～H33					
2	①	小中学校情報教育支援員配置事業	H24～H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	情報教育支援員配置数 小学校1名、中学校1名	情報教育支援員配置数 小学校1名、中学校1名 配置校数 小学校5校 中学校2校	(今後の展開方針等) 情報教育支援員を活用し、教職員へのPC指導も行き、書画カメラ等を活用しユニバーサルデザインを用いて、誰もが分かりやすい授業を展開する。	
2	②	日本語教育支援員配置事業	H24～H33	二重国籍や帰国児童などで日本語を習得していない子ども達への支援体制を強化するため、日本語支援員を配置する。	日本語教育支援員配置数 小中学校2名配置	日本語教育支援員配置数 小中学校2名配置	(今後の展開方針等) 日本語を未だ習得していない子ども達が学校に早く馴染み、楽しい学校生活を送ることができるようフォローを続ける。	
2	③	読谷村内小学校社会3・4年生副読本作成事業	H25	児童一人ひとりが郷土の「読谷村」の様子や産業などに興味を持ち、自主的・主体的に学習する力を育てるため、小学校3年生・4年生用副読本「わたしたちの読谷村」を作成し配布する。	小学校3年生、4年生用副読本の作成：各800冊	小学校3年生、4年生用副読本を各小学校へ配布：各800冊	(今後の展開方針等) H26以降使用予定	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	④	電子黒板配置事業(ICT活用)	H25	ICT活用により日常の授業にユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが分かりやすい授業を展開する為、村内小学校に電子黒板を配置し、効率的な知識の習得と定着を図る。	電子黒板整備校数:5小学校	小学校の全教室に電子黒板を整備	(今後の展開方針等) H26以降使用予定	10月変更(事業追加)
2	⑤	学校施設窓ガラス遮光・遮熱対策事業	H25～H28	児童等の学習環境の改善等を図るため、学校の窓にカーテンを設置し、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な環境を提供する。	カーテンの設置	中学校1校(普通教室19、特別教室7)へカーテンの設置 (中学校への設置完了)	(今後の展開方針等) H26:小学校2校 H27:小学校3校 H28:幼稚園5園	10月変更(事業追加)
3		駐留軍用地跡地利用推進事業	H25～H26					
3	①	読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業	H24～H25	「読谷村道路基本計画」をもとに、計画の実現に向け、道路整備を戦略的に進める「道路整備プログラム」の策定を行う。	「道路整備プログラム」の策定	「道路整備プログラム」の策定		
3	②	楚辺通信所跡地地区計画策定調査事業	H24～H25	平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画の都市計画決定を行い、跡地利用の具体化を図る。	楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するため、地主会の都市計画提案の支援	楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するための提案書の作成	(今後の展開方針等) 平成26年:都市計画決定予定	
3	③	読谷飛行場跡地村民センター地区都市計画決定支援事業	H24～H25	平成24年度に作成した、第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画に基づき、公園用地としての都市計画決定に向けた支援業務を行う。	読谷補助飛行場跡地村民センター地区を公園用地としての都市計画決定に向けた計画策定委託業務の実施	読谷補助飛行場跡地村民センター地区を公園用地としての都市計画を検討するための報告書の作成	(今後の展開方針等) 都市公園指定予定	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	④	楚辺通信所跡地予備設計等支援委託事業	H24～H25	平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画の実施に向け予備設計等支援業務を実施する。	楚辺通信所跡地道路予備設計の実施	楚辺通信所跡地道路予備設計の実施	(今後の展開方針等) H26年度:実施設計	
3	⑤	読谷補助飛行場跡地地区広場(基本計画)策定事業	H25	平成16年度に策定された「読谷補助飛行場跡地利用実施計画」に基づき、地区広場の基本計画を策定する。	読谷補助飛行場跡地地区広場の基本計画を策定する。	読谷補助飛行場跡地地区広場の基本計画を策定する。		
3	⑥	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」実施設計等支援委託業務	H25	平成24年度に実施した読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務に基づき、地区計画の実施に向け実施設計等支援業務を実施する。	地区計画の実施に向けた実施設計	地区計画の実施に向けた実施設計の完了	(今後の展開方針等) H26年度:区画道路工事予定	
3	⑦	嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺)に係る土地利用計画検討委託業務	H25	当該地区及びその周辺は、駐留軍用地返還跡地であり、土地利用未計画区域となっている。今業務で当該地区及び周辺内に存在する複数の文化遺跡や豊かな自然環境の保全を含めた地域資源を調査するとともに、隣接する土地区画整理事業域内の公園緑地と連続させ、観光振興も視野にいたした跡地利用の検討を行う。	土地利用計画の策定 構想模型の作製	土地利用計画の策定 構想模型の作製		
4		地域文化の創造発展事業	H24～H28					
4	①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H28	読谷村の自然・歴史・文化資源等に関する情報を共有・発信・活用できるように再整理し、村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てる。	文化財ガイドマップ設置:3箇所	文化財ガイドマップ設置:3箇所	(今後の展開方針等) 各字文化財ガイドマップ設置数 H24:3箇所、H25:3箇所、 H26:3箇所、H27:3箇所、H28:4 箇所(合計16箇所)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	②	座喜味城跡駐車場整備事業	H25～H26	世界遺産座喜味城跡への来場者の利便性を図るために駐車場を整備し、本村の観光振興を図る。	駐車場用地(825.21㎡)の購入 駐車場実施設計(普通車30台収容)	駐車場用地購入:825.21㎡ 駐車場実施設計(普通車30台収容)の完了	(今後の展開方針等) H26:駐車場工事	
4	③	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24～H28	国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。	平成24年度に引き続き、被調査者の調査、記録テープ反訳等の整理	被調査者の調査、記録テープ数(100本)の反訳原稿の整理	(今後の展開方針等) H26:八重山移住地及び南洋郡島現地調査 H27:南米各国現地調査及びハワイ領事館資料調査等 H28:全体まとめ H29:HPより情報発信	
4	④	くるちの杜整備事業	H25	三線の材料となるくるち(黒木)を植樹したくるちの杜に、観光客等の来場者の利便性を図る為遊歩道を整備する。	遊歩道整備:約200m	遊歩道整備:約200m	(今後の展開方針等) 毎年旧暦9月6日(くるち)直近週末に「くるちの杜100年プロジェクト」植樹祭及びコンサートを開催	
4	⑤	文化センター機能強化事業	H25	伝統文化・芸能イベント等において高度で効果的な演出を行うため、舞台及び音響設備を更新して、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、文化活動の基盤強化を図り、伝統文化の保全・継承に寄与する。	音響設備や照明設備のデジタル化 舞台の強化工事	音響設備や照明設備のデジタル化 舞台の強化工事の完了	(今後の展開方針等) H26:第56回九州地区民俗芸能大会の誘致	
4	⑥	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25～H29	沖縄語で伝承されてきた民話や琉歌を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(絵本やDVD等)を製作する。また、これらを村内幼小中学校や図書館へ配布し、学校や家庭での活用を推進する。	絵本「読谷の民話(5話)」の発刊 DVD「読谷の民話(5話)」の発刊	村内小中学校等へ配布:270カ所	(今後の展開方針等) H29までに絵本5種、DVD5種の製作	
4	⑦	波平棒ハワイ公演事業	H25	ハワイで開催されるハワイ沖縄フェスティバルに出演する波平伝統芸能保存会(波平棒)へ補助を行うとともに、村長及び観光協会らが現地で州知事等の主要人と面談するなど、読谷村(沖縄県)の伝統芸能・文化を発信し、その魅力を伝える。	波平伝統芸能保存会(波平棒)派遣90人 州知事等の主要人との面談 PR用チラシ10,000枚作成 PR用てぬぐい1,000枚作成	波平棒演舞回数 3回 州知事等の主要人との面談 PR用チラシ10,000枚配布 PR用てぬぐい1,000枚配布		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	①	長寿調査検証事業	H25～H26	地域の高齢者を支えるボランティア(レク、調理、健康チェック担当)27名と役場担当職員3名を長寿日本一の長野県に派遣し、地域における高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組みや病院等を調査することにより、地域コミュニティで行われているミニディサービス「ゆいまーる事業」の充実を図ると共に地域の健康基盤づくりの検証を行う。	派遣総数30名 地域ボランティア:27名 役場担当職員3名	調査報告会の実施(「ゆいまーる事業」を実施しているコミュニティ等:21カ所)	(今後の展開方針等) H26:30名派遣 H25～H26:60人(累計) 報告書の作成	
6	①	沖縄関係仮戸籍等電子化事業	H25	戦禍により滅失し、戦後再製された沖縄関係戸籍(仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍)は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙原本による保存であるため劣化が激しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電子化を実施する。	紙戸籍の電子化の実施 対象枚数:約44,000枚	沖縄関係戸籍の電子化率:100%		
7	①	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25～H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、中学生を海外に短期留学させることで、英語を学ぶ事への関心・意欲を高め、異文化を体験する事で視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	村立中学校生徒をアメリカシアトル州へ短期留学:12人	帰国報告会:3回実施	(今後の展開方針等) 短期留學生徒数(累計) H33:108人	
8	①	井泉環境調査事業	H25	井泉(カー)は、上水施設が整備されるまで、住民の生活用水として利用され生活基盤を支えるとともに、祭時の場としても利用され続けてきた。このように古くから残された井泉を本村の貴重な財産としてとらえ、文化財や観光資源等として活用するとともに、災害時等における水源としての利用に向けた調査を行う。	泉水(カー)の自然環境や水質等の調査	泉水(カー)の自然環境や水質等の調査:90カ所	(今後の展開方針等) 文化財や観光資源、非常時における水源確保に向けた活用を図る。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細				H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
9			地域資源を活かした農業推進事業	H25～H30					
9	①		地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25～H30	年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、JA等が設置する生産施設の設置費の一部を補助する。	野菜の栽培施設設置補助(総面積:5,600㎡)	野菜の栽培施設設置補助(総面積:5,600㎡)	(今後の展開方針等) H26～H30:栽培施設設置事業の実施	
9	②		地産地消推進を図るレンタル機械導入事業	H25	年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、農業機械及び格納庫の導入費の一部を補助する。導入した農業機械は、小規模農家等に貸し出しを行う。	トラクター:1台 堆肥散布機:1台 小型耕運機:2台 管理機:1台 格納庫:57.1㎡	トラクター:1台 堆肥散布機:1台 小型耕運機:2台 管理機:1台 格納庫:57.1㎡	(今後の展開) 約200人の農家を対象に貸し出しを行う。	
9	③		地産地消推進を図る製品荷姿作業施設整備事業	H25	年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、生産者が農産物直売所や飲食店などで販売するために行う袋詰等の作業負担を軽減するため製品荷姿作業施設整備費の一部を補助する。	製品荷姿作業施設設置補助(面積:138.5㎡)	製品荷姿作業施設設置補助(面積:138.5㎡)		
10	①		衛星船舶電話購入設置補助事業	H25	現在、漁業従事者が所有する衛星船舶電話は通信方式の変更により平成26年3月末で使用できなくなる。沖縄本島周辺は、米軍の訓練水域が多く、尖閣列島周辺をはじめ比較的遠くの海域に出漁している。そのような中で衛星電話は、漁業従事者の安全確認や不測の事態の際の連絡手段として必要不可欠である。通信方式の切り替えに伴う経済的負担の軽減と安全操業確保の為、衛星電話の設置補助を行う。	衛星船舶電話設置:10隻	衛星船舶電話設置:10隻 (村内の対象全船舶への設置完了)		10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)			
1		嘉手納町観光客誘客促進基盤整備事業	H24～H33					
1	①	嘉手納町文化センター機能向上事業	H24～H27	滞在型の観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。	バリアフリー機能基本設計 空調設備機能向上工事の実施	バリアフリー機能基本設計書作成 空調設備機能向上工事の実施	(今後の展開方針) H26・27年度:バリアフリー機能整備 H28年度:供用開始	12月変更 (計画変更に伴う 各目標変更)
1	②	嘉手納町観光史跡等説明板整備事業	H24～H27	地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。	観光史跡等説明板設置工事の実施	観光史跡等説明板の設置:2箇所	(今後の展開方針) H26年度:2箇所設置 H27年度:2箇所設置	
1	③	嘉手納町比謝川緑地広場整備事業	H24～H27	体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。	受入施設の設計の実施	受入施設の設計の実施 (駐車場、カヌー倉庫、トイレ、シャワールーム、ロッカールーム、研修室等)	(今後の展開方針) H25年度:受入施設の設計 H26年度:受入施設整備工事 H27年度:供用開始	
1	④	道の駅かでな機能拡充事業	H25	嘉手納基地展望のため道の駅かでなに訪れる観光客の更なる誘客と施設内の物品販売所やイベント等へ誘導を図るため、施設前面にある県有地を購入し、道の駅かでなの施設機能強化に向けた整備を行う。	用地取得	用地取得面積:3,079㎡	(今後の展開方針) 道の駅かでなの施設の増設や観光客受入の動線整備など機能拡充(リニューアル)を行う。	
1	⑤	観光施設安全対策推進事業	H25	本町へ訪れた観光客が安全・安心に滞在できる観光地を形成するため、主要観光施設である道の駅かでなへ防犯カメラ、モニター、デジタルレコーダー等を設置し、防犯機能を強化する。	訪れる観光客が安全・安心に滞在できる観光地の形成を図るため、防犯カメラを設置する。	防犯カメラ12台、モニター1台、デジタルレコーダー1台を設置する。		
1	⑥	うたの日コンサート事業	H25	沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を補助し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。	うたの日コンサート開催支援	うたの日コンサート開催日の県外観光客の集客: 1,000人 町特産品のPR:5作品以上 町商工業者の出店:5店舗以上		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)			
1	⑦	屋良城跡公園総合再整備基本計画策定事業	H25	観光資源に乏しい本町においても、屋良城跡公園及び比謝川沿岸部等風情のある場所を有しており、近年では自然を生かしたエコツアーや川祭りの開催等観光源となりうる素材が増えつつある。 そのようなことから、城跡の名勝や比謝川の自然を体験してもらうことで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指す。	基本計画策定業務の実施	屋良城跡公園総合再整備基本計画の策定	(今後の展開方針等) H26年度:基本計画 H27年度:基本設計 H28年度:実施設計 H29年度:整備工事	
1	⑨	嘉手納町比謝川利活用基礎調査事業	H25	本町には、沖縄県本島で最大流域面積を持つ比謝川が流れており、湿生植物や野生鳥獣の生息地として自然環境が残っている。このような自然環境を活かし、遊歩道の延長や自然体験型の施設を整備することにより、観光地形成を図るため、比謝川流域の基礎調査を行う。	比謝川流域の基礎調査の実施	比謝川流域の基礎調査の実施(5km)	H26度:基本構想策定 H27度:基本設計策定 H28度:実施設計及び用地購入 H29度~:整備工事	10月変更 (事業追加)
1	⑩	観光施設ICT整備事業	H25	嘉手納町の観光情報を発信するため、観光拠点施設道の駅かでなより、情報発信を強化することで、町内全体の観光資源の活用と回遊性の向上を促進する。	道の駅かでなにデジタルサイネージを導入する。	道の駅かでなにデジタルサイネージを導入する。		10月変更 (事業追加)
2		嘉手納町未来へ羽ばたく人材育成支援事業	H24~H33					
2	①	学習支援員配置事業	H24~H29	算数、数学、国語の基礎学力定着のため、教師と連携を図りながらチームティーチング、習熟度別授業を行い、また、長期休業における個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:3人、中学校:1人	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする。 (参考)H24 県平均 (小3)国語A79.3 国語B57.7 算数A85.7 算数B60.1 (小5)国語A58.6 国語B68.1 算数A75.7 算数B34.9 (中2)国語A59.4 数学40.5 社会51 理科34.7 英語55.4	(今後の展開方針等) 県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
2	②	英語力強化事業	H24～H29	教育課程特別校としての特典を生かし、英語力を向上させるため、ネイティブスピーカーの講師の活用で、小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校では臨場感のある実用的な英語を学ぶ指導補助として、また英語科に英語指導員を配置することで、生徒への個別の学習支援、英語検定取得のための支援を行い、英語力の向上に繋げる。	英会話指導員配置数 小学校:3人、中学校:2人 英語指導員配置数 中学校:1人	英語検定3級以上の合格者数 50人	(今後の展開方針等) 英語検定3級以上の合格者数 50人
2	③	ICT活用事業	H24～H29	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、パソコン指導員を配置し、教師の授業の補佐・支援を行う。また、授業でのPC活用を推進するためフラッシュ教材を活用した授業支援も行う。	パソコン指導員配置数 小学校:2人、中学校:1人	(小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年 23級(80%以上) 4学年 17級(60%以上) 5学年 8級(40%以上) 6学年 初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級	(小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年 23級(80%以上) 4学年 17級(60%以上) 5学年 8級(40%以上) 6学年 初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級
2	④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24～H29	不登校の生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動を行う生徒指導支援員を中学校へ配置する。	生徒指導支援員配置数 中学校:2人	不登校生徒数を全生徒数の 3.3%以下にする	(今後の展開方針等) 不登校生徒数を全生徒数の 3.3%以下にする。
2	⑤	スクールカウンセラー活用事業	H25～H29	青少年センターにスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、児童生徒と保護者の相談業務を行い、教職員に対しては障害等への対応に関する研修会を実施する。また、適応教室相談員に助言や児童生徒のカウンセリングを通して学校復帰を支援する。	スクールカウンセラー配置数:1人	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数: 10人	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数: 10人
3		戦災滅失戸籍沖縄関係書類電子化事業	H25	現在でも戸籍訂正等の資料として活用されている沖縄関係戸籍書類は、紙媒体による保存であるため劣化が激しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、電子化を実施する。	沖縄関係戸籍の電算化の実施 仮戸籍:約1,917件 福岡戸籍:約442件 臨時戸籍:約2,314件 受付帳:約8,142枚	沖縄関係戸籍の電算化率:100%	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
4		雇用促進事業	H25～H29	全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人・求職者を結ぶ就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。	相談窓口の開設 セミナーの開催	相談人数:200人 相談窓口開設数:99回 セミナー:49回 就職人数:30人	(今後の展開方針) 今年度事業内容の継続 (目標) 沖縄県失業率6.8%(H24)並みへ改善する。
5		墓地基本計画策定事業	H25～H26	本計画は嘉手納町全域(基地を除く)を対象とし町内に立地する墓地の状況や住民意向を把握し、墓地の集約や適正配置に関する計画を策定するとともに、住民に対して墓の建設や管理に関する規則の周知徹底を行い、嘉手納町における墓地の望ましいあり方の指針を示すため実施する。	基礎資料の整理(人口・世帯数等の整理) 上位関連計画の整理 墓地の現況調査 住民意向調査(アンケート) 課題の整理	墓地基本計画策定に向けての基本調査の実施	(今後の展開方針) 墓地の集約や適正配置に関する計画を策定することで「墓地経営許可等」の権限の委譲、条例の整備に備えていく。
6		廃棄物リサイクル事業	H25～H33	本町では一般家庭及び事業者から年間約600トン程度の木くず等(草、剪定枝)が排出されており、また、台風等での公園、街路樹の倒木処理は産業廃棄物として最終処分場で処理している状況である。一方、本町で策定されている一般廃棄物基本計画において、木くず等を焼却せずチップ化し、再資源化することで町内の土地づくりや堆肥に活用する施策があり、これらの木くず等の再資源化を実施し、本計画の推進を図る。	1 嘉手納町一般廃棄物処理基本計画の推進 2 不適正処理(不法投棄等)の是正 3 木くずの再資源化(チップ化)	1 一般廃棄物の減量化【目標約5%削減(対前年度比)】 2 一般廃棄物に係る処理費の節減	(今後の展開方針) 草木のチップ化の肥料化による農業の振興、バイオマスへの利用によるエコエネルギーへの活用が可能か検討していく。
7		安全・安心、人にやさしく、災害に強いまち『嘉手納町』整備事業	H24～H26				
7	①	避難施設防災強化整備事業	H25	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所(災害時要援護者優先施設)や防災保管施設(道の駅かでな)などにおいて、防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化する。合わせて、保管用の備蓄倉庫を設置する。	災害時要援護者優先施設を中心に9カ所避難所へ備蓄品等の配置	災害時要援護者優先施設を中心に9カ所避難所へ備蓄品等の配置。 (H25年度で全避難所の40%配置完了)	(今後の展開方針) 次年度以降 今回の対象以外の避難所への備蓄品の配置を行う。

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
7	②	防災啓発事業	H25	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、海拔表示を海拔の低い地域を中心に、道路に設置されている電力柱、NTT柱、信号柱及び視認性の高い場所へ掲示する。合わせて、ハザードマップの情報や避難場所等が掲載されている減災リーフレットを作成し、一般町民、児童生徒、来町者へ配布する。	海拔表示板設置(80箇所) 減災リーフレット作成(1万部)	海拔表示板設置、減災リーフレットを町内に1万部配布	
8		沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業	H25	継承者が減少している状況にある民俗芸能を広く公開し、その鑑賞を通して民俗芸能への理解と認識を深め、貴重な文化遺産としての保存、伝承を図る。町指定の無形文化財である千原エイサーを沖縄の伝統文化の継承及び推進を目的としてハワイで開催されるフェスティバルへ派遣し、当会場で演舞を披露することにより、本町の歴史ある伝統文化の魅力を多くの方々に体感してもらう。また、県人会会員が最も多いハワイにおいて移住者と交流を深めることで文化振興の場を広げる。	ハワイ公演回数:3回 公演参加者数:25名	・町内イベントへ(町祭り、エイサー祭り)の参加 ・派遣報告会の開催	ハワイ派遣公演についての報告会を行う。また町内外の各イベントへ出演し町の伝統芸能を広くアピールする。

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光振興事業	H24～H30	/		/		
1	①	北谷町観光情報センター整備事業	H24～H25	観光客に観光情報を発信するとともに、物産振興と文化振興の推進、地域安全と環境浄化活動の拠点にもなりうる観光振興の拠点とするため、観光情報センターを整備する。H24年度に規模を変更したことに伴い工事費が増加したため、H25年度予算も含めて執行する。	・北谷町観光情報センター新築工事 建設工事 電気設備工事 機械設備工事	・北谷町観光情報センター新築工事の完了 RC造2階建て 245.55㎡	(今後の展開方針) H25年度:建設工事 H26年度:供用開始	
1	②	北谷町文化発信拠点整備事業	H24～H30	沖縄文化に触れられる観光を提供し、観光振興に寄与することを目的として、約6,500年前からの集落跡として極めて重要とされ、国の史跡に指定された「伊礼原遺跡」を観光資源として活用するために縄文時代の生活空間の具現化をテーマとした伊礼原遺跡を復元整備し、出土品等を展示する博物館を建設する。H24年度事業費では全ての建設予定地の用地購入が出来なかったため、H25年度予算も含めて執行する。	対象土地取得 面積6,078.98㎡ (内訳) 国有地3,775.56㎡ 県有地707.42㎡ 保留地1,596.00㎡	土地取得率100%	(今後の展開方針) H25～26年度:基本計画 H27年度:基本設計 H28年度:実施設計 H29～30年度:施設建設、公開準備 H31年度:供用開始	
1	③	北谷町観光物産プロモーション事業	H25	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	北谷町観光物産プロモーション ・国内プロモーション 2回 ・海外プロモーション 2回	・名古屋プロモーション 啓発配布 400個 ・東京プロモーション 啓発配布 500個及び物販活動 ・台湾プロモーション 啓発配布 500個及び表敬訪問 ・観光プロモーション 啓発配布 500個及び表敬訪問		
1	④	西海岸歩行者ネットワーク整備事業	H24～H26	夕日や砂浜を見ながら海辺の散歩ができる憩いの空間を創設し観光地として魅力の増強を図るため、安良波公園からフィッシュリーナ地区までの地域を一体的に利用できるように遊歩道を整備する。H24年度は擁壁工事、造成工事等を実施しており、H25年度では舗装工事、植栽工事、照明設置工事等を実施する。	①美浜2号線歩道整備 ・コンクリート舗装工A=1,112㎡ ・排水工L=223.5m ・樹木植栽工 30箇所 ・照明工 20基 ②美浜地区シンボルロード改築工事 ・コンクリート型押し舗装工A=1,539㎡	①美浜2号線歩道整備 ・遊歩道整備完了L=222.4m ・全体計画のうち72.3%の整備が完了 ②美浜地区シンボルロード改築工事 ・遊歩道整備完了L=210m	(今後の展開方針) H25年度:残区間詳細設計 H26年度:残区間整備(L≒80m) ※工事完了区間ごとに供用開始している。	10月変更(計画変更に伴う目標追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑤	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	H24～H25	県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装及び休憩舎の整備をする。H24年度からの継続事業であり、H25年度はH24年度で実施出来なかった場所を整備する。	インターロッキングブロック舗装 A=710㎡ 休憩舎設置 一箇所	景観に優れた護岸の整備 (インターロッキングブロック舗装 A=710㎡) (休憩舎設置) ・全体計画のうち68%の整備が完了	(今後の展開方針) ・H26年度 インターロッキングブロック舗装1,100㎡ ※工事完了区間ごとに供用開始していく。	
1	⑥	北谷公園(ビーチ等)活性化事業	H25～H27	既存のサンセットビーチの隣接地に新たな商業施設やホテルの開業、さらに大型ホテル建設がスタートするなかで、観光資源であるビーチへの歩行者導線やビーチ施設、北谷公園施設のグレードアップを図る目的で、今年度は屋外プール屋根設計を実施する。また、年次的に施設整備を行う。	北谷町営プール屋根設置設計業務委託(北谷公園内の屋外プールの屋根設置に係る概略設計 一式)	北谷町営プール屋根設置設計	(今後の展開方針) H25年度:基本設計 H26年度:実施設計 H27年度:工事 H28年度:供用開始	
1	⑦	海業振興事業	H25～H26	観光客誘客を図る施設整備の一環としてフィッシャリーナ地区へアプローチする道路の付帯施設整備(舗装工、照明工、植栽工、サイン工事等)、景観性・利便性向上を目的とした施設整備(護岸緑地工事、中央広場工事、護岸緑地・中央広場照明工事)及びマリン事業関連施設整備(駐車場・駐艇場等)を実施する。	①道路の植栽、区画線工 ②駐艇場、駐車場の設置 ③護岸緑地工事 ④中央広場工事 ⑤護岸緑地・中央広場照明工事	①植栽本数:75本、路線延長:1,250m ②駐艇場整備:20隻 駐車場整備:48台 オナー艇38隻(有料)の誘致 ③緑地面積:2,270㎡ ④広場面積:1,824㎡ ⑤③及び④の照明工事完了	(今後の展開方針) H25年度:護岸緑地工事、中央広場工事 H26年度:防波堤等景観整備工事	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	⑧	特産品開発施設整備事業	H25	本町の地場産業である泡盛産業、泡盛用黒麹製造及び製塩事業などを活用した特産品開発の拠点となる施設を整備するために今年度は必要な調査事業として、町内特産品開発事業者等の先進地視察を行うとともに、施設整備に向けた基本構想を策定する。	・基本構想策定に必要な先進地視察の実施 ・基本構想の策定	基本構想の策定	(今後の展開方針) H26年度:基本設計・実施設計 H27年度:建設工事 H28年度:供用開始	
1	⑨	観光振興地域活性化事業	H25	観光地としての景観形成のため本町の観光拠点地域においてイルミネーション装飾を実施する。また、ビーチ及び多目的広場等の観光拠点において、一層の賑わいをもたらす新たな観光資源の創出に向けたエイサーやハワイアンフラ等を披露する地域エンターテインメント事業を実施する。併せて、国内外及び県内外からの誘客推進するため、パンフレット、SNSサイト等の多言語コンテンツを活用してこれらの事業の情報発信を行い、地域活性化と着地型観光の促進を図る。	観光振興地域活性化事業企画運営業務を実施	・イルミネーション装飾日数:120日間 ・エンターテインメントイベント開催数:4回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施 300名 ・多言語コンテンツ利用者数の目標指標:5000 アクセス/4か月		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑩	海業観光資源開発事業	H25	アラハビーチ沖合に畜養生簀を設置し、ジンベイザメやマンタ、ネコザメ等を飼育・展示し新たな観光資源の開発を図る。	北谷町漁協へ畜養生簀(定置網)の購入費を補助	沖合畜養生簀設置	(今後の展開方針) H25年度:畜養生簀設置、運用開始	10月変更(事業追加)
2		人材育成事業	H25					
2	①	英語指導助手派遣事業(小学校)	H25	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。	英語指導助手(AET)配置数4人: 全小学校に各1人	支援生徒数:全小学校合計2,060人	(今後の展開方針) H33年度 児童英語検定の平均正答率90%	
2	②	英語指導助手派遣事業(中学校)	H25	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	英語指導助手(AET)配置数2人: 全中学校に各1人	支援生徒数:全中学校合計1,047人	(今後の展開方針) H33年度 沖縄県達成度調査(英語)の正答率60%	
2	③	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会、県人会、ハワイ大学生との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。	派遣生徒数(累計):12人 派遣引率者数(累計):2人	ハワイ短期派遣生徒数:12人 ハワイ短期留学派遣事業事後報告会の開催及び報告書の作成	(今後の展開方針) ハワイ短期派遣生徒数(累計) H29年度:72人 派遣引率者数(累計) H29年度:10人	
2	④	日本語指導学習支援員派遣事業	H25	日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置数:1人	支援生徒数:12人	(今後の展開方針) 日本語指導が必要な児童生徒が今後増加した場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	①	跡地利用推進事業	H25	<p>返還が予定される駐留軍用地の跡地利用推進を図るため、「キャンプ桑江南側地区」において外国大学誘致検討委員会の開催、外国大学設置調査を実施する。また、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」において跡地利用計画の策定に向けた基礎調査を実施する。さらに、基地跡地利用を円滑に推進するために、地権者等との合意形成活動を実施する。</p>	<p>・「キャンプ桑江南側地区」における外国大学誘致検討委員会の開催、外国大学設置調査の実施 ・「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎調査の実施 ・米軍基地地権者等との合意形成活動の実施(地権者説明会の開催、ニュース発送及びホームページ更新による情報発信、地権者意向調査等)</p>	<p>・「キャンプ桑江南側地区」の外国大学設置に係る効果予測及び跡地利用の考察 ・「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎的條件の整理 ・跡地利用に対する地権者等の理解促進、地権者意向の把握</p>	<p>(今後の展開方針) ・駐留軍用地の跡地利用計画策定に向けた調査 ・跡地利用に対する地権者等の意識醸成促進 ・公共用地先行取得の検討</p>	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
4		安心な生活環境整備事業	H25~H28					
4	①	防災拠点整備事業	H25~H28	<p>県内有数の観光地である美浜西海岸地域における観光客や住民など滞留者の避難・帰宅支援施設として有効な機能を有する。防災拠点として機能の集約化を図った基本構想に基づき、本交付金を活用して取付道路設計業務へと作業を進める。防災広場にあたる用地の取得後、避難箇所としての機能を有した広場の面整備も他機能設計と調整し行っていく。</p>	<p>・対象土地取得 面積:6,225㎡ ・防災拠点アクセス道路概略設計業務委託(アクセス道路概略設計)</p>	<p>・土地取得率 100% ・防災拠点アクセス道路概略設計の実施</p>	<p>(今後の展開方針) H25年度:用地取得、アクセス道路概略設計業務 H26年度:道路予備設計 H27年:道路詳細設計</p>	
4	②	航空機騒音測定装置の更新及び新設事業	H25	<p>米軍基地から派生する航空機騒音の測定を実施することにより、住民生活における騒音被害の実情を把握し、日米両政府へ対策を求める。既存の機器2基(砂辺局、桑江局)の更新及び、新規に1基(吉原局)の設置を行う。</p>	<p>新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置:3基</p>	<p>新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置:3基</p>	<p>(今後の展開方針) H25年度:機器設置、運用開始</p>	
5	①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25~H32	<p>駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、特定駐留軍用地内の土地を先行取得し、公有地の拡大を図る。</p>	<p>駐留軍用地内土地取得事業基金の積立</p>	<p>駐留軍用地内土地取得事業基金の積立 551,000千円</p>	<p>(今後の展開方針) H26年度:基金積立 H26~33年度:土地取得 45,500㎡ ※基金積立総額 2,300,000千円</p>	12月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	①	ツーリズム「北中城」促進事業	H24～H33					
1	①	あやかりの社滞在型施設活用事業	H24～H28	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの社」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施する。	体験交流事業:6事業	・体験交流人数:150人 (H23:0人)	(今後の展開方針) 体験交流人数 目標(H28):700人(延べ人数)	
1	②	歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24～H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備を実施する。	・「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了 ・「島袋・比嘉」地区の基本計画の策定	・「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了 ・「島袋・比嘉」地区の基本計画の策定	(今後の展開方針) ・H26年度:整備工事Ⅰ期(喜舎場・仲順地区) ・H27年度:整備工事Ⅱ期(喜舎場・仲順地区)、実施計画(島袋・比嘉地区) ・H28年度:整備工事Ⅰ期(安谷屋地区・島袋・比嘉地区)、実施計画(安谷屋地区) ・H29年度:整備工事Ⅱ期(安谷屋地区・島袋・比嘉地区)	
1	③	北中城まつり活性化事業	H24～H33	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	・まつりの実施:3回 ・まつり開催日数:19日	・三大祭りにおける来場者数:11万人 (H23:9万7千人) ・地元産業事業者及び村内団体参画数:40事業所 (H23:20事業所及び団体)	(今後の展開方針) 各まつりにて、村内事業所及び観光施設のPRを実施するブース及び特産品販売ブースを設置する。 三大祭りにおける来場者数 目標(H33):11万人 基準年(H23):9万7千人	
1	④	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24～H28	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備を実施する。	荻道・大城湧水群周辺整備基本計画の策定 荻道・大城湧水群周辺整備実施設計の完了	荻道・大城湧水群周辺整備基本計画の策定 荻道・大城湧水群周辺整備実施設計の完了	(今後の展開方針) ・H26年度、H27年度:用地取得(予定)、一部整備 ・H28年度:整備・運用開始(予定)	
1	⑤	東海岸まちづくり整備事業	H24～H29	本村の東海岸地域における低未利用地(遊休農地等)の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地として都市的基盤整備を行う。	・基本計画(素案)の策定	・基本計画(素案)の策定	(今後の展開方針) ・H26年度:基本計画・実施設計 ・H27年度:公共用地取得・土地利用のための地質調査(予定) H28年度～H29年度:都市計画関係の手続き(予定)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	⑥	観光コミュニティバス導入事業	H24～H29	村内の観光資源をターゲットとした観光コミュニティバス導入に向け、導入時及び運用時等の問題・課題を整理し、基本計画、短期実施計画を策定をす。	・観光コミュニティバス導入基本計画の策定	・観光コミュニティバス導入基本計画の策定	(今後の展開方針) ・H26年度:社会実験運行計画策定(関係機関との協議含む) ・H27年度～H28年度:社会実験(予定) H29年度:本格運用(予定)	
1	⑦	地域活性化キャラクター作成事業	H25～H33	本村の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、イメージキャラクターの募集、マスコット化、商標登録、着ぐるみの作成等を行い、本村PRのツールとして活用する。	・キャラクター募集や着ぐるみの作成 ・交流イベント等への参加	・キャラクター着ぐるみ:3体作成 ・キャラクター触れ合いイベント:1回		
1	⑧	景観計画策定事業	H24～H25	本村における景観特性や目指すべき「将来像」及び「景観形成に関する方針」等を示し、良好な景観形成のための行為の制限等を定めることにより、実現性の高い景観形成を推進するため、景観計画を策定する。	・景観計画の策定 ・景観行政団体への移行	・景観行政団体への移行		
1	⑨	公営墓地整備事業	H25～H28	墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るといったこれまでの取組とあわせて、沖縄独特の墓地問題の解決に取り組むため、公営墓地整備に向けた基本設計及び実施設計を実施する。	・測量・基本設計・実施設計の実施	・測量・基本設計、実施設計の完了	(今後の展開方針) ・平成26年度:用地購入 ・平成27年度:用地購入及び詳細設計 ・平成28年度:土木・建築工事 ・平成29年度:供用開始 ・供用開始後は、新規の墓地建設を公営墓地に誘導し、墓地の散在化防止を図ることができる。 年間墓地需要数21～35基、10年間墓地需要数で210～350基の設置が可能となる。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		駐留軍用地跡地等利活用事業	H24～H30					
2	①	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業	H24～H28	観光客誘致が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりを推進し、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査・計画策定を実施する。	・アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	・アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	(今後の展開方針) H26年度:避難場所・避難路整備計画(予定) H27年度～H28年度:大型商業施設・大型病院との災害協定締結に向けた災害時対応マニュアル策定(予定)	
2	②	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24～H30	アワセゴルフ場地区は、戦前は肥沃な土地に恵まれた比嘉集落が形成され、自作農で生産性も高く豊かな集落であったが、戦後、強制的に土地が収用され60年あまりにわたって米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像、記録、編集を実施する。	・記録映像の作成	・記録映像の作成 ・記録映像の撮影時間:3時間	(今後の展開方針) H26年度～H30年度: 記録映像の作成・保存(3時間×5年)	
2	③	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業	H24～H27	跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー(プロジェクトに関係しているあらゆる人々)との調整及び管理を実施する。	・アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト(主に土地造成等)の調整・管理の実施	・アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト(主に土地造成等)の調整・管理の実施	(今後の展開方針) H26年度:公共施設等整備管理 H27年度:使用収益開始等管理	
2	④	アワセゴルフ場地区総合整備計画事業	H24～H25	平成24年度に見直ししたアワセゴルフ場地区総合整備計画のうち、「健康増進」、「スポーツ施設」、「スポーツ交流」に係る公共施設整備(多目的アリーナ)の設計を行う。	・公共施設整備(多目的アリーナ)の設計	・公共施設整備(多目的アリーナ)の設計の完了		
2	⑥	サウスプラザ地区跡地利用事業	H24～H25	アワセゴルフ場地区と当該地区を一体的に整備するため、造成基盤整備(調整池)の設計を実施する。	・調整池設計	・調整池設計完了		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等				
2	⑦	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25～H29	<p>駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用推進計画として、喜舎場スマートICのフルインター化に向けた、交通量調査、道路構造、跡地利用などの調査を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 喜舎場スマートICのフル化に向けた交通量観測計画の策定 交通量推計(村内ネットワーク)の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 喜舎場スマートICのフル化に向けた交通量観測計画の策定 交通量推計(村内ネットワーク)の作成 	<p>(今後の展開方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 喜舎場スマートICの形式検討の絞り込み及び早期返還に向けた取組みと関係機関協議を行う。 		
2	⑧	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25～H29	<p>キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ住宅地区の跡地利用を促進するための基金を創設し、公用地の先行取得を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基金条例の制定 基金の積立 57,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> 基金条例の制定 基金の積立 57,000千円 <p>達成率(基金積立額に係る取得予定面積の割合):約15%</p>	<p>(今後の展開方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度 基金の積立 H26～33年度 用地取得 9,500㎡ <p>※基金積立総額 361,000千円</p>	12月変更(事業追加)	
3	①	雇用サポートセンター事業	H24～H33	<p>活力ある地域づくりを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊の世代の再就職希望対応など、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登録企業の開拓 求職者のマナー等指導実施 事業活動の周知拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 失業者のマッチング人数:24人(H23:0人) 新規求人数:150件(H23:0件) 	<p>(今後の展開方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録企業の開拓を周辺市町村へ広げ、職種幅を広げ、求職者の選択肢を広げる。 マッチング目標:年間24人 登録企業目標:年間:40社 		
4	①	沖縄戦戦後復興調査事業	H24～H29	<p>戦後67年を迎え、聞き取り調査の対象者(当事者)が高齢化する中、米兵が綴った日誌など未調査の英文資料(比嘉太郎・マーフィン資料)の翻訳を行うとともに、聞き取り調査等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事収集→5ヶ年分 聞き取り調査→3自治会 資料のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事収集→5ヶ年分 聞き取り調査件数→3自治会 聞き取り調査テープデジタル化→1,000本 写真資料デジタル化→1,000枚 村役場保管資料収集デジタル化→5件 	<p>(今後の展開方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度もH25年度と同様の内容を継続して実施。 		
5		農水産アクティビティ事業	H24～H33						
5	①	地域ブランド構築事業	H24～H33	<p>産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行う、販路拡大の拠点となるアンテナショップの設備を拡大し、積極的な販売を展開する。また商品選定委員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産展フェアへの出店も同時に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブランディング推進委員会開催数: 5回 県外商談・PR活動回数:4回 新商品の開発3アイテム以上 アンテナショップ什器類(19品目)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大の為の県外物産フェア参加(10品目販売モニター調査、販売額目標40万円) 量販店等への取引契約(チェーン展開する店舗1以上) 新商品の開発3アイテム以上 アンテナショップ什器類(19品目)の整備 	<p>(今後の展開方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度:組織強化・商品化等 H27年度以降:組織強化・販路拡大等 		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	②	軟弱野菜生産支援事業	H25～H29	耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)を導入し、軟弱野菜の安定生産、産地形成に取り組む。	・耐候性野菜栽培施設の設置(30a)	・耐候性野菜栽培施設の設置(30a)	(今後の展開方針) 軟弱野菜の生産量 目標(H29):5,250千円 (H24:2,190千円)	
5	③	農業経営改善支援事業	H24～H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者を支援するために、農業経営改善支援員を派遣する。	・農家への経営指導及び技術支援の実施(40件)	・農家への経営指導及び技術支援の実施(40件)	(今後の展開方針) 地産地消(学校給食での食材活用)の拡大を図る。	
5	④	再資源化ストックヤード活用推進事業	H24～33	焼却回避によるゴミ減量化を目指し、青草、伐採木の堆肥化・再資源化を図るとともに、堆肥化された植物ゴミを農業へ再活用し、循環型農業の推進を図る。	・青草・伐採木等のゴミ減量化 ・堆肥利用促進	・青草、伐採木等の減量化:対前年度25%減 ・再資源化による堆肥量:15t (24年度の堆肥量:0t)		
6	①	災害時要援護者避難支援事業	H24～H27	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び災害時の要援護者情報整備とシステム導入を行う。	・災害時要援護者避難支援システム導入 ・災害時要援護者台帳の整備	・災害時要援護者避難支援システム導入 ・災害時要援護者個別支援計画の作成:10件	(今後の展開方針) 個別支援計画の作成 ・平成26年度:70件 ・平成27年度:70件	
7		エコアクション推進事業	H24～H33					
7	①	全村植物公苑化推進事業	H24～H33	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	・公共、観光施設及び村内主要道路の景観美化・緑化の実施:2,000㎡	・村内主要道路等の美化・緑化率:2,000㎡	(今後の展開方針) ・公共・観光施設管理者及び道路管理者との連携を図る。 村内団体へ緑化ボランティアの呼びかけを実施する。 緑化・美化協力団体数 目標(H33):5団体	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	②	公共施設等エコアクション推進事業	H24～H29	村全域を植物公園と見立て、特徴的な自然の保全や観光拠点周辺及び住宅地内の緑化促進を実施するとともに、北中城村新エネルギービジョンに掲げられた「クリーンエネルギーの導入」、「省エネルギー化」及び「リサイクルの促進」などの長期目標の達成に向けたエコアクションプログラムの策定に向けた基礎調査、CO2削減の取り組みの先駆けとして、公共施設への太陽光発電システムの設置、照明器具のLED化を行う。	・村道への街灯LEDの設置:L=400m ・太陽光発電システム設置:1ヶ所	・村道への街灯LEDの設置:L=400m ・太陽光発電システム設置:1ヶ所	(今後の展開方針) H26年度: 太陽光設置(各地区公民館)、LED省エネ化の推進、(仮称)エコアクションプログラムの策定 H27年度以降: 太陽光設置(各地区公民館)、太陽光システム導入補助(一般家庭)、低炭素活動みえる化事業等	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
8		国際化・ICT人材教育推進事業	H24～H33					
8	①	総合英会話指導支援事業	H24～H33	国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより、「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。	・英会話指導員配置数 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人	・英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人 ・英語検定合格率(H24:51%→H25:53%)	(今後の展開方針) ・英語検定合格率:60%	
8	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24～H33	国際化社会に対応できるよう、子どもから大人までを対象とした人材育成・教育方法等を教育現場に活かすため、米国の教育機関(ワシントン州立大学)とWEBシステムを活用して、米国大学教員による集中講座を行う。	・小学生講座:64回(前期32回 後期32回) ・中学生講座:64回(前期32回 後期32回)	・受講生人数 前期:20人、後期:20人	(今後の展開方針) H33年度まで ・受講生人数(累計):380人	
8	③	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	コンピュータ操作指導やITに関する専門的な知識向上のために、指導員を配置するとともに、操作指導・インターネットモラルなどのIT教育の推進を図る。	・PCインストラクター支援員配置数:1人	・PCインストラクター支援員配置数:1人 ・PCインストラクター支援員による授業時間:678時間/年	(今後の展開方針) H33年度:PCインストラクター支援員による授業時間数:1,216時間/年 (小学校高学年への授業拡大)	
8	④	南米3カ国青年研修派遣事業	H24～H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多くいる南米3カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル)に研修生を派遣する。	・派遣者数2名 ・研修発表会1回	・派遣者数2名 ・研修発表会1回	(今後の展開) 次年度以降も同様の内容を継続して実施	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				9				
9	①	琉球歴史風致資産調査事業	H24～H29	<p>村内に所在する旧跡・文化財等の現況を把握するための現地調査(所見作成・写真等記録作成・位置測量等)を実施するとともに、調査成果や既存の資料について情報発信のための資料整理(台帳の整理とPC打ち込み・実測図作成・材質分析等)を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査箇所数→200箇所 ・民俗祭祀行事調査→5件 ・村収蔵民具等図化、材質・分析→10件 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査箇所数→200箇所 ・民俗祭祀行事調査→5件 ・過年度分補足調査→100箇所 ・村収蔵民具等図化、材質・分析→10件 	<p>(今後の展開方針) 次年度もH25年度と同様の内容を継続して実施。 H30年度:調査成果の公開活用と歴史風致を踏まえたまちづくり計画を策定する。</p>	
9	②	中城間切ノロ関係資料集作成事業	H24～H29	<p>島袋ノロらが活動していたとされる近世～近代の中城間切(当時の行政単位で現在の北中城村・中城村)に焦点を絞り、ノロが執り行った祭祀実態などを明らかにするため、それぞれのノロが管轄した拝所の現地調査や、関連資料(古文書・位牌等)の収集や聞き取り調査を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロ関連現地調査→3箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロ関連現地調査→3箇所 	<p>(今後の展開方針) ・H27年度ノロ関係資料の発刊へ向け、各種資料の整理を継続して実施する。 ・H28年度～H29年度:普及講座・現地巡見などの生涯学習と、村内の小中学校への出前講座に活用</p>	
10		子育て環境充実サポート事業	H24～H33					
10	①	幼稚園預かり保育給食対応事業	H24～H33	<p>幼稚園預かり保育(午後)において、小・中学校と同様の学校給食を提供するため、賃金調理員の配置を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理員配置数:1名 ・食育授業:3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育実施幼稚園への給食提供数:600食/月(50食×3日×4週) ・食育授業:3回 	<p>(今後の展開方針) 調理員による食育授業を展開し、園児に食事の大切さ等の意識向上を図る</p>	
10	②	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	<p>村内の幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児・児童・生徒のうち、特別に支援を要する子ども達に対し、支援員を配置することで該当児の学校(園)生活における介助及び学習支援等を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人 幼稚園:4人 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人 幼稚園:4人 ・特別支援教育支援員ひとり当たりの配置された授業数(年間) 小学校:820時間 中学校:895時間 幼稚園:734時間 		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	H25事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ						細		
11	①	沖縄関係仮戸籍・福岡戸籍等電子化事業	H25	村で保管している戦災滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書や福岡戸籍等の電子化事業を実施し、身分関係を公証する資料として適正に管理保存をする。	・沖縄関係戸籍や関連する資料の電算化の実施(対象戸籍数約2,000件)	・沖縄関係戸籍の電子化率100%		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		護佐丸歴史資料図書館の整備事業	H24～H27	沖縄や中城村の歴史や文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、護佐丸歴史資料図書館の建設を行う。なお、当該施設は、災害時に地域住民等の身の安全を確保するため、「防災タワー」を兼ねた複合施設とする。	・護佐丸歴史資料図書館の実施設計の実施	・護佐丸歴史資料図書館の実施設計の実施	(今後の展開方針) 平成26～27年度:建設工事 平成28年度:供用開始	
2		災害対策避難路整備事業	H24～H25	村民の「安心・安全」な生活環境を確保するため、低海拔地域の学校や既存集落の台風や津波等対策として災害時の緊急避難路の整備築造工事を行う。	・避難路の測量及び実施設計の実施 ・避難路整備築造工事の着手	・避難路の測量及び実施設計の実施 ・避難路整備築造工事の着手	(今後の展開方針) H26年度:築造工事・供用開始	
3		観光客誘客促進・受入基盤強化整備事業	H24～H33					
3	①	中城城跡ライトアップ事業	H25	風光明媚な世界遺産「中城城跡」を観光振興の目玉として更に推進するため、城跡のライトアップを行い、普段日中しか行えない中城城跡の観光を光の演出により日没後も観覧できる観光メニューを提供するとともに集客増を目指す。	・ライトアップ設備の基本計画の策定(デザイン設計) ・ライトアップ設置工事 ・ライトアップ事業の開催	・中城城跡への来場者数2,000人(ライトアップ事業期間)		
3	②	マリンレジャーゾーン施設整備事業	H25～H26	本村で各種マリンレジャーの拠点となっている久場崎海岸において、便益及びレジャー施設の整備を行い、観光客などを受入れるための環境を整え、世界文化遺産中城城跡に次ぐ観光施設を目指す。	・便益施設の基本計画の策定(建築場所、施設規模)	・便益施設の設計	(今後の展開方針) 平成26年度:建設工事 平成27年度:供用開始	
3	③	キャンプ誘致施設整備事業	H25	国内外のプロサッカーチームや日本陸連の強化選手等のキャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて経年劣化している公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有するサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。	・吉の浦公園ごさまる陸上競技場芝生(プロサッカー専用芝)の適正管理 ・吉の浦公園野球場施設(照明・フェンス)機能強化工事 ・中城村民体育館施設(天井張替等内部)機能強化工事 ・吉の浦会館フェンス機能強化工事	・吉の浦公園ごさまる陸上競技場芝生(プロサッカー専用芝)の適正管理 ・吉の浦公園野球場施設(照明・フェンス)機能強化工事 ・中城村民体育館施設(天井張替等内部)機能強化工事 ・吉の浦会館フェンス機能強化工事	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
3	④	観光客誘客促進事業	H25	本村や沖縄県の観光客誘客促進のため、本県のサッカーチームの県外試合の際に、試合前やハーフタイムに地域のキャラクターごさまる等を活用して本村・沖縄県の観光PR活動やキャンプ誘致活動を行うことで、観光客誘客促進を図る。また、サッカー教室など地域でのイベント開催を通して、地域のスポーツ振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR活動の実施 キャンプ誘致活動 特産品開発 	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRイベントの開催: 2回 キャンプ誘致活動: 5回 特産品の開発: 1~2種類 			
3	⑤	中城護佐丸まつり事業	H25	本村観光地の目玉である、世界遺産「中城城跡」にて、観光客の誘客とともに村民意識の高揚と親睦による地域活性化及び商工・観光振興の観点からも伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして「中城護佐丸まつり」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 中城護佐丸まつりイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> まつり会場来場者数: 8,000人 基準年(H22: 前回開催年): 6,133人 			
3	⑥	村HP多言語化事業	H25	本村と歴史的、文化的に関連が深い国や地域との沖縄振興に資する交流関係を広げるため、また、観光振興のための観光情報も含め、外国人向けに本村ホームページを多言語化して情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 村ホームページの多言語化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 月平均アクセス数: 3,500アクセス 基準年(H22): 36,365アクセス (月平均約3,000アクセス) ※アクセス数とはPV数を表しています 	(今後の展開方針)	年内にWebサイト公開	
3	⑦	海外移住者子弟研修生受入事業	H25~H33	南米に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、企業研修、伝統文化・芸能の習得を通して、ウチナーンチュとしてのアイデンティティの形成を図り各国村人会等のリーダーとして社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に努め観光振興への展開として、南米と沖縄の観光の架け橋になってもらうことを目的として実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 受入研修生数: 年間3名 	<ul style="list-style-type: none"> 受入研修生数: 年間3名(アルゼンチン、ペルー、ブラジル、各1名) 	(今後の展開方針)	<ul style="list-style-type: none"> 各国日系社会のコミュニティーの強化と沖縄と各国の相互交流につなげる。 受入研修生数(H33累計): 27人 	
3	⑨	クラブハウス施設整備事業	H25~H26	スポーツコンベンションの推進を図る目的で当交付金の平成25年度事業として整備を行っている吉の浦公園周辺施設の一つであるサッカー場に、キャンプ誘致の受入基盤を更に強化整備するため、ミーティングルームやレフリースーツ、更衣室等の設備を兼ね備えた「クラブハウス」を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> クラブハウス施設の基本計画、実施設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> クラブハウス施設の基本計画、実施設計の実施 	(今後の展開方針)	平成26年度: 建設工事供用開始	12月変更(事業追加)

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
				4		教育・子育て環境づくり整備事業			H24～H33
4	①	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24～H26	「郷土の歴史・文化についての学習」を充実させるため、小中学校の教材等を編纂する。今年度は小学生向け教材の企画検討、執筆者編集委員会の設置等を行う。平成25年度末に小学生向け教材の納品を行い、平成26年度末に中学生向け教材の納品を行う予定である。	・読み物教材の編集 ・絵本教材の編集 ・3年～6年生教材の編集 ・脚本の編集 ・教育課程特例校の研究 ・中学教材の企画委員会・編集委員会の立ち上げ	・読み物教材の出版 ・絵本教材の出版 ・3年～6年生教材の出版 ・脚本の出版 ・教育課程特例校の申請 ・中学教材の企画委員会3回・編集委員会3回を実施し教材プロットを作成する。			
4	②	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H33	児童生徒が、コンピューター等の情報手段に慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報支援員の配置やコンピュータの設置等により環境を整備する。	・パソコン設置学校数:小学校 2校 ・情報教育対応補助者の配置	・パソコン設置:中城小40台、津覇小40台 ・情報教育対応補助者配置数:1人	(今後の展開方針等) 平成26年度以降 ・本県は、パソコン所有世帯数が少ないので、学校において情報機器環境を構築する。情報通信ネットワークに慣れ親しみ、活用できるように情報教育支援員を配置し、学力向上を図る。 ・パソコン設置:中城中40台 ・情報教育対応補助者:小学校1人、中学校1人		
4	③	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H33	特別に支援を要する児童生徒や学習が遅れ気味の児童生徒について、個に応じたきめ細かな支援を行うため、特別教育支援員や学習支援員を各学校に配置する。 また、家庭の理由で不登校になる児童生徒が多いため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、児童生徒と保護者に対して、精神的にきめ細かく支援する体制を整備する。	・園児、児童、生徒指導支援者配置数 (幼稚園2人、小学校6人、中学校2人、教育相談員2人、スクールソーシャルワーカー1人)	・不登校児童生徒数:0人 基準年(H23):12人	(今後の展開方針) ・平成25年度よりスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒・学校・特別支援・保護者・福祉事務所・医療関係等との連携を深め不登校児童生徒の改善を図る。		
4	④	国際理解人材育成事業	H24～H33	学校の外国語活動及び国際教育を充実させるために英語指導の補助員を配置する。	・英語指導員配置(小学校1人)	・英語指導員配置数:小学校1人 ・英検受験者数:40人 基準年(H23):15人	(今後の展開方針) 平成26年度:英語指導員配置数(小学校2人)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	⑤	ごさまる学力パワーアップ事業	H25～H28	生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるためには、その日の学びの定着や繰り返し学習が必要である。そのために、「学習定着のための機会」の提供として土曜講座等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要項案の作成と連絡調整会の実施 ・定期テスト前講座の実施 ・夏期講座の実施 ・意欲向上のための生徒向け講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の事前テスト・事後テストの平均10点の向上 ・県到達調査の数学・英語の県平均を上回る。 		
4	⑥	児童館・子育て支援センター強化事業	H24～H33	子育ての不安を解消し、子供たちへの虐待を防ぐため、相談体制の強化を図るとともに、地域のボランティア育成を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員、保育士の配置(児童館:3人、子育て支援センター2人) ・地域ボランティアによるイベント開催回数(年間10回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアによるイベント開催実施率(活動目標に対して):70%以上 		
5		輪ギクの安定生産に向けた取組	H24～H25	輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、選別・調整作業の機械化を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・選別機械の導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・選別機械の導入支援:2件 		
6		ごさまるエネルギープロジェクト	H24～H25	中城村に建設中の吉の浦火力発電所は、沖縄で初めて導入されるLNG(液化天然ガス)を燃料として発電を行う。液化された天然ガスが気化する際に発生する廃熱を中城村の地域振興と地域エネルギーシステムの確立に利用するため琉球大学及び中城村商工会の産官学連携により共同研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官による共同研究 ・冷凍粉砕及び製氷の実証調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍粉砕した製品を利用した商品開発の提案 ・製氷実験の結果に基づく利用可能性の提案 		
7		中城村文化財総合調査整備活用事業	H25～H33					
7	①	文化財悉皆調査事業	H25～H29	5カ年計画で民俗調査専門員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況等を把握し、それを整理公開していくことで村民の文化財の保護意識高揚と活用を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・各集落での聞き取り調査の実施:100名程度(18行政区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査概報の作成 	(今後の展開方針) 平成26～28年:調査 平成29年:報告書および普及用パンフレット等の作成	
7	②	村内文化財整備事業	H25～H33	村及び県指定文化財の保存及び活用を図るため修復やサインの設置を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財測量 ・文化財整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安里のテラ」の整備 ・「新垣の石橋」の整備 ・「津覇の竈屋」の整備 	(今後の展開方針) 平成26年度: 「キシマクの嶽」の整備	10月変更(計画変更に伴う成果目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7	③	古道ハンタ道保全活用基本計画作成事業	H25～H26	<p>本村では、ハンタ道(旧歴史の道)の道路整備を実施したが、道沿いの駐車場や便益施設、道路周辺文化財のサイン等の整備不足もあり、文化財や景観環境等周辺観光素材の十分な活用が出来ていない。今後の活用を図るために、追加整備や新たな活用方法等の基本計画を作成し、今後の文化・観光振興につなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前提条件の整理 ・環境条件の調査 ・道と各集落の関係性に対する調査 ・重点地区の検討 ・住民参加による道周辺環境整備の検討 ・報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・前提条件の整理 ・環境条件の調査 ・道と各集落の関係性に対する調査 ・重点地区の検討 ・住民参加による道周辺環境整備の検討 ・報告書の作成 	(今後の展開方針) 平成26年度:内容のまとめ、報告書作成	
7	④	中城城跡詳細測量事業	H25	<p>中城村が平成27年度に建設を計画している「(仮称)護佐丸歴史資料図書館」に展示する中城城跡詳細模型を作成したり、中城村役場や中城城跡共同管理協議会のホームページで公開する中城城跡の3D画像を作成するため中城城跡の城郭全体のレーザー測量を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー測量の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー測量の実施 		
8		中城村景観形成事業	H25	<p>本村における、村土利用の基本方針に沿った、景観特性にあった、実現性の高い有効的村土利用と景観形成を推進するため、景観計画を策定、景観条例を制定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会の開催 ・景観アドバイザー制度の検討 ・景観条例の制定 ・特別緑地保全地区の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の策定 ・景観条例の制定 	(今後の展開方針) 平成26年度:景観条例に基づく制度の運用	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		西原町観光客受入基盤強化事業	H24～H28					
1	①	公園樹木等環境整備事業	H24～H28	観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 ①西原運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 ①西原運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	(今後の展開方針) 平成28年度まで同事業を継続 町内主要観光施設利用者数(西原マリンパーク)500,000人(H23)→550,000人(H28)	
1	②	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H26	本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。 【庁内策定会議、検討委員会】	景観計画素案作成	景観計画素案作成	(今後の展開方針) H26年度の実施内容:【庁内部課長会議、検討委員会、住民意見交換会及び説明会、都市計画審議会、パブリックコメント】 町内主要観光施設利用者数(西原マリンパーク)500,000人(H23)→550,000人(H28)	
1	③	農水産物物流・加工・観光拠点施設整備事業	H25～H26	地域振興及び観光情報の拠点施設として、地域特産品を販売・消費できる農水産物直売所を中心に伝統文化等の地域資源の展示・紹介・イベント広場等の施設及び加工所並びにレストラン等の諸施設を整備する。	・基本計画の策定 ・用地選定	・基本計画の策定 ・用地選定	(今後の展開方針等) H26年度:用地購入、実施設計 H27年度:建設工事 H28年度:供用開始 町内農産物販売者数(H23)0人→(H28)300人	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1	⑤	文化財及び文化財周辺環境保全事業	H25	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境整備を行う。	・文化財及び文化財周辺の清掃の実施:15件×3回 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察・カルテ作成:1回	・対象文化財及びその周辺の清掃の実施:15件 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察、カルテ作成:1回		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑥	文化財サイン設置事業	H25	本町の文化財資源を活用した観光振興を図るため、町内に散在する文化財近辺に標柱や解説板等を設置する。	・対象文化財の名称等を表記した標柱設置:6基 ・対象文化財の説明等を表記した解説板設置:4基	・対象文化財の名称等を表記した標柱設置:6基 ・対象文化財の説明等を表記した解説板設置:4基		
2		次代を担う人材育成事業	H24~H33					
2	①	小学校英語活動指導員派遣事業	H24~H28	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視野、感覚への足掛かりとなる。 児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置	・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%を超える。 ・児童英検(ブロンズ)模擬テストを年2回実施する。 ・児童英検(ブロンズ)模擬テストにて6割の正答率をクリアできる力を持つ児童が60%を超える。	(今後の展開方針) ・H26英語が好きな児童を75%、児童英検7割正答児童60% ・H27英語が好きな児童80%、児童英検8割正答児童65% ・H28英語が好きな児童85%、児童英検8割正答児童70%	
2	②	教育相談員配置事業	H24~H28	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	教育相談員配置数:3人	教育相談員への相談件数:450件 ・不登校児童生徒数の減少。 H24年度(児童11名、生徒25名)⇒H25年度(児童9名、生徒20名)	(今後の展開方針) ・H26不登校児童7名、生徒15名 ・H27不登校児童5名、生徒10名 ・H28不登校児童2名、生徒5名	
2	③	学習支援員配置事業	H25~H28	全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小中学校:6人	・学習支援員を町内全小中学校に配置:6校 ・県の到達度調査及び全国学力調査において、全教科県平均を上回る。	(今後の展開方針) ・H26:諸学力調査問題で全国との差を6ポイント以内。 ・H27:諸学力調査問題で全国との差を3ポイント以内。 ・H28:諸学力調査問題において、全国平均を上回る。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	④	特別支援教育支援員配置事業	H24～H28	特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。	特別支援教育支援員配置数 小学校:16人 中学校:4人	特別支援教育支援員の配置 小学校:16人、中学校:4人 ・支援児童40名、支援生徒41名	(今後の展開方針) ・H26支援員20名、支援児童40名、生徒41名 ・H27支援員20名、支援児童40名、生徒41名 ・H28支援員20名、支援児童40名、生徒41名	
2	⑥	教育情報化支援事業	H25～H30	将来の沖縄振興に資する人材育成及び学力・情報活用能力等の向上を図るため、各小中学校に電子黒板等のICT環境を整備し、より魅力的かつ分かりやすい授業環境を整える。	ICT機器の整備、教育用ソフト導入 学校数 小学校:4校 中学校:2校	ICT機器の整備、教育用ソフト導入 小学校:4校 中学校:2校 ICT機器・教育用ソフト整備進捗率:20% (※進捗率は、H25・26年度の2年間の整備総数に対する年度毎の達成率)	(今後の展開方針) ICT機器・教育用ソフト整備進捗率 H26年度:100% ICT支援員配置及びICT活用支援 (H26～H30年度)	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
3		ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	H24～H27	ICTを活用した観光振興を図るため、ポータルサイトの構築や観光アプリ開発を行う。また、観光情報拠点を整備し、観光客へのタブレット端末貸出を行う。さらにIT技術人材育成施設を整備し、webデザインやアプリ開発などの人材を育成するとともに、インターネット動画配信番組の制作に取り組む。	観光サイト・アプリの開発 観光情報拠点の整備(1箇所) IT人材育成講座の開催 年6回定員10名 動画作成ワークショップの開催 年6回定員30名 西原町紹介動画の作成 5本	観光サイト・アプリのリリース 観光情報拠点の整備(1箇所) IT人材育成講座の開催 年6回定員10名 動画作成ワークショップの開催 年6回定員30名 西原町紹介動画の作成 5本	(今後の展開方針) 平成26年度:人材を雇用して事業委託 平成27年度:委託料にて事業委託	
4		西原町平和推進プロジェクト事業	H25～H29	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催する。	西原町平和音楽祭の開催	西原町平和音楽祭観客動員数1,580人	西原町平和音楽祭観客動員数:H 29年度:1,900人	
5		スポーツ環境整備事業	H24～H25	西原町陸上競技場は、毎年プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め観光資源としても活用するため、芝管理用トラクターやその他の備品を整備し、機能強化に取り組む。	備品倉庫の建設 サッカー・陸上競技の備品整備の実施	備品倉庫の建設 サッカー・陸上競技の備品整備の実施	(今後の展開方針) H26年度供用開始	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				6				
6	①	世代間交流推進事業	H25～H28	低所得県故の共働き世代に対応した子育て施策の拡充を図り、地域の高齢者から沖縄独特の伝統芸能や文化を次世代に継承するため、幼児から高齢者にいたる3・4世代が交流できる世代間交流施設を整備する。	西原町三世代交流施設(仮称)の基本設計	西原町三世代交流施設(仮称)の基本設計の実施	(今後の展開方針) ・平成26年度:実施設計及び工事 ・平成27年度:工事 ・平成28年度:供用開始	
6	②	認可外保育施設支援事業	H25～H28	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育士が保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。 ・定員空き状況の集約(月1回)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		与那原町観光振興事業	H24～H33					
1	①	大綱曳倉庫・作業場整備事業	H25～H26	現在、仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳の関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱づくり作業場の確保のため倉庫を建設する。	・用地取得 2,299㎡ ・建築基本・実施設計	・用地取得 2,299㎡ ・建築基本・実施設計	(今後の展開方針) ・平成26年度:建設工事 ・平成27年度:供用開始	
1	②	滞在型観光構築推進事業	H25～H33	本町に滞在し集客できる仕組みを構築するため、町内観光ガイドの育成等人材育成事業、地域特性を生かした体験メニューの開発、観光まちづくり委員会の構築、知名度アップのための情報発信、観光ガイドブックのブラッシュアップ、民泊家庭の発掘を行う。	・民泊受入家庭の発掘:5軒 ・町内観光ガイドの育成数:5人 ・体験メニュー開発数:2メニュー ・ガイドブックによる体験メニューPR	・民泊受入家庭の発掘:5軒 ・町内観光ガイドの育成数:5人 ・体験メニュー開発数:2メニュー	(今後の展開方針) ・平成33年度までに ・民泊受入家庭の発掘:50軒 ・町内観光ガイドの育成数50人	
1	③	地域活性化イベント支援事業	H24～H33	商店街大通りににおいてイベントを開催して誘客活動を活発に行うことにより商業・観光活性化につなげていく。そのイベント実施に要する経費の助成とイベント用備品の整備を行い、観光振興と商業振興を図る。	・ちゃんぶる～市・軽便市を6回開催	・ちゃんぶる～市・軽便市を6回開催 ・集客数 6,000人 (基準値:平成24年 3,350人)	(今後の展開方針) ・平成33年度までに 60,000人集客	
1	④	商工会青年部南北交流支援事業	H24～H33	若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに将来のリピーターを生み出すことで誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同で行う「南北青少年体験交流」へ支援を実施する。	・交流派遣者数 24人	・交流派遣者数 24人 ・浜中町交流団受入10人 + 浜中町商工会関係者15人を受入。 ・両町のまつり、イベントでの相互特産品販売・町のPR実施	(今後の展開方針) ・平成33年度までに240人派遣 ・平成33年度までに250人受入れ	
1	⑤	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24～H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	・散策コース美化清掃実施 ・沿岸線緑化工事実施(2.0km)	・散策コース美化清掃実施 ・沿岸線緑化工事実施(2.0km)	(今後の展開方針) 平成26～29年度:美化清掃にて回遊箇所緑化及び植栽工事を実施	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		与那原町観光交流施設等整備事業	H24～H27					
	①	来訪者と町民の交流施設整備事業	H24～H27	本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備することで、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。	・与那原町観光交流施設の実施設計及び建設工事の実施	・与那原町観光交流施設の実施設計及び建設工事(進捗率40%)の実施	(今後の展開方針) H25～H26:建設工事 H27:供用開始	
	②	交流施設駐車場整備事業	H24～H25	本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設、さらに、災害時に来訪者の避難施設として活用することを目的に交流施設を建設するが、施設機能の向上と最大限に利活用するために駐車場を整備する。	駐車場23台追加整備	駐車場23台追加整備	(今後の展開方針) H26年度供用開始	12月変更 (事業追加)
3		次代を担う人材育成事業	H24～H29					
3	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H29	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、デジタル教科書の充実、ソフトを利用するデジタルテレビ、電子黒板等を整備する。また、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。	・情報教育支援員の配置 2人 ・電子黒板等購入(TV・BR・台・電子黒板)3セット	・情報教育支援員の配置 2人 ・電子黒板等購入(TV・BR・台・電子黒板)3セット ・授業回数 週16時間 年間464時間	(今後の展開方針) ・情報教育支援員の人員確保 ・購入備品の活用 ・授業回数の確保	
3	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H28	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、スクールカウンセラー・学習支援員・特別支援教育支援員を各学校に配置する。	学習支援員の配置 17人 特別支援教育支援員の配置 11人 スクールカウンセラーの配置 2人	・全国学力調査の平均正答率において、全国との差を前年度比2%縮める ・カウンセリングによる、不登校者数の減(前年度比1～2名減)	(今後の展開方針) ・学習支援員、特別支援員、スクールカウンセラーの人員確保 ※カウンセリングによる、不登校者数の人数減	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	③	国際理解人材育成事業	H24～H28	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	英語指導助手の配置 2人	英語検定取得(1～4級) 125人	(今後の展開方針) ・H24～28 英検対前年度取得者数 年間10人増	
3	④	沖縄文化推進事業	H24～H28	沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承するため、地域人材を生かした音楽教室を開催し、地域イベントへの積極的な参加をはかる。	作編曲委託 2曲 指導者派遣及び音楽教室の開催 60回 発表会 3回	作編曲委託 2曲 指導者派遣及び音楽教室の開催 60回 発表会 3回	(今後の展開方針) ・楽器指導者 派遣 ・発表会開催(年間2, 3回)	
4		ほっとハート子育て応援事業	H24～H33	0歳児童の待機児童対策を目的に、9人以上の0歳児童保育を実施する為に看護師配置をする認可保育所へその経費の一部を助成する。	認可保育園への看護師配置 5施設中5施設(各1名配置)	0歳待機児童数 H24(10月)14人→H25(10月)4人	(今後の展開方針) ・年度途中より増える0歳児の受入体制の強化	
5		与那原町東浜水路憩いの広場整備事業	H25～H27	本町東浜地区と既成市街地との間の東浜水路を観光資源として活かし、新たな観光産業の育成を図る為の拠点として、東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を整備する。	東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を設計 ・用地取得 ・広場設計、展示場設計	東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を設計 ・用地取得 ・広場設計、展示場設計	(今後の展開方針) 平成26年度:事業認定申請 用地取得 平成27年度:収用裁決申請 工事 平成28年度:供用開始	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
6		船舶電話通信機器設置補助事業	H25	本町漁業組合に所属する漁業者が現在使用している衛星船舶電話が平成25年度末にアナログからデジタル化に移行するため、平成26年度から使用不能となる。それに備えて衛星船舶電話通信機器(デジタル機器)の設置補助を行い、遠方漁業船の安全確保と漁業振興を図る。	船舶電話の設置:40台(艘)	船舶電話の設置:40台(艘) (対象:漁業組合所属88艘中、ソデイカ・マグロ漁を行う40艘)		
7		与那原町地域防災計画策定事業	H25～H26	本町は太平洋に面した、海拔の低い平坦地に住宅街が密集した地勢にあり、これまで経験のしたことのない大きな被害をもたらした東日本大震災のような大規模な災害に備え、町民と来訪者の安心と安全を確保するため、指定避難所の見直しを含めた「避難計画」を今年度策定する。また、次年度には避難計画を軸とした地域防災計画の完成を目指す。	○地震・津波避難計画の作成 ○豪雨(土砂)災害避難計画の作成	○避難所台帳 3部 ○地区別防災カルテ 3部 ○地震・津波避難計画書 ○「地震・津波避難マニュアル作成指針」50部 ○豪雨(土砂)災害避難計画書 ○「豪雨(土砂)災害避難マニュアル作成指針」50部	(今後の展開方針) H26年度 1. 地域防災計画書の完成 2. 総合防災マップの作成 3. 初動マニュアルの作成	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	H24～H26	与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。軽便鉄道の与那原駅跡の整備後、高齢者や障がいをもつ方々が利用しやすい環境を整備するため駐車場用地を購入し駐車場の整備を行う。 また、駅跡整備に関してより魅力ある観光スポットとする為、公園部分追加整備を行うとともに、平成24年度に引き続き駅跡整備を実施する。	復元する与那原駅の周辺を整備 ・外構部分の整備 ・駐車場の整備 ・駐車場部分の用地購入	復元する与那原駅の周辺整備完了 ・外構部分の整備 ・駐車場の整備 ・駐車場部分の用地購入	平成26年度供用開始	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		南風原町人材育成事業	H24～H33					
1	①	青少年国際交流事業	H24～H28	町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。研修を通して国際的視野を広め、国際化時代に対応する青少年リーダーの育成を図る。また、参加した青少年達に対して事後活動を定期的に行い、地域で自主的な活動を行えるようサポートする。	交流事業派遣生徒数:10名	研修後報告会の開催	(今後の展開方針) 本研修および事後研修の充実 OB会による定期的な国際交流 事業の啓発活動や、地域でのイ ベント企画	
1	②	小学校英語指導助手配置事業	H24～H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	小学校英語指導助手配置数:4人	英語を話す児童の割合60%以上(アンケート)	(今後の展開方針) 今後も引き続き小学校4校に英 語指導助手を配置する。進んで 英語が話せることができるよう、授 業内容を改善していく。	
1	③	学力調査等事業	H24～H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。	・標準学力調査の実施 小学校4校中4校 中学校2校中2校	・標準学力調査の実施 小学校4校中4校 中学校2校中2校	(今後の展開方針) 引き続き学力調査を実施してい く。	
1	④	学習支援員配置事業	H24～H33	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校:5人、中学校:4人	標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学) 0.1%増	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に学習支援 員を配置し、基礎学力向上に努 める。	
1	⑤	特別支援教育支援員配置事業	H24～H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:5人、小学校:24人 中学校:3人	標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学) 0.1%増	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に特別支援 教育補助員を配置し、基礎学力 向上に努める。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1	⑥	学校ICT推進事業	H24～H28	<p>沖縄県は学力テスト結果が下位に位置し、低所得者も多いことから、学力向上を図る為に電子黒板やデジタルペン・デジタル教科書を整備する。さらに上記のICT機器等を十分に活用するために学校内ネットワーク機器の整備及びICT支援員を委託し各小中学校へ派遣を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板設置 小学校:73台(4校) 中学校:31台(2校) デジタルペン 小学校:3式×4校 デジタル教科書 9件 ネットワーク機器 小学校:46式 中学校:16式 ICT支援員 2名 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板導入率(普通教室) H25年度:小中学校普通教室100% デジタルペン 小学校:3式×4校(小学校普通教室13%) デジタル教科書 9件 ネットワーク機器 小学校:46式 中学校:16式 ICT支援員 2名 <p>電子黒板等のICT器機について年度末に導入後のアンケートを行う。</p>	<p>(今後の展開方針) 【電子黒板】H25～H27年度にかけて普通教室100%および特別クラスへの整備を行う。 【デジタル教科書】小中学校の教科書改訂年度に合わせて整備を行う。 【その他】ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。</p>	
1	⑦	児童生徒健全育成事業	H24～H33	<p>怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援教室指導員(中学校):2人 生徒校外指導員(中学校):6人 登校支援員(小中学校):2人 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援教室指導員(中学校):2人 生徒校外指導員(中学校):6人 登校支援員(小中学校):2人 	<p>(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に自立支援教室指導員・生徒校外指導員・登校支援員を配置し、基礎学力向上に努める。</p>	
1	⑧	教育相談支援事業	H24～H33	<p>不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町教育相談員配置数:1人 心の教室相談員配置数:2人 	<ul style="list-style-type: none"> 町教育相談員配置数:1人 心の教室相談員配置数:2人 	<p>(今後の展開方針) 今後も生徒校外指導員、登校支援サポーターと連携を密にし支援体制を強化していく。</p>	
1	⑨	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24～H33	<p>中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国人英語指導助手配置数:1人 	<p>標準学力調査結果正答率(英語) 0.1%増</p>	<p>(今後の展開方針) 今後も引き続き、外国人英語指導助手を配置し、小学校英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。</p>	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑩	南風原町青年海外派遣事業	H25～H33	本町の青年達を、特に移民先の南米やハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成する。その成果を今後の町の将来を担うリーダーとしての自覚を持って活動をしてもらう。	・派遣する青年の数:2人	帰国後、訪問地の町人会の様子や研修成果等の報告会開催	(今後の展開方針) 海外移住者子弟や、町人会とのつながりを構築し、今後ともいろいろな分野での交流を継続する。	
1	⑪	南風原町各種大会派遣助成事業	H25～H33	小・中学校の児童生徒が、県外・離島で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の補助をする	大会派遣児童生徒数 31人	大会派遣児童生徒数 31人	(今後の展開方針等) 今後も児童生徒人材育成のため県外大会派遣を継続する。	
1	⑫	南風原町県外等派遣助成事業	H25～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動に対して必要な派遣費用の助成を行う。	派遣児童・生徒数(累計):140人	派遣児童・生徒数(累計):140人	最終年度(派遣児童・生徒数累計):1,260人	
1	⑬	魅力的な体験学習事業	H25～H33	沖縄振興に資する人材育成のため、机上の学習だけではなく体験学習を取り入れた授業を行うことで児童生徒の探究心や想像力を育て学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらう。	サイエンスショーの開催	理科への関心度 : 70% (サイエンスショー開催後にアンケートを実施し、理科への興味・関心度の調査を実施)	(今後の展開方針) 引き続きサイエンスショーを開催し、理科への興味・関心の向上を図る。	
1	⑭	南風原町児童生徒県外交流事業	H25～H33	徳島県のサマーキャンプに南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流会、つるぎ町及び徳島市での自然・文化体験プログラムで文化交流や自然学習等を体験する派遣費の補助をする	徳島県つるぎ町立半田中学校へ中学生10名、小学生12名を派遣	・派遣者にアンケートや報告書(感想文)を実施し集計結果や分析を報告。 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 「次回も継続して欲しいこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 ・徳島県から中学校修学旅行生を1校受入れる。	徳島県との交流を継続し、平和教育や、観光振興などの担い手となる人材を育成する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		観光・産業振興事業	H24～H33					
2	①	南風原町観光景観美化整備事業	H24～H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施し、クリーンな南風原町を目指す。	・観光ルート(町道L=12,600m)のメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を恒常的に行う	・観光ルート(町道L=12,600m)のメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を実施	(今後の展開方針) 観光ルートのメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を継続し、更なる景観美化に努める。	
2	②	かすりの道景観活性化プロジェクト	H24～H33	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、地域の観光資源である「かすりの道」に観光客誘客をねらう。地域住民参加による色鮮やかな花の植栽等の緑化活動、地域ガイド活動、道並などの整備を行い滞在型観光客の受け入れ体制を整える。イベントを開催するなどし、かすりの道の来訪者(観光客・地元客)が安心・安全に散策できる散策体験プログラムや地域住民と協働で整備を行う。	・かすりの道ツアー開催:1回 ・かすりの道緑化活動:10回	・かすりの道ツアー開催:1回(10人) ・かすりの道緑化活動:10回(30人)	(今後の展開方針) かすりの道イベント等(累計) H29年度:660人	
2	③	やさしい観光地づくり事業	H24～H33	滞在型ツアーなど観光客が求める情報提供を行うため、観光パンフレット等の紙媒体とスマートフォンの連携をし、興味喚起から現地の誘導までをワンストップで提供する。野外ホットスポット(ワイファイアンテナ)を建て、スムーズな情報提供を行うことで、町独自の観光案内システム(アプリケーション)制作を、地域における滞在制の向上を目的として実施する。	・観光プロモーション実施 ・無線インフラ(公衆WiFi)設置:6ヶ所 ・観光ポータルサイト及びAR運用	・観光プロモーション実施 ・無線インフラ(公衆WiFi)設置:6ヶ所 ・観光ポータルサイト及びAR運用	(今後の展開方針) 公衆WiFiの増設及び観光ポータルサイト、ARアプリケーションの機能強化を行う。それらを利用した観光プロモーションを行う事で、更なる南風原町のPRに繋げる。	
2	④	デザイン・くくり担い手育成事業	H24～H33	本町の琉球絛は伝統工芸品として有名だが、現在不足している「デザイン・くくり」の継承者を育成する必要がある。デジタル方法で新しいデザインを生み、管理できる新たな道を開く。若い担い手の活動の場を提供し、かすりの伝統工芸の継承を促進しつつ、新しい分野での発展の可能性を向上させる。絛の基礎知識、全行程も学びながら、デザインくくりの技術を習得させ「デザインくくりの担い手」として、即戦力になるまで3年間育成する。	・デザインくくり担い手育成人数:5名	・デザインくくり担い手育成人数:5名	(今後の展開方針) 平成24年度で学んだ伝統的な絛デザインを鍛錬しつつ、新デザインにも挑戦することで、即戦力となる担い手を育成する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
2	⑤	担い手経営戦略事業	H24～H33	琉球餅に携わる担い手が、生産をするだけでなく、グローバルな視点を持ち、全国、世界に対応できる人材を育成し、産業として成り立つよう経営戦略を長期的に学ぶ。新たな餅工芸品の開発及び二次加工製品の新技术との融合により付加価値のある製品開発を行い、成果展を開催する。	・餅事業担い手経営学習者:6名	・餅事業担い手経営学習者:6名	(今後の展開方針) 担い手の集会、勉強会を開き、経営的な知識を習得する。新商品開発に向けて、会議を行い、試作品を作成する。 ・成果展を1月に開催予定		
2	⑥	伝統工芸と観光戦略事業	H24～H33	伝統工芸品である琉球餅は貴重で町民の憧れの品となっている。その良さを町内外の方々に知ってもらうため、滞在型観光につながる餅体験のコンテンツをプログラム化し、本町でしか経験できない体験を創る。さらに餅事業の拠点でもある琉球餅会館を観光客のニーズに対応し、琉球餅の行程が見学できるよう改修工事を行い、町内外からの観光客増加を図る。	・かすり体験学習プログラム構築:3本 ・琉球餅会館改修工事	・モニター参加者目標 10名/月 ・琉球餅会館改修工事の完了	(今後の展開方針) 伝統的な餅を知ってもらうために、新たな体験プログラムを作成し、滞在型観光に繋げる。餅会館を改修することで、受け入れ体制を整える。		
2	⑦	町独自の商品開発技術力強化事業	H24～H26	地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者ニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い産業展開する。プロジェクトチームを組み南風原らしい商品開発を行い、生産、販路まで、展開し、競争力を高める。H24年度はターゲットを2点に絞り、H25年度は実際に商品を作り、販路を開拓する。	・プロジェクトチームによる試作品開発 試作品の試食会開催	・プロジェクトチームによる試作品開発 試作品の試食会開催	(今後の展開方針) H26年度:商品化・調査・販路拡大		
2	⑧	南風原町地域農業活性化事業	H24～H33	本町では、以前から夏野菜の代表であるヘチマの栽培が盛んで、生産量は毎年県内の上位に位置している。しかし、野菜、花卉、果樹等の露地栽培では、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)病虫害、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっている。それらの被害、影響の軽減を図る為、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行い、今後のヘチマの品質向上と安定供給を図る。	・パイプハウス施設整備への補助 件数:3件	・パイプハウス施設の整備 件数:3件	(今後の展開方針) 引き続き施設導入を行うことにより、天候、気候等に左右されないヘチマの安定供給を目指す。		
2	⑨	農業生産体制強化事業	H24～H25	農産物の生産体制の強化を図る上で作物の安定供給並びに品質確保は欠かせない要素である。道路の凸凹による荷崩れを防止し、生産分の品質向上を図る為にアスファルト舗装を施工するとともに、耕作地への歩行並びに運搬車両の安全性を確保するため、防護柵を設置し、環境整備を図る。	・防護柵延長:1.085m ・舗装延長:72m	・防護柵設置率:100% ・道路舗装整備率:100%	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	⑩	南風原名人制度創設事業	H25～H27	観光の国際化や多様な観光ニーズに対応するため、本町の地域人材を活用した地域発の観光商品の事業化に向けた取組を推進する。町での体験ツールを増やす目的で、町内の名人(得意なこと)制度を創設する。名人として認定委員会より認定し、認定証を発行。認定した後は名人名簿に登録してもらい体験学習のプログラムに参加し、町民と共に滞在型観光の実現を図る。	・体験学習プログラム数:2件 ・名人登録者(累計):15人	・体験学習プログラム数:2件 ・名人登録者(累計):15人	(今後の展開方針) 名人登録者(累計) H27年度:45人	
2	⑪	民泊啓発推進事業	H25～H27	本町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行って、観光推進体制を強化していく。	・宿泊体験家庭数:5家庭 ・宿泊体験受入数:25名 ・宿泊体験事業者講習会6回	・宿泊体験家庭数:5家庭 ・宿泊体験受入数:25名	(今後の展開方針) 民泊家庭の登録者数(累計) H27年度:20家庭	
2	⑫	南風原地域発信力強化事業	H24～H28	ヘチマ生産日本一を誇る本町では、南風原産ヘチマの愛称を「はえばる美瓜(ビュウリー)」と名付け、本町のブランド化を図るため、ビュウリーズダンスユニットを結成した。そのビュウリーズダンスユニットを活用し、物産展やイベント等で、販売促進活動を行い、南風原産ヘチマ及び本町の観光PRを図り、本町の魅力等情報発信を行う。	・町PR活動イベント出演:5回	・町PR活動イベント出演:5回	(今後の展開方針) 町PR活動イベント出演(累計) H28年度:20回	
2	⑬	ヒーローのまちづくり事業	H25～H33	全国的ヒーローである「ウルトラマン」の生みの親である金城哲夫さんは本町出身者である。本町の観光振興、地域活性化のため、金城哲夫さんにちなんだまちづくりを行う。町民主体に誘致活動を行い、金城哲夫さんのフォーラムやウルトラマン映画上映、脚本コンペ、映像化を定期的に行い、地元客及び観光客を本町へ誘導し、活性化を図る。	・イベント、フォーラムの開催:2回	・イベント、フォーラムの開催:2回、1,000人参加	(今後の展開方針) イベントフォーラム開催(累計) H29年度:5,000人	
2	⑭	南風原町観光情報発信ツール制作事業	H25～H25	日本観光協会の調査では観光客が目的地決定に参考にするものとしてインターネットが1位となっていることから、南風原町観光協会のホームページを整備し、本町の観光発信ツールとして活用し情報発信を行う。観光客へ本町の魅力を迅速且つ的確に伝えていくことで、ニーズに合わせた内容充実型観光の創出及び観光客等の誘致を図る。	・ホームページ制作	・ホームページアクセス数:3,000/年	(今後の展開方針) H29年度:15,000アクセス(累計)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	⑮	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25～H26	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により観光と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため、「黄金森公園陸上競技場」の競技機器の整備を行う。	・黄金森公園陸上競技場の競技機器整備(棒高跳び用マット、走り高跳び用マット、円盤投げ用ケージ等)	・黄金森公園陸上競技場の競技機器整備(棒高跳び用マット、走り高跳び用マット、円盤投げ用ケージ等)	(今後の展開方針) H26年度:トレーニング機器整備	
2	⑯	南風原町観光振興計画策定事業	H25	平成24年度に同交付金を活用し、平成25年4月に南風原町観光協会が発足する。推進基盤が整備されたのを機に、本町の豊富な観光資源を活かした総合的・効果的な観光振興をより一層推進するため、町、観光関係団体、観光事業者、町民などが観光立町の実現という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものと位置づけた観光振興計画を策定する。	・観光振興計画策定	・観光振興計画策定	(今後の展開方針) 観光振興計画に沿った観光振興を行う。10年計画。	
2	⑰	シマじまガイド事業	H24～H33	着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(町内ディープな名所案内巡り)を実施し、本町の観光まちづくりを推進している南風原町観光協会に委託する。「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、これまでにない新しいまち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していく。	・シマじまガイド事業 利用者数:1,300人	シマじまガイド事業 利用者数:1,300人	(今後の展開方針) シマじまガイド事業 利用者数(累計) H33年度:13,500人	
2	⑱	南風原町観光PR促進事業	H25～H33	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへのPRを始め、観光施設・町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をしていきます。さらに、南風原らしい特産品をつくり、南風原町の観光振興に繋げるとともに、町内の観光情報を一元化するため、観光案内所をつくる。	はえるんフェスティバル2013開催 来場者数3,000人 はえるん出勤8回/月 はえばるの酒製作 住民投票による選定 地域活性化関連グッズ(はえるん等)の開発 休憩所を改修し、観光案内所をつくる	はえるんフェスティバル2013開催 来場者数3,000人 はえるんを中心とした物産展や運動会等を行う。 はえばるの酒製作1種 イベント来場者へのグッズ配布 美瓜の大逆襲・・・2000人来場 はえるんフェスティバル・・・3,000人来場 観光案内所整備の完了	(今後の展開方針) イメージキャラクターはえるんの認知度を上げるため、イベント等に出勤できる体制をとり、県内外へ出勤を月15回の出勤を目指す。 観光案内所をつくることで、観光情報の一元化を図り、観光客の誘客に繋げる。	12月変更 (計画変更に伴う 各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ	細							
2	⑯	南風原町観光駐車場整備事業	H25	琉球絨の産地である南風原町本部地区にある『かすりの道』や『かすり会館』といった観光地へ自動車や観光バスで訪れた方々が、周辺散策の拠点として活用できるように、観光用駐車場の確保・整備を行う。	実施設計、用地買収、駐車場アスファルト舗装、排水工、擁壁工、区画線工、防護柵工の実施	南風原町観光駐車場整備の完了	(今後の展開方針) H26年度：供用開始 かすりの道散策等に駐車場として利用(HP、チラシ等の発信ツールには駐車場として利用してもらい、かすりの道沿いに駐車しないよう促していく) 目標来館者数 H24実績 7,746人 → 駐車場整備後 H26 10,670人	
3		環境にやさしいまちづくり事業	H24～H28					
3	①	はえばるリサイクルループ事業	H24～H28	町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。	・生ごみ(家庭系)の年間資源化量 45トン	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:45トン (H24年度実績:37トン)	(今後の展開方針) 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 H28年度:89トン	
3	②	環境学習支援事業	H24～H28	児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	・町内4小学校の4年生を対象に環境学習「買い物ゲーム」の実施。 ・実施回数:13回	環境学習「買い物ゲーム」体験者数:450人 (H24年度実績:407人)	(今後の展開方針) 環境学習「買い物ゲーム」体験者数(累計)H28年度:2,445人	
3	③	草木リサイクル事業	H24～H28	「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。	・草木のリサイクル量:450トン	草木のリサイクル量:450トン (H24年度実績:349トン)	(今後の展開方針) 今後も草木の分別収集を徹底し 全量リサイクルを実施していく	
3	④	省エネ施設推進事業	H24～H26	高温多湿な状況にある、児童生徒の教育環境の改善に向けた省エネと節電効果の対策として小中学校の普通教室に扇風機設置を行う。	・扇風機設置 小学校1校:4台×28室	・扇風機設置 小学校1校:4台×28室	(今後の展開方針) H26:幼稚園の扇風機取替を行う。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	⑤	地域新エネルギービジョン策定事業	H25	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減する手段として、南風原町全体で化石エネルギーに代わる新たなエネルギーの導入を検討・実施していくため、地域新エネルギービジョンを策定する。	・地域新エネルギービジョン策定	・地域新エネルギービジョン策定	(今後の展開方針) 地域新エネルギービジョンを基に様々な事業・施策を実行する。	
4		災害に強いまちづくり事業	H24～H33					
4	①	防災体制強化事業	H24～H28	沖縄県は島しょ県であるため、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあることから、町独自で災害に備える必要がある。そのため、防災力の向上を図ることを目的とし、地域防災計画等の見直しやスーパー減災マップ帳の作成、災害時用備蓄品の購入を行う。	・スーパー減災マップの作成 ・3,240人分の備蓄品の購入(36,000人×1/20×3日分×3食の1年分) ・地域防災計画の見直し	・スーパー減災マップの配布数:13,009世帯 ・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率:44% ・地域防災計画の見直し	(今後の展開方針) 食料等備蓄品充足率 H28年度:100%	
4	②	災害時等避難施設改修事業	H24～H33	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	・避難所(公民館等)の防水改修工事(施設整備)補助:3箇所	・施設整備補助 H24年度:1件 → H25年度:3件	(今後の展開方針) H33年度までに全19自治会を整備。	
4	③	災害時等避難施設防災体制強化事業	H24～H28	沖縄県は島しょ県であり、大災害が発生すると孤立する可能性があるため、災害時の避難施設である地域公民館や集会施設の備品(AED)を整備する。	・各自治会公民館、集会所のAEDパット、バッテリー整備 16自治会	・各自治会公民館、集会所のAEDパット、バッテリー整備 16自治会 ・H24年度備蓄品、防災倉庫の購入(19自治会)	(今後の展開方針) H28年度:AEDパット16箇所 H29年度:バッテリー16箇所	
5		子育て世代支援事業	H24～H33					
5	①	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24～H33	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、町内の学童クラブ10園中、民間施設を借用し運営を行っているクラブに対して一月50,000円の上限で家賃補助を行う。	学童クラブ家賃補助実施学童:5件(津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ)	学童クラブ家賃補助実施学童:5件(津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ)	(今後の展開方針) 現時点では5学童クラブだが、民間施設を借用しての分離・新設の計画があれば随時整備していく。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
5	②	預かり保育事業	H25～H33	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を配置する。	・預かり保育教諭配置:1名	・預かり保育教諭配置:1名 ・預かり率(入園者に対する預かり園児の数)66%(H24年度63%)	(今後の展開方針) 今後も預かり保育30人学級を実施し、学級増に対して教諭の配置を行う。		
5	③	幼稚園保育充実支援員配置事業	H25～H33	本町では平成25年度より町立幼稚園の保育時間を正午から午後2時まで延長し、併せて給食の提供も行う。園児へ安心・安全に提供できる体制とするため、幼稚園保育充実支援員を配置し、給食センター内の備品を購入する。	・充実支援員配置数:3名 給食提供関係備品の購入 ・配管用台車:4台 ・水切運搬車:1台	・充実支援員配置数:3名 給食提供関係備品の購入 ・配管用台車:4台 ・水切運搬車:1台	(今後の展開方針) 引き続き支援員を配置し、安心安全な給食時間の確保を図っていく。		
5	④	認可外保育施設環境整備事業	H25～H27	子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させる。	・認可外保育園の施設整備数:1カ所	・認可外保育園の施設整備数:1カ所	(今後の展開方針) 引き続き認可外保育園の施設整備を行い、環境整備の向上を図っていく。		
6		南風原文化・歴史・伝統継承事業	H24～H33						
6	①	陸軍病院壕公開活用事業	H24～H33	本町は沖縄戦で人口の4割以上が犠牲になった。戦中は後方陣地として町全域に日本軍陣地が構築され、沖縄陸軍病院も置かれた。町では悲しい歴史を二度と繰り返してはいけないという強い決意をもって、陸軍病院壕群20号を整備した。県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行う。	・開壕日数:年間308日	・見学者数:H25年度10,000人(基準値:平成23年度9,804人)	(今後の展開方針) ガイド養成講座を開催して毎年5名以上の新規ガイドを育成していく。		
6	②	資料の公開活用事業	H24～H28	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。	・収蔵資料のデータベース化資料数:50,000点	・南風原文化センター収蔵資料データベース化率74%	(今後の展開方針) H26年度:10,000点(88%) H27年度:6,000点(96%) H28年度:2,500点(100%)		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
6	③	子ども平和学習交流事業	H24～H33	町内の小学校4校から6年生を8人選考し、事前学習で、戦争と平和(太平洋戦争の歴史、沖縄戦の状況や広島原爆の様子など)や差別・人権(ハンセン病に関する事、被差別部落など)を学習し、歴史の中での戦争や差別の問題を考える。本研修は県外の施設や人を訪ね視野を広める。学習したことを報告書としてまとめると共に、報告会で発表する。事業後も過去に参加したOBたちと協力し自分たちにできる活動を展開する。	・子ども平和学習交流事業参加者数(12人)	事前学習、本研修の後その報告会を開催	(今後の展開方針) OB会との連携、事後学習の充実ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催		
6	④	伝統芸能保存育成事業	H24～H33	町内には数多くの伝統芸能がある。各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に必要な衣装や獅子舞などの道具の補修や買い換えに対し助成を行うことで伝統芸能継承を推進する。	・伝統芸能保存育成補助件数:10件	年中行事等での伝統芸能上演等回数 H25年度:67回(H24年度:67回)	(今後の展開方針) 伝統芸能を後生に継承するために保存会、自治会と連携する。		
6	⑤	南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業	H24～H33	文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化を学習させる。	・受け入れ国の数2カ国 (ハワイ・ペルー) ・受け入れ研修生の数(4人)	研修成果の報告会を開催	(今後の展開方針) 各国の研修生が研修後もネットワークを作り、南風原町の若者たちと交流を深める。		
6	⑥	伝統文化交流施設活性化事業	H24～H26	地域交流センターは、各地域に伝わる伝統芸能の発表の場、本土の中高生の平和学習の講演会・演奏会等に活用されているが、施設の備品(黄金ホルのテーブル・イス、研修室モニター等)の配置が不十分であるため、備品の整備を行うことにより施設の充実及び機能の強化を図り、今後の文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げる。	・地域交流センターの備品設備の整備 (黄金ホルのテーブル・イス、研修室モニター等)	利用来場者数 H25年度:10,000人 (H24年度実績:8,700人)	(今後の展開方針) 設備をより充実させ、今後は各種研修会・セミナー・フォーラム・シンポジウムなどへの対応、誘致拡充を図る。 H26年度:舞台背景幕、センターカメラ、演台、司会者台等の整備		
6	⑦	南風原町クサティ森等保全事業	H25～H30	南風原町の集落は首里の近郊にあり、王朝時代の集落形態を今に残している。集落のクサティ森には遺跡や御嶽(ウタキ)、殿(トゥン)、拝所などの史跡が多数ある。宇津嘉山のクサティ森は沖縄戦で軍司令部壕が建設され戦跡としても重要である。これらの歴史文化の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、旧軍司令部壕の一部復元、説明板・散策道・休養施設整備及び整備のための用地取得を行う。	・基本計画の策定及び一部実施設計	・クサティ森等の基本計画策定 ・津嘉山の殿(トゥン)周辺の実施設計	(今後の展開方針) H26:クサティ森等の実施設計 H26:津嘉山の殿(トゥン)周辺の整備		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
6	⑧	南風原文化センター収蔵庫増改築事業	H25	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料データベース化業務とあわせて、資料の保存環境を整備して公開活用の幅を広げつつ後世へと継承する。	・設計監理業務委託発注 ・工事業務発注	収蔵庫3階の増築とリフト及び空調機器の設置	(今後の展開方針) H26年度: 供用開始	
6	⑨	文化センター利活用促進事業	H25~H29	南風原文化センターの図書室で所蔵している図書資料の利活用を推進するために、図書の整理、登録作業をし、授業等の「調べ学習」に役立てるように必要な装備品や書棚を整備する。また南風原文化センターと沖縄陸軍病院壕の施設を紹介しながら夏場の見学に実用的なイラスト入り団扇を作成し、あらゆる機会に配布する。さらに南風原文化センター利用者層を拡大するため、平和学習・沖縄の文化と歴史の学習で訪れる団体のために常設展示室で放映している3種類の映像(「沖縄陸軍病院」「沖縄戦後史」「人びとの暮らし」)に、聴覚障がい者、難聴者、外国人のための音声(英訳、中国語訳、韓国語訳、スペイン語訳、ポルトガル語訳)、日本語字幕などを入れたDVDを制作する。制作は6種類各3本で、既存DVDとは区別し、必要に応じて放映する。	・図書室の資料の整理、登録作業に必要な備品の購入 ・文化センター陸軍病院壕の広報用の団扇を10000部製作 ・文化センター常設展示室用3種類の映像DVDを5カ国語、及び日本語字幕入りの6種類を製作	・図書室の環境整備 ・団扇の配布(H25:2000本) ・製作DVDの利用拡大	(今後の展開方針) ・H29年度までに団扇の広報を使い文化センター・陸軍病院壕の来館者の増員をめざす。 ・H29年度までに来館する訪問者・イベント等での参加者への団扇の提供を通して、施設や展示への関心を高める。	
7		健康長寿復活事業	H25					
7		長寿県復活食の応援事業	H25	長寿県復活に向けて、南風原町の生活習慣病の予防と内臓脂肪の改善するために、油を使わない食事と野菜の摂取を増やす食事のレシピを考案し、町民へ周知する。その方法として、レシピカレンダーとポスターを作成配布し、町民へライフサイクルに応じたバランス食を啓発していく。	・油を使わない食事と野菜の摂取を増やす食事のレシピ考案	・レシピの作成: 12,000部→各世帯配布 ・ポスター600枚作成→学校、関係機関、各自治会へ配布	(今後の展開方針) 平成26年度にレシピとポスターを保健指導時に活用し、周知する。レシピカレンダーは今後も作成し、町民へ周知していく。	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		渡嘉敷村観光推進事業	H24～H33					
1	①	渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業	H24～H26	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した管区情報の発信を行う。	修学旅行PR事業展開(県外) 離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内)	修学旅行PR事業展開(県外) 離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内)	(今後の展開方針) PRにより観光入域客数の増加を図る	
1	②	慶良間海域サンゴ保全活動事業	H25	慶良間海域のサンゴを保全しながら、持続的に利用するための対策を講じるため、座間味村と共同でサンゴ保全活動計画、及びその運用ルールを策定する。	慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	(今後の展開方針) サンゴの保全及び自然環境保護活動	
1	③	渡嘉敷村美化清掃事業	H24～H26	観光地としてのイメージアップを図るため、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設の景観浄化を図る。	観光地及びその周辺の美化 8箇所	観光地及び周辺の美化 8箇所	(今後の展開方針) 村内観光地の美化事業の継続実施	
1	④	旅客船インフォメーション映像制作事業	H25	渡嘉敷村当定期船では、日本語音声による旅客へのインフォメーションを行っているが、高齢者、障害者等をはじめ、外国人旅行者への周知が行き届いていないため、映像を通じたインフォメーション映像を制作し、すべての利用者へ正確な情報伝達ができるよう環境を整える。	旅客船インフォメーション映像制作	旅客船インフォメーション映像制作 船内利用開始	(今後の展開方針) 利用客へのサービス提供促進	
1	⑤	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25～H33	渡嘉敷村定期船の欠航、または予定運航時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を補助する。	利用人数:200人	利用人数:200人	(今後の展開方針) PRにより利用人数の増加を図る	
1	⑥	戦争遺跡遊歩道設置事業	H25	渡嘉敷村内には、去る戦争当時の旧日本軍の陣地跡が存在しており、平和学習の根拠地として遊歩道を設置して整備を図る。	戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	(今後の展開方針) 修学旅行等の平和学習への活用	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑦	渡嘉敷港ターミナル外観整備事業	H25	渡嘉敷港ターミナルの屋根瓦が、台風により破損欠落した部分があり、観光客等利用者の安全確保のため、修復工事を行う。また、外壁等の塗装が剥離しているため、島の玄関口としてのイメージアップのため、塗装工事を行う。	渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事 渡嘉敷港ターミナル外壁塗装工事	渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事完了 渡嘉敷港ターミナル外壁塗装工事完了	(今後の展開方針) 安全性の確保、観光地としてふさわしい港景観の形成による観光客の満足度の向上を図り、アンケートによる満足度調査を実施する。	
2		渡嘉敷村農地保全事業	H24～H33	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的に農産物を生産させ、農業振興を図るため、箱罾等を設置してイノシシを捕獲補助する。	イノシシの捕獲駆除実施	イノシシ捕獲頭数:100頭	(今後の展開方針) 害獣による農作物被害の減少	
3		小学校学習支援員配置事業	H24～H33					
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24～H25	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援を配置する。	学習支援員配置数 渡嘉敷小学校1人 阿波連小学校1人	村内小学校への支援者派遣率:100%	(今後の展開方針) 教職員の負担軽減及び児童の学力向上を図る	
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25～H33	村外で実施されるスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディーを克服する。	各種スポーツ大会派遣(小学校2校) 文化祭等派遣(中学校1校)	派遣児童・生徒数(累計):195人	(今後の展開方針) 離島の教育的ハンディーの克服及び教育意欲の向上を図る。	
3	③	幼稚園預かり保育事業	H25～H33	保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。	預かり保育(賃金職員雇用) 1人	入園児全員の預かり保育が可能となる。 保護者のニーズに合った対応が可能となる。	(今後の展開方針) 保育環境の充実による定住促進の向上。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		渡嘉敷村福祉対策事業	H25					
4	①	渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備事業	H25	現在の福祉施設は居室がないため、要介護状態の高齢者を受け入れることが困難である。安心安全な受け入れ体制を整えるため、渡嘉敷村高齢者生活福祉センター内部を改修し、居宅介護に対応出来る施設整備を行う。	施設設計及び施設工事	渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備完了	(今後の展開方針) 平成26年度供用開始 生活支援ハウス再稼働により、 島で長く生活出来るの環境を整える。 家族介護支援の充実を図り、短期入所等の活用を推進する。	
4	②	渡嘉敷村住民戸別訪問サポート体制づくり事業	H25	高齢者の独居世帯及び高齢者世帯への福祉支援体制の構築のため、実態調査、状況把握、日頃からの見守り訪問を中心とした戸別訪問等の充実を図り、長寿県沖縄の高齢者を取り巻く環境を整備し、更なる長寿を手助けしていきたい。また、台風接近等における住民の対策状況確認や、避難の際の誘導体制及び避難所への移動等にも必要になるため、軽自動車を購入し、渡嘉敷村の高齢者福祉事業のスムーズな活動・行動に役立てたい。	サポート車両の整備 1台	戸別訪問を行うことによる見守り支援体制の強化。災害時(台風等)の要援護者支援、高齢者・生活困窮者支援体制の強化。	(今後の展開方針) 住民サポート体制づくりの構築	
5		渡嘉敷村安全安心な観光地づくり事業	H25～H26					
5	①	渡嘉敷村救急対応整備事業	H25	渡嘉敷村は年間10万人余の観光客が訪れており、観光産業が村の基幹産業になっている。しかしながら、非常備消防団となっており、救急搬送に対応出来ない状況である。安心安全な観光客受入体制を確保するために、公共施設へのAEDの設置と、急患発生時に対応出来るよう救急車を整備する。	AED設置台数 18台 救急車購入 1台	渡嘉敷村公共施設におけるAED設置目標18台(建築物15台、救急車1台、船舶2台)を100%完備。	(今後の展開方針) 離島における災害発生時、急患発生時の対応及び安心安全な観光地づくりの構築。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5	②	渡嘉敷村防災備蓄倉庫購入設置事業	H25	地震や津波などの大規模災害発生時の村民・観光客に対応出来る備蓄食糧や災害対応品の確保と、それらを保管する備蓄倉庫を購入し設置する。観光シーズンには村民の3倍近い観光客が島に滞在するため、観光客にも対応出来る備蓄体制を構築する。	防災備蓄倉庫購入 2台 備蓄食糧購入 700人分×3日分 防災備蓄資材購入	渡嘉敷村地域防災計画における目標備蓄食糧数(人口の3日分)を100%完備。	(今後の展開方針) 災害に強い村づくりの構築	
5	③	渡嘉敷村内観光エリア樹木安全確保事業	H25～H26	観光的に美観を損ねている村内至る所に繁茂している外来植物の討伐と、毎年襲来する台風の度に起こる倒木被害や、道路決壊等の原因にもなっている幹線道路沿いの樹木の伐採を行うことにより、災害の未然防止を図る。	島内の外来植物の討伐及び幹線道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採	島内の外来植物の討伐及び幹線道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採	(今後の展開方針) 観光イメージや島の魅力向上を図るほか、道路の安全性を確保し、交通の円滑化や沿道環境及び景観の形成を図り、観光客の増大と地域の活性化を促進する。	
5	④	渡嘉敷村集落内排水安全安心確保事業	H25	本村は年間10万人を越える観光客が来島し、観光が基幹産業となっている。しかしながら、台風の常襲地帯となっており、豪雨等の浸水被害が発生している。そのため、集落内排水路の堆積土撤去等を実施することにより、浸水被害防止や悪臭発生を防止し、災害に強い観光地、衛生環境の良い観光地としてのホスピタリティ向上を図る。	側溝清掃等による環境改善 L = 4.8km	側溝清掃等による環境改善 L = 4.8km	(今後の展開方針) 浸水災害等の減少と更なる住環境の向上を図り、安全・安心・快適な観光地を形成することにより、観光客の満足度を高める地域づくりを行う。	
5	⑤	渡嘉敷村災害時避難所環境改善事業	H25	災害時の避難所に指定されている「阿波連生活館」は、渡嘉敷観光のメイン地である阿波連地区に設置されており、住民はもとより観光客の避難も想定して指定された施設である。現在の衛生環境や施設環境では、災害時の避難者に不快や不便を与えることになるため、整備が必要である。整備の内容としては、現在、トイレが男女兼用の1箇所しかないため、男女別々のトイレの設置と空調機の設置を行う。	男女兼用トイレ1箇所→男女別トイレを新設 クーラー設置:1台	男女兼用トイレ1箇所→男女別トイレの新設完了 ・クーラー設置完了:1台	(今後の展開方針) 施設環境が整うことにより、避難者の健康・衛生管理が維持出来る。	
6		渡嘉敷村生活環境整備事業	H25	本村には、個人営業での開業が困難であることから、民間の理・美容室が存在しないため、村営にて設置運営している。離島における定住促進や生活環境の整備と、高齢者や障害者及び乳幼児連れの母親等、船舶での移動が困難な住民への対応のため、老朽化した内部の改修と、機能低下した備品等の改修を行い、引き続き運営を行ってきたい。	渡嘉敷村営理・美容館改修工事	渡嘉敷村営理・美容館内部改装工事完了	(今後の展開方針) 利用者数 年間延べ人数280人→360人見込。 温水シャワー等施設整備が整うことにより、冬場の利用者が増加する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
1									
1	①	座間味村海域安全隊事業	H24～H33	村指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに周辺自然環境の保全活動を図るため、ライフセイバー員を配置する。(5月から10月)	ライフセイバー員の配置	村内3ビーチへのライフセイバー配置 5月～10月まで常駐			
1	②	座間味村がんばる観光支援事業	H24～H33	観光客誘客に向け既存イベントである座間味島祭り、阿嘉・慶留間祭り、ホエールウォッチングフェスタ等の開催内容の充実及び拡充を図るため、主催団体への支援と新規イベントへの支援や観光大使の派遣による県内外PR活動を実施する。	各種イベントの開催及び支援	・ホエールウォッチングフェスタ来場数: H24年度9,800人⇒H25年度12,000人 ・ヨットレース:28艇 300人 ・座間味島祭り 500人 ・座間味村ファン感謝月間 800人 ・阿嘉・慶留間祭り 300人 ・新規イベント スタンドアップパドル 200人 ・東京しながわ水族館PR活動60日間開催	(今後の展開方針) 座間味村観光客入域数 目標(H33):95,000人 基準年(H23):71,143人		
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24～H33	年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取り次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会への補助を行い、観光客の誘致と満足度向上を図る。	冬場の観光客誘致のため、ホエールウォッチングとからめた、メニューの開発、ノルディックウォーキングや島まーい等の開発	平成26年度以降の販売に向けた着地型旅行商品(ノルディックウォーキングや島まーい等)のモデルツアー開催	(今後の展開方針) 座間味村観光客入域数 目標(H33):95,000人 基準年(H23):71,143人		
1	④	座間味村慶良間海域活用ダイビング利用ルール策定事業	H25	観光と自然保護の両立を図るため、エコツーリズム推進法にて承認された本村と離村の渡嘉敷村からなる慶良間諸島海域利用にあたり、海域利用方法、保全方法、罰則等を定めた指針を策定し、自然と共生する観光地づくりを行う。	慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	(今後の展開方針) 海域やサンゴの保全をしながら持続的に利用することで、更なる観光入域客の増加へ努める。		
1	⑤	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24～H28	観光客の受け入れ態勢の強化と満足度向上を図るため既存港公園内の機能拡張に向け整備等を行う。本年度は東屋、ベンチを取付け、人工芝によるグラウンド整備とビジターセンター建築に向けた用地購買や詳細設計を行う。	公園機能強化に伴う設計・整備の実施 ビジターセンター建築に向け用地購買	公園機能強化(東屋・駐輪場・バスケットコート整備・グラウンド安全柵及び整地等)の実施。 用地購買。(V=3,750㎡)	(今後の展開方針) 基本構想に沿った計画を実施。		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑥	座間味村美ら島づくり花の森整備事業	H24～H29	観光誘致と特定公園である本村の自然を生かした魅力ある観光地形成と集落内の景観促進のため、座間味島の実施計画書を策定し、整備の発注を行うことによって冬場の観光客の増加につなげる。	座間味島の実施計画の策定 阿真区の観光道路の整備及び植栽 阿真区のキャンプ場の整備及び植栽	座間味島の実施計画の策定 阿真区の観光道路の整備及び植栽 阿真区のキャンプ場の整備及び植栽	(今後の展開方針) 阿嘉・慶留間島の実施計画の策定 他集落の整備の実施	
1	⑦	座間味村ホエールネットNEXT事業	H25～H26	観光客の安心・安全の確保と、災害時におけるいちはやい対応を確立するため、IPを活用した防災無線の整備と、あわせて無線ブロードバンドの増強を行うことで、離島に不可欠な質の高い情報通信網を構築する。	防災無線網構築方式の決定と村内全域への整備	防災無線網構築方式の決定と村内全域への整備	(今後の展開方針) IP網を活用した住民・観光客への最新情報提供など	
1	⑧	座間味村サンゴ礁の絶景ライブ配信事業	H25	ラムサール条約に登録された本村の海中景観の素晴らしさを全世界に発信するライブカメラを設置し、予定される国立公園化に合わせて話題を作り、誘客とブランド化につなげる。	村内観光事業所の意見を取り入れながら、陸地と海上の高性能無線通信によるハイビジョン・カメラでのライブ水中映像配信の仕組みを構築する。	26年夏の本格配信に向けて、高画質な水中映像をライブ配信システムを構築する。	(今後の展開方針) インターネットを通じた不特定多数へのライブ配信の他、首都圏の水族館でのライブ上映や、録画した映像のPR素材活用	
1	⑨	座間味村阿嘉漁港ターミナル機能強化事業	H25	阿嘉漁港は、生活航路として村営の高速船ウィーンざまみ、フェリーざまみが那覇泊港～阿嘉漁港間を毎日就航している。 阿嘉漁港旅客待合所から定期船搭乗口までの歩道に屋根を設置し、雨天時や炎天下のなかでも、住民、観光客が快適に乗船、下船できる屋根付き歩道を整備し機能強化を図る。	屋根付き歩道の整備	屋根付き歩道の整備完了	(今後の展開方針) H26年度 供用開始	
2		座間味村農林水産業振興事業						
2	①	座間味村鮮魚美食事業	H24～H29	村内における漁獲物の付加価値向上を図るため、村ブランドの確立等に取り組み、地産地消を推進する。又直売所を強化し、鮮魚や特産品の直接販売の取組みを推進する。	・加工食品の開発・販売・人材育成 ・機材購入設置 スチームコンベクションオープン プラストチラー 業務用冷凍庫 1台 1台 1台	座間味村産の水産物を用いた新商品開発と既存商品刷新の実施	(今後の展開方針) 6次産業化に向けて加工食品の開発 地域・漁協及び事業者との連携による加工食品開発 漁業・農業連携による商品開発を行っていく。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	②	座間味村サンゴ(海の森)育成・植付事業	H24～H33	サンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び臨海研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。	・サンゴの採卵 ・人口基盤へサンゴの付着 ・海上イケースへの移動及び育成管理	サンゴ種苗の育成・確保 ・目標本数 1,000本		
2	③	座間味村鮮魚冷凍製氷施設整備事業	H25	座間味村漁協組合所有で現在使用中の冷凍冷蔵庫(製氷機)において機能低下により必要量の氷が確保できず水産業の低下を招いており、そのため機械入替を行う。	冷凍冷蔵庫(製氷機)入替	冷凍冷蔵庫(製氷機)入替		
3		座間味村定住条件整備事業	H24～H33					
3	①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24～H33	離島観光利便性の向上と離島住民の足を確保し、観光振興と定住条件を図るため、フェリー及び高速船が悪天候などにより欠航等の場合、ヘリチャーターによる移動した際の運賃の一部支援を行う。	航路欠航等によるヘリコプターチャーターに対する支援	慶良間空港～那覇空港間フライト数:195回		
3	②	座間味村村内運航に係る対策事業	H24～H33	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。	渡嘉敷村及び阿嘉島へ定期船運行の実施	定期船運航 座間味～阿嘉:1日4便(目標運航1300回) 座間味～渡嘉敷:1日2便(目標運航590回)	(今後の展開方針) 定期便運航:1日4便 渡嘉敷運航:予約航海/年間	
3	③	座間味村慶留間・阿嘉地区避難路整備事業	H25～H26	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難路整備を行い災害に強い村づくりを図る。	慶留間・阿嘉地区避難路の整備	慶留間・阿嘉地区避難路の整備	(今後の展開方針) H26年度:全路線整備完了 H27年度:供用開始	
3	④	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25～H33	本村から沖縄本島又は島内間を移送する車両の航送運賃の低減化を図るため、利用村民へその運賃の5割を助成し、離島住民の交通コスト軽減を図る。	自動車航送運賃の低減支援	自動車航送運賃の低減:約60台		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
4		座間味村外来植物討伐事業	H24～H33	自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化した外来種「モクマオウ木、ギンネム木」繁殖の抑制を図るため伐倒事業を実施する。	外来植物の伐倒(村内一円)	外来植物の討伐(村内一円) 討伐本数600本(モクマオウ・ギンネム)	(今後の展開方針) 毎年:600本程度討伐		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光受入支援・整備事業	H24～H28					
1	①	地域資源活用観光推進事業	H24～H25	島の自然や伝統文化などの地域資源を観光資源として広めていくための観光商品開発やイベントの開催及び観光等に従事する人材育成を行う。	むんじゅる節祭り(仮称)の開催 1回 観光人材育成に向けた講演会 2回 観光商品の開発 2点	むんじゅる節祭り(仮称)の開催 1回 観光人材育成に向けた講演会 2回 観光商品の開発 2点	(今後の展開方針) 平成26年度以降は旅行ツアーを企画し、観光客数の増加に取り組んでいく。	
1	②	環境美化促進事業	H24～H28	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。	観光地及びアクセス道路の美化 20カ所	観光地及びアクセス道路の美化 20カ所	(今後の目標) 継続的な環境美化活動を実施していき、粟国村観光振興基本計画で設定している平成32年度の観光入域客数1万人を目指す。	
1	③	マハナ崎整備事業	H24～H25	景勝地マハナ崎近くにバリアフリー化のトイレを整備する。	バリアフリー対応トイレ整備 1棟	バリアフリー対応トイレ整備 1棟		
1	④	公衆無線LAN設置事業	H25	粟国空港、粟国港などの観光客が集まる場所にインターネットが利用できるWiFiスポットを整備する。	WiFiスポットの設置 3カ所 (粟国港、粟国空港、粟国村観光施設)	WiFiスポットの設置 3カ所 (粟国港、粟国空港、粟国村観光施設)		
1	⑤	ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業	H25～H26	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマハナ崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう駐車場や階段等の周辺整備を行う。	駐車場及び階段等の設計 一式	駐車場及び階段等の実施設計	(今後の展開方針) H26年度:建設工事 H27年度:供用開始	
1	⑥	東ヤマトガー周辺環境整備事業	H25	パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。	東屋1棟及び安全防止柵50m、駐車場の整備	東屋1棟及び安全防止柵50m、駐車場の整備		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑦	大正池公園機能拡充事業	H25	平成24年11月に粟国島内全てが県の鳥獣保護区域を受けており、その中でも大正池公園は年中を通して多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の橋やトイレ等が劣化しており、訪れた客への危険性が高いため、安全性及び利便性向上に向けた改修工事及び野鳥観察施設設置を行いバードウォッチングエリアとしての機能拡充を図る。	野鳥観察設備3カ所の設置、トイレ及び橋の改修工事	野鳥観察設備3カ所の設置、トイレ及び橋の改修工事		
1	⑧	電気自動車導入支援事業	H25	観光客の村内での移動手段が自転車のみであることから、観光客の移動手段確保と新エネルギーの推進に向けて電気自動車の導入及び電気スタンドを設置する。	電気自動車購入補助4台、屋根付き電気充電スタンド4基の整備	電気自動車購入補助4台、屋根付き電気充電スタンド4基の整備		
1	⑨	地質遺産活用推進事業	H25	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している海岸周辺の地質遺産を中心とした新たな観光資源の活用に向けた推進計画策定や学習活動を実施する。	粟国村ジオツアーリズム推進計画策定学習会 1回	粟国村ジオツアーリズム推進計画策定(村民対象)粟国島の地質学習会 1回		
1	⑩	あぐにデジタルアーカイブ化事業	H25～H26	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し利便性を向上させることで、村民および観光客の郷土学習に寄与する。	粟国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成	粟国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成	(今後の展開方針) H26年度 自然・伝統文化のデータを活用した携帯情報端末の構築	
2		災害に強い観光地づくり推進事業	H25～H26					
2	①	多目的施設整備事業	H24～H25	本村が進めている村民と観光客が交流できる施設整備と災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難場所及び非常食等を備蓄する施設を併せた複合施設を整備するとともに、施設備品や災害備蓄品等の購入を行う。	避難及び交流等のための多目的施設の整備及び防災用備蓄品、備蓄品の購入	避難及び交流等のための多目的施設の整備及び防災用備蓄品、備蓄品の購入	(今後の展開方針) H26年度: 供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	②	小中学校体育館屋根長寿命化事業	H25	粟国小中学校体育館は、児童生徒の学習活動のみならず、災害時の緊急避難場所としても地域防災計画に示されている。しかし、周囲12kmで海岸からの最短距離が300mという塩害の被害を受けやすい環境の下、台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっていることから、粟国小中学校の体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所としての機能強化を図る。	粟国小中学校体育館の屋根の改修	粟国小中学校体育館の屋根の改修完了		
2	③	粟国村離島振興総合センター長寿命化事業	H25	粟国村の産業振興、文化振興の拠点として、また、避難施設として地域防災計画でも指定されている粟国村離島振興総合センター(昭和59年完成)の劣化調査、施設の剥離部分の改修、外壁の塗装及び内部電気の修繕等の長寿命化に向けた工事を行う。	粟国村離島振興総合センターの劣化調査及び長寿命化工事の実施	粟国村離島振興総合センターの劣化調査及び長寿命化工事(2階建て1,100㎡)完了		
3		定住条件整備事業	H25~H33					
3	①	沖縄関係戸籍電算化事業	H25	沖縄関係戸籍は、戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。持続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。	紙戸籍の電算化の実施 対象戸籍数:2,245件	沖縄関係戸籍の電算化率 100%		
3	②	定住促進住宅整備事業	H25~H26	産業振興に向けた担い手確保を目的に、若者のIターン、Uターン者の定住施設を充実するため、集合住宅を整備する。	平成25年度:集合住宅(6世帯)の実施設計	平成25年度:集合住宅(6世帯)の実施設計	(今後の展開方針) H26年度:建設工事 H27年度:供用開始	
3	③	児童・生徒派遣支援事業	H25~H33	離島である本村の児童生徒の諸教育活動への派遣費を支援する。	大会等派遣児童・生徒数 57人	大会等派遣児童・生徒数 57人	(今後の展開方針) 児童・生徒を継続的に派遣していくことで、社会的視野を広げること繋がり、中学校卒業後の島外で自立した生活に取り組める。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

栗国村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				3	④			
4		和牛改良支援事業	H25～H28	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県外からの優良母牛の導入支援を行う。	和牛購入助成頭数 20頭	和牛購入助成頭数 20頭	(今後の展開方針) 良質な仔牛を生産・出荷拡大を図る。 仔牛の島外出荷数 平成28年度見込150頭 (平成24年度実績113頭)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		環境保全・美化推進事業	H24～H33	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。	緑化及び美化活動実施箇所:28箇所 外来植物駆除実施箇所:8箇所 在来植物保全育成実施箇所:14箇所	緑化及び美化活動実施箇所:28箇所 外来植物駆除実施箇所:8箇所 在来植物保全育成実施箇所:14箇所	(今後の展開方針) 安全・安心・快適な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を継続的に実施していく。	
2		防災備蓄品等整備事業	H25	災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民及び観光客が避難する避難所に非常食及び毛布等の生活用品、非常用発電機等を整備する。	災害に備えて各避難所に物資等の備蓄品を備える:3箇所	各避難施設に備蓄品を備える:3箇所 備蓄食料の備蓄:1,890食 (210人×3日分×3食)		
3		戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	H25	紙媒体で保存されている沖縄関係書類(いわゆる福岡戸籍等)を電算化し、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保する。	紙戸籍の電算化の実施 対象戸籍数:1,033件	沖縄関係戸籍の電算化率:100%		
4		離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25～H33	離島住民の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を補助する。	悪天候における船舶航路が欠航となった場合のチャーターヘリ利用者に対する運賃の支援	渡名喜村ヘリポート～那覇空港間フライト回数:50回	(今後の展開方針) 事業の周知徹底を図り、利用者の利便性向上拡大に努める。毎年50回程度を想定し月別実績も考慮に入れ事業を継続していく。	
5		パークゴルフ場整備事業	H25	観光客の誘客促進及び受け入れの強化と地域住民の体力増進及び高齢者の生きがいの場の創設のため、新たなスポーツレクリエーション施設としてパークゴルフ場を整備する。	パークゴルフ場の整備 測量・設計の実施 整備工事の実施	パークゴルフ場の整備(18ホール)	(今後の展開方針) H26年度:芝養生 H27年度:供用開始	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		南大東村定住促進事業	H24～H29					
1	①	健康診査用機材搬送事業	H24～H28	特定健診等集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料、検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整える事により定住促進を図る。	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の補助 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の補助	集団健診受信者数:360人(41.0%)	(今後の展開方針) ・平成27年度 受診率を維持する。	
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25～H29	沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。	専門病院受診渡航費助成の実施	専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者 130人 付添人 65人		
1	③	南大東村多目的交流拠点整備事業	H25～H27	文化継承や人材育成、観光客との交流施設。災害時における村民や観光客の避難施設。農漁村を中心とした各種研修の場等、村の目的施設拠点として整備するための基本設計及び実施設計。	基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	(今後の展開方針等) ・H26～27年度:建設工事 ・H28年度:供用開始	
1	④	特殊資格所有者確保整備事業	H25	島内で人材確保の厳しい特殊資格者等の定住受け入れ基礎施設として4世帯の集合住宅を整備する。	4世帯集合住宅の整備(建築設計・建築工事)完了	4世帯集合住宅の整備完了	(今後の展開方針等) ・H26年度:供用開始 ・特殊資格者の人材確保4人	
2		南大東村観光振興事業	H24～H28					
2	①	シュガートレイン復活夢実現事業	H25～H27	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った”さとうきび列車”は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。 その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。	基本調査・計画の実施	基本調査・計画の実施	(今後の展開方針等) ・H26年度:基本設計・施工管理 ・H27年度:施工管理	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	②	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃(観光地 5箇所、アクセス道路 1,500m) ・散水車両の購入 1台	・観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃(観光地 5箇所 アクセス道路 1500m) ・散水車両の購入 1台		
2	③	星野洞楽々歩道整備事業	H25～H26	観光施設として人気の高い星野洞は、入洞路が急勾配なため、入洞者に不便を来している。高齢者や車イス等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができるため、移動式歩道を整備する。	基本調査・計画の実施	基本調査・計画の実施	(今後の展開方針等) ・H26年度: 施工管理	
2	④	大池地区水辺環境保全事業	H24～H28	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	大池地区水辺環境の保全・再生 ①水草の除去 ②水路汚泥浚渫	・大池地区水辺環境の保全・再生 ①水草の除去 ②水路汚泥浚渫 ・水路の一部供用開始	(今後の展開方針) ・H29年度: 全面供用開始	
3		南大東村防災体制促進事業	H25					
3	①	南大東村救急対応整備事業	H25	緊急時の救命救急措置と診療所等への緊急搬送を迅速に行うため、島内の主要箇所にAEDの設置及び緊急搬送車両1台を整備する。 また、感染症対策として初期対応による蔓延防止を図るため、感染症対策保護資機材を整備する。	緊急搬送車両 1台整備 防護衣の整備 30着購入 AEDの設置 11台購入 消毒剤 1式購入	緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 11台設置・運用開始 消毒剤 1式設置		
3	②	安心安全強化対策事業	H25	現在、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の耐震強化を図り、地震等、自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする。	屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)耐震強化事業の実施設計	屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)耐震強化事業の実施設計	(今後の展開方針) ・H26年度: 補修工事	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
				4	①	人材育成派遣事業		
5	①	仮戸籍電算化事業	H24～H25	平成24年度に構築した戸籍総合システムに臨時戸籍簿等(沖縄の特殊事情による戸籍)をセットアップし、滅失防止をするとともに保管、管理の強化を図る。	紙データで保存の臨時戸籍(500戸)の電算化を行う。	・見出しデータ作成 500戸 ・イメージデータ作成 871枚 ・戸籍総合システム完全移動		
6	①	南大東村安らぎ空間整備事業	H25	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。	通路・車道1,187㎡ 駐車場整備542.0㎡ 墓地整備810㎡ 緑地広場の整備1,038.1㎡	通路・車道1,187㎡の完了 駐車場整備542.0㎡の完了 墓地整備810㎡の完了 緑地広場の整備1,038.1㎡の完了	(今後の展開方針) ・H26年度より運用開始。また、墓地条例や規則等の基準を作成する。	
7	①	安心安全荷役強化事業	H25	本村の特異な港の形状により、船から荷揚げした貨物の迅速な荷捌きが要求されるので、大型のフォークリフト導入により荷役作業の迅速化を図る。	大型フォークリフトの導入	大型フォークリフトの導入	(今後の展開方針) ・H26年度以降:荷役作業の迅速化により荷揚げ停泊時間の短縮・乗客の負担軽減を図る。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

34 北大東村

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		魅力的な観光地づくり促進事業	H24～H33					
1	①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24～H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施 10箇所	アクセス道路及び周回道路の美化の実施 10箇所	(今後の展開方針) 修景及び美化の実施雇用を最終年度まで継続	
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24～H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・大東太鼓担い手育成数:1人 ・文化交流イベントの開催:5回	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント参加者数:40人 ・コンサート来客数:1,200人	(今後の展開方針) 文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続	
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25～H33	地理的条件によって、遠隔地である離島において教育環境格差は、大きな課題である。そこで、都市部と同様の学びを受ける事が可能なオンライン双方向授業を行う。	・オンライン双方向授業講師:5人 ・オンライン双方向授業受講生徒:20人	・オンライン双方向授業講師:5人 ・オンライン双方向授業受講生徒:20人 ・学力向上率を7～10ポイント伸ばし全国平均レベルまで設定	(今後の展開方針) 学力向上と教育環境格差の解消を継続	
3		定住条件特別対策事業	H24～H33					
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24～H33	待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人 ・学習支援員の配置:1人	・預かり保育を利用する園児数:10人 ・村営塾受講者数:50人	(今後の展開方針) 預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続	
3	②	離島の児童の交流促進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学习における渡航費の一部を負担する。	・スポーツや交流学习の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	・スポーツや交流学习等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	(今後の展開方針) スポーツや交流学习派遣を継続	
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。	・妊婦検診助成回数 H25年度:5回/1人	・妊婦検診助成回数 H25年度:5回/1人	(今後の展開方針) 妊婦検診の際の渡航費・滞在費助成を継続	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	①	北大東村複合型福祉施設整備事業	H25	本村は、地理的条件や小規模人口の自治体という社会的条件等が相まって、福祉サービスの基盤整備が立ち遅れ、高齢者の福祉サービス等を村外に依存せざるを得ず、島を離れる状況が増加している。そこで、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていく事が出来るように、複合型福祉施設を整備する。	・福祉施設設計監理・工事の完了	・福祉施設設計監理・工事の完了	(今後の展開方針) ・H26年度以降、施設雇用者5人、施設入居・サービス利用者8~10人)を目標 ・福祉・介護サービスや高齢者自立生活支援に必要な福祉活動・人材育成を支え、地域の福祉力向上に資する。	
5	①	北大東養殖産地協議会養殖事業	H25	離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為に、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる『バイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム』での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。	・陸上養殖施設設計監理・工事の完了	・陸上養殖施設設計監理・工事の完了	(今後の展開方針) ・H26年度以降、施設雇用者5人、養殖生産量:アワビ(22,400匹)・ウニ(22,250匹)・ヒラメ、ハタ類(1,500匹)等)を目標 ・完全陸上養殖の販売システム(産卵・ふ化・養殖・販売)を開発し、他の離島地域でも実施可能なモデルを構築する。	
6	①	食の安心基盤構築事業	H25	北大東村の定住化を支える農業振興と台風等の災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設を整備し、村による地域の種苗供給等の農業基盤を構築する。	・種苗等生産施設の整備	・種苗等生産施設の整備	(今後の展開方針) ・H26年度以降、施設雇用者3人、生産施設利用(農家対象)を目標 ・生育野菜の生産量増加に繋げ、地域住民への供給と生活コストの低減に資する。	12月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		伊平屋島観光商工業活性化事業	H24～H33					
1	①	商工観光産業支援事業	H24～H28	村内における商工業の総合的な改善発展、地域ブランド化の構築に資する観光振興、リピーターをターゲットとしたパンフレットの作成、村内体験プログラム実施者と連動した民泊受入の組織運営、実施を行うと同時に、人材育成に係る講習会等を島外専門家と連動し、入域観光客数増加並びに村内受入者の人材育成をする。	・民泊事業等講習会の開催：年2回 ・自然・歴史・伝統文化等を細分化した観光パンフレットの発行：1000部	・民泊事業等講習会の開催：年2回 ・自然・歴史・伝統文化等を細分化した観光パンフレットの発行：1000部	(今後の展開方針) 目標値(H33年度)：3.0万人 基準値(H23年度)：1.7万人	
1	②	観光地イメージアップ推進事業	H24～H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	観光アクセス道路の美化清掃：29.5km	観光アクセス道路の美化清掃：29.5km	(今後の展開方針) H33年度：観光客数3万人	
1	③	誘客イベント推進事業	H24～H28	本村の観光振興及び、年間を通じた安定的な集客を図ることを目的とし、各種観光イベントを強化して実施する。また、いへやまつり及び伊平屋マラソンを実施する団体への支援を行う。	・集客イベント開催実績 イベント開催件数：12件	・集客イベント開催実績 イベント開催件数：12件	(今後の展開方針) 目標値(H33年度)：3.0万人 基準値(H23年度)：1.7万人	
1	④	観光情報発信強化事業	H24～H26	村の観光イメージ戦略のひとつとして、各ターゲット層を分類した、観光ポスターの刷新、観光カレンダー・葉書等を制作し、TPOに応じた使い分けを行い、島外へ情報発信し、観光客誘発につなげる。	・村のPRカレンダー：200部 ・ポストカード：2400枚 ・ポスター：500部	・村のPRカレンダー：200部 ・ポストカード：2400枚 ・ポスター：500部	(今後の展開方針) 目標値(H33年度)：3.0万人 基準値(H23年度)：1.7万人	
1	⑤	観光推進計画策定事業	H25	村のマスタープランである「第4次総合計画」に連動したアクションプラン「観光推進計画」を策定し、今後の伊平屋村の観光指針を確立させ、入域観光客数増加を目指す。	「観光推進計画」の策定	「観光推進計画」の策定	(今後の展開方針) 目標値(H33年度)：3.0万人 基準値(H23年度)：1.7万人	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2		伊平屋島農林水産業振興事業	H24～H27					
2	①	堆肥利用促進事業	H25～H27	堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。	堆肥センターの機能強化及び製造機械の更新等堆肥攪拌トラクター1台	堆肥センターの機能強化による堆肥の安定生産による農地還元等による反収の増 実績H24: 2.8 t → 目標H25: 3.4 t	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度): 4.0t 基準値(H23年度): 2.2t	
2	②	病害虫防除事業	H24～H26	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	防虫剤(フェロモン剤)散布: 150ha ラジコン自動噴霧機 2台	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化 H23年度 1,758t → H25年度 4,700t	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度): 4.0t 基準値(H23年度): 2.2t	
2	③	干ばつ対策事業	H24～H26	夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。	平成24年度設置タンクからほ場への配管工事(L=2000m)及び散水用小タンク(3t程度)	平成24年度設置タンクからほ場への配管工事(L=2000m)及び散水用小タンク(3t程度)	(今後の展開方針) H26年度: パイプライン敷設 H27年度: 供用開始	
2	④	特産品等販路拡大推進事業	H24～H26	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出店を支援する。	島外(県外)イベント出店参加: 3回	島外(県外)イベント出店参加: 3回	(今後の展開方針) H26年度: 県外イベント出店参加: 3回	
2	⑤	魚類養殖場機能強化助成事業	H25～H26	ヤイトハタの品質向上と安定生産を図るため、近年、県で開発された「ヤイトハタ高密度養殖」の技術活用を実施するに当たり海水ブローワー等の増設を図る	養殖場内海水ブローワーの増設 海水ポンプの機能強化	養殖場内海水ブローワーの増設 海水ポンプの機能強化	(今後の展開方針) ・施設整備による品質の向上及び安定生産を目指す。 ・養殖事業量の増加 目標値(H27年度): 20t 基準値(H23年度): 15t	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
2	⑥	ヤイトハタ等県外出荷検証助成事業	H25～H26	昨今、注目されつつあるヤイトハタ等の県外出荷に伴う品質劣化による鮮度低下を防ぐため、急速凍結機をリースし、実施検証を図り販路促進の拡大を図る。	急速冷凍機のリース 販売促進の取組実施 実証検証の実施	急速冷凍機で処理された製品と通常凍結の製品との品質劣化及び向上比較検証によるデータ把握	(今後の展開方針) 安定的な商品の取り扱い及び品質向上による販売促進を目指す。 ・養殖事業量の増加 目標値(H27年度):20t 基準値(H23年度):15t	
2	⑦	輪作・転作等促進農業用排水施設整備事業	H25～H26	台風等の風災害により、減少した2期作農家を支援するため、輪作・転作が可能な水田排水施設の整備を行う。また、輪作・転作による農家主体の集団営農化を目指し課題の抽出と行動計画を定めた事業推進計画を策定する。	地域農林水産物生産計画策定 販売計画策定	地域農林水産物生産計画策定 販売計画策定	(今後の展開方針) 計画策定に基づく作物生産の安定化及び営農組織立上等の推進 ・農業従事者数 目標値(H33年度):180人 基準値(H23年度):140人	
2	⑧	林産副産物生産支援事業	H24～H28	新たな産業として林産副産物(木炭・シイタケ等)の生産支援を行い雇用の創出と新規特産物の開発を目指す。	林産副産物生産施設整備(椎茸等)	林産副産物生産施設整備(椎茸栽培施設1棟)の完了	(今後の展開方針) 施設整備等による新たな林産副産物の生産、村内防風林及びグリーンベルト等需要に応じた種苗づくり等 ・林業従事者数 目標値(H33年度):8人 基準値(H23年度):3人	
3		伊平屋島人材育成強化事業	H24～H33					
3	①	伝統文化継承支援事業	H24～H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	伝統文化の日の制定 伝統文化教室の開催:11教室/11回	伝統文化教室の参加者数:100名 伝統文化保存会発足 島内外における伝統芸能祭の実施	(今後の展開方針) 伝統文化教室開講数 目標値(H28年度):14教室 基準値(H24年度):11教室	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	②	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	本事業は、各小中学校にある特別支援学級に支援員を配置し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	支援員の配置 ・伊平屋小学校(特別支援学級):1名 ・伊平屋中学校 :1名	支援対象児童・生徒数 ・伊平屋小学校(特別支援学級):4名 ・伊平屋中学校 :2名	(今後の展開方針) H25年度～H29年度 安定的に2名程度配置する	
3	③	英語学習支援事業	H25～H33	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	海外短期留学及び夏休みイングリッシュキャンプの実施	・海外短期留学(アメリカ) : 3名 ・留学終了後 ムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ・夏休みイングリッシュキャンプ : 40名 ・実践発表会開催	(今後の展開方針) H25年度～H29年度 海外短期留学 3名 サマーカーンプ 40名	
4		伊平屋島定住条件整備事業	H24～H33					
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	嘱託保育士の配置:1名	預かり保育対象児童数 6名程度	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	妊婦健診に係る渡航費助成:12名	妊婦健診に係る渡航費助成:12名	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	③	慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25～H33	専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	慢性疾患児童等通院時渡航助成:8名(親同伴)*12回	慢性疾患児童等通院時渡航助成:8名(親同伴)*12回	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	④	介護福祉士育成事業	H25	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実強化を図るため、介護福祉士の資格者を育成するための養成講座を行う。	介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催	・介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催:10名 ・講座開催後の資格取得者 5名	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	⑤	高齢者福祉施設整備事業	H24～H25	島内に一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の機能強化を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築に係る設計業務を行う。	施設機能強化・増設工事実施設計 施設機能強化工事	施設機能強化工事の完了	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	⑥	地域自立支援推進事業	H24～H26	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を行う。	地域自立推進実施計画策定業務 (課題抽出・解決策の検討・行動計画評価)	地域自立推進実施計画策定	(今後の展開方針) 計画策定内容に基づく計画的な地域運営を目指す。 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	⑦	集落環境整備事業	H25～H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを推進するため、集落環境整備計画の策定と協働による主体的な取り組みについて助成を行う。	集落環境整備計画調査(5集落) 集落環境整備(5集落)	集落環境整備計画調査(5集落) 集落環境整備(5集落)	(今後の展開方針) 計画に基づき計画的な地域環境等の整備を行う。 ・定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人 ・住民の幸福感の向上(アンケート調査) H23:68.1% ⇒ H29:75%	
4	⑧	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	自動車航送運賃の低減	自動車航送運賃の低減:H25年度 350台 (H24年度実績値 320台)	(今後の展開方針) 自動車航送費運賃の低減による交流人口等の増加 H33年度目標 1,920台	
4	⑨	伊平屋村地域水道ビジョン策定事業	H25	村の重要なライフラインである水道水について、今後の交流人口の増加への対応や緊急時における危機管理に対応するため、水道に関する課題と分析評価を行い、将来像や目標を設定し、安全な飲料水の確保に努める。	水道に関する諸調査(地域の安定量等の調査) 地域水道ビジョン策定業務	水道に関する諸調査(地域の安定量等の調査) 地域水道ビジョン策定	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	
4	⑩	遺体安置設備整備事業	H25	本村には遺体安置設備が無く、病死はもとより、突発的な事件、事故の際の遺体保管について支障をきたしていることから、遺体安置用の保冷库を一基購入する。	遺体安置設備整備	遺体安置設備 1基		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4	①	障がい者自立支援事業	H25～H26	障害者自立支援としてNPO法人等の育成のための地域生活支援について委託を行う。	サービス管理者の育成(村内社会福祉法人にて人材育成) 1名	障害者福祉施設サービス管理者の育成 1名	(今後の展開方針) H26: 施設設計業務 障害者支援施設建築	
5		伊平屋島「災害に強い村づくり」推進事業	H25					
5	①	伊平屋村防災行政無線施設(同報系)整備事業	H25	村内における安心・安全対策として、老朽化した防災行政無線システムをデジタル化することで、住民等への情報伝達を強化する為に実施する。親局設備更新、子局双方向通信化、全世帯戸別受信機運用、住民向け携帯メール配信等を実施し、情報伝達確度の向上を図る。	施設調査設計システム構築 施設整備工事	デジタル防災行政無線施設整備完了 (子局の整備等(村内全世帯、村内主要施設))		
5	②	災害等瓦礫処理事業	H25	台風常襲地帯である沖縄県で平成24年度接近した台風は、12個を数え、本村においても大量の瓦礫が発生した。トタン等金属製の廃材は島内で処理ができず、離島という地理的状況下で、これから台風シーズンに向け、それらの瓦礫の飛散による二次災害防止のため、島外搬出処理を実施する。	島内瓦礫(金属製)の集積・運搬等1回	島内瓦礫(金属製)の集積・運搬等による島内瓦礫の一掃		
5	③	伊平屋村救急対応整備事業	H25	小規模離島である本村は常備消防が無く、緊急時(特に救急搬送等)には代用車(公用車等)での対応を余儀なくされている状況である。その為、緊急(急患等)時の救命救急措置と緊急搬送を敏速に行うため救急車を整備する。	緊急搬送者(救急車)購入 1台	緊急搬送者(救急車)購入 1台	緊急搬送者導入により、診療所までの、簡易的な手当や、心肺蘇生法等の救命救急措置がスムーズに行える。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
				1		伊是名島観光振興事業			H24～H33
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24～H33	本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽等の美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。	・観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽 ・植栽後の定期的な肥培管理の実施	美化緑化箇所:15カ所 内訳:まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(4カ所)			
1	②	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H25	本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生するむらづくりを推進するため、地域と一体となった魅力的な観光地となるために必要なルールづくりに取り組み、伊是名らしい景観計画を策定する。	・景観計画策定	・景観計画策定 ・景観条例制定			
1	③	いげな尚円王まつり支援事業	H24～H33	いげな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し観光客の誘致を図る。	いげな尚円王まつりの開催支援	いげな尚円王まつりの来場者数2,000名			
1	④	赤土等流出防止対策事業	H24～H25	末端沈砂地で堆積している土砂を浚渫することで沈砂地の機能回復を図り、また周辺雑木を撤去し、土壌浸食防止のため天端を張りコンクリートすることで機能強化を図り、海域への赤土等流出を抑制し、自然環境の保全に努める。	・沈砂地に堆積する土砂の浚渫(33箇所、29,000㎡) ・沈砂池周辺の雑木等伐開	・沈砂地に堆積する土砂の浚渫(33箇所、29,000㎡) ・沈砂池周辺の雑木等伐開			
1	⑤	いげな88トライアスロン大会支援事業	H25～H33	いげな88トライアスロン大会は本村のメインイベント事業として定着しており、海外を含め日本全国より600名の選手及び家族や関係者など200名程が来島し、トライアスロン大会を盛り上げ、村経済の振興・観光産業の発展に寄与している。今後さらにリピーターの確保や、観光客の誘致促進するためにトライアスロン大会開催に伴う受入体制の強化・運営費の一部を支援する。	いげな88トライアスロン大会の開催支援	いげな88トライアスロン大会来場者数1,000名			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	⑥	観光ガイドマップ事業	H25	多様化する観光客のニーズに対応すべく、宿泊施設や観光名所の説明、写真などを盛り込んだ村の魅力をもPRする伊是名島観光ガイド(マップ)を作成、印刷する。	観光ガイドマップを1万部作成	観光関係施設6カ所に1,500部配布・設置		
1	⑦	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24～H29	本村は、第一尚氏王統の元祖及び第二尚氏王統の始祖尚円王生誕の地であり、数々の王家ゆかりの史跡・文化遺産が多く残されている。平成27年度に尚円王生誕600年を迎えるため、尚円王に関する史跡等の整備・復元や関連行事を行う。本村から琉球の歴史を県内外へ発信することで更なる誘客による観光振興を図る。	・尚円王ゆかりの文化財である「通水節」の歌碑が建立されている周辺の公園整備実施 ・移動用ケースの購入や破損、老朽化した太鼓を新調(長胴太鼓各種10、長胴太鼓台10、移動用太鼓ケース各種、撥等)	・新調した太鼓を用いた伊是名村PR活動の実施(村内外イベント(村外では万国津梁和太鼓祭り10月、運天港まつり11月、金武町勇飛太鼓との共演12月等))	(今後の展開方針) 26年度は、生誕祭前年度にあたるためプレイベントとして村民劇「史劇尚円」を村内外で実施。	
1	⑧	環境に優しい村づくり事業	H25	周囲が海に囲まれている本村の海岸に頻りに漂着する海岸漂着ゴミを処理し、観光地としてのイメージアップを図るため、小型焼却炉や積み込み機械、運搬車両の導入を行う。	・小型焼却炉の導入 ・積込機械の導入 ・運搬車の導入	小型焼却炉等の導入により、島内での海岸漂着ゴミの処理を月平均0.5t程度処理することを目指す。		
2		伊是名島定住条件整備促進事業	H24～H33					
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送コスト負担軽減を図る。	・自動車航送コストの負担軽減: 4,000台	・自動車航送コストの負担軽減: 4,000台		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	<p>村内には、専門の産婦人科医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて1泊2日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心で安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・宿泊費を助成する。また、出産待機のため滞在した場合は、1日3,000円の宿泊費を助成する。</p>	妊婦健康診査のために島外の医療機関に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成	妊婦健康診査のために島外の医療機関に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成		
2	③	人工透析医療受給者助成事業	H24～H33	<p>本村は、専門医療施設がないことから人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。</p>	人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成	人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成		
2	④	伊是名らしい古民家修復・復元事業	H25～H29	<p>本村における貴重な資源である古民家の修復や、古民家が消失し空き屋敷となっている敷地に古民家(赤瓦屋根・サング石垣・屋敷林)を復元し、Uターン・Iターン者向け定住住宅として定住促進を図るとともに観光地としてのイメージアップを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用地購入 ・古民家改修(2軒) ・古民家復元(1軒) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家改修と復元をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅3世帯を提供 	(今後の展開方針) 平成26年度以降については、改修1棟、復元1棟を予定。U・Iターン世帯数は2世帯。	
3		尚円王の里人材育成事業	H24～H33					
3	①	伊是名村人材育成推進事業	H24～H33	<p>幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネータを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に努める。</p>	教育指導コーディネーターの配置:1人	教育指導コーディネーターの配置:1人		
3	②	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24～H33	<p>北海道日高小学校と伊是名小学校の交流事業は19回を数え児童が沖縄との環境が異なる北海道での自然や文化気候そこで生活している人々との交流や体験を経験することで個々の個性や自主性を養うことを目的とする。</p>	日高小学校との交流参加人数 児童:16人・引率:6人	日高小学校との交流参加人数 児童:16人・引率:6人		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	③	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24～H33	離島である本村の児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から本島への移動をスムーズに行えるよう実施する。	島外教育活動への派遣児童生徒数:65人	島外教育活動への派遣児童生徒数:65人		
3	④	学習支援員配置事業	H24～H33	本村の未来を担う児童の人材の育成を図る観点から、小学校における教育活動の支援及び学習に遅れのある児童生徒への学習支援を実施する。	学習支援員の配置数:1人	支援児童生徒の数:82人		
3	⑤	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H33	離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。	預かり保育士配置数:1人	預かり保育を利用する幼児数H25年度:7人		
3	⑥	海外短期留学支援事業	H25～H33	近年多様化する国際社会に早い時期に海外で経験を積むことにより本人の自立、国際社会への対応能力を養うことによりよりよい人材育成につながる。	海外短期派遣生徒数:2人	海外短期派遣生徒数:2人		
3	⑦	学校ICT推進事業	H25	小・中学校の教育用パソコン、電子黒板、校内LAN等のICT環境を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに「分かりやすい授業」を実践し「確かな学力」を定着させ、将来を担う人材育成を図っていく。	電子黒板設置数:小学校8台 :中学校3台	小中のネットワークの構築 電子黒板設置数:小学校8台 :中学校3台		
3	⑧	学校外学習支援事業	H25～H33	高校受験対策の一環として、生徒の学校外での学習を支援することにより、学校の授業でカバーできないきめ細かい学習支援を支援するため、村営の学習塾を開設する。	学習塾の設置及び講師:3人	学習塾利用生徒数:65人		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	H25事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
パ 細								
4		伊是名村土づくり支援事業	H24～H33					
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24～H33	肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	農家補助用堆肥の確保:1,000t	農家補助用堆肥の確保:1,000t	(今後の展開方針) さとうきびの反収増 目標年度: 平成28年度 :4.8t/10a (H25,26,27,28年産の平均) 現状:3.2t/10a(H22,23,24年産の平均)	
4	②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25～H29	本村における畜産業の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を助成することにより、肉用牛の飼育頭数増加と農家経営の安定化に向けた取組を推進する。	優良繁殖雌牛導入:30頭	優良繁殖雌牛導入:30頭		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
1		久米島農林水産業活性化推進事業						
1	①	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24～H25	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行う。	冷熱利用野菜栽培ハウスの整備(2棟)	冷熱利用野菜栽培ハウスの整備(2棟)	(今後の展開方針) H26年度供用開始	
1	②	車エビ養殖場設備強化事業	H25	本町の基幹産業である水産業の経営安定化を図り、主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 中央排水管整備 3基 水門改修 1基 発電機整備 3基 プレハブ冷凍庫 1基 	車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置	(今後の展開方針) H25年10月供用開始	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	③	漁港施設機能強化事業	H25	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港の一つである島島漁港に漁船巻揚機(ウインチ)を設置する。	漁船巻揚機15トン型 1基	漁船巻揚機(ウインチ)の設置	(今後の展開方針) H26年1月供用開始	
1	④	久米島町循環型農業促進事業	H25	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥の主原料である「バガス」の品質低下を防ぐ原料庫の整備、堆肥袋詰め機や運搬車両の整備等を行い、町営堆肥センターの生産性の向上を図り生産ラインの機能強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 原料庫実施設計 原料庫建築工事 袋詰め機(1台)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 原料庫実施設計 原料庫建築工事 袋詰め機の導入 	(今後の展開方針) H26年度 堆肥散布機導入 運搬車両の導入	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	⑤	くめじま山羊振興活性化事業	H25～H28	山羊の優良品種の導入と普及、山羊牧場の建設により、地域ブランド「くめじま山羊」の確立と全町的な肉用山羊生産供給体制を確立し、山羊生産農家の活性化と所得増を図ると共に地産地消と観光資源としての山羊食文化の推進を図る。	研修会の実施(4回) 視察研修会の実施(1回) 山羊舎基本計画・基本設計	研修会の実施(4回) 視察研修会の実施(1回) 山羊舎基本計画・基本設計	(今後の展開方針) H26年度 山羊舎実施設計 山羊舎建設工事 H27年度 備品購入 優良品種導入 H28年度 優良品種導入	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
2		久米島特産品開発・販路開拓事業	H24～H33						
2	①	久米島紬販売促進事業	H24～H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	・島外での展示会開催数 6回 ・商品開発試作品製作数 6反	・島外での展示会開催数 6回 ・商品開発試作品製作数 6反	(今後の展開方針) H26年度: 東京での展示会(1回) 県内での展示会(3回)		
2	②	海洋深層水全国展開事業	H24～H33	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。	・商談会出展(首都圏) 2ブース(3日間) ・PR用パンフレット作成 4,000部	・商談会出展(首都圏) 2ブース(3日間) ・PR用パンフレット配布 4,000部	(今後の展開方針) H26年度:商談会出展(首都圏1回)		
2	④	久米島特産品販路開拓事業	H24～H33	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施する。	・外部アドバイザーを設置し、商品の洗練化と差別化を図るとともに久米島在住のアドバイザーを育成する。 ・久米島商工会が実施する商品開発・販路拡大の支援	・食品製造業者の育成及び指導(10社) ・久米島在住のアドバイザーの育成(1名) ・商品開発・販路拡大の支援(7件)	(今後の展開方針) H26年度:商品開発、販路拡大		
3		久米島観光誘客促進事業							
3	①	久米島観光振興促進事業	H24～H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光産業の振興を図る。	・旅行社招聘:12社(12名) ・クーポン発券:5,000部 ・広報活動:7件 ・イベント開催:4件	・旅行社招聘:12社(12名) ・クーポン発券:5,000部(バス利用1,760名) ・広報活動:7件 ・イベント開催:4件(参加人数2,300名)	(今後の展開方針) H24～H33 観光イベントによる誘客、商品開発及び広報活動により、観光入域客の増加を図る。		
3	②	久米島観光調査事業	H25	久米島観光における効果的な誘客戦略を構築するため、マーケティング調査と現状実態把握を行い、変化が著しい旅行者のニーズ調査を実施する。	観光動態調査の実施	観光動態調査の実施			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	③	久米島観光WEBプロモーション事業	H25～H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進	国内大手のWEBエージェントを活用し、春夏秋冬の情報を4回発信する。	(今後の展開方針) H25～H33 WEBサイトを活用した観光プロモーションを実施し、誘客を促進する。	
4		久米島観光客受入体制整備事業						
4	①	地域発信力強化促進事業	H24～H25	新たな久米島の魅力等を効果的に発信する地域の情報発信力の強化を図るため、地域FM放送局を活用した情報発信システムの整備を行う。	難聴地域に中継局(1箇所)を設置する	難聴地域を解消し情報発信力を強化する。		
4	②	安心安全な観光まちづくり事業	H25～H26	安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の整備を行う。	避難階段の委託設計の実施	避難階段委託設計の実施	(今後の展開方針) H26年度: 避難階段の工事 H27年度: 供用開始	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4	③	ヤジャーガマ整備事業	H24～H25	本町唯一の鍾乳洞であるヤジャーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する。	駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備	駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備	(今後の展開方針) H26年度供用開始	
5		久米島環境保全・美化推進事業						
5	①	赤土等流出防止対策事業	H24～H33	農地保全是もとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト(ベチパー)の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。	ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。	ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。	(今後の展開方針) H26年度: ベチパー苗の増殖 ベチパー苗の配布・植え付け	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
5	②	球美の島エコアイランド化推進事業	H24～H25	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	久米島町内全域に設置されている水銀街灯をLED街灯へ移行する。	各地域の設置要望が高い箇所から順次、水銀街灯からLED街灯へ移行工事を実施する。	H26年度：供用開始		
5	③	球美の島緑化推進事業	H24～H26	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	球美の島緑化公園予定地内ツバキ・ツツジゾーン工事の実施	球美の島緑化公園予定地内ツバキ・ツツジゾーン工事の完了	H26年度：管理棟建築工事 H27年度：供用開始		
5	④	環境美化促進事業	H24～H33	本町の海岸線に漂着する漂着ゴミや観光地の美化作業後の草木等の回収、処理体制の強化を図り豊かな自然環境を保全するため、回収した漂着ゴミ等を処理場へ運搬するために必要な車両等を購入する。	【運搬車両導入】 ・塵芥車両(1台) ・4トンクレーン付きダンプ車両(1台) ・2トンドンプ車両(1台)	【運搬車両導入】 ・塵芥車両(1台) ・4トンクレーン付きダンプ車両(1台) ・2トンドンプ車両(1台)	(今後の展開方針) H26年度：不法投棄ゴミの回収・処理		
5	⑤	観光地美化緑化促進事業	H25～H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃や各種イベント向けの緑化を行う。	アクセス道路除草 4箇所 公園除草 9箇所 観光施設トイレ清掃 10箇所 文化財関係除草 30箇所 イベント緑化 4箇所 作業用草刈り機等(8台)導入	アクセス道路除草 4箇所 公園除草 9箇所 観光施設トイレ清掃 10箇所 文化財関係除草 30箇所 イベント緑化 4箇所 作業用草刈り機等(8台)導入	(今後の展開方針) H26～H33 アクセス道路除草 4箇所 公園除草 9箇所 観光施設トイレ清掃 10箇所 文化財関係除草 30箇所 イベント緑化 4箇所	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
6		久米島地域資源発掘・活用促進事業							
6	①	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成する。	・県内研修2回、県外研修2回 ・景観活動団体助成5団体 ・景観形成助成2戸	・県内研修2回、県外研修2回 ・景観活動団体助成5団体 ・景観形成助成2戸	(今後の展開方針) 助成団体数(累計) H33年度：40団体 助成戸数(累計) H33年度：20戸		
6	②	古民家活用事業	H24～H25	本町に数多く点在する伝統的な赤瓦の古民家を保全活用し美しい景観の創出を図るため、本町の偉人である仲原善忠生家の保全整備等を実施する。	仲原家改修工事の実施	仲原家改修工事の実施	H26年度：供用開始		

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
6	③	個性豊かな文化の振興事業	H24～H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	1.古典民謡大会の開催(1回) 2.民俗芸能発表会の開催(1回)	古典民謡大会出演者数 20名 古典民謡大会来場者 250名 民俗芸能発表会出場者 130名 民俗芸能発表会来場者 600名	(今後の展開方針) H26年度 古典民謡大会開催 (1回開催、出演者30名) 民俗芸能出場者数(累計) (1回開催、出演者150名)		
6	④	文化遺産保存活用事業	H24～H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため、町指定文化財である石墓の調査及び修復整備や古文書(博物館資料)の修復、貴重生物のはく製の制作、町内行事映像記録の収集等を行う。	・古文書翻刻丁数:1,000丁 ・古文書修復マイクロ撮影件数:1,500丁 ・文化遺産(島尻石墓)修復・記録保存 1件 ・鳥類剥製資料制作 51体 ・町内記録映像取得 50件	・古文書翻刻丁数:1,000丁 ・古文書修復マイクロ撮影件数:1,500丁 ・文化遺産(島尻石墓)修復・記録保存 1件 ・鳥類剥製資料制作 51体 ・町内記録映像取得 50件	(今後の展開方針) H25年度:修復委託 H26年度:供用開始		
6	⑤	久米島現代版組踊り創作事業	H24～H33	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	久米島の歴史的按司の「笠末若茶良」を題材にした現代版組踊公演の開催(1回)。	現代版組踊出演者数 30名 現代版組踊公演来場者数 300名	(今後の展開方針) 久米島でのイベント等での公演 や他事業を活用し、島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。		
6	⑥	大綱曳き保存復活事業	H25	伝統的行事の保存継承と文化的資源を活用した観光振興を図るため、合併以前、旧村(具志川村)で伝統行事として実施されていた大綱曳き10数年ぶりに復活させ、大綱曳きイベントを実施する。	①大綱曳きイベント記録映像制作 ②衣装購入	①大綱曳きイベント記録映像制作 ②衣装購入			
7		久米島教育環境の充実・整備事業							
7	①	英語指導員配置事業	H24～H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名	英語指導員による授業時間数: 小学校3・4年生:120時間 小学校5・6年生:210時間	(今後の展開方針) 小学校3・4年生授業時間(累計) H33年度:1,200時間 小学校5・6年生授業時間(累計) H33年度:2,100時間		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		八重瀬町人材育成事業	H24～H33					
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24～H33	各園・小・中学校に指導助手を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	・外国語指導助手 4園4小(3人は園・小兼務) ・英語指導助手:2人 2中へそれぞれ配置	・H25年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校5,964人(5・6年対象)、中学校8,589人計17,824人の児童生徒に外国語をふれ合う機会を与える。	
1	②	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～H33	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	パソコン指導員配置数 小学校に2人配置(2名兼務) 中学校に2人配置	・H25年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校17,483人、中学校8,589人計29,343人の児童生徒に情報の基本操作及び情報活用能力を養う。	
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25～H33	小・中学校に児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実を図る。	学習支援員配置数 小学校:4人 中学校4人	・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値)	(今後の展開方針) 今後も同様な人数の確保及び増員をさせて、学習意欲の向上に努める。	
1	④	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24～H33	中学校において、伝統文化の継承を図るために、組踊、三線、エイサー等講師招いて特別授業を行い伝統文化を直に感じて、啓蒙を行い、その集大成として発表会を行う。	中学校への講師招聘:30人	特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人	(今後の展開方針) H33までに中学校6,392人の生徒に地域の伝統文化の継承と地域の方達との交流を学ぶ。	
1	⑤	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24～H33	教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。	海外短期派遣生徒数:12人	海外短期派遣生徒数:12人 事後報告会:12人 事後報告書:50冊	(今後の展開方針) 海外短期派遣生徒数(累計) H33年度:120人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
1	⑥	汗水節の心啓発事業	H25	汗水節はふるりの歌として親しまれ今日に歌い継がれてきました。本町出身の仲本稔氏作詞のその歌詞に込められた想いは、生活に苦む当時の人々の心を励ます内容でした。この「汗水節の心」を広く県民に啓発し、現代に生きる人々の働く喜びや健康で社会奉仕に取り組む姿勢をめざし、生きる力、豊かな心を育み人材を育成する。	印刷物の作成・配布 ポスター 10,400世帯 " 100枚(公共施設等) クリアファイル 3,600枚 (町内小中学校全児童生徒)	印刷物の作成・配布 ポスター 10,400世帯 " 100枚(公共施設等) クリアファイル 3,600枚 (町内小中学校全児童生徒)	(今後の展開方針) 資料として残す啓発事業にくわえ、今後は汗水節の心を行動に展開する企画をたていく。		
1	⑦	教育施設環境整備事業	H25	園児の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。 幼稚園2園の設計委託業務及び、設置工事を行う。	・東風平幼稚園:6保育室に空調設備を設置 ・新城幼稚園:遊戯室・2保育室に空調設備を設置	町内4幼稚園の内、3幼稚園が空調設備設置済となり、設置済率 75%となる。			
2		八重瀬町観光資源活性化事業	H24~H33						
2	①	八重瀬町イベント事業	H24~H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。	・八重瀬祭り開催支援 ・八重瀬桜祭り開催支援	・八重瀬祭り来場者数 15,000人 ・八重瀬桜祭り来場者数 5,000人	(今後の展開方針) H26~33年度:八重瀬桜祭り開催 H29・H33年度:八重瀬祭り開催		
2	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24~H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。 また、本作業に必要な車両の購入も行う。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 ・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 ・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線	(今後の展開方針) H26~33年度:美化作業 H27年度以降:美化作業・緑化作業		
2	③	八重瀬さくらのまち整備事業	H25~H33	南部随一の桜の名所として県内外に広くアピールし、知名度の向上と観光地の魅力向上を図るため、さくらまつり会場である八重瀬公園のさくらを年間をととして集中的に生育管理を行う。	八重瀬公園一円のさくらの生育管理を行う。	八重瀬公園内の桜植樹地(約2,500㎡)において桜の生育管理を行う。	(今後の展開方針) 植栽可能な場所へ新たに植栽をし、桜の充実を図る。		
2	④	八重瀬町景観重点地区等検討事業	H25	「八重瀬町景観計画」を基に重点地区、重要建造物、重要樹木等の指定に向けた調査・検討を行い、更に、「八重瀬町景観計画」の周知を図る。	八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討を行う。	八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討を行う。	(今後の展開方針) 八重瀬町景観計画を周知しながら、重点地区等の候補地において、重点地区等の指定を目指す。		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	⑤	八重瀬町観光振興基本計画及び観光拠点整備計画策定事業	H25	本町の農業・漁業などの生産分野や地域の自然・歴史・文化を活用した多様な体験・滞在・交流型観光の育成を図るため、八重瀬町観光振興基本計画と観光拠点整備計画を策定する。	・八重瀬町観光振興基本計画策定 ・八重瀬町観光拠点整備計画策定	・八重瀬町観光振興基本計画策定 ・八重瀬町観光拠点整備計画策定	(今後の展開方針) 八重瀬町観光拠点施設整備計画と観光振興計画を基に拠点の整合性を図り観光拠点整備を行う。 ・平成26年度基本設計 ・平成27年度実施設計 ・平成28年度共用開始	
2	⑥	水産振興刺し網漁(追込み漁)推進事業	H25	高齢化により衰退しつつある伝統漁業の刺し網漁(追込み漁)を守り、水産振興と滞在型観光を推進するため、後継者の育成及び体験型観光漁業(観光客・児童生徒等)を実施する。	刺し網漁漁具一式導入	漁業体験の実施:参加者30名	(今後の展開方針) 教育委員会と連携した漁業体験の内容構築を図り、後継者育成の一環としたい。	
2	⑦	坂名城の郷整備事業	H24～H28	坂名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。	遊歩道の用地買収 アクセス道路の整備工事	遊歩道の用地買収(24筆 1,367㎡) アクセス道路の整備工事(L=660m)	(今後の展開方針) 平成26年度:遊歩道の整備・用地買収 平成27年度:展望台整備・用地買収 平成28年度:管理事務所・倉庫整備	
2	⑧	ハナダー(自然橋)整備事業	H25	ハナダーとは、琉球石灰岩が自然の浸食により形成された自然橋で、景観づくりを行い観光資源として活用するため、ハナダー(自然橋)の保全と周辺整備を行う。	調査測量設計、用地買収、周辺整備工事等の実施	調査測量設計、用地買収、周辺整備工事等の実施	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
2	⑨	資料館観光活用事業	H25	化石人骨「港川人」を中心に展示が行われている本町立資料館を観光地として活用し充実を図るため、港川フィッシャー遺跡から出土した県内最古と思われる土器の復元と港川人復元模型の制作を行い展示公開する。	波状文土器レプリカ複製委託 1点 港川人復元模型制作委託 1体	具志頭資料館入館者数の増 3,239人(過去5年平均)→3,500人	(今後の展開方針) 具志頭資料館にて、ミニ企画展を開催する。	
2	⑩	八重瀬町歓迎看板設置事業	H25	観光推進を推進するため、本町を訪れた人へ一目で八重瀬町をPRできる看板を設置し、情報発信の強化を図る。	・サイン整備計画の策定 ・歓迎看板(ウェルカムサイン)等設置	・サイン整備計画の策定 ・歓迎看板(ウェルカムサイン)等設置 8基		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
2	⑪	八重瀬町情報発信事業	H25	ホームページの観光機能を強化し、国内外へ情報の発信を行うことで、観光客等の誘客を促進する。	町ホームページ機能強化	町ホームページ機能強化 (多言語化:5ヶ国語対応)		
2	⑫	八重瀬町戦跡整備事業	H25～H27	本事業は、戦跡(ヌマチガマ、ガラビ壕)周辺を整備し歴史・平和学習等へ活用する目的で実施するが、本年度は、整備予定区域の用地買収及び物件補償を行う。	整備予定区域の不動産鑑定・物件調査を実施し、用地買収及び物件補償を行う。	整備予定地の用地買収及び物件補償を行う。 用地買収予定面積:11,604㎡	(今後の展開方針等) H26年度:実施設計 H27年度:周辺整備工事	
2	⑬	運動公園施設等整備事業	H24～H28	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	・グラウンド舗装工事 ・芝生整備	県外からの野球チーム(2チーム)、サッカーチーム(1チーム)のスポーツキャンプを受入	(今後の展開方針等) H25年度:スポーツキャンプ受入 H26年度～:スポーツキャンプ継続	10月変更 (事業追加)
2	⑭	観光地安全対策事業	H25	各種スポーツキャンプやスポーツ大会等で、町内外から多数の利用者がある運動公園施設に防犯カメラを設置し、利用者の安全・安心を確保する。	・防犯カメラシステム整備(カメラ31台) ・防犯カメラシステム移動	防犯カメラシステムの導入	(今後の展開方針等) 犯罪、迷惑行為の発生件数削減	12月変更 (事業追加)
3		八重瀬町ブランド創造事業	H24～H33					
3	①	八重瀬観光資源構築に関する事業	H24～H25	H24に選定された八重瀬観光ブランドイメージキャラクターの着ぐるみの作成及び観光プロモーションを行う。	イメージ曲(1曲)、絵本(3バージョン)、着ぐるみ(1体)の作成	・イメージキャラクターの着ぐるみを使った観光プロモーションの実施 ・イメージキャラクターの絵本及び作詞・作曲・振付まで行い、地域内外に広く周知	(今後の展開方針) 各種イベントにおいて積極的な八重瀬観光プロモーションを行う。	
3	②	八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業	H24～H33	八重瀬町の地域資源を観光資源にするため、体験プログラムの構築や人材育成を行う。また教育旅行受入のためのコーディネートや情報発信及び観光プロモーションを行う。	観光先進地リーダーの招聘 3回 県外観光プロモーション 2回 体験フェスティバル 1回	講演会:3回 安全マニュアル作成	(今後の展開方針) 教育旅行の受入や体験プログラムの充実により、リピーターの創出を図り体験滞在型の観光を構築する。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	③	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	H24～H33	カラベジ製品を初めとする町の特産品の開発とブラッシュアップ及び販路開拓を支援する。同時に、カラベジブランド力向上のためのイベントを実施する。	・カラベジ製品等の開発 ・物産展、商談会等への参加 ・カラベジフェアの開催 ・カラベジスタンプラリーの開催 ・WEBを活用したプロモーション(販促、ブランドの顧客形成)	・新規カラベジ製品等の開発 3品 ・物産展等参加(町内、那覇市、東京各1回) ・リウボウでのカラベジフェア 1回 ・カラベジスタンプラリー 2回 ・販促用媒体制作 12,000部	(今後の展開方針) 八重瀬町内の小規模事業者の販路開拓、支援を行える体制を構築する。	
3	④	八重瀬町体験観光指導者及び民泊受入家庭育成事業	H25～H33	八重瀬町には宿泊施設が少ないため、教育旅行受入のための民泊受入家庭の体制整備及び勉強会等を行う。	民泊受入家庭育成 勉強会の実施 6回 プロモーション 2回	民泊受入家庭 50戸育成	(今後の展開方針) 中規模校の教育旅行受入を八重瀬町で行えるように民泊受入家庭を育成する。	
4	①	八重瀬町循環型環境保全事業	H24～H25	生ゴミをゴミとして焼却するのではなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。	生ゴミ回収実施	生ゴミ回収量 43トン/年		
4	②	農業機械施設整備事業	H25～H27	共同利用機械等の生産条件の整備を実施することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。	農業用冷蔵庫:2台 パワーショベル:1台 農業用格納庫:1箇所	共同利用機械整備:3台 共同利用機械施設整備:1箇所	(今後の展開方針) 農協、農業生産法人、農業者団体等から、一括交付金で導入可能な農業機械及び施設の事業計画を受け、その要望について検討し、継続していく。	10月変更 (事業追加)
5	①	教育施設省エネ化推進事業	H25～H33	環境にやさしい教育施設を推進するため、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画に基づき照明設備をLED化し省エネ化を推進する。 小学校体育館の照明設備LED取替委託業務及び工事を行う。	白川小学校体育館:LED照明設置	(白川小学校体育館) 1日当り10時間稼働 月次合計使用電力量削減率 約49%	(今後の展開方針) 環境にやさしい教育施設を推進するため、学校施設の照明設備LED化を継続して行っていく。	
6	①	防災マップ作成事業	H25	島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあり、物資を配給する避難所を日頃から住民に周知しておく必要があります。そのことから台風や大雨、その他さまざまな災害に備え、住民向けの防災マップを作成し、日頃から避難場所や危険区域を周知することで防災力の強化を図る。	防災マップの作成 11,000部	防災マップの作成 11,000部	(今後の展開方針) 町内全世帯に配布し、防災情報や避難所について周知し、防災意識の向上を図る。	10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1	①	防災行政無線施設整備事業	H25	多良間村の情報通信施設である防災行政無線施設をデジタル化に更新し、更に、現在カバーされていない集落以外の地域にも増設整備する。このことにより、行政情報、災害時の緊急情報を住民や観光客等へ迅速かつ的確に情報提供できるようになり、安心安全の確保が可能になる。	防災行政無線施設の整備	防災行政無線施設の整備の完了	(今後の展開の方針) 平成26年度:防災行政無線施設の供用開始	
2		多良間村観光関連施設等整備事業	H25~H33					
2	①	観光関連施設整備事業(東屋等)	H25~H26	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等に東屋等を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	観光関連施設への東屋の設置(3棟) 関連施設(トイレ)の設置(2箇所)	観光関連施設への東屋の設置(3棟) 関連施設(トイレ)の設置(2箇所)	(今後の展開方針) 平成26年度:東屋の設置(3棟)	
2	②	美化緑化推進事業	H25~H33	観光地形成に向け、公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 ⇒ふるさと海浜公園・八重山遠見台・宮古市の森公園等8ヶ所	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 ⇒ふるさと海浜公園・八重山遠見台・宮古市の森公園等8ヶ所		
4	①	多良間村資源循環活用施設基本計画作成事業	H25	基幹作物であるさとうきびのトラッシュ(夾雑)や伐採木、家庭から出る草木の堆肥化・資源化を図るため、バイオマス資源の調査、各資源の有効利用の検討を行い、持続可能な農業を中心とした循環型社会の構築を目的とした基本計画を作成する。作成後は、基本計画を基に、資源循環型農業を確立するため資源循環活用施設を整備する。	資源循環活用の施設の基本計画、基本設計の策定	資源循環活用の施設の基本計画、基本設計の策定	(今後の展開の方針) H26実施設計 H27建設工事 H28共用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5		多良間村農業生産基盤安定化事業	H25～H33					
5	①	イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ)	H25～H30	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。	さとうきびのイネヨウトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチュウブ設置:2,987巻	さとうきびのイネヨウトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチュウブ設置:2,987巻	(今後の展開の方針) イネヨトウの繁殖、被害状況等を調査しながら今後も実施していく。	
5	②	さとうきび農薬購入補助事業	H25～H33	さとうきびの植え付け時、これまで使用していた農薬が害虫への効力が少なく、さとうきび苗の発芽が悪いため、害虫への効力が強い農薬(プリンスベイト)の購入費に補助し、さとうきびの収量及び品質の向上に努める。	さとうきび安定生産のため農薬購入の補助を行う ・必要量:1ha当たり30袋 ・299ha:8,970袋予定	さとうきび安定生産のため農薬購入の補助を行う ・必要量:1ha当たり30袋 ・299ha:8,970ha袋予定	(今後の展開の方針) 農薬を使用しさとうきびの増産につなげる。	
6	①	オニヒトデ駆除事業	H25	観光客が安全・安心にダイビング等を楽しむとともに、オニヒトデによるサンゴの食害を防ぎ、多良間村の観光の目玉であるきれいな海を守るため、オニヒトデの駆除を実施する。	オニヒトデによるサンゴの被害状況の把握及び駆除。 ・駆除回数:20回 ・駆除数:1,000匹	オニヒトデによるサンゴの被害状況の把握及び駆除。 ・駆除回数:20回 ・駆除数:1,000匹		
7	①	中学校空調設備設置事業	H25	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、空調設備を整備する。	中学校空調設備の整備(3教室)	中学校空調設備の整備(3教室) (村内中学校の空調設備の達成率100%となる)		
8	①	干ばつ対策灌水タンク整備事業	H25	多良間村の土層は浅く保水力に乏しく慢性的な干ばつ被害を受けている。この干ばつ被害を打開するため、村内にあるため池の水を利用し、干ばつ期に灌水できるようにエンジンポンプ付き水タンクの整備を行う。	灌水タンク(エンジンポンプ、散水銃付き)の整備:10基	灌水タンク(エンジンポンプ、散水銃付き)の整備10基	毎年のように繰り返される干ばつ時に、効率的にかん水することにより、干ばつ被害を軽減し、反収のアップ・品質の向上により農家所得の向上につながる。	10月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
9	①	快適生活環境推進事業	H25	農業振興のための貯水池、肉用牛等家畜の副産物(糞・堆肥)がハエ等の格好の産卵場所となり、害虫の異常発生が起きている状況である。このため、高性能煙霧機を導入し害虫を駆除することで伝染病の予防と快適な生活環境の造成を図る。	高性能煙霧機の整備:3基	高性能煙霧機の整備:3基	ハエや蚊等害虫を駆除し伝染病の予防と快適な生活環境を造る。	12月変更(事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		島人の福祉プラン	H25					
1	①	子育て支援環境整備事業	H25	離島、へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポーター養成や相互援助活動支援等を実施する。	育児サポーター養成講座の開催:1回	講座修了者数:18人 →竹富町ファミリーサポートセンターおたすけ会員(預かる人)新規登録者数	(今後の展開方針) サポートセンター利用促進	
1	②	竹富町妊婦支援事業	H25	竹富町に住所を所有し、母子健康手帳の交付を受けた者が、妊婦健康診査を受診する際に船舶及び航空機を利用した場合に、それぞれの運賃を支給する。また、待機宿泊費については、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産のため滞在した宿泊費について1泊2千円を限度として支給する。	・妊婦運賃助成 ・妊婦宿泊助成	・妊婦運賃助成:840回 ・妊婦宿泊助成:400回	(今後の展開方針) 助成活用の推進	
2		島々の観光整備プラン	H24~H27					
2	①	観光客誘致対策事業	H25	本町及び石垣市、与那国町を含めた八重山郡の観光振興を図るため、県内外、国外で街頭キャラバンや商談会、ゆるキャラマスコット活用したキャンペーン等、観光客誘致プロモーションを実施する。	観光誘致活動(12箇所) 町内誘客活動(3事業) 受入対策(3件)	観光客誘致活動 JATA旅博2013来場動員数:15万人	(今後の展開方針) 竹富町観光入域客数:28年度85万人 基準年(H24):80万人	
2	②	小浜島観光関連事業	H24~H25	カトレ海岸マングローブ林(干潟)へのアクセス道路が未整備であることや駐車場がないことから、レンタカー・レンタサイクル等での往来に支障をきたしているため、進入路(460m)及び駐車場を整備し、小浜島の観光スポットとしての利活用を図る。	カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備	カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備完了(駐車可能台数20台)	(今後の展開方針) 路上駐車車両の解消を図る	
2	③	西表浦内観光関連事業	H24~H27	観光客の増加に伴う大型バス、レンタカーの増加により、既存の駐車場は手狭で浦内川周辺の交通が混雑しているため駐車場の整備を行う。また、日本の滝100選に選ばれているマリユドゥの滝やカンピレーの滝に通じる遊歩道の整備を行う。駐車場840㎡遊歩道2,100m	・西表浦内の駐車場整備工事の実施 ・マリユドゥ、カンピレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施	・西表浦内の駐車場整備工事の実施 ・マリユドゥ、カンピレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施	(今後の展開方針) H26~27年度:駐車場整備・遊歩道整備	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
2	④	竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業	H25	平成24年度に構築したポータルサイトのシステム及びリソースを最大限に活用して行くためのオリジナルアプリの開発や、Wi-Fi整備を行う。また、当該事業を国内外に情報発信していくための効果的なプロモーション活動を展開し、本町の周遊観光の推進と特産品等の販路拡大に向けた情報インフラの活用促進を図る。	・オリジナルアプリ開発 ・Wi-Fi環境整備 ・プロモーション活動	・オリジナルアプリ開発:1件 ・Wi-Fi環境整備:30箇所 ・プロモーション活動(2回)	(今後の展開方針) H26年度以降:地域住民特派員、観光協会等の協力を得ながらポータルサイトの拡充、運営に取り組む		
2	⑤	黒島観光関連事業	H25~H26	国の有形文化財に登録されている伊古棧橋を訪れる観光客のほとんどがレンタサイクルを利用していますが、道路が悪く雨や降雨後は通れない状況にあり、観光客へのイメージダウンとなっている。よって道路の整備を行うことにより、観光地としてのイメージアップを図り、併せて日陰等もないので東屋の整備も行い、より良い観光名所を目指す。	里道の測量及び設計業務の完了	里道の測量及び設計業務の完了	(今後の展開方針) H26年度:道路整備・東屋の整備		
2	⑥	旧太陽の村危険廃屋解体撤去及び公園等整備事業	H25~H27	旧太陽の村では、廃屋が自然景観や優れた景観を損なわせるような状態にあるため、平成24年度事業において危険建物を撤去し、公園等の整備設計を実施した。 平成25年度においては、前年度の実設計をもとに展望台や遊歩道を設置し、住民や観光客の交流を促進することによって観光振興の拠点地域とする。	公園等整備工事の実施 (工事内容) 拝所前広場、展望台、ボードウォーク、取付道路、外柵等の整備	公園等整備工事の実施 (工事内容) 拝所前広場、展望台、ボードウォーク、取付道路、外柵等の整備	(今後の展開方針) 公園等整備計画期間: H25年度~27年度までの間 H28年度:共用開始予定		
3		島々の景観形成プラン	H24~H33						
3	①	観光景観地・指定文化財美化保全事業	H24~H33	島々に残された貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地の美化保全を進め、地域住民の文化財愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進める。	観光景観地・指定文化財美化保全実施	観光景観地・指定文化財美化保全実施 6地区に分けて実施 国指定文化財:5箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:6箇所			
3	②	観光道路美化推進事業	H24~H33	島々に残された沖縄特有のまちなみや自然景観にマッチした快適な歩行空間を創出し、島内観光の質向上を図るため、主要観光アクセス道路を美化推進する。	美化推進路線:4路線(12,878m)	花植栽:竹富(180m)、小浜(150m)、住吉(150m)、波照間(110m)			

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3	③	黒島主要路線ギ木化事業	H24～H33	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、ギ木とその背景の牧場風景を活かした県道213号線は「日本の道100選」にも選定され観光道路となっていることから、島全体を観光地として魅力向上を図る為、県道以外の主要道路にもギ木柵を設置する。	町道黒島1周線 ギ木設置延長 750m（両側設置）	町道黒島1周線 ギ木設置延長 750m（両側設置）	(今後の展開方針) H26～H33年度:ギ木設置工事	12月変更 (計画変更に伴う 事業内容 変更)
3	④	竹富町デイゴヒメコバチ防除	H24～H33	県花のデイゴを保護するため、害虫のデイゴヒメコバチの防除を実施し、島々の景観、まちなみを保全することで優れた観光地の形成を図る。	・ヒメコバチ防除(デイゴ木薬剤注入作業)	・ヒメコバチ防除(デイゴ木薬剤注入作業) (薬剤注入1020本)	(今後の展開方針) デイゴ開花状況の改善を図る	
3	⑤	墓地景観形成事業	H25～H26	沖縄特有の文化により、墓地が散在化していることから、墓地計画の策定により墓地集約化や観光地としてのまちなみや優れた自然景観を保全する。	・墓地基本計画策定に係る住民意向等調査 ・検討委員会の実施	・墓地基本計画策定に係る住民意向等調査報告 ・検討委員会報告	(今後の展開方針) H26年度:墓地基本計画の作成	
3	⑥	不法投棄抑制事業	H25	本町の有する沖縄特有のまちなみや自然景観が不法投棄により景観を損ねているため、排出処理することで観光地としての質の高い自然景観、まちなみの保全を図る。又、不法投棄啓蒙活動を実施しごみ問題の解決を図る。	・不法投棄調査 ・不法投棄処理運搬 ・不法投棄啓蒙活動	・不法投棄抑制事業報告書作成 (実態把握・処理結果・啓蒙活動報告)	(今後の展開方針) 島内不法投棄ごみの一掃	
3	⑦	景観計画ガイドライン作成委託業務	H25	景観計画に示された景観づくりの基準について、地域住民・事業者・行政等が共通の認識をもつための解説本となるガイドラインを作成する。	景観ガイドラインの作成	景観ガイドラインの作成	(今後の展開方針) 景観計画の施行並びに景観条例の制定	
4	①	竹富町ペット適正飼養推進事業	H24～H28	この事業は生物多様性保全及び動物愛護の精神に基づき、ペットの適正な飼養を推進する。又、ペットが町民に迷惑を及ぼし絶滅の恐れがあるイリオモテヤマネコに害を加えることを防止し、もって竹富町の生活環境の保全及び生物多様性の確保に資する。	①ペット適正飼養推進会議の開催 ②逸出ペット保護収容 ③保護収容個体の処置 ④普及啓発講演会の開催 ⑤飼い猫登録実態調査	①ペット適正飼養推進会議の開催(1回) ②逸出ペット保護収容個体3頭以内 ③普及啓発講演会の開催(4回)	(今後の展開方針) 西表島のペット飼養の適正化を促す	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
5		島々の産業振興プラン	H24～H33					
5	①	竹富町和牛生産推進事業	H24～H33	離島港湾に靴底消毒マットを設置し水際防疫を確実にし、また、優良遺伝繁殖雌牛の導入購入費の一部助成、高齢母牛早期更新の奨励により、生産効率や品質の向上など、安定生産等に向けた課題解決を図り、生産者の経営安定化を目指す。	・離島港湾靴底消毒用マット設置 ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成 ・高齢母牛早期更新助成	・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数:40頭 ・高齢母牛早期更新奨励頭数:95頭	(今後の展開方針) H33年度:子牛平均価格380,000円 基準年(H23):子牛平均価格330,000円	
5	②	含みつ糖製糖施設近代化事業	H25	製糖事業者の経営体質強化のため、製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質向上及び衛生管理の徹底等のため製糖施設整備を支援し、製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」振興を図る。	西表製糖施設の周辺外溝工事	西表製糖施設の周辺外溝工事 (アスファルト舗装・排水施設整備)		
6		島人育成プラン	H24～H34					
6	①	読書支援事業	H24～H26	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書室を地域へ開放する取組として、学校図書室へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	図書支援員の巡回日数 15回/月 (黒島校・小浜校)	・黒島地域住民の図書貸出冊数 30冊/月 基準年(H23):4冊/月 ・小浜地域住民の図書貸出冊数 45冊/月 基準年(H23):21冊/月		
6	②	竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業	H24～H34	竹富町内の児童生徒が、町外へ選手や各種コンクール等の受賞者として派遣される場合の、船賃・航空運賃及び宿泊費を派遣費補助規定に基づき補助する。	児童生徒派遣費助成	児童生徒選手等派遣人数:440人 基準年(H24):330人		
6	③	学校ICT環境整備事業	H25	教科等におけるICT活用を推進し、わかりやすく深まる授業を実現するとともに、情報教育の充実により情報活用能力を育成し、「多様化・高度化する社会の変化へ対応できる人材の育成」を目指す。	・電子黒板の整備 20台 ・タブレット端末の整備 179台 ・校内無線LAN整備 小11校、中9校	・町内小中学校への電子黒板設置率100% ・町内小中学校内無線LAN整備率100%		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		観光客等誘致促進・受入体制強化事業	H24～H29					
1	①	地域振興対策事業	H24～H28	既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進する。	カジキ釣り大会の実施 一周マラソン大会の実施	・イベント開催月入域観光客数:3,000人 (H23年:2,300人) ・カジキ釣り大会参加者数:110名 (H24年度:100名) ・一周マラソン大会参加者数:500名 (H24年度:459名)	(今後の展開方針) イベント開催月入域観光客数 H28年度:3,600人	
1	③	与那国町観光ガイドブック作成事業	H25	現状に見合ったガイドマップを作成し、観光ニーズに対応し、さらにPR活動等により誘客を促進する。	ガイドマップの作成	ガイドマップの配布(50,000部) 配布予定先 与那国町交流推進班:20,000部 与那国町観光協会:25,000部 与那国町商工会:5,000部		
1	⑥	サンニヌ台景勝地整備事業	H25	利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道の整備を実施する。	サンニヌ台の展望台及び遊歩道の整備	サンニヌ台の展望台及び遊歩道の整備	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
1	⑦	久部良バリ観光地駐車場整備事業	H25	利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、久部良バリへのアクセス路および駐車場の整備を実施する。	久部良バリアクセス路及び駐車場の整備	久部良バリアクセス路及び駐車場の整備	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
1	⑧	与那国島特産品アピール力強化事業	H25～H29	日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、平成25年度離島フェアの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行う。参加事業所には店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを実施する。	事業者の指導及び講習会の実施 講習会開催数:7回 参加事業者数:10業者	離島フェア等への出店:10事業者	(今後の展開方針) H29年度:離島フェア等の出店数:15業者	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
2		農水産業活性化事業	H24～H29					
2	①	与那国町農業用水対策事業	H24～H28	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するためかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道(石粉道路)の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。	かんがい施設整備の実施	かんがい施設整備箇所数:3箇所	(今後の展開方針) 基準年(H23):玄米生産高 93t H28年度:玄米生産高 120t	
2	②	与那国町さとうきびイネコトウ防除事業	H25～H29	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、夏植え70ha、春植え20ha、株出し30haを対象に農薬購入に対し、購入費補助を実施する。	農薬購入費の補助の実施	農薬購入費の補助の実施 補助件数:90農家	(今後の展開方針) さとうきび収穫反収向上 H29年度 1haあたり:平均反収6トン	
2	③	与那国町さとうきび干ばつ対策事業	H25～H29	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、干ばつ時に備え、大型タンク散水車(15t)を購入し、干ばつ時に対応出来るよう体制を実施する。	大型タンク散水車購入(15tタンク車)	大型タンク散水車購入(15tタンク車)	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	
2	④	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25～H29	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、町が農業者、農業組合法人を含む農業生産法人に対して優良繁殖雌牛購入費用の一部を助成し、購入費用の1/3以内、1頭当たり200千円を上限として助成を実施する。	優良牛繁殖雌牛導入の実施	優良牛繁殖雌牛導入:年間16頭	(今後の展開方針) 基準年(H23):牛平均価格 300,000円 H27年度:子牛平均価格350,000円	
2	⑤	水産物輸送コスト負担軽減事業	H25～H29	与那国町は、離島のさらに離島であるが為に、地理的不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料に対し補助金の交付を実施する。	生鮮水産物の空路輸送費補助の実施	生鮮水産物の出荷量増:前年度比5%増 (前年度と比較する期間は、交付決定以降(11月～3月)とする)		10月変更 (事業追加)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
3		教育環境充実事業	H24～H28					
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24～H28	U・Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施する。	町営学習塾の実施	・学習塾受講率(中学生) H25年度 46% (基準年(H23):40%) ・学習塾受講率(小学生) H25年度 41% 基準年(H23):0%	(今後の展開方針) 学習塾受講率 H28年度:80% 基準年(H23):40%	
3	②	教育諸活動助成事業	H24～H28	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣の実施	各種大会派遣人数:300人		
3	③	地域国際交流事業	H24～H28	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	台湾「花蓮市」へホームステイの実施	・台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数:15人 ・学力向上推進実践報告会:ホームステイ報告	(今後の展開方針) ホームステイ派遣生徒数(累計) H28年度:60人	
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24～H28	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	海外語学研修派遣事業の実施	・海外語学研修派遣事業 アメリカ:2人 イギリス:2人 ・与那国町総合文化祭にて語学研修意見発表		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		地域文化の継承と生涯学習支援事業	H24～H28	これまで「地名と風土」と「民族編」に続いて歴史編を発刊しており、2009年にユネスコによる与那国語(方言)の消滅危惧種に認定されたことから、先人の残した島固有の言葉と伝統文化の保全継承の重要性、与那国語(方言)のすばらしさの再認識と次世代継承を目的に「与那国語(方言)辞典」の発刊に向け関連イベントを実施する。	与那国語(方言)講演会等の実施	与那国語(方言)講演会等の実施 方言大会実施:参加者数20名 スンカニ大会実施:参加者数/25名		
5		与那国町すこやか子育て支援事業	H25～H28					
5	①	与那国町すこやか子育て支援事業	H25～H28	就学前児童を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援を実施する。	子育て支援臨時職員の雇用:2人	支援人数(利用者数):24人		
5	②	介護ヘルパー支援事業	H25	介護サービス事業所がない本町は、利用者に十分な介護サービス提供が行えない状況にある。当分の間、町役場がサービス提供に必要な人材等を確保し、安心、安定した介護サービスの提供を実施する。	介護支援ヘルパーの雇用:2人	介護支援ヘルパー(2人)による入浴介護・食事介護の実施		
5	③	子育て支援事業	H25	平成24年度交付金で事業化した保育所建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。	祖納保育所の備品購入	祖納保育所の子育て支援備品設置	(今後の展開方針) H26年度:供用開始 入所見込人数:40人	
5	④	介護支援事業	H25	平成24年度交付金で事業化した介護支援センター建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。	介護支援センターの備品購入	介護支援センターの介護支援備品設置	(今後の展開方針) H26年度:供用開始 入所見込人数:10人	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等		
				6		少子高齢化対策事業			H24～H28
7		離島定住条件基盤整備事業	H24～H28						
7	①	公共交通路線支援事業	H24～H28	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行便数:2,500便/年			
7	②	ドゥナン・ファンド推進事業	H24～H28	島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を実施する。	どうなん町民活動支援ファンド計画の策定	どうなん町民活動支援ファンド計画の策定	(今後の展開方針) H26年度以降:ぼんたドゥナン島基金を活用し、町民活動・町内事業者への支援の展開開始		
8		防災安全基盤強化事業	H25～H26						
8	①	与那国町防災情報伝達システム導入事業	H25～H26	緊急時会議システムの導入及び既存の防災行政無線施設とのマッチングによる住民への情報伝達手段の効率的な連絡体制、情報伝達システムの構築を図る。	防災情報伝達システム導入の実施	防災情報伝達システムの構築	(今後の展開方針) H26年度:供用開始		
8	②	与那国町安全基盤対策事業	H25～H26	与那国町の玄関口である空港・港及び3集落主要箇所に防犯カメラの設置、及び3集落内の防犯灯(258基)を毎年、襲来する台風により塩害や強風等の損傷が激しい。そのため長寿命で経済性に優れたLED防犯灯に取り替えを実施する。	防犯カメラ設置:6箇所 防犯灯設置:100基	安全基盤対策委託 防犯カメラ設置:6箇所	(今後の展開方針) H26年度:防犯灯取替実施		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8	⑤	与那国町地域防災計画(津波編)策定事業	H25	平成23年度に策定された「与那国町地域防災計画」を補完するため、与那国町地域防災計画(津波編)を追加作成する。現在計画では、津波被害想定及び予防対策を記載しているがH25年3月新たに津波浸水予測が発表されたこと、集落ごとの実情に即した避難計画と具体案が示されていないため、新ためて検討委員会により必要事項を検討する。	与那国町地域防災計画(津波編)の策定	与那国町地域防災計画(津波編)の公表		12月変更(事業追加)
9		与那国島歴史文化交流支援事業	H25	多様な観光ニーズに対応するため、与那国町の地域資源を活用した地域情報の発信施設を整備する。具体的には、台湾花蓮市と姉妹締結30年を迎えこの間の様々な交流の歩みを記録し形として残し、また、現存している与那国島の明治時代から現代までの記録写真を展示するなど与那国島に関する多種多様の資料の整理及び展示施設を建設し、与那国島の自然以外の魅力を観光客など島内外へアピールすることを目的とする資料館及び観光の拠点施設として「与那国島歴史・文化・交流資料館」(仮称)の整備を実施する。	与那国島歴史文化交流資料館の実施設設計及び建設工事	与那国島歴史文化交流資料館建設完了:1棟	(今後の展開方針) H26年度:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。